

令和7年度
柳川市民アンケート調査
報告書

令和7年10月
柳川市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計.....	1
II. 調査結果の概要	2
1. 「暮らしについて」の結果・・・問 4~6	2
2. 「文化・歴史・観光について」の結果・・・問 7~15.....	2
3. 「道路・公共交通・景観について」の結果・・・問 16~21.....	3
4. 「人権に関することについて」の結果・・・問 22~23	4
5. 「市役所に関することについて」の結果・・・問 24~34.....	4
6. 「公衆衛生について」の結果・・・問 35~40.....	5
7. 「ご自宅の防火設備に関することについて」の結果・・・問 41~45.....	6
III. 調査結果	7
1. 回答者属性.....	7
2. むらしについて	8
(1) 柳川市は子育てしやすい環境であると思う度合い (Q4)	8
(2) 柳川市への愛着や誇りの度合い (問 5)	11
(3) 柳川市へ住み続けたい思いの度合い (問 6)	14
3. 文化・観光・歴史について	17
(1) 文化芸術活動が盛んに行われていると思う度合い (問 7)	17
(2) 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闍千代」の認知度 (問 8)	20
(3) 観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い (問 9)	23
(4) 川市の観光における市民生活への影響の度合い (問 10)	26
(5) この 1 年以内の掘割に接する機会の有無 (問 11)	29
(6) この 1 年以内の川下り経験の有無 (問 12)	32
(7) 川下り全体の満足度 (問 13)	35
(8) どのような情報やサポートがあれば自信をもって情報を発信できるか (問 15)	38
4. 道路・公共交通・景観について	41
(1) 柳川市の道路が快適に通行できると感じる度合い (問 16)	41
(2) 最近 3 か月間の公共交通機関の利用状況 (問 17)	44
(3) 市内の公共交通に対する満足度 (問 18)	47
(4) 柳川市の自然やまちなみ、夜の景観が良好だと感じる度合い (問 19)	50
(5) 柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い (問 20)	53

(6) 堀割への愛着や誇りの度合い（問 21）	56
5. 人権に関することについて	59
(1) 人権が守られていると思う度合い（問 22）	59
(2) 男女平等であると思う度合い（問 23）	62
6. 市役所に関することについて	65
(1) 広報やながわを読んでいる頻度（問 24）	65
(2) この 1 年以内の来庁頻度（問 25）	68
(3) 来庁の目的（問 26）	71
(4) 来庁時の平均所要時間（問 27）	74
(5) 来庁時の職員の対応（問 28）	77
(6) この 1 年内でコンビニでの証明書等の発行利用の有無（問 30）	80
(7) 利用したことがない理由（問 31）	83
(8) この 1 年内でオンライン申請などの利用の有無（問 32）	86
(9) 利用したことがない理由（問 33）	89
(10) どの部門の手続き・申請がオンラインでできると便利と思うか（問 34）	92
7. 公衆衛生について	96
(1) 市のがん検診の認知度（問 35）	96
(2) この 1 年以内のがん検診の受診の有無（問 36）	99
(3) がん検診を受けた方法（問 37）	102
(4) がん検診を受けない理由（問 38）	105
(5) 特定検診の受診の有無（問 39）	109
(6) 特定検診を受診しない理由（問 40）	112
8. ご自宅の防火設備に関するこことについて	116
(1) 住宅の種別（問 41）	116
(2) 住宅用火災報知機の設置の有無（問 42）	119
(3) 住宅用火災警報器を設置後、10 年の経過有無（問 43）	122
(4) 住宅用火災警報器の作動確認状況（問 44）	125
(5) 住宅用火災警報器の作動確認結果（問 45）	128

IV. 参考資料 131

1. 自由記述.....	131
(1) 川下り全体の満足度の理由（問 14）	131
(2) 来庁の目的（問 26）	135
(3) 職員の対応に『不満』の理由（問 29）	136
(4) 利用したことがない理由（問 31）	137
(5) 利用したことがない理由（問 33）	138
(6) どの部門の手続き・申請がオンラインでできると便利と思うか（問 34）	139
(7) がん検診を受けていない理由（問 38）	140
(8) 特定検診を受診しない理由（問 40）	141

(9) 来庁の目的（問 35）	142
(10) 行政への意見（問 46）	143
2. 調査票	185

I. 調査の概要

1. 調査の目的

第3次総合計画の策定に向けた準備を進めている段階ですが、これまでの取組の成果や課題を把握し、今後の計画に活かしていくことが重要であると考えております。このアンケートは、市政に対する市民の皆様のご意見を把握し、今後のまちづくりに反映させるために実施するものです。

2. 調査設計

(1) 調査地域	柳川市全域
(2) 調査対象者	市内に居住する 18 歳以上
(3) 標本数	2,000 サンプル ※住民基本台帳より無作為抽出
(4) 標本抽出台帳	令和7年6月1日現在の選挙人名簿
(5) 調査方法	郵送
(6) 調査期間	令和7年7月26日～令和7年8月17日
(7) 回収数（率）	1,083 サンプル (54.2%) (調査票回収 791 サンプル、WEB 回答 292 サンプル)
(8) 調査主体	柳川市 総務部 企画課

【調査結果利用上の注意】

- (1) 回答結果は各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で示しています。
また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計が 100.0% にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0% を超える場合があります。
- (3) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としています。
- (4) 調査結果を図表に表示しておりますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを [] で網掛けをしています。
- (5) 図表において、回答者数 (n) が少數となる場合は、参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要します。
- (6) アンケート時にはお住まいの地域を「居住小学校区」と記載していたが、報告書では「居住地区」へ変更しています。

II. 調査結果の概要

本調査の設問は、概ね 7 つの分野に大別されます。調査結果の概要は、分野ごとに、市民のニーズや今後の取り組むべき方針等をまとめました。

1. 「暮らしについて」の結果…問 4～6 (P12～P20)

子育てしやすい環境であると思う度合い（問 4）は、『そう思う』の割合が 33.9%、「分からない」の割合が 41.3%、『そう思わない』の割合が 22.0% となっています。令和 6 年度調査と比較すると、『そう思う』の割合が増加しています。性別にみると、『そう思う』の割合は男女とも同じ割合（34.7%）となっています。年齢別にみると、年代が上がるにつれて『そう思う』の割合が高くなっています。最も高いのは 70 歳以上（36.7%）となっています。今後、さらに環境を整え、子育て世代に子育てしやすい環境であることを呼びかけ、移住・定住に繋げる取組が必要です。

柳川市への愛着や誇りの度合い（問 5）は、愛着や誇りを『感じる』の割合が 73.8%、『感じない』の割合が 16.0% となっています。令和 6 年度調査と比較すると、『感じる』の割合が増加し、『感じない』の割合は減少しています。性別にみると、『感じる』の割合は女性（73.1%）よりも男性（78.3%）の方が高くなっています。年齢別にみると、すべての年代において『感じる』の割合が 7 割を超えており、最も高いのは 10 歳代・20 歳代（81.2%）となっています。どの年代も柳川市への愛着や誇りを持っていることが伺えます。

柳川市に住み続けたいと思う度合い（問 6）は、住み続けたいと『思う』の割合が 72.8%、『思わない』の割合が 9.2% となっています。性別にみると、『思う』の割合は女性（71.9%）よりも男性（77.9%）の方が高くなっています。年齢別にみると、年代が上がるにつれて『思う』の割合が高くなっています。最も高いのは 70 歳以上（85.5%）となっています。一方で、『思う』の割合が最も低いのは 10 歳代・20 歳代（55.0%）となっており、若者が柳川市に住み続けたいと思う取組が必要です。

2. 「文化・歴史・観光について」の結果…問 7～15 (P21～P44)

文化芸術活動が盛んに行われていると思う度合い（問 7）は、『思う』の割合が 41.9%、「分からない」の割合が 34.7%、『思わない』の割合が 21.5% となっており、令和 6 年度調査より若干の落ち込みはあるが、高い水準を保っています。性別にみると、男性と女性で大きな割合の差はありません。年齢別にみると、『思う』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（65.2%）となっています。引き続き文化芸術活動を推進し、認知度を向上させる取組が必要です。

柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「閨千代」の認知度（問 8）は、『知っている』の割合が 88.4%、「全く知らない」の割合が 9.6% となっており、高い認知度を誇っています。年齢別にみると、40 歳代以下の「全く知らない」の割合が高くなっています。引き続きエピソードを伴った啓発活動が必要です。

II. 調査結果の概要

観光客へのおもてなしをして良かったと感じる度合い（問 9）は、『感じる』の割合が 35.5%、『感じない』の割合が 22.1%、「おもてなしの機会がない」の割合が 40.0% となっています。令和 6 年度調査と比較すると「おもてなしの機会がない」の割合が減り、『感じない』の割合が増えています。年齢別にみると、年代が下がるにつれて『感じる』の割合が高くなっています。最も高いのは 10 歳代・20 歳代（46.4%）となっています。

柳川市の観光における市民生活への影響の度合い（問 10）は、良い影響を『与えている』の割合が 45.9%、「どちらでもない」の割合が 31.0%、『与えていない』の割合が 20.4% となっています。この項目における性別や年代による大きな割合の差はみられませんが、令和 6 年度調査と比較すると『与えている』の割合が若干減少しています。

この 1 年以内の掘削に接する機会の有無（問 11）は、「ある」の割合が 37.9%、「ない」の割合が 60.0% となっています。性別にみると、女性（35.3%）よりも男性（43.6%）の方が「ある」の割合が高くなっています。一方で、年齢別にみると、40 歳代以下で「ない」の割合が高くなっています。

この 1 年以内の川下り経験の有無（問 12）は、「ある」の割合は 6.4%、「ない」の割合は 91.6% となっており、過去の調査と比較しても、割合に大きな変化はみられず、市民の川下り離れが改善されていません。

川下り全体の満足度（問 13）は、『満足』の割合が 68.1%、『不満』の割合が 14.4% で、令和 6 年度調査と比較すると「満足」の割合が若干低くなっています。

どのような情報やサポートが有れば自信をもって情報を発信できるか（問 15）は「柳川市の観光スポットや歴史・文化に関する情報提供」の割合が 63.2%、「観光案内に役立つ外国語の基本フレーズ集」の割合が 26.2%、「観光客とのコミュニケーションに関する研修」の割合が 21.8%、「観光案内の実践的なトレーニング」の割合が 14.1% となっています。情報発信を促進するためには、こうしたサポートの充実が必要です。

3. 「道路・公共交通・景観について」の結果…問 16～21 (P45～P62)

柳川市の道路が快適に通行できると感じる度合い（問 16）は、快適に通行できると『思う』の割合が 47.3%、『思わない』の割合が 36.1% となっています。年齢別にみると、『思う』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（53.6%）となっています。

最近 3 か月間の公共交通機関の利用状況（問 17）は、公共交通機関を『利用している』の割合は 30.3% となっています。一方で、「利用なし」の割合が 68.9% で、市民の 7 割弱が 3 ヶ月間に公共交通を利用していないという結果となっています。年齢別にみると、『利用している』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（55.1%）となっており、他の年代と比較すると、20 ポイント以上高くなっています。30 歳以上への利用促進活動が必要となっています。

市内の公共交通に対する満足度（問 18）は、『満足している』の割合が 17.7%、「どちらでもない」の割合が 44.6%、『満足していない』の割合が 35.8% となっています。令和 6 年度調査と比較すると、『満足していない』の割合が増加しています。年齢別にみると、『満足している』の割合は年代が下がるにつれて高くなっています。最も高いのは 10 歳代・20 歳代（46.4%）で、最も低いのは 70 歳以上（10.1%）となっていることから、利用している年代は満足度が高いものの、利用しない年代は不満の割合が高く、利用しない年代に向けて利用を促進する取組が必要です。

II. 調査結果の概要

柳川市の自然やまちなみ、夜の景観が良好だと感じる度合い（問19）は、良好だと『感じる』の割合が30.7%、良好だと『感じない』の割合が39.1%となっています。年齢別にみると、『感じる』の割合は年代が下がるにつれて高くなっています。最も高いのは10歳代・20歳代（55.1%）で、最も低いのは70歳以上（25.6%）となっています。

柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い（問20）は、保全されていると『感じる』の割合が44.0%、保全されていると『感じない』の割合が30.9%となっています。年齢別にみると、10歳代・20歳代（50.7%）と70歳以上（49.1%）で高くなっています。一方で、最も『感じる』の割合が低いのは30歳代・40歳代（33.7%）となっています。

掘割への愛着や誇りの度合い（問21）は、愛着や誇りを『感じる』の割合は54.0%、「分からぬ」の割合は24.2%、愛着や誇りを『感じない』の割合は21.2%となっています。年齢別にみると、『感じる』の割合は年代が上がるにつれて高くなっています。最も高いのは70歳以上（60.6%）となっていますことから、若い世代への啓発活動が必要です。

4. 「人権に関することについて」の結果…問22～23（P63～P68）

人権が守られていると思う度合い（問22）は、人権が守られていると『思う』の割合が32.3%、「分からぬ」の割合が53.2%、人権が守られていると『思わない』の割合が13.7%となっています。令和6年度調査と比較すると、『思う』の割合が減少しています。年齢別にみると、『思う』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代（59.4%）で、その他の年代では「分からぬ」の回答が半数を超えていました。この結果、「人権」という言葉を身近に感じられるような、より実践的で効果的な啓発活動が求められています。

男女平等であると思う度合い（問23）は、男女平等であると『思う』の割合が25.3%、「分からぬ」の割合が49.3%、男女平等であると『思わない』の割合が24.6%となっています。年齢別にみると、『思う』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代（47.8%）で、その他の年代では「分からぬ」との回答が多数を占めました。この結果は、若い世代は、幼少期から「男女共同参画社会」の理念のもとで教育を受けた成果が出ていると考えられる一方、30代以降の回答者が「分からぬ」と答えるのは、単に「平等ではない」と考えているわけではなく、社会や組織における状況が複雑で、一言で「平等だ」あるいは「平等ではない」と断定できないと感じていると推察されます。ライフステージの変化を考慮に入れた多角的な施策を実施する必要があります。

5. 「市役所に関することについて」の結果…問24～34（P69～P99）

広報やながわを読んでいる頻度（問24）は、『読んでいる』の割合が91.5%で、9割を超える市民が広報やながわに触っています。年齢別にみると、『読んでいる』の割合が最も低いのは10歳代・20歳代（65.1%）で、他の世代と比べて20ポイント以上低いですが、市の活動を周知するツールとしては深く認知されていると推察されます。

この1年以内の来庁頻度（問25）は、『行ったことがある』の割合が89.2%で、1年内に約9割の市民は来庁している結果となっています。年齢別にみると、『行ったことがある』の割合が最も低いのは10歳代・20歳代（29.0%）で、30歳以上は『行ったことがある』の割合が9割前後となっています。

II. 調査結果の概要

来庁の目的（問 26）は、「各種手続き」(47.2%) の割合が最も高く、性別、年齢別による大きな割合の差はみられません。

来庁時の平均所要時間（問 27）は、「15 分未満」の割合（52.5%）が過半数を占めています。

来庁時の職員の対応（問 28）は、『満足』の割合が 45.3%、「普通」の割合が 50.1%、『不満』の割合が 3.3%で、市民は市役所に概ね良い印象を抱いています。性別、年齢別にみても大きな割合の差はみられませんが、誰が来庁しても丁寧な対応を心掛ける必要があります。

直近 1 年間でコンビニでの証明書（住民票や所得証明など）発行を利用の有無（問 30）は「利用したことがある」の割合が 25.4%、「利用したことがない」の割合が 45.0%、「利用する機会がなかった」の割合が 29.1%となっています。性別でみると大きな割合の差はありませんが、「利用したことがない」の割合は年代が上がるにつれて高くなっています。

利用したことがない理由（問 31）は、「やり方がわからない」の割合が 50.5%で最も高くなっています。性別にみると、「やり方がわからない」の割合は男性（44.9%）よりも女性（54.1%）の方が高くなっています。年齢別にみると、「求めている申請・発行にオンライン手続きがない」の割合が 30 歳代・40 歳代（31.4%）で高くなっています。

この 1 年以内でオンライン申請などの利用の有無（問 32）は「利用したことがある」の割合が 8.9% となっています。年齢別にみると、「利用したことがある」の割合は年代が下がるにつれて高くなっています。最も高いのは 10 歳代・20 歳代（20.3%）となっています。

利用したことがない理由（問 33）では「やり方がわからない」の割合が 59.1%で最も高く、性別の大きな割合の差はありませんが、年齢別にみると、「やり方がわからない」の割合は 70 歳以上（65.4%）で高くなっています。

どの部門の手続き・申請がオンラインでできると便利と思うか（問 34）は、「住民票・各種証明書交付」(45.1%) と「健康・医療・保険・年金」(35.7%) の割合が高く、年齢別にみると「特にない」の割合は 70 歳以上（37.4%）で高くなっています。現在設問に設けたサービスがオンラインでできることを踏まえると、より積極的な周知が必要と考えられます。

6. 「公衆衛生について」の結果…問 35～40 (P100～P119)

市のがん検診の認知度（問 35）は、「知っている」の割合が 66.1%、「知らない」の割合が 32.8% で、性別にみると、「知っている」の割合は、男女とも過半数を超えていますが、男性（56.0%）よりも女性（73.8%）の方が高くなっています。年齢別にみると、「知っている」の割合は 10 歳代・20 歳代（17.4%）で最も低く、2 割以下となっています。治療には早期発見が重要となることから、幅広い告知が必要です。

この 1 年以内のがん検診の受診の有無（問 36）は、「受けた」の割合が 31.2%、「受けていない」の割合が 68.1% となっています。性別にみると、「受けた」の割合は、男性（22.0%）よりも女性（38.1%）の方が高く、年齢別では 10 歳代・20 歳代（8.7%）が最も低く、前項の傾向と似寄る結果となりました。

がん検診を受けた方法（問 37）は、「市のがん検診」の割合が 42.0% で最も高くなっています。

がん検診を受けない理由（問 38）は、「検診を受けるのが面倒」の割合が 30.4% で最も高くなっています。検診を受ける必要性の認知を向上させるとともに、受診しやすくなる仕組み作りも必要です。

II. 調査結果の概要

40歳以上を対象とした、昨年度、特定検診の受診の有無（問39）は、「はい」の割合が40.6%、「いいえ」の割合が56.6%となっています。

特定検診を受診しない理由（問40）は、「職場で検診を受けるから」の割合が34.0%で最も高くなっています。「個人的に検診を受ける」（12.4%）、「病院で定期的に検査を受けているから」（27.2%）をふくめ約7割の市民がいずれかの形で検診・検査を受けていることから、市民の健康への意識が高いことが推察されます。引き続き早期発見、早期治療の重要性を啓蒙していくことは必要です。

7. 「ご自宅の防火設備に関するこ_とについて」の結果…問 41～45 (P120～P134)

住宅用火災警報器の設置状況（問42）については、住宅用火災警報器の設置が義務付けられている部分「すべてに設置している」の割合が29.5%、「一部に設置している」の割合が31.9%となっています。一方で、「設置していない」の割合が37.5%と高くなっています。また、「すべてに設置している」と「一部に設置している」を合わせた『設置している』の割合は61.4%となっています。「設置していない」よりも『設置している』の割合のほうが高くなっているものの、設置が十分行われているとはいえないため、設置を促す取組を進めていく必要があると思われます。

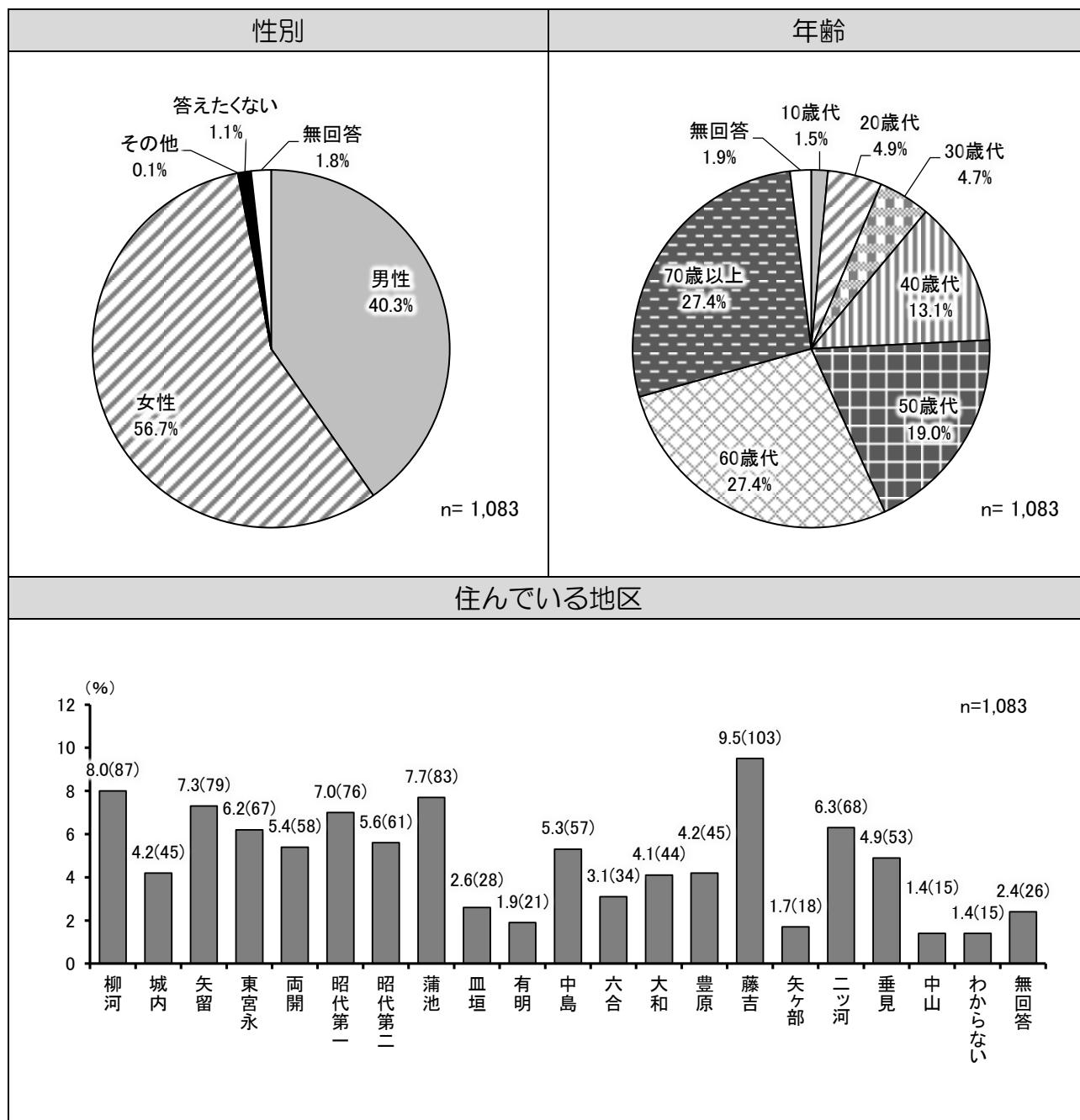
住宅用火災警報器を設置後、10年経過しているか尋ねたところ（問43）、「10年を経過している」の割合が49.9%、「10年を経過していない」の割合が32.5%、「分からない」の割合が17.0%となっています。年齢別では、「10年経過している」の割合は年代が上がるにつれて高く、交換しないまま使用している傾向となっており、最も高いのは70歳代（57.2%）となっています。

また、最近半年以内で火災警報器の作動確認をしたかを尋ねたところ（問44）、「実施した」の割合が31.4%、「実施していない」の割合が68.3%となっています。

前項で「実施した」結果（問45）では42.6%が「異常なし」となっています。

III. 調査結果

1. 回答者属性

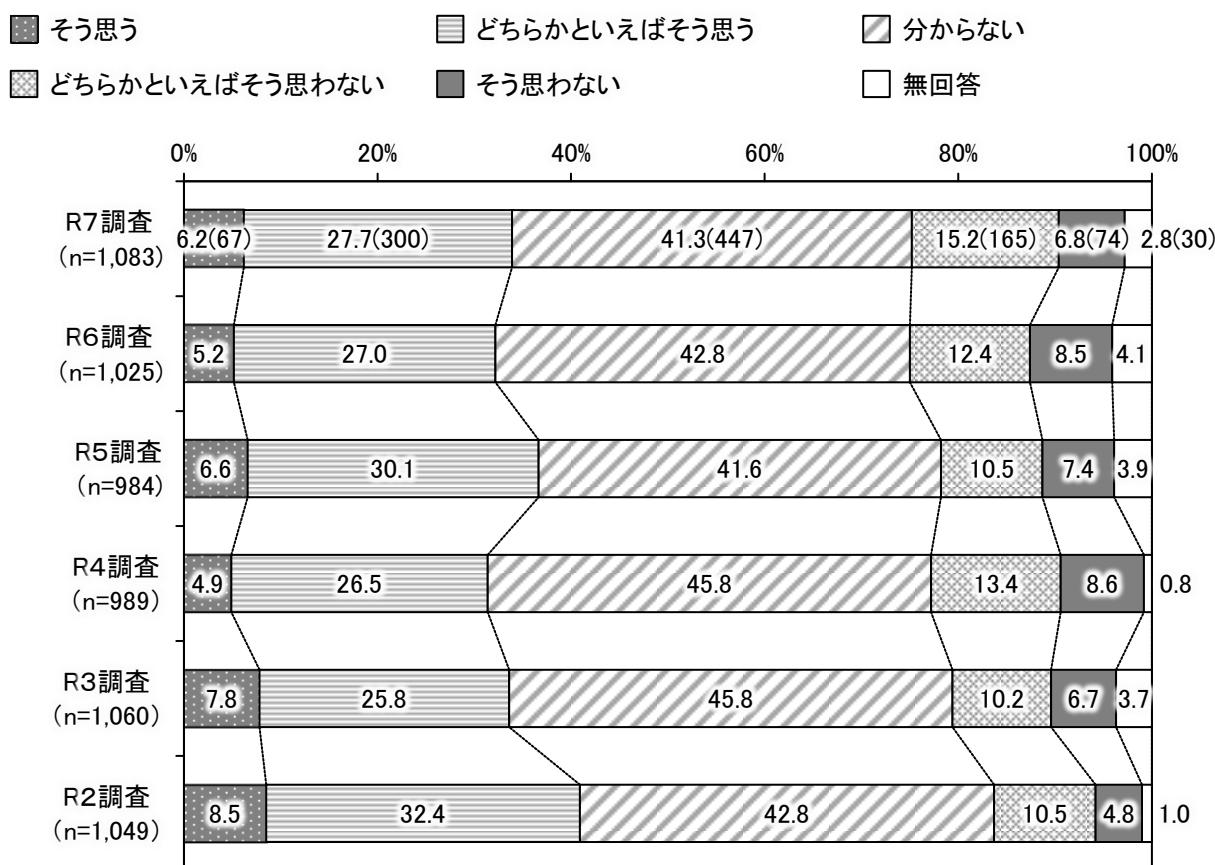


2. 暮らしについて

(1) 柳川市は子育てしやすい環境であると思う度合い(問4)

【Q4】柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。(○を1つだけ)

「分からぬ」の割合が41.3%で最も高くなっている。

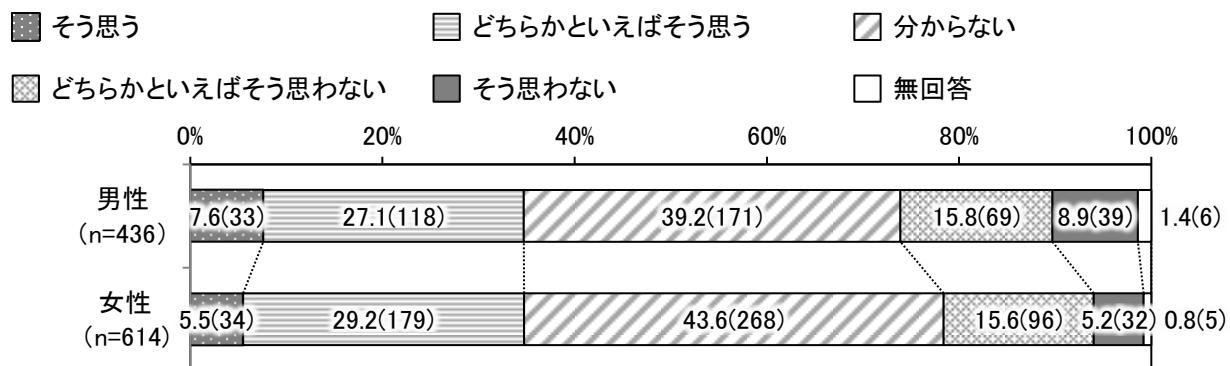


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が33.9%、「分からぬ」の割合が41.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が22.0%となっています。

令和6年度調査と比較すると、『そう思う』、『そう思わない』の割合がともに増加しています。

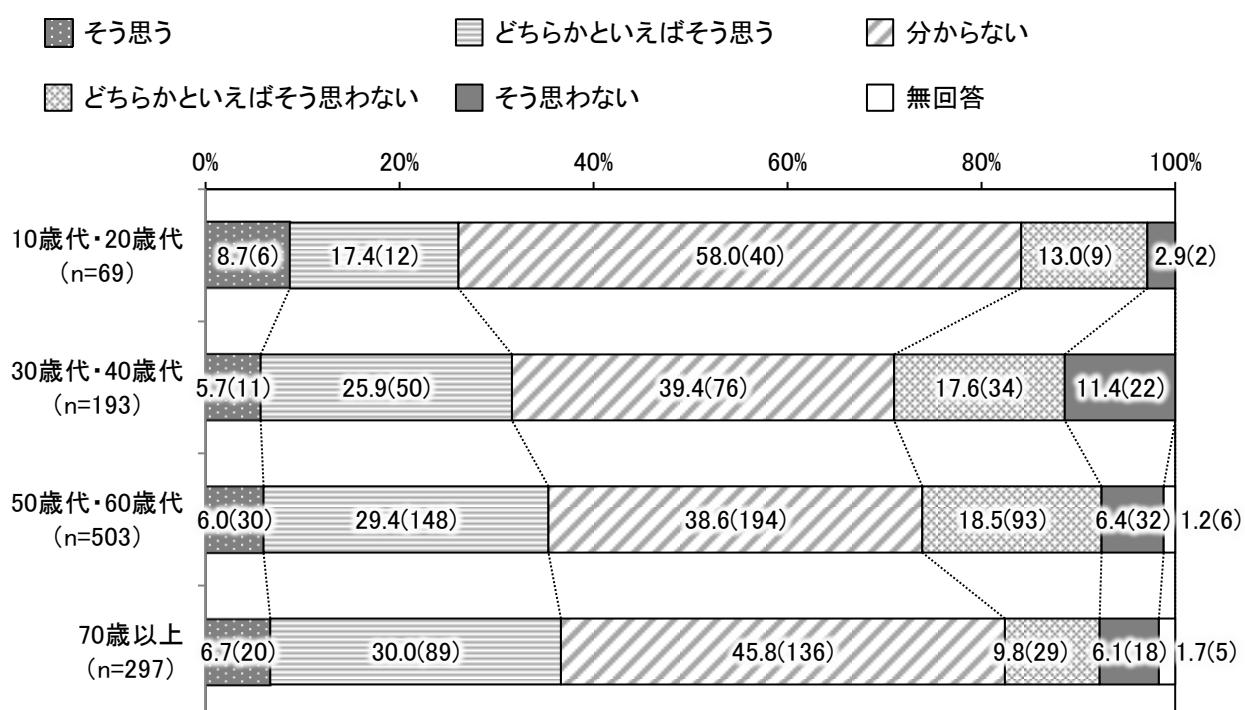
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『そう思う』の割合は、男性（34.7%）と女性（34.7%）は同比率となっています。

【年齢別】



年齢別にみると、年代が上がるにつれて『そう思う』の割合が高くなっています。最も高いのは70歳以上で36.7%となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

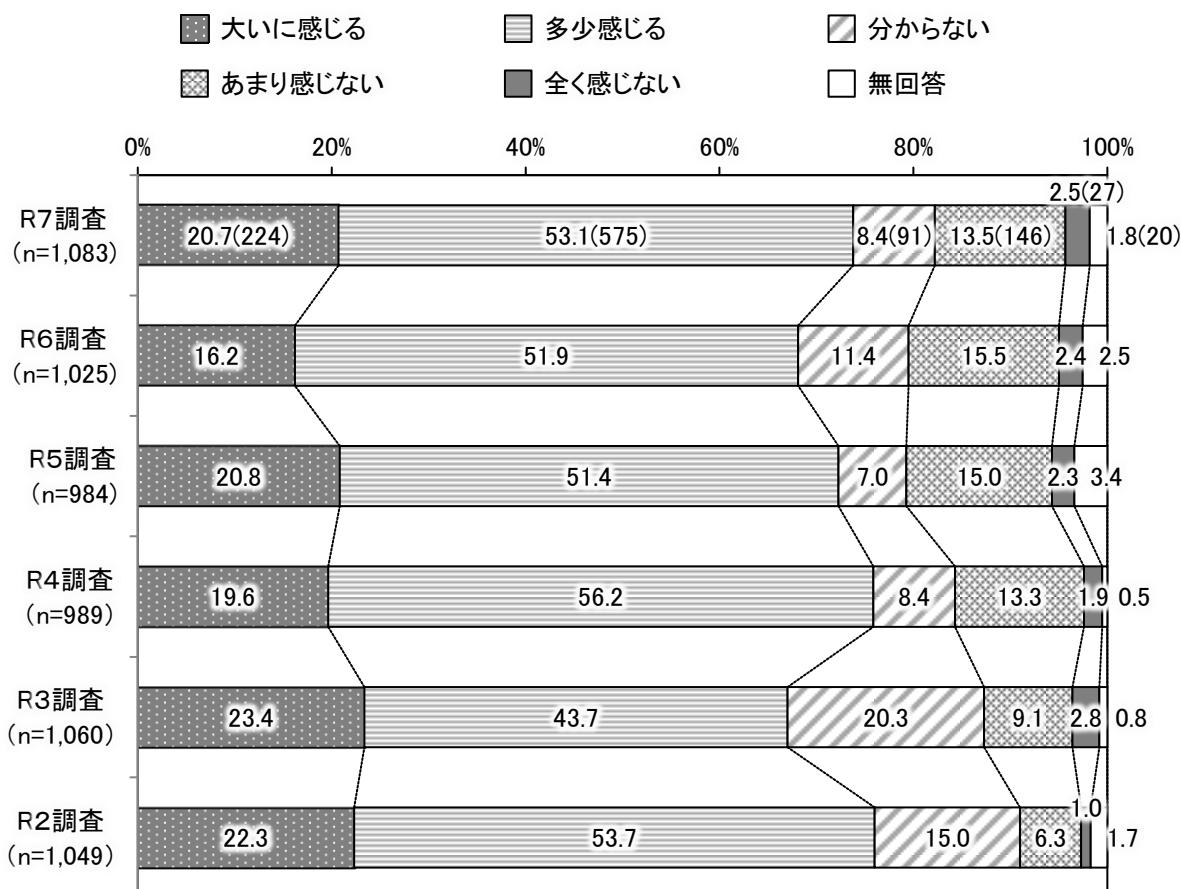
居住地区別	回答者数(件)	そう思う	思どうちらかと言えばそう	分からぬ	思どわちらかと言えばそう	そう思わない	無回答	子育てしやすい	子育てしにくい
全 体	1083 100.0	67 6.2	300 27.7	447 41.3	165 15.2	74 6.8	30 2.8	367 33.9	239 22.0
柳河	87 100.0	11 12.6	23 26.4	39 44.8	13 14.9	- -	1 1.1	34 39.0	13 14.9
城内	45 100.0	5 11.1	12 26.7	14 31.1	9 20.0	5 11.1	- -	17 37.8	14 31.1
矢留	79 100.0	4 5.1	21 26.6	38 48.1	11 13.9	4 5.1	1 1.3	25 31.7	15 19.0
東宮永	67 100.0	7 10.4	22 32.8	24 35.8	12 17.9	2 3.0	- -	29 43.2	14 20.9
両開	58 100.0	3 5.2	21 36.2	22 37.9	7 12.1	4 6.9	1 1.7	24 41.4	11 19.0
昭代第一	76 100.0	6 7.9	24 31.6	26 34.2	15 19.7	5 6.6	- -	30 39.5	20 26.3
昭代第二	61 100.0	2 3.3	18 29.5	26 42.6	9 14.8	5 8.2	1 1.6	20 32.8	14 23.0
蒲池	83 100.0	5 6.0	28 33.7	39 47.0	4 4.8	6 7.2	1 1.2	33 39.7	10 12.0
皿垣	28 100.0	2 7.1	10 35.7	8 28.6	6 21.4	2 7.1	- -	12 42.8	8 28.5
有明	21 100.0	- -	6 28.6	4 19.0	9 42.9	2 9.5	- -	6 28.6	11 52.4
中島	57 100.0	7 12.3	14 24.6	18 31.6	10 17.5	7 12.3	1 1.8	21 36.9	17 29.8
六合	34 100.0	- -	9 26.5	15 44.1	7 20.6	3 8.8	- -	9 26.5	10 29.4
大和	44 100.0	3 6.8	9 20.5	20 45.5	9 20.5	3 6.8	- -	12 27.3	12 27.3
豊原	45 100.0	3 6.7	14 31.1	20 44.4	5 11.1	3 6.7	- -	17 37.8	8 17.8
藤吉	103 100.0	3 2.9	34 33.0	47 45.6	14 13.6	4 3.9	1 1.0	37 35.9	18 17.5
矢ヶ部	18 100.0	- -	3 16.7	10 55.6	4 22.2	1 5.6	- -	3 16.7	5 27.8
二ツ河	68 100.0	3 4.4	10 14.7	30 44.1	11 16.2	13 19.1	1 1.5	13 19.1	24 35.3
垂見	53 100.0	2 3.8	13 24.5	29 54.7	5 9.4	3 5.7	1 1.9	15 28.3	8 15.1
中山	15 100.0	- -	5 33.3	8 53.3	2 13.3	- -	- -	5 33.3	2 13.3
わからない	15 100.0	1 6.7	2 13.3	8 53.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7	3 20.0	3 20.0
無回答	26 100.0	- -	2 7.7	2 7.7	2 7.7	- -	20 76.9	2 7.7	2 7.7

III. 調査結果

(2)柳川市への愛着や誇りの度合い(問5)

【Q5】柳川市に愛着や誇りを感じますか。(○を1つだけ)

「多少感じる」の割合が53.1%で最も高くなっている。

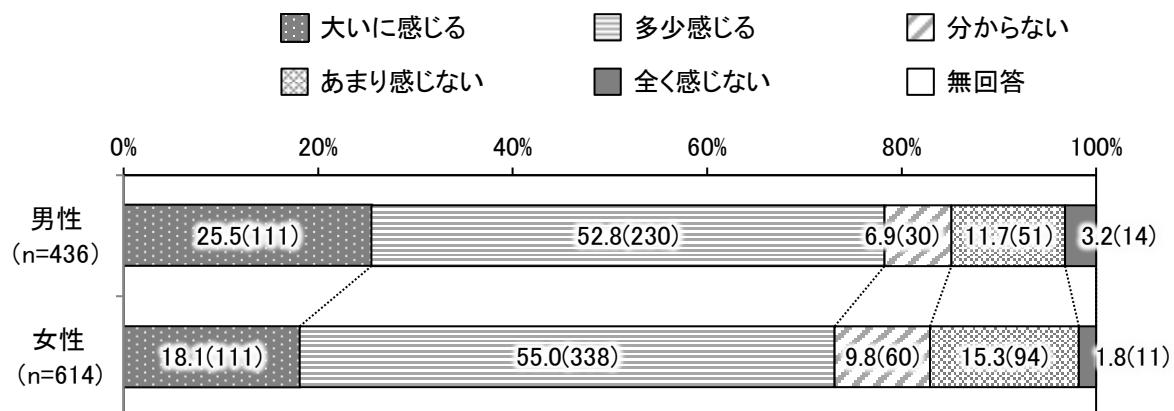


「大きいに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合が73.8%、「分からない」の割合が8.4%、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『感じない』の割合が16.0%となっています。

令和6年度調査と比較すると、『感じる』の割合が増加し、『感じない』の割合が減少しています。

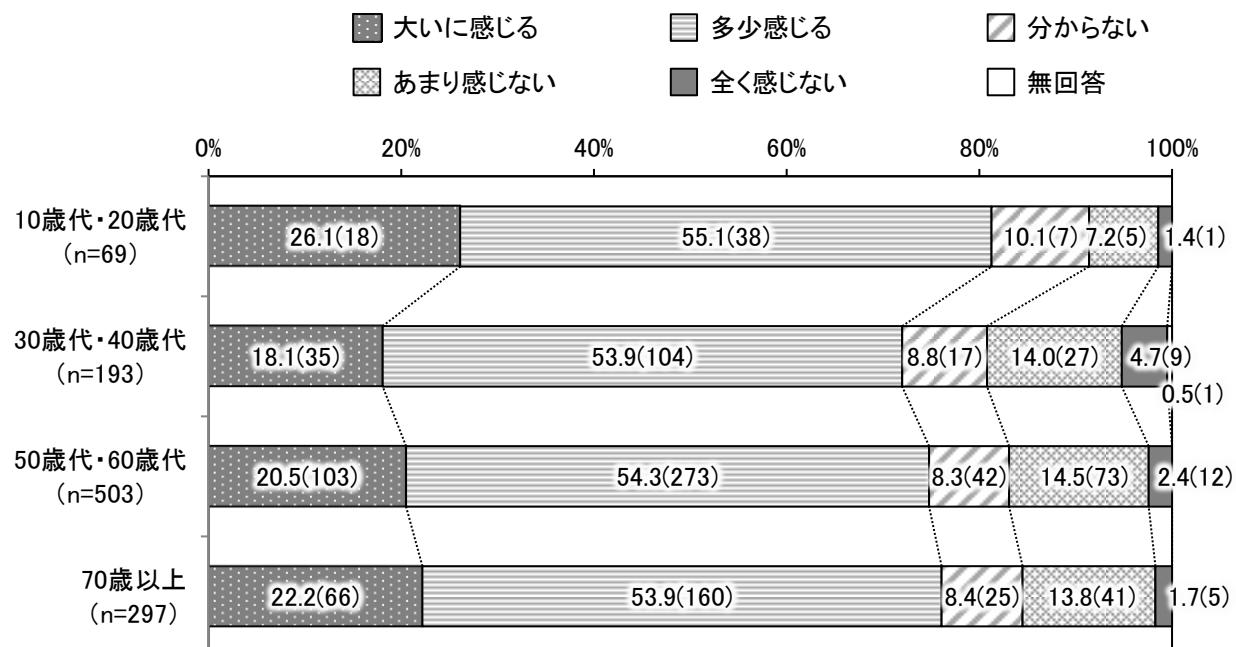
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『感じる』の割合は、女性（73.1%）と比較すると男性（78.3%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、どの年代も『感じる』の割合が70%以上となっており、10歳代・20歳代は『感じる』の割合が80%を超えています。

III. 調査結果

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

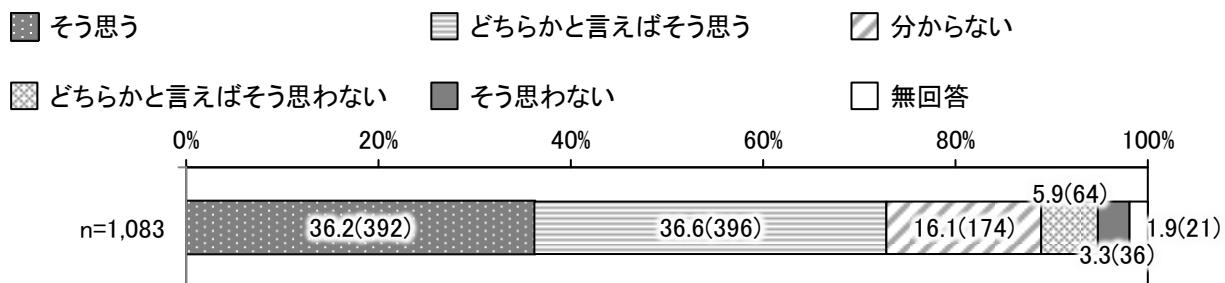
	回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	分からぬ	あまり感じない	全く感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体	1083 100.0	224 20.7	575 53.1	91 8.4	146 13.5	27 2.5	20 1.8	799 73.8	173 16.0
居住地区別									
柳河	87 100.0	18 20.7	53 60.9	8 9.2	7 8.0	1 1.1	-	71 81.6	8 9.1
城内	45 100.0	12 26.7	26 57.8	1 2.2	3 6.7	3 6.7	-	38 84.5	6 13.4
矢留	79 100.0	17 21.5	43 54.4	5 6.3	11 13.9	3 3.8	-	60 75.9	14 17.7
東宮永	67 100.0	17 25.4	40 59.7	3 4.5	4 6.0	3 4.5	-	57 85.1	7 10.5
両開	58 100.0	15 25.9	32 55.2	3 5.2	7 12.1	1 1.7	-	47 81.1	8 13.8
昭代第一	76 100.0	22 28.9	36 47.4	6 7.9	11 14.5	1 1.3	-	58 76.3	12 15.8
昭代第二	61 100.0	9 14.8	31 50.8	8 13.1	12 19.7	1 1.6	-	40 65.6	13 21.3
蒲池	83 100.0	17 20.5	44 53.0	9 10.8	13 15.7	-	-	61 73.5	13 15.7
皿垣	28 100.0	4 14.3	12 42.9	5 17.9	6 21.4	1 3.6	-	16 57.2	7 25.0
有明	21 100.0	5 23.8	12 57.1	2 9.5	2 9.5	-	-	17 80.9	2 9.5
中島	57 100.0	9 15.8	32 56.1	3 5.3	10 17.5	3 5.3	-	41 71.9	13 22.8
六合	34 100.0	4 11.8	18 52.9	5 14.7	7 20.6	-	-	22 64.7	7 20.6
大和	44 100.0	11 25.0	20 45.5	5 11.4	7 15.9	1 2.3	-	31 70.5	8 18.2
豊原	45 100.0	5 11.1	29 64.4	4 8.9	7 15.6	-	-	34 75.5	7 15.6
藤吉	103 100.0	23 22.3	55 53.4	10 9.7	11 10.7	4 3.9	-	78 75.7	15 14.6
矢ヶ部	18 100.0	5 27.8	11 61.1	1 5.6	1 5.6	-	-	16 88.9	1 5.6
二ツ河	68 100.0	14 20.6	37 54.4	-	13 19.1	4 5.9	-	51 75.0	17 25.0
垂見	53 100.0	9 17.0	31 58.5	5 9.4	8 15.1	-	-	40 75.5	8 15.1
中山	15 100.0	3 20.0	7 46.7	3 20.0	2 13.3	-	-	10 66.7	2 13.3
わからない	15 100.0	3 20.0	5 33.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7	-	8 53.3	2 13.4
無回答	26 100.0	2 7.7	1 3.8	-	3 11.5	-	20 76.9	3 11.5	3 11.5

III. 調査結果

(3)柳川市へ住み続けたい思いの度合い(問6)

【Q6】これからも柳川市に住み続けたいと思いますか。(○を1つだけ)

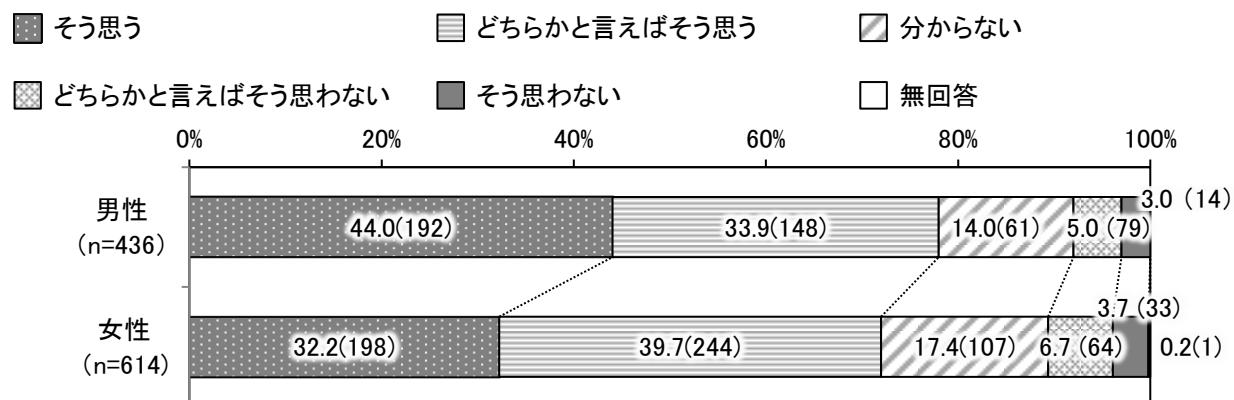
「どちらかと言えばそう思う」の割合が36.6%で最も高くなっている。



「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が72.8%、「分からな
い」の割合が16.1%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わ
ない』の割合が9.2%となっています。

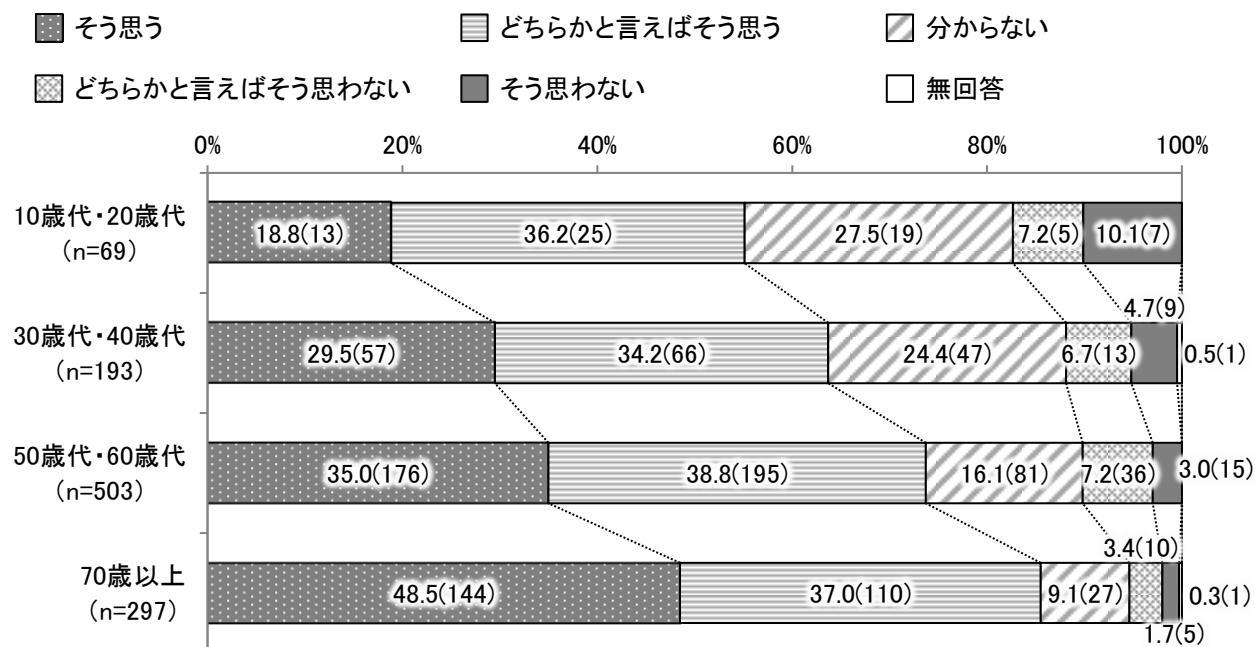
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『そう思う』の割合は、女性（71.9%）と比較すると男性（77.9%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、年代が上がるにつれて『そう思う』の割合が高くなっています。最も高いのは 70 歳以上で 85.5% となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

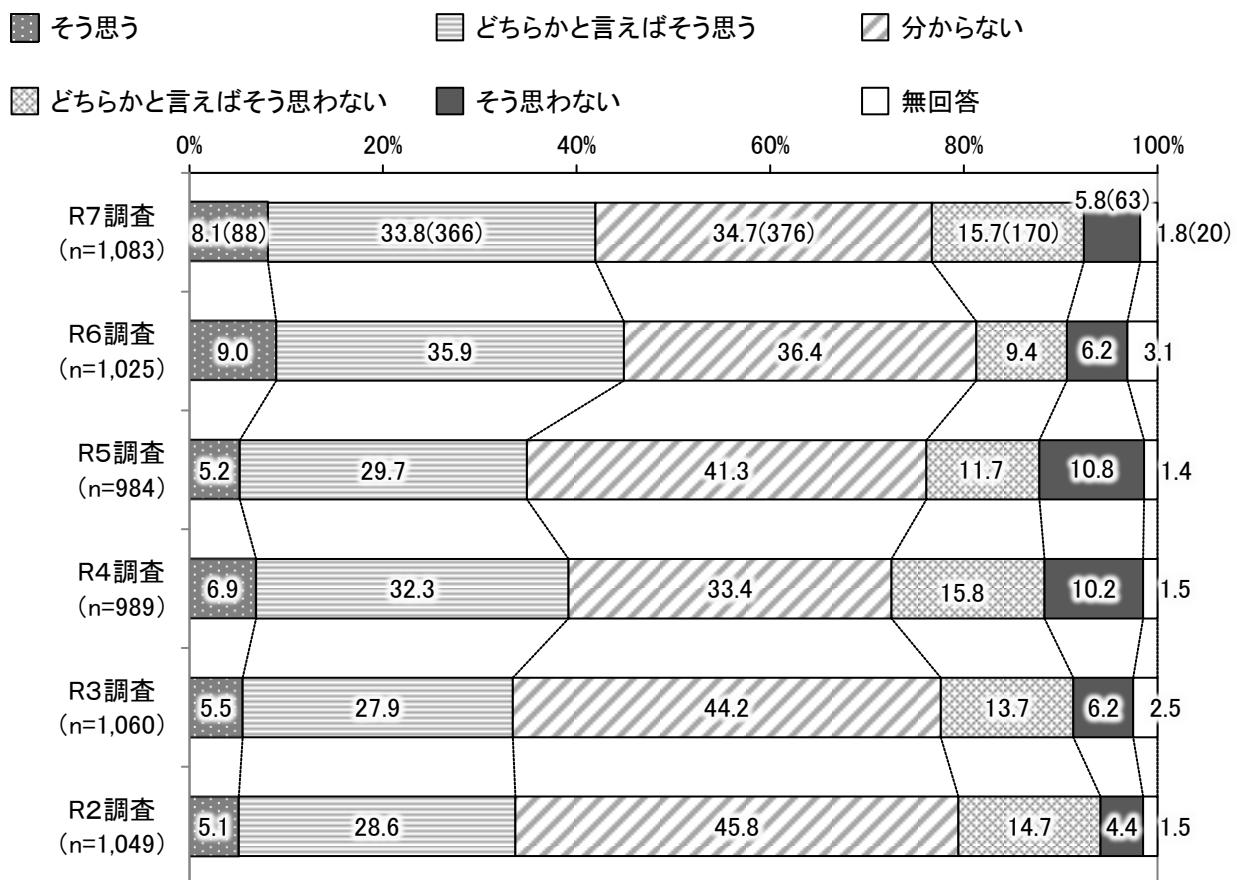
	回答者数 (件)	そう思 う	思 うど ちらかと 言え ばそ う	分 から ない	思 わ ない ど ちらかと 言え ばそ う	そ う 思 わ ない	無 回 答	住 み 続 け た い	住 み 続 け た く な い
全 体	1083 100.0	392 36.2	396 36.6	174 16.1	64 5.9	36 3.3	21 1.9	788 72.8	100 9.2
居住地区別									
柳河	87 100.0	33 37.9	33 37.9	17 19.5	2 2.3	2 2.3	-	66 75.8	4 4.6
城内	45 100.0	21 46.7	14 31.1	8 17.8	1 2.2	1 2.2	-	35 77.8	2 4.4
矢留	79 100.0	32 40.5	30 38.0	6 7.6	7 8.9	4 5.1	-	62 78.5	11 14.0
東宮永	67 100.0	24 35.8	30 44.8	11 16.4	1 1.5	1 1.5	-	54 80.6	2 3.0
両開	58 100.0	26 44.8	17 29.3	10 17.2	4 6.9	1 1.7	-	43 74.1	5 8.6
昭代第一	76 100.0	30 39.5	28 36.8	9 11.8	4 5.3	5 6.6	-	58 76.3	9 11.9
昭代第二	61 100.0	27 44.3	16 26.2	13 21.3	4 6.6	1 1.6	-	43 70.5	5 8.2
蒲池	83 100.0	31 37.3	32 38.6	13 15.7	5 6.0	1 1.2	1 1.2	63 75.9	6 7.2
皿垣	28 100.0	3 10.7	16 57.1	4 14.3	3 10.7	2 7.1	-	19 67.8	5 17.8
有明	21 100.0	7 33.3	9 42.9	3 14.3	2 9.5	-	-	16 76.2	2 9.5
中島	57 100.0	21 36.8	19 33.3	10 17.5	5 8.8	2 3.5	-	40 70.1	7 12.3
六合	34 100.0	7 20.6	18 52.9	5 14.7	3 8.8	1 2.9	-	25 73.5	4 11.7
大和	44 100.0	22 50.0	10 22.7	6 13.6	3 6.8	3 6.8	-	32 72.7	6 13.6
豊原	45 100.0	18 40.0	17 37.8	6 13.3	3 6.7	1 2.2	-	35 77.8	4 8.9
藤吉	103 100.0	32 31.1	42 40.8	21 20.4	5 4.9	3 2.9	-	74 71.9	8 7.8
矢ヶ部	18 100.0	7 38.9	8 44.4	3 16.7	-	-	-	15 83.3	- -
二ツ河	68 100.0	22 32.4	27 39.7	8 11.8	6 8.8	5 7.4	-	49 72.1	11 16.2
垂見	53 100.0	19 35.8	23 43.4	6 11.3	3 5.7	2 3.8	-	42 79.2	5 9.5
中山	15 100.0	4 26.7	2 13.3	9 60.0	-	-	-	6 40.0	- -
わからない	15 100.0	4 26.7	4 26.7	5 33.3	1 6.7	1 6.7	-	8 53.4	2 13.4
無回答	26 100.0	2 7.7	1 3.8	1 3.8	2 7.7	-	20 76.9	3 11.5	2 7.7

3. 文化・観光・歴史について

(1) 文化芸術活動が盛んに行われていると思う度合い(問7)

【Q7】柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(○を1つだけ)

『そう思う』の割合が41.9%で、令和6年度と比較して若干の減少となっている。

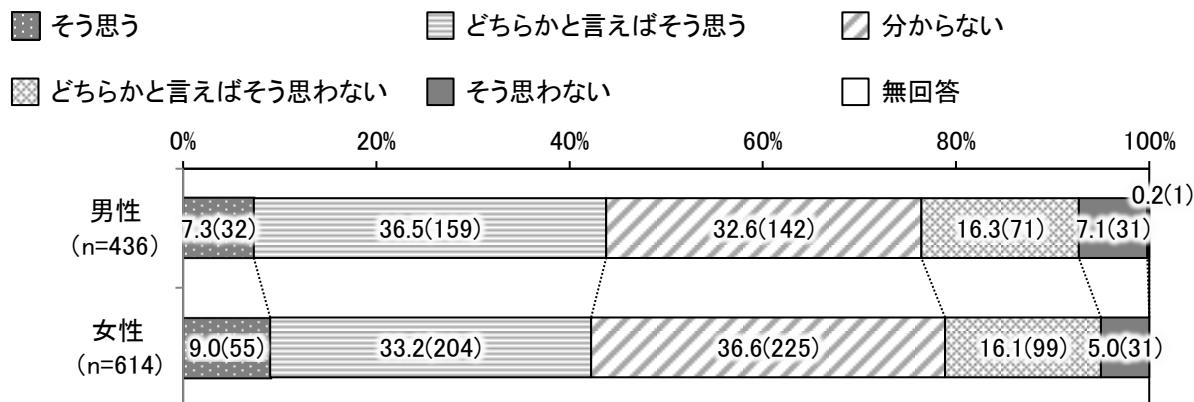


「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が41.9%、「分からぬ」の割合が34.7%、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が21.5%となっています。

令和6年度調査と比較すると、『そう思う』の割合が3ポイント減少したが、高い水準を保っています。

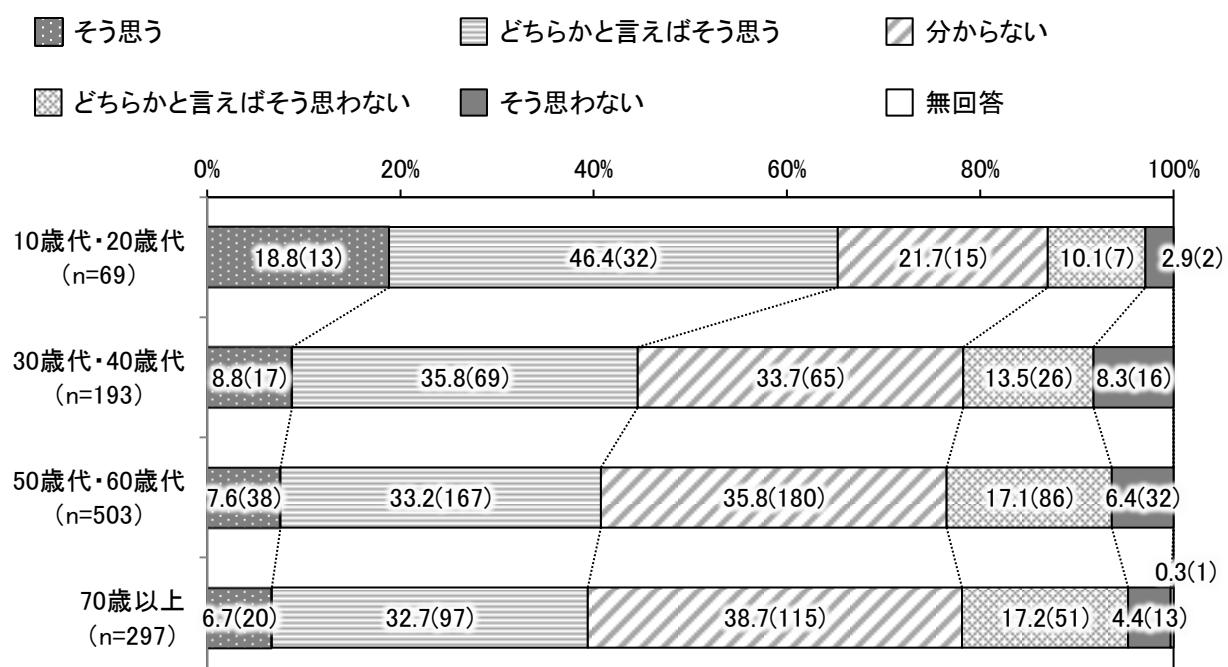
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『そう思う』の割合は、女性（42.2%）と比較すると男性（43.8%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代で、唯一半数を超える 65.2% となっています。最も低いのは 70 歳以上で 39.4% となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

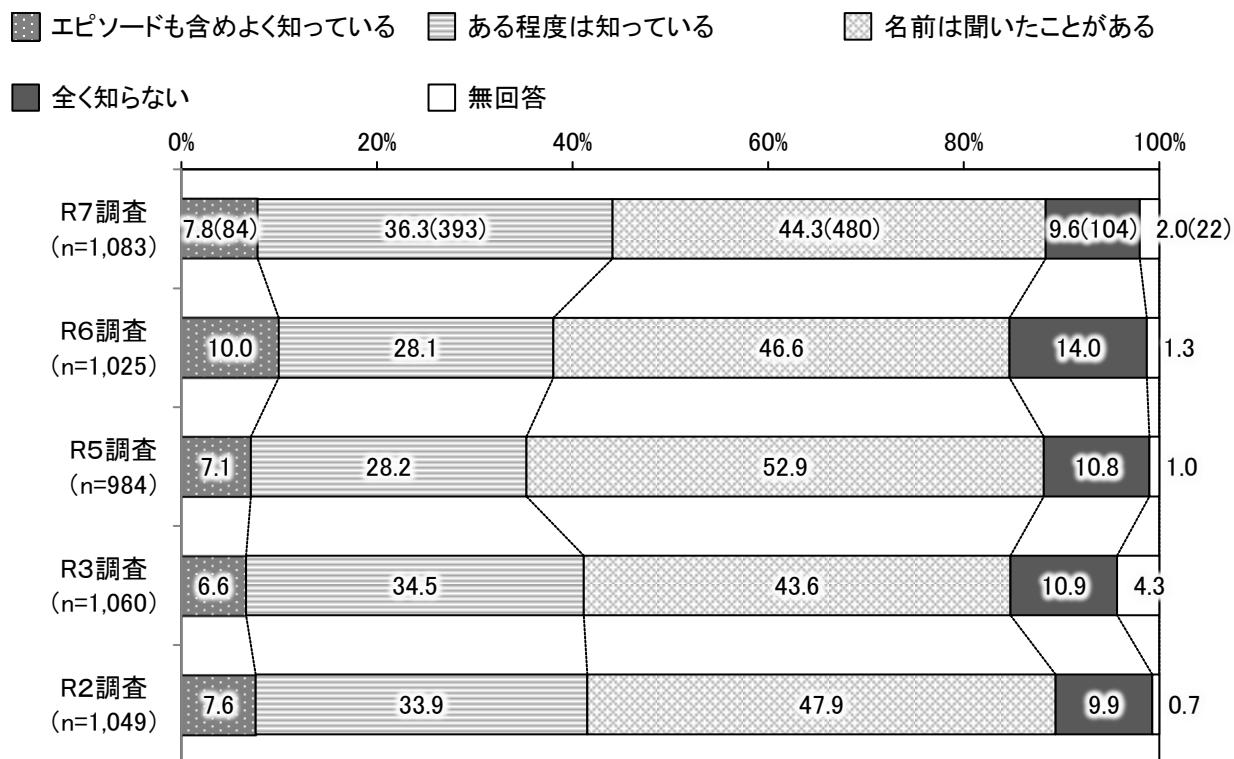
	回答者数 (件)	そう思 う	思 うどちらかとい えばそ う	分 から な い	思 わ ら ない かとい えばそ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	『そ う 思 う』	『そ う 思 わ な い』
全 体	1083 100.0	88 8.1	366 33.8	376 34.7	170 15.7	63 5.8	20 1.8	454 41.9	233 21.5
居住地区別									
柳河	87 100.0	9 10.3	31 35.6	29 33.3	16 18.4	2 2.3	-	40 45.9	18 20.7
城内	45 100.0	4 8.9	19 42.2	11 24.4	7 15.6	4 8.9	-	23 51.1	11 24.5
矢留	79 100.0	15 19.0	20 25.3	25 31.6	15 19.0	4 5.1	-	35 44.3	19 24.1
東宮永	67 100.0	5 7.5	30 44.8	18 26.9	13 19.4	1 1.5	-	35 52.3	14 20.9
両開	58 100.0	7 12.1	21 36.2	19 32.8	9 15.5	2 3.4	-	28 48.3	11 18.9
昭代第一	76 100.0	6 7.9	23 30.3	20 26.3	19 25.0	8 10.5	-	29 38.2	27 35.5
昭代第二	61 100.0	4 6.6	20 32.8	22 36.1	13 21.3	2 3.3	-	24 39.4	15 24.6
蒲池	83 100.0	2 2.4	29 34.9	33 39.8	11 13.3	7 8.4	1 1.2	31 37.3	18 21.7
皿垣	28 100.0	4 14.3	7 25.0	14 50.0	3 10.7	-	-	11 39.3	3 10.7
有明	21 100.0	1 4.8	10 47.6	6 28.6	3 14.3	1 4.8	-	11 52.4	4 19.1
中島	57 100.0	6 10.5	11 19.3	29 50.9	8 14.0	3 5.3	-	17 29.8	11 19.3
六合	34 100.0	1 2.9	9 26.5	14 41.2	8 23.5	2 5.9	-	10 29.4	10 29.4
大和	44 100.0	- -	18 40.9	17 38.6	4 9.1	5 11.4	-	18 40.9	9 20.5
豊原	45 100.0	3 6.7	20 44.4	17 37.8	3 6.7	2 4.4	-	23 51.1	5 11.1
藤吉	103 100.0	11 10.7	40 38.8	32 31.1	14 13.6	6 5.8	-	51 49.5	20 19.4
矢ヶ部	18 100.0	- -	5 27.8	9 50.0	2 11.1	2 11.1	-	5 27.8	4 22.2
二ツ河	68 100.0	3 4.4	20 29.4	26 38.2	8 11.8	11 16.2	-	23 33.8	19 28.0
垂見	53 100.0	3 5.7	23 43.4	17 32.1	9 17.0	1 1.9	-	26 49.1	10 18.9
中山	15 100.0	- -	4 26.7	8 53.3	3 20.0	-	-	4 26.7	3 20.0
わからない	15 100.0	4 26.7	2 13.3	9 60.0	- -	- -	-	6 40.0	- -
無回答	26 100.0	- -	4 15.4	1 3.8	2 7.7	- -	19 73.1	4 15.4	2 7.7

III. 調査結果

(2)柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「閼千代」の認知度(問8)

【Q8】柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「閼千代」を知っていますか。(○を1つだけ)

「名前は聞いたことがある」の割合が44.3%で最も高くなっている。

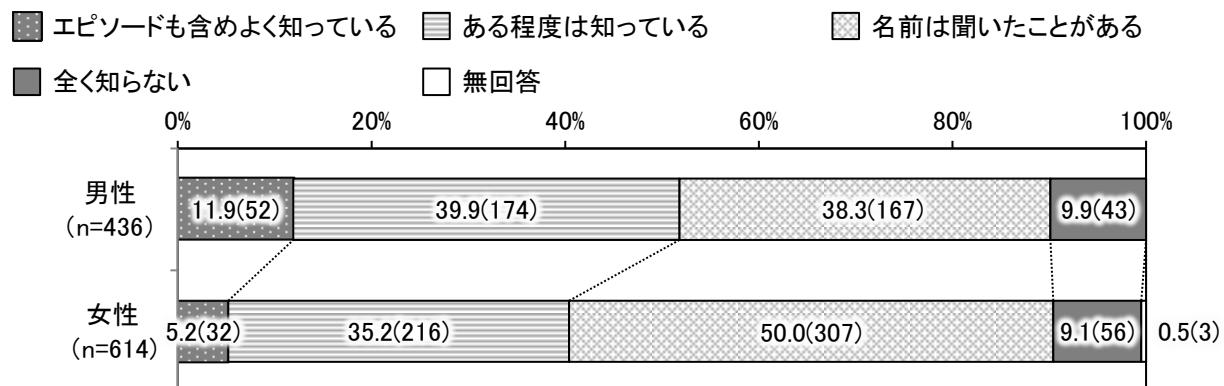


「エピソードも含めよく知っている」と「ある程度は知っている」と「名前は聞いたことがある」を合わせた『知っている』の割合が88.4%、「全く知らない」の割合が9.6%となっています。

「エピソードも含め良く知っている」及び「全く知らない」の割合は昨年度に比べ減少しています。

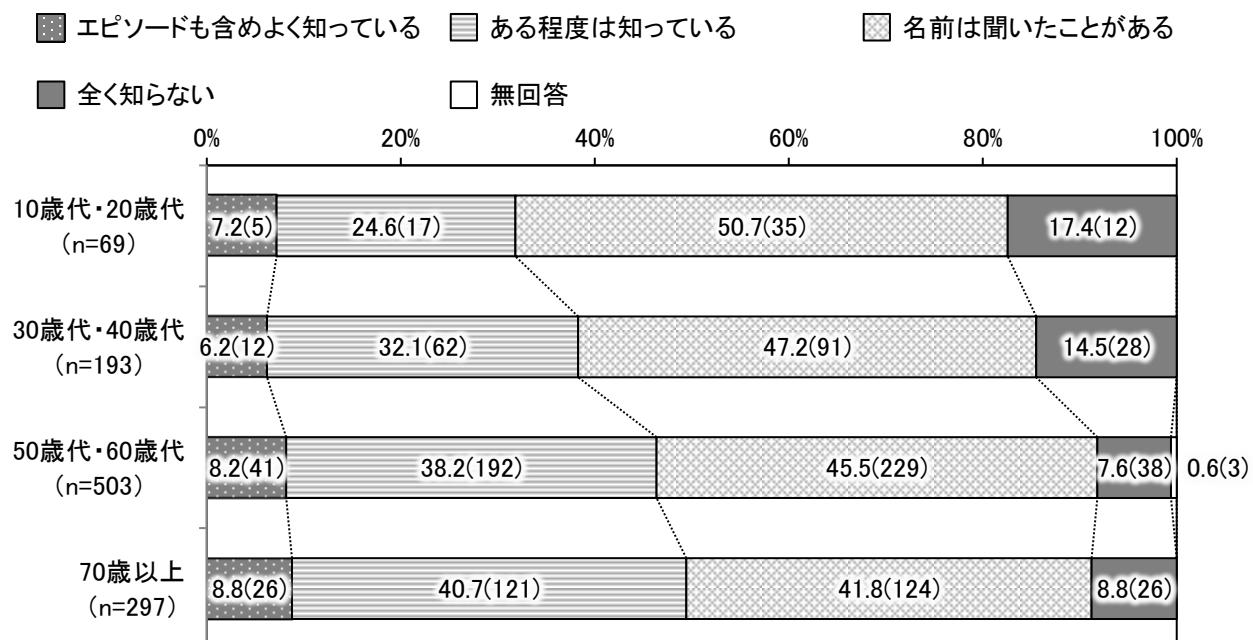
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『知っている』の割合は、男性（90.1%）と比較すると女性（90.4%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『知っている』の割合は 50 歳代・60 歳代（91.9%）が最も高くなっています。10 歳代・20 歳代（17.4%）及び 30 歳代・40 歳代（14.5%）においては、「全く知らない」の割合が他の年代よりも高くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

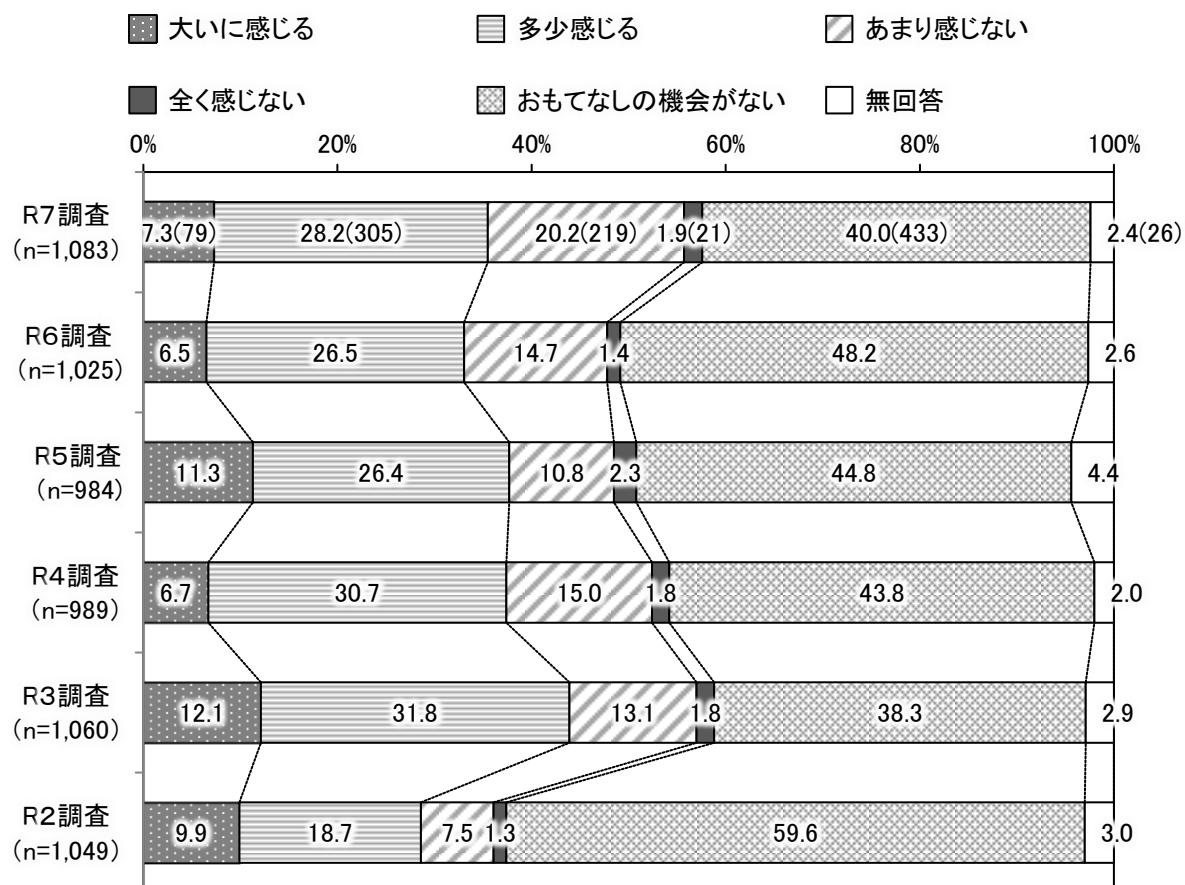
	回答者数 (件)	知つピ て いる も 含め よ く	ある 程度 は 知つ て い る	る名 前 は 聞 い た こ と が あ	全 く 知 ら な い	無 回 答	知 つ て い る	知 ら な い
全 体	1083 188.4	84 7.8	393 36.3	480 44.3	104 9.6	22 2.0	957 88.4	104 9.6
柳河	87 100.0	9 10.3	34 39.1	40 46.0	4 4.6	-	83 95.4	4 4.6
城内	45 100.0	9 20.0	19 42.2	15 33.3	2 4.4	-	43 95.5	2 4.4
矢留	79 100.0	2 2.5	28 35.4	42 53.2	7 8.9	-	72 91.1	7 8.9
東宮永	67 100.0	9 13.4	29 43.3	20 29.9	9 13.4	-	58 86.6	9 13.4
両開	58 100.0	3 5.2	16 27.6	34 58.6	5 8.6	-	53 91.4	5 8.6
昭代第一	76 100.0	4 5.3	32 42.1	34 44.7	6 7.9	-	70 92.1	6 7.9
昭代第二	61 100.0	5 8.2	24 39.3	28 45.9	4 6.6	-	57 93.4	4 6.6
蒲池	83 100.0	6 7.2	24 28.9	40 48.2	12 14.5	1 1.2	70 84.3	12 14.5
皿垣	28 100.0	1 3.6	10 35.7	11 39.3	6 21.4	-	22 78.6	6 21.4
有明	21 100.0	3 14.3	5 23.8	12 57.1	1 4.8	-	20 95.2	1 4.8
中島	57 100.0	6 10.5	19 33.3	26 45.6	6 10.5	-	51 89.4	6 10.5
六合	34 100.0	2 5.9	10 29.4	17 50.0	5 14.7	-	29 85.3	5 14.7
大和	44 100.0	4 9.1	16 36.4	22 50.0	1 2.3	1 2.3	42 95.5	1 2.3
豊原	45 100.0	4 8.9	21 46.7	14 31.1	5 11.1	1 2.2	39 86.7	5 11.1
藤吉	103 100.0	9 8.7	40 38.8	47 45.6	7 6.8	-	96 93.1	7 6.8
矢ヶ部	18 100.0	- -	6 33.3	11 61.1	1 5.6	-	17 94.4	1 5.6
二ツ河	68 100.0	4 5.9	28 41.2	28 41.2	8 11.8	-	60 88.3	8 11.8
垂見	53 100.0	2 3.8	18 34.0	25 47.2	8 15.1	-	45 85.0	8 15.1
中山	15 100.0	- -	5 33.3	9 60.0	1 6.7	-	14 93.3	1 6.7
わからない	15 100.0	2 13.3	4 26.7	4 26.7	5 33.3	-	10 66.7	5 33.3
無回答	26 100.0	- -	5 19.2	1 3.8	1 3.8	73.1	6 23.0	1 3.8

III. 調査結果

(3)観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い(問9)

【Q9】観光客などに対しておもてなしをしてよかったですか。(○を1つだけ)

「おもてなしの機会がない」の割合が40.0%で最も高くなっている。



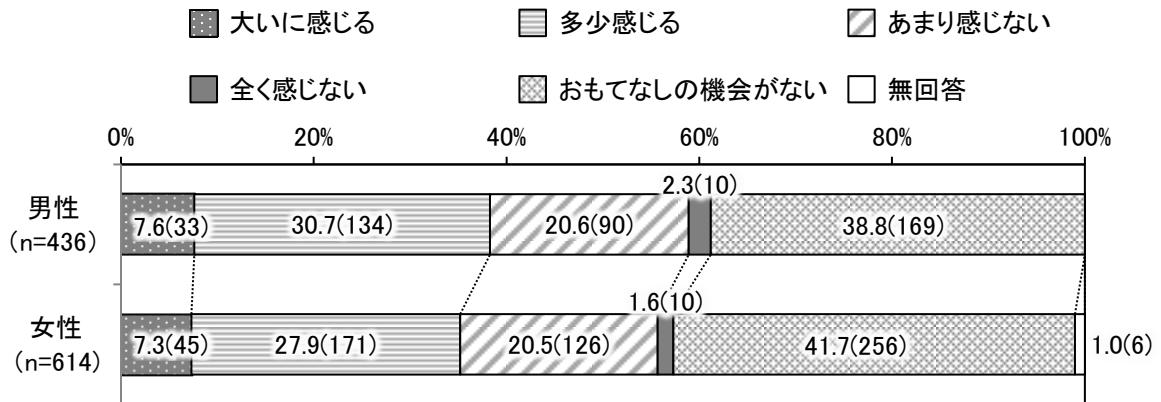
「大きいに感じる」と「少し感じる」を合わせた『感じる』の割合が35.5%、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『感じない』の割合が22.1%、「おもてなしの機会がない」の割合が40.0%となっています。

令和6年度調査と比べ、『感じる』の割合が2.5ポイント増加し、『感じない』の割合は6.0ポイント増加しています。

令和3年度調査以降、「おもてなしの機会がない」の割合が年々高くなっていますが、令和7年度は令和6年度と比較すると8.2ポイント減少しています。

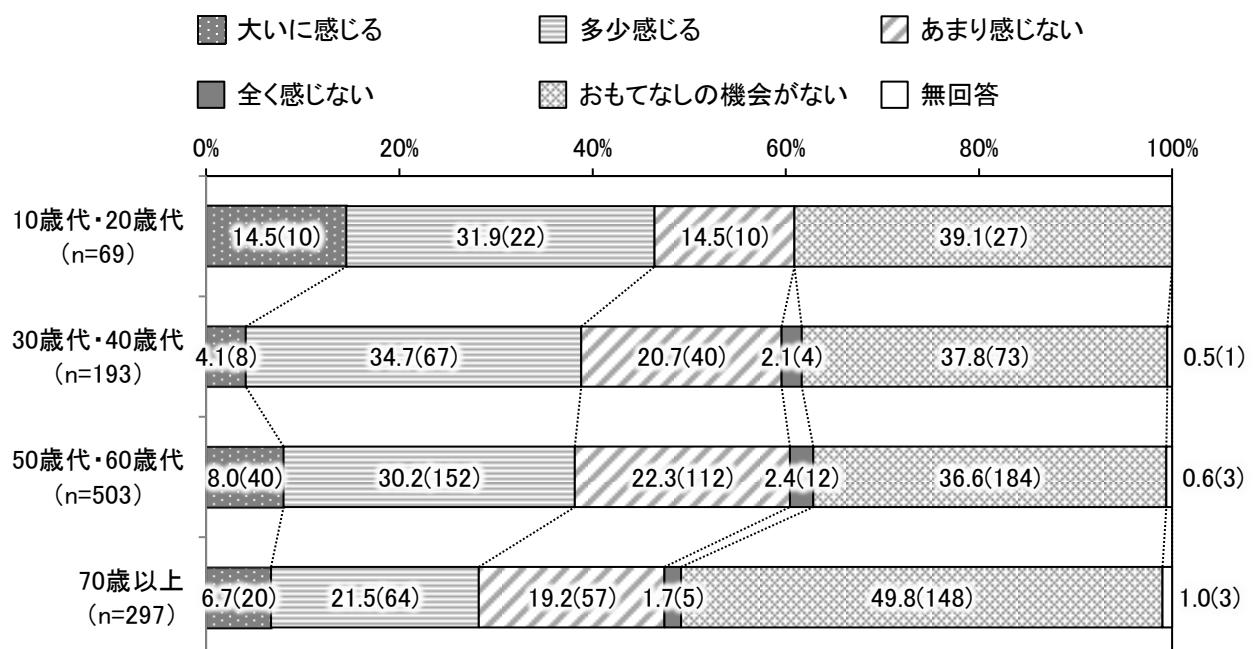
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『感じる』の割合は、女性（35.2%）と比較すると男性（38.3%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『感じる』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（46.4%）で、最も低いのは 70 歳以上（28.2%）となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

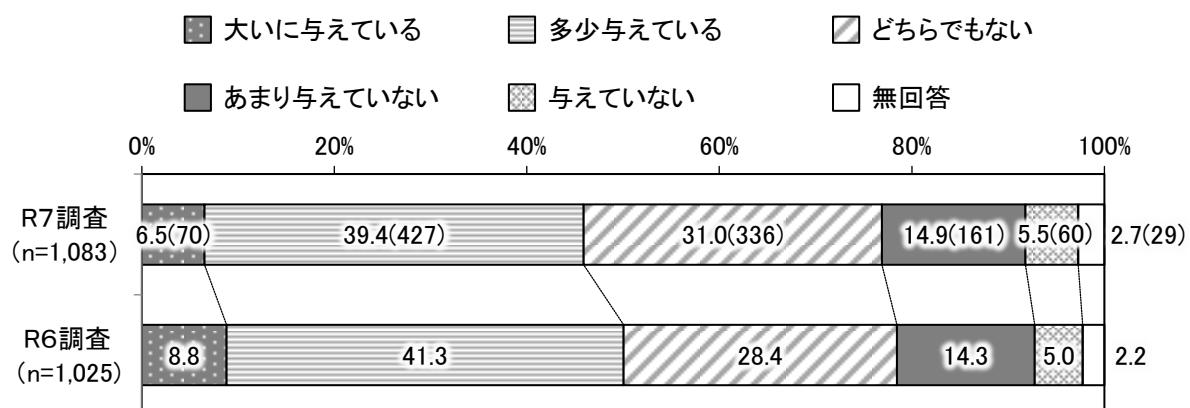
	回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	あまり感じない	全く感じない	いおもてなしの機会がな	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体	1083 100.0	79 7.3	305 28.2	219 20.2	21 1.9	433 40.0	26 2.4	384 35.5	240 22.1
居住地区別									
柳河	87 100.0	11 12.6	25 28.7	25 28.7	1 1.1	25 28.7	-	36 41.3	26 29.8
城内	45 100.0	7 15.6	8 17.8	13 28.9	2 4.4	15 33.3	-	15 33.4	15 33.3
矢留	79 100.0	8 10.1	19 24.1	15 19.0	3 3.8	34 43.0	-	27 34.2	18 22.8
東宮永	67 100.0	7 10.4	21 31.3	17 25.4	1 1.5	21 31.3	-	28 41.7	18 26.9
両開	58 100.0	3 5.2	17 29.3	12 20.7	-	26 44.8	-	20 34.5	12 20.7
昭代第一	76 100.0	8 10.5	23 30.3	15 19.7	1 1.3	29 38.2	-	31 40.8	16 21.0
昭代第二	61 100.0	3 4.9	18 29.5	14 23.0	2 3.3	23 37.7	1 1.6	21 34.4	16 26.3
蒲池	83 100.0	6 7.2	29 34.9	14 16.9	2 2.4	32 38.6	-	35 42.1	16 19.3
皿垣	28 100.0	2 7.1	4 14.3	7 25.0	-	15 53.6	-	6 21.4	7 25.0
有明	21 100.0	- -	10 47.6	3 14.3	-	8 38.1	-	10 47.6	3 14.3
中島	57 100.0	4 7.0	17 29.8	6 10.5	1 1.8	29 50.9	-	21 36.8	7 12.3
六合	34 100.0	1 2.9	6 17.6	9 26.5	-	18 52.9	-	7 20.5	9 26.5
大和	44 100.0	4 9.1	10 22.7	8 18.2	-	21 47.7	1 2.3	14 31.8	8 18.2
豊原	45 100.0	- -	14 31.1	8 17.8	1 2.2	21 46.7	1 2.2	14 31.1	9 20.0
藤吉	103 100.0	9 8.7	33 32.0	18 17.5	2 1.9	40 38.8	1 1.0	42 40.7	20 19.4
矢ヶ部	18 100.0	- -	8 44.4	4 22.2	-	6 33.3	-	8 44.4	4 22.2
二ツ河	68 100.0	- -	19 27.9	15 22.1	3 4.4	29 42.6	2 2.9	19 27.9	18 26.5
垂見	53 100.0	3 5.7	18 34.0	10 18.9	2 3.8	20 37.7	-	21 39.7	12 22.7
中山	15 100.0	- -	2 13.3	4 26.7	-	9 60.0	-	2 13.3	4 26.7
わからない	15 100.0	3 20.0	2 13.3	2 13.3	-	8 53.3	-	5 33.3	2 13.3
無回答	26 100.0	- -	2 7.7	- -	- -	4 15.4	20 76.9	2 7.7	0 0.0

III. 調査結果

(4)柳川市の観光における市民生活への影響の度合い(問 10)

【Q10】柳川市の観光は市民生活に良い影響を与えていますか。(○を1つだけ)

「多少与えている」の割合が39.4%で最も高くなっている。

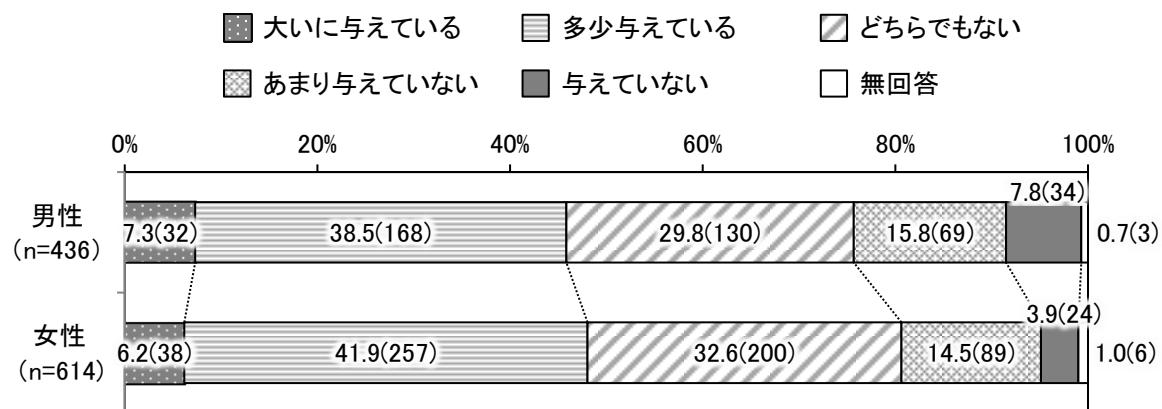


「大いに与えている」と「多少与えている」を合わせた『与えている』の割合が45.9%、「どちらでもない」の割合が31.0%、「あまり与えていない」と「与えていない」を合わせた『与えていない』の割合が20.4%となっています。

令和6年度調査と比べ、『与えている』の割合が4.2ポイント減少し、『与えていない』の割合は1.1ポイント増加しています。

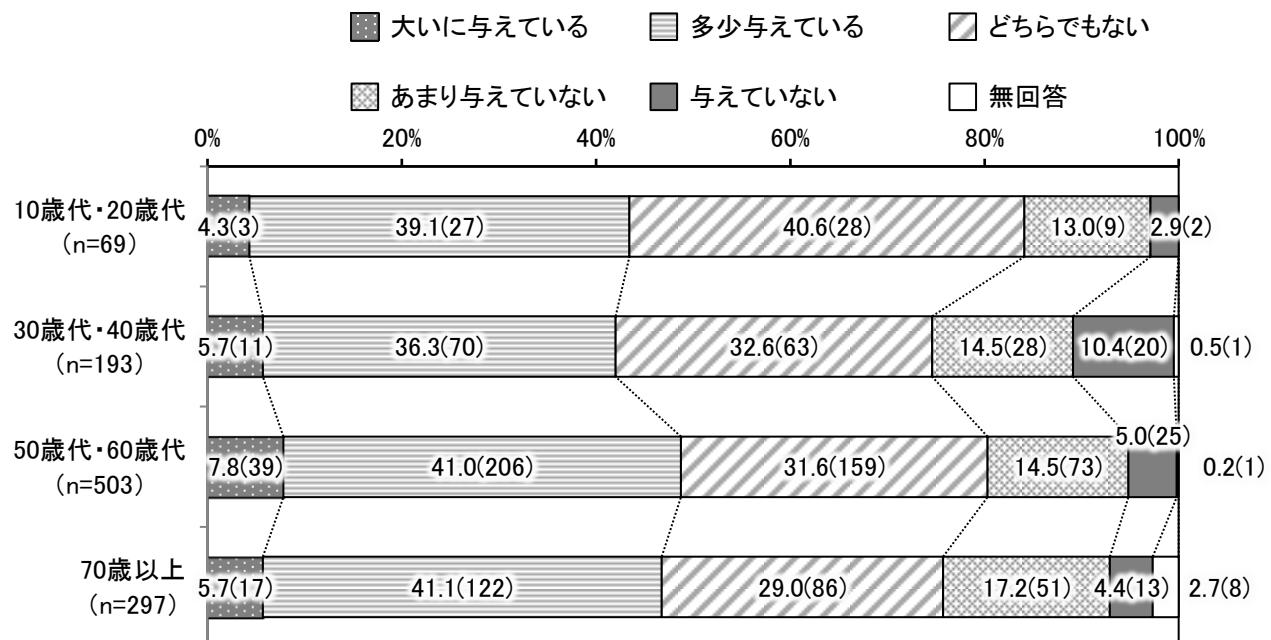
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『与えている』の割合は、男性（45.8%）と比較すると女性（48.1%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『与えている』の割合は、10歳代・20歳代は43.4%、30歳代・40歳代は42.0%、50歳代・60歳代は48.8%、70歳以上は46.8%となっており、年代によって特出した差はありません。

III. 調査結果

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

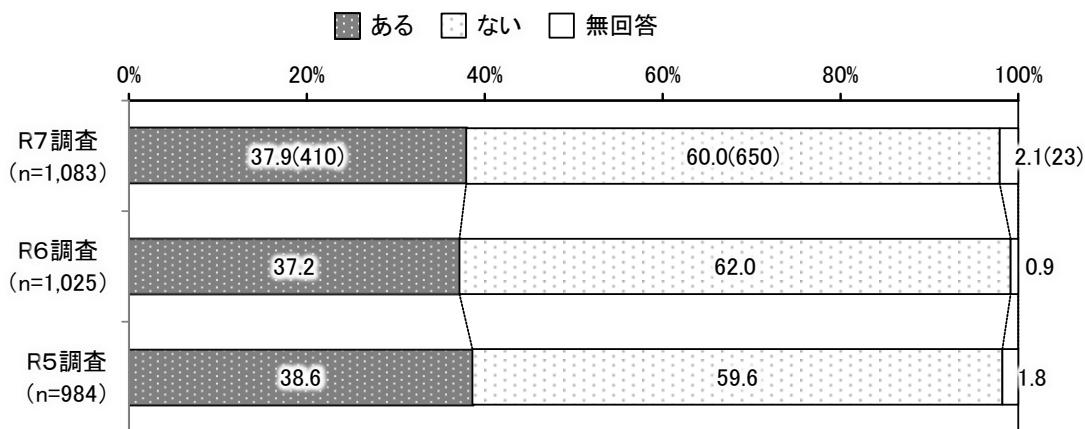
	回答者数 (件)	大いに与えている	多少与えている	どちらでもない	あまり与えていない	与えていない	無回答	『与えている』	『与えていない』
全 体	1083 100.0	70 6.5	427 39.4	336 31.0	161 14.9	60 5.5	29 2.7	497 45.9	221 20.4
居住地区別									
柳河	87 100.0	6 6.9	35 40.2	32 36.8	10 11.5	4 4.6	-	41 47.1	14 16.1
城内	45 100.0	5 11.1	15 33.3	13 28.9	6 13.3	6 13.3	-	20 44.4	12 26.6
矢留	79 100.0	4 5.1	37 46.8	24 30.4	11 13.9	3 3.8	-	41 51.9	14 17.7
東宮永	67 100.0	7 10.4	33 49.3	20 29.9	5 7.5	2 3.0	-	40 59.7	7 10.5
両開	58 100.0	1 1.7	27 46.6	16 27.6	11 19.0	3 5.2	-	28 48.3	14 24.2
昭代第一	76 100.0	11 14.5	27 35.5	25 32.9	10 13.2	3 3.9	-	38 50.0	13 17.1
昭代第二	61 100.0	3 4.9	21 34.4	17 27.9	15 24.6	4 6.6	1 1.6	24 39.3	19 31.2
蒲池	83 100.0	5 6.0	34 41.0	28 33.7	9 10.8	6 7.2	1 1.2	39 47.0	15 18.0
皿垣	28 100.0	1 3.6	10 35.7	9 32.1	4 14.3	4 14.3	-	11 39.3	8 28.6
有明	21 100.0	- -	12 57.1	6 28.6	3 14.3	- -	-	12 57.1	3 14.3
中島	57 100.0	4 7.0	19 33.3	17 29.8	12 21.1	3 5.3	2 3.5	23 40.3	15 26.4
六合	34 100.0	2 5.9	9 26.5	14 41.2	9 26.5	- -	-	11 32.4	9 26.5
大和	44 100.0	1 2.3	22 50.0	9 20.5	8 18.2	3 6.8	1 2.3	23 52.3	11 25.0
豊原	45 100.0	2 4.4	19 42.2	11 24.4	12 26.7	1 2.2	-	21 46.6	13 28.9
藤吉	103 100.0	9 8.7	45 43.7	34 33.0	9 8.7	6 5.8	-	54 52.4	15 14.5
矢ヶ部	18 100.0	1 5.6	5 27.8	9 50.0	1 5.6	1 5.6	1 5.6	6 33.4	2 11.2
二ツ河	68 100.0	- -	23 33.8	24 35.3	9 13.2	9 13.2	3 4.4	23 33.8	18 26.4
垂見	53 100.0	4 7.5	21 39.6	15 28.3	12 22.6	1 1.9	-	25 47.1	13 24.5
中山	15 100.0	- -	7 46.7	5 33.3	2 13.3	1 6.7	-	7 46.7	3 20.0
わからない	15 100.0	3 20.0	3 20.0	7 46.7	2 13.3	- -	- -	6 40.0	2 13.3
無回答	26 100.0	1 3.8	3 11.5	1 3.8	1 3.8	- -	20 76.9	4 15.3	1 3.8

III. 調査結果

(5)この1年以内の掘割に接する機会の有無(問11)

【Q11】この1年以内に掘割に接する機会（川下りや水辺のイベント、農業利用、釣り、清掃など）はありましたか。（○を1つだけ）

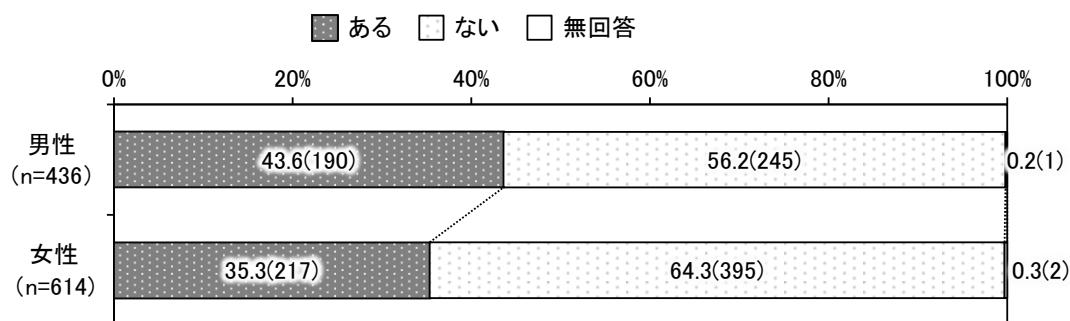
「ない」の割合が60.0%で半数を超えており、



「ある」の割合は37.9%、「ない」の割合は60.0%となっています。令和6年度調査と比較すると、「ある」の割合は0.7ポイント増加し、「ない」の割合は2.0ポイント減少しています。

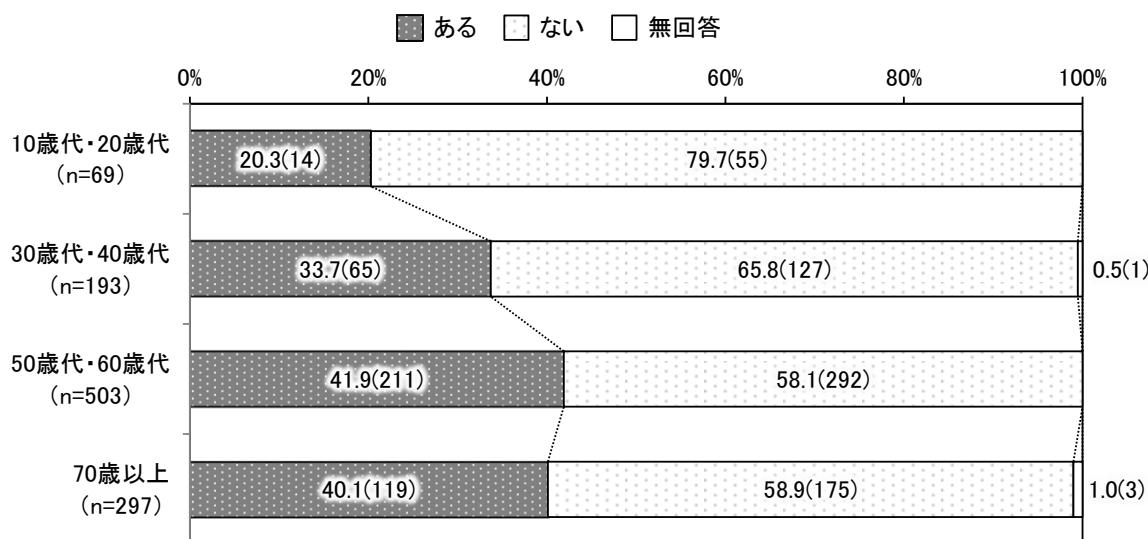
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「ある」の割合は、女性（35.3%）と比較すると男性（43.6%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、「ある」の割合は 70 歳以上（40.1%）、50 歳代・60 歳代（41.9%）が高く、年代が下がるにつれて低くなっています。10 歳代・20 歳代が最も低く 20.3% で、50 歳代・60 歳代と 21.6 ポイントの差があります。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

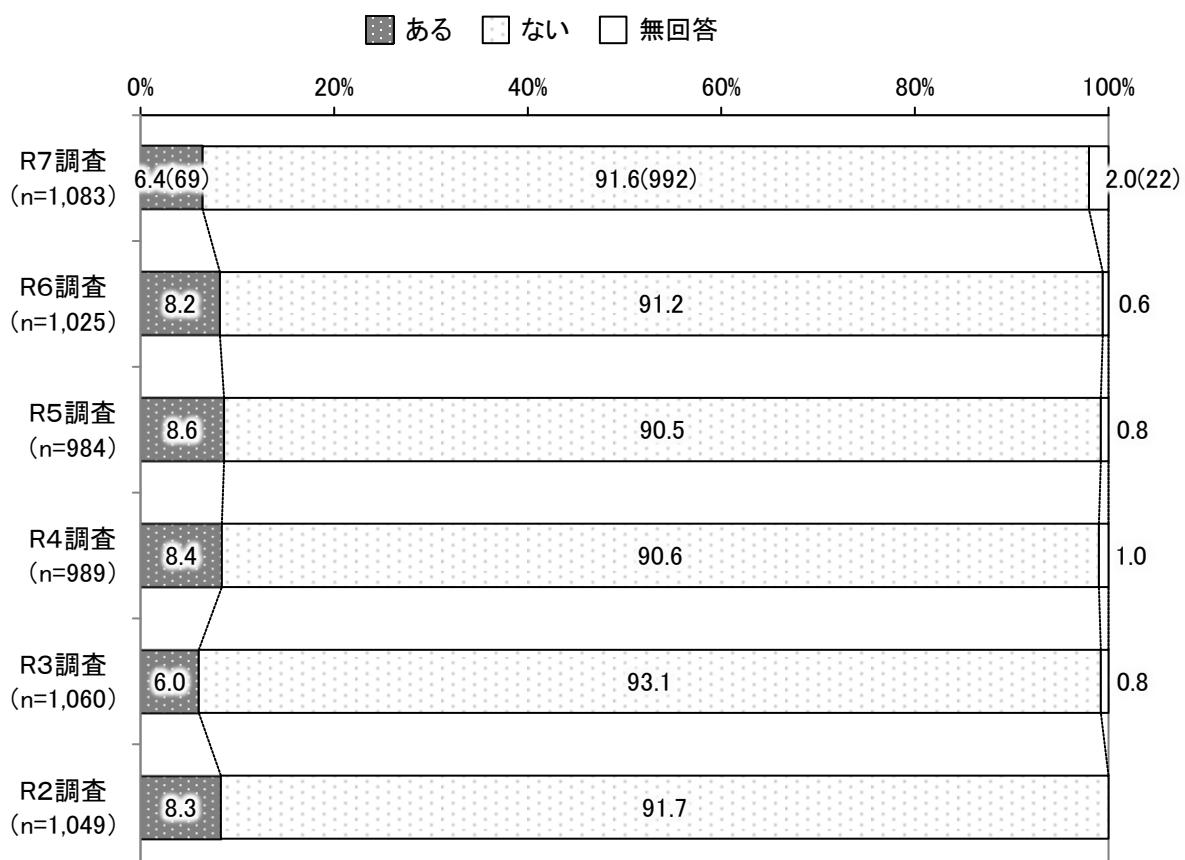
	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	1083 100.0	410 37.9	650 60.0	23 2.1
居住地区別				
柳河	87 100.0	45 51.7	42 48.3	-
城内	45 100.0	21 46.7	24 53.3	-
矢留	79 100.0	42 53.2	37 46.8	-
東宮永	67 100.0	37 55.2	29 43.3	1 1.5
両開	58 100.0	30 51.7	28 48.3	-
昭代第一	76 100.0	43 56.6	33 43.4	-
昭代第二	61 100.0	30 49.2	31 50.8	-
蒲池	83 100.0	27 32.5	56 67.5	-
皿垣	28 100.0	11 39.3	17 60.7	-
有明	21 100.0	7 33.3	14 66.7	-
中島	57 100.0	7 12.3	50 87.7	-
六合	34 100.0	6 17.6	28 82.4	-
大和	44 100.0	15 34.1	28 63.6	1 2.3
豊原	45 100.0	12 26.7	33 73.3	-
藤吉	103 100.0	25 24.3	77 74.8	1 1.0
矢ヶ部	18 100.0	1 5.6	17 94.4	-
二ツ河	68 100.0	21 30.9	47 69.1	-
垂見	53 100.0	17 32.1	36 67.9	-
中山	15 100.0	7 46.7	8 53.3	-
わからない	15 100.0	3 20.0	12 80.0	-
無回答	26 100.0	3 11.5	3 11.5	20 76.9

III. 調査結果

(6)この1年以内の川下り経験の有無(問12)

【Q12】この1年以内に川下りをしたことがありますか。(○を1つだけ)

「ない」の割合が91.6%で9割を超えてる。

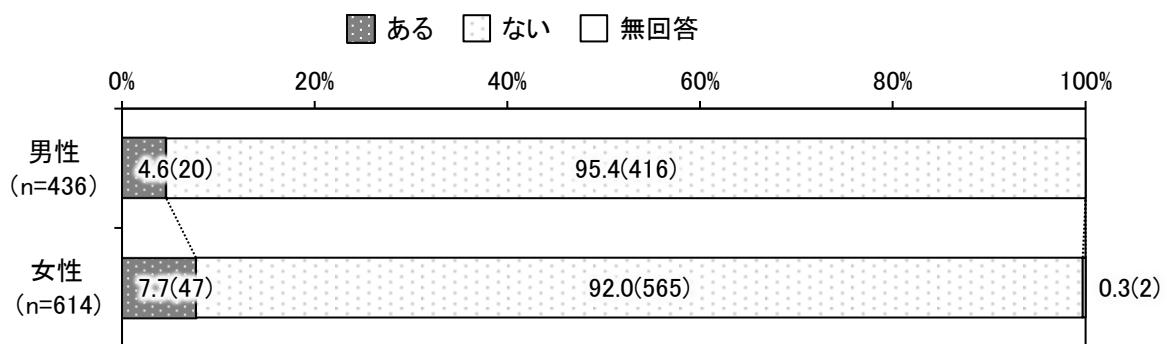


「ある」の割合は6.4%、「ない」の割合は91.6%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「ある」の割合は1.8ポイント減少し、「ない」の割合は0.4ポイント増加しています。

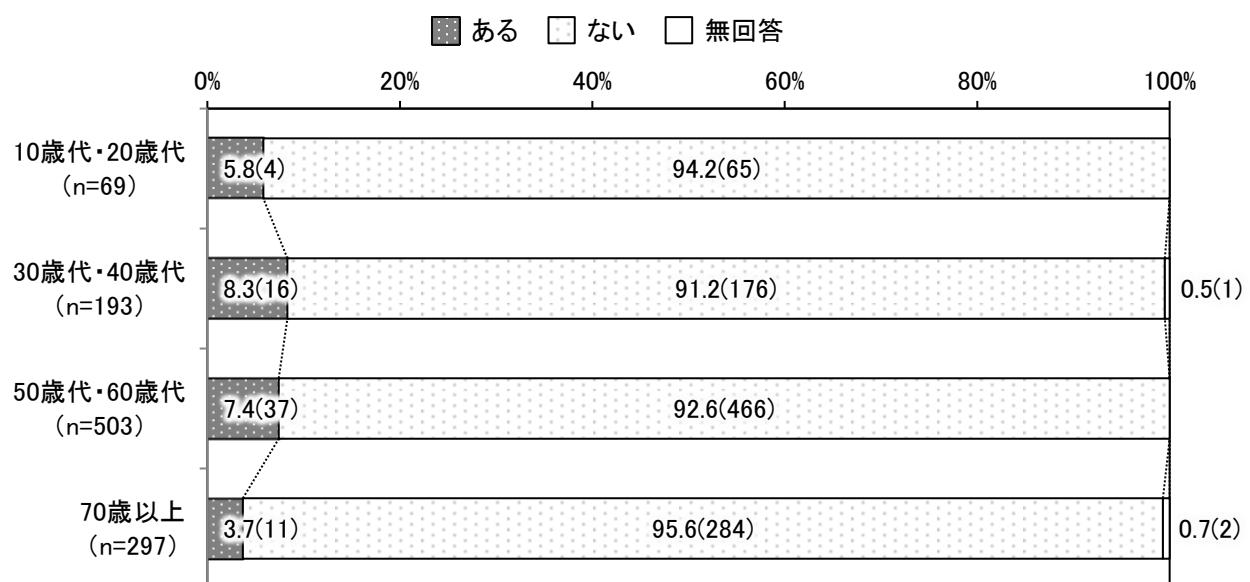
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「ある」の割合は、男性（4.6%）と比較すると女性（7.7%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、「ある」の割合は 10 歳代・20 歳代が 5.8%、30 歳代・40 歳代が 8.3%、50 歳代・60 歳代が 7.4%、70 歳以上が 3.7% となっており年代によって特出した差はありません。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

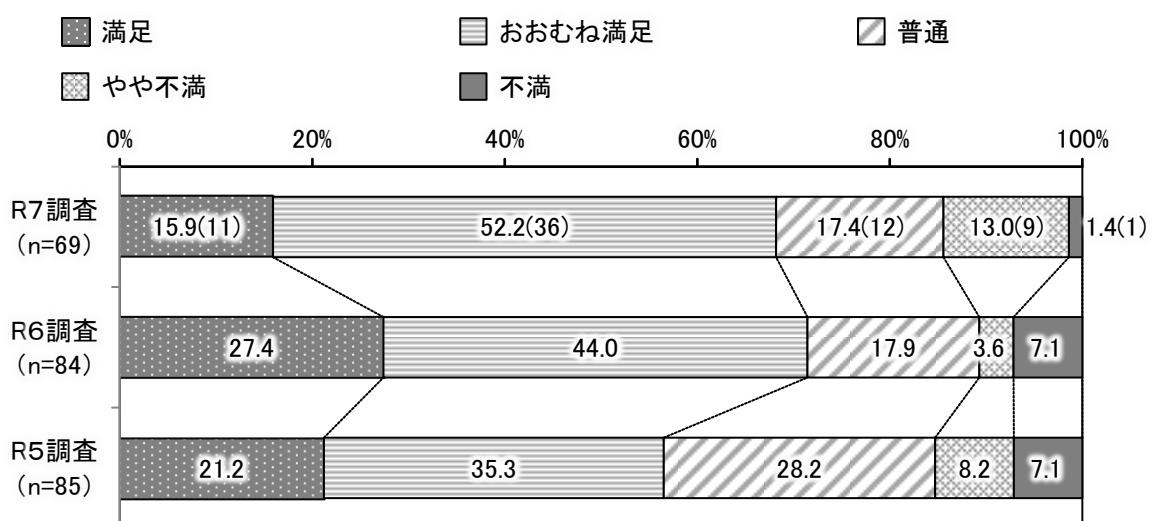
	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	1083 100.0	69 6.4	992 91.6	22 2.0
居住地区別				
柳河	87 100.0	9 10.3	77 88.5	1 1.1
城内	45 100.0	7 15.6	38 84.4	-
矢留	79 100.0	9 11.4	70 88.6	-
東宮永	67 100.0	2 3.0	65 97.0	-
両開	58 100.0	3 5.2	55 94.8	-
昭代第一	76 100.0	6 7.9	70 92.1	-
昭代第二	61 100.0	5 8.2	56 91.8	-
蒲池	83 100.0	2 2.4	81 97.6	-
皿垣	28 100.0	1 3.6	27 96.4	-
有明	21 100.0	1 4.8	20 95.2	-
中島	57 100.0	3 5.3	54 94.7	-
六合	34 100.0	- -	34 100.0	-
大和	44 100.0	1 2.3	42 95.5	1 2.3
豊原	45 100.0	4 8.9	41 91.1	-
藤吉	103 100.0	8 7.8	95 92.2	-
矢ヶ部	18 100.0	- -	18 100.0	-
二ツ河	68 100.0	- -	68 100.0	-
垂見	53 100.0	4 7.5	49 92.5	-
中山	15 100.0	1 6.7	14 93.3	-
わからない	15 100.0	1 6.7	14 93.3	-
無回答	26 100.0	2 7.7	4 15.4	20 76.9

III. 調査結果

(7)川下り全体の満足度(問13)

【Q13】川下り全体の満足度をお答えください。(○を1つだけ)

「おおむね満足」の割合が52.2%で最も高くなっている。

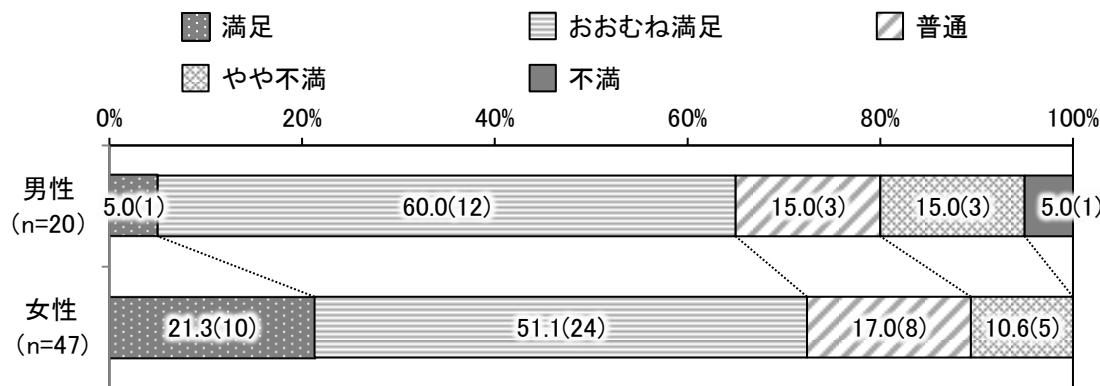


「この1年以内に川下りをしたことがあると回答した69人の内、「満足」の割合が15.9%、「おおむね満足」の割合が52.2%、「普通」の割合が17.4%、「やや不満」の割合が13.0%、「不満」の割合が1.4%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「満足」の割合が11.5ポイント減少していますが、「不満」の割合は5.7ポイント減少となっています。

III. 調査結果

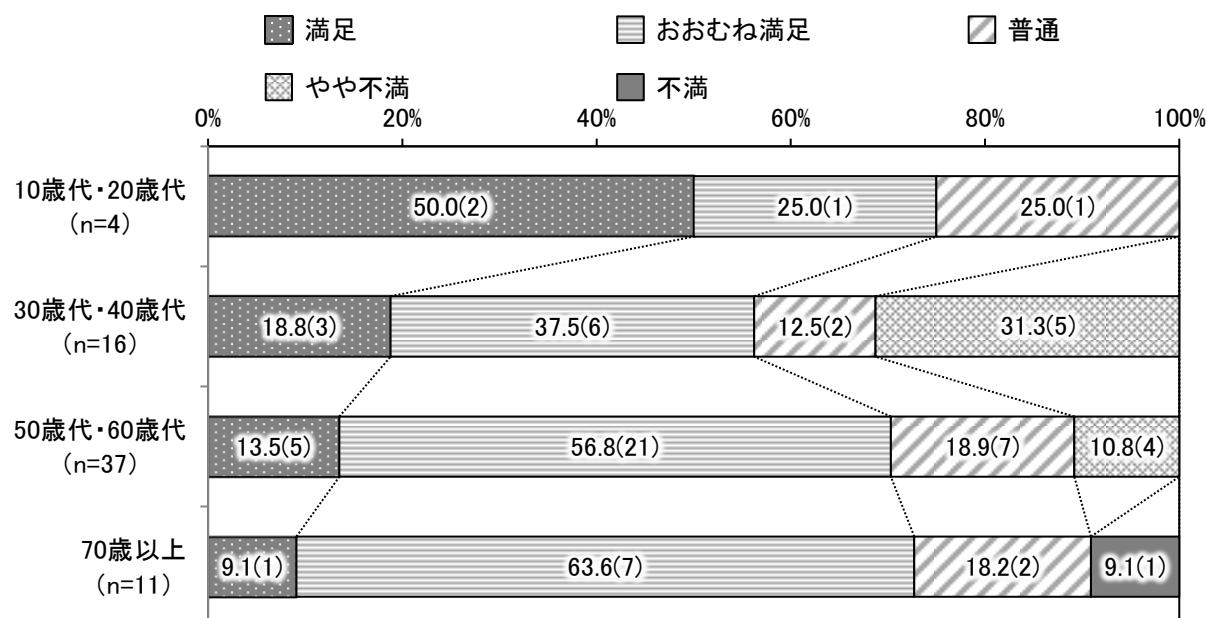
【性別】



性別にみると、「満足」と「おおむね満足」を合わせた『満足』の割合は、男性（65.0%）と比較すると女性（72.4%）の方が高くなっています。

一方で「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合は、女性が 10.6%であるのに対し、男性は 20.0%と約 2 倍の差があります。

【年齢別】



年齢別にみると、『満足』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代で 75.0%、最も低いのは 30 歳代・40 歳代で 56.3% となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

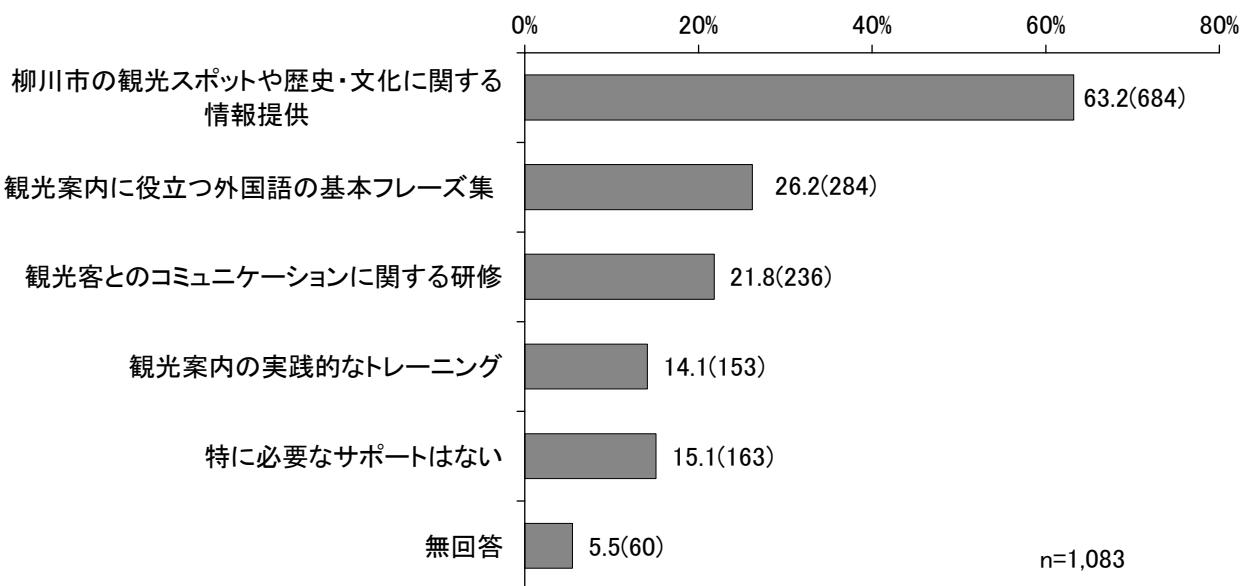
	回答者数 (件)	満足	おおむね満足	普通	やや不満	不満	『満足』	『不満』
全 体	69 100.0	11 15.9	36 52.2	12 17.4	9 13.0	1 1.4	47 68.1	10 14.4
居住地区別	柳河	9 100.0	2 22.2	3 33.3	2 22.2	2 22.2	- -	5 55.5
	城内	7 100.0	1 14.3	4 57.1	- -	1 14.3	1 14.3	5 71.4
	矢留	9 100.0	1 11.1	6 66.7	2 22.2	- -	- -	7 77.8
	東宮永	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0
	両開	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	2 66.6
	昭代第一	6 100.0	- -	3 50.0	2 33.3	1 16.7	- -	3 50.0
	昭代第二	5 100.0	- -	4 80.0	1 20.0	- -	- -	4 80.0
	蒲池	2 100.0	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -
	皿垣	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0
	有明	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	中島	3 100.0	- -	2 66.7	- -	1 33.3	- -	2 66.7
	六合	- -						
	大和	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0
	豊原	4 100.0	1 25.0	3 75.0	- -	- -	- -	4 100.0
	藤吉	8 100.0	1 12.5	5 62.5	- -	2 25.0	- -	6 75.0
	矢ヶ部	- -						
	二ツ河	- -						
	垂見	4 100.0	- -	3 75.0	1 25.0	- -	- -	3 75.0
	中山	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	わからない	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	無回答	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0

III. 調査結果

(8)どのような情報やサポートが有れば自信をもって情報を発信できるか(問 15)

【Q15】柳川市の魅力を来訪される方に伝えるうえで、どのような情報やサポートがあれば自信を持てると思いますか。(○はいくつでも)

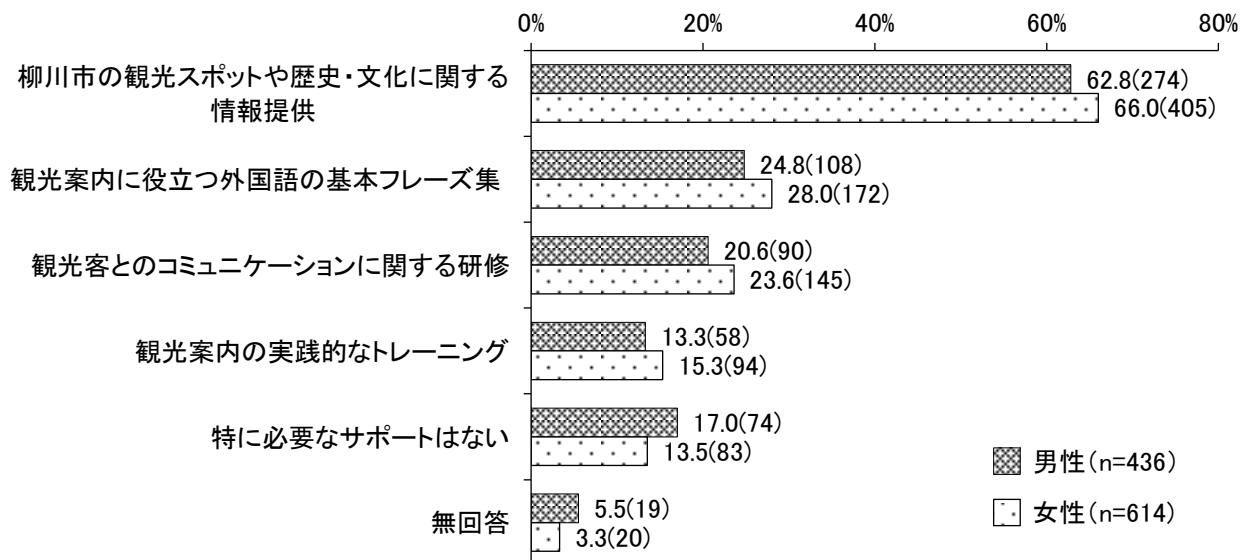
「柳川市の観光スポットや歴史・文化に関する情報提供」の割合が 63.2% で最も高くなっている。



「柳川市の観光スポットや歴史・文化に関する情報提供」(63.2%) が最も高く、「観光案内の実践的なトレーニング」(14.1%) が最も低くなっています。

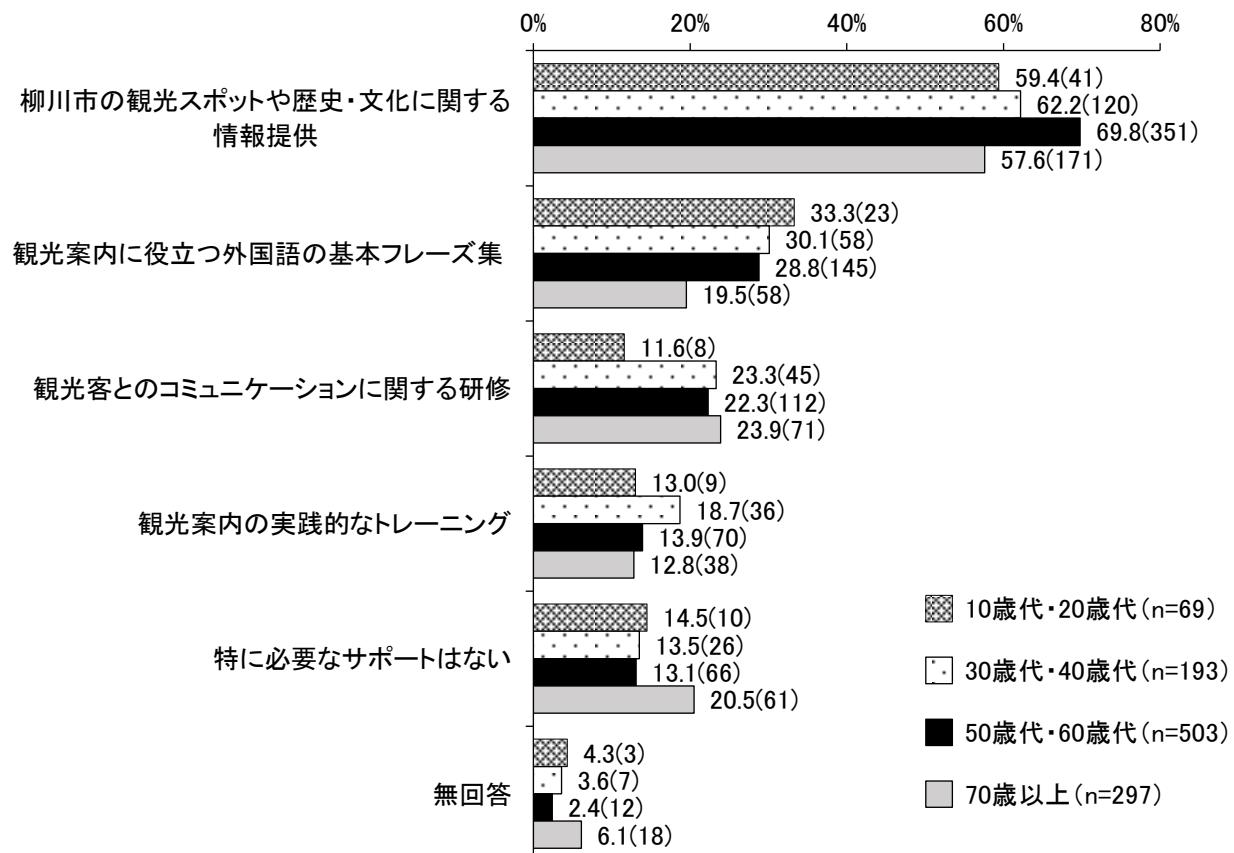
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、男性（62.8%）、女性（66.0%）ともに「柳川市の観光スポットや歴史・文化に関する情報提供」が高くなっています。

【年齢別】



III. 調査結果

年齢別にみると、各年代とも「柳川市の観光スポットや歴史・文化に関する情報提供」が最も高く、年代ごとの大きな差異はみられません。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

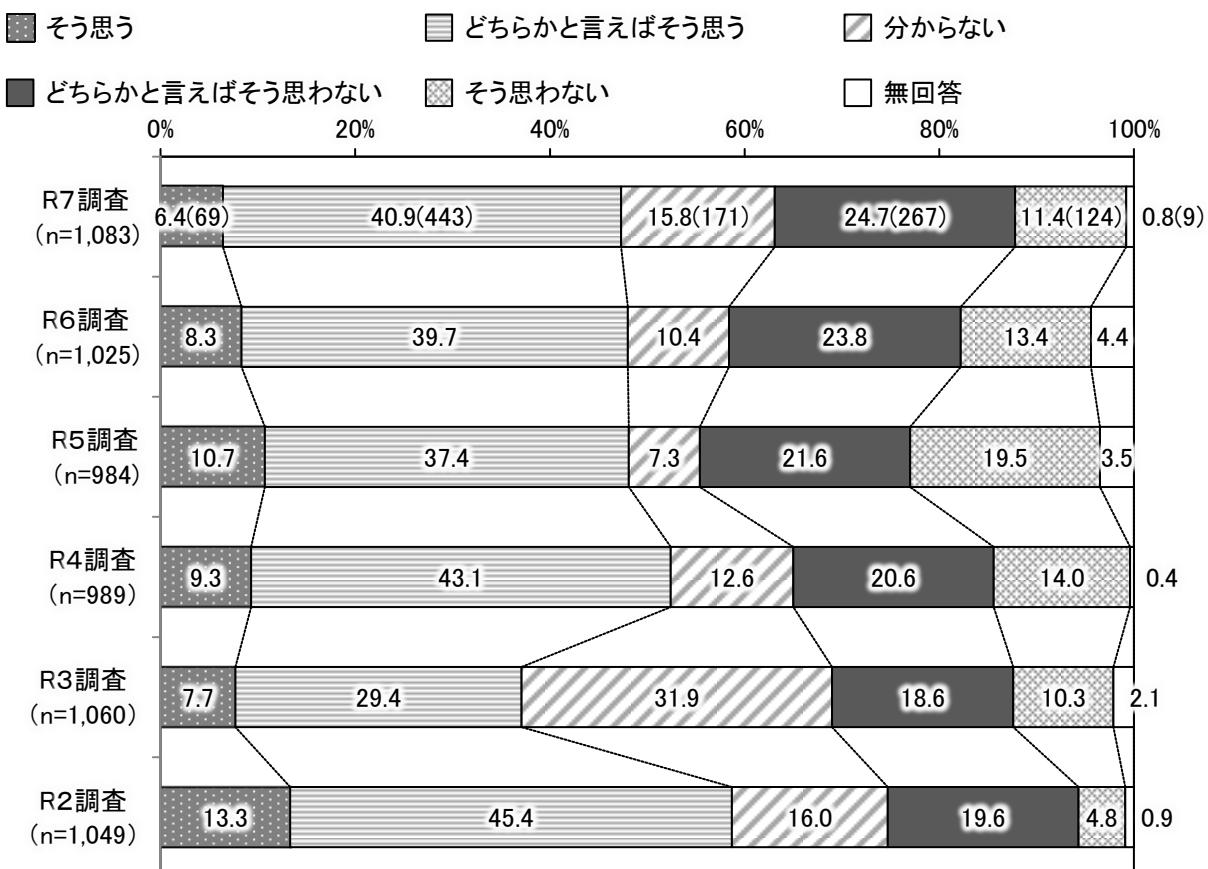
居住地区別	回答者数 (件)	や柳 報歴 提史市 供・の 文觀 化光 にス 関ポ すツ るト	觀 光基 本内 フに 役立 づつ 集外 國	修 ケ 觀 光 シ客 ヨと ンの に 關 ニ コ ミユ ス ニ 研	レ ー 觀 光 ニ シ ン グ の 實 踐 的 な ト 研	觀 光 案 内 の 實 踐 的 な ト 研	特 に 必 要 な サ ポ ー ト は 研	無 回 答
		1083 145.9	684 63.2	284 26.2	236 21.8	153 14.1	163 15.1	60 5.5
全 体								
柳河	87 100.0	57 65.5	35 40.2	16 18.4	12 13.8	16 18.4	1 1.1	
城内	45 100.0	32 71.1	15 33.3	6 13.3	9 20.0	6 13.3	2 4.4	
矢留	79 100.0	52 65.8	22 27.8	16 20.3	14 17.7	9 11.4	3 3.8	
東宮永	67 100.0	49 73.1	16 23.9	13 19.4	7 10.4	8 11.9	4 6.0	
両開	58 100.0	44 75.9	13 22.4	11 19.0	7 12.1	6 10.3	1 1.7	
昭代第一	76 100.0	48 63.2	16 21.1	10 13.2	14 18.4	16 21.1	2 2.6	
昭代第二	61 100.0	30 49.2	16 26.2	16 26.2	7 11.5	14 23.0	4 6.6	
蒲池	83 100.0	53 63.9	24 28.9	19 22.9	8 9.6	10 12.0	5 6.0	
皿垣	28 100.0	17 60.7	4 14.3	8 28.6	2 7.1	4 14.3	1 3.6	
有明	21 100.0	18 85.7	5 23.8	7 33.3	2 9.5	1 4.8	- -	
中島	57 100.0	37 64.9	13 22.8	8 14.0	9 15.8	11 19.3	3 5.3	
六合	34 100.0	20 58.8	8 23.5	7 20.6	5 14.7	4 11.8	2 5.9	
大和	44 100.0	24 54.5	9 20.5	14 31.8	11 25.0	9 20.5	1 2.3	
豊原	45 100.0	22 48.9	12 26.7	14 31.1	5 11.1	8 17.8	4 8.9	
藤吉	103 100.0	72 69.9	29 28.2	26 25.2	13 12.6	9 8.7	1 1.0	
矢ヶ部	18 100.0	13 72.2	7 38.9	5 27.8	4 22.2	2 11.1	1 5.6	
二ッ河	68 100.0	40 58.8	16 23.5	18 26.5	12 17.6	15 22.1	2 2.9	
垂見	53 100.0	36 67.9	16 30.2	12 22.6	7 13.2	8 15.1	2 3.8	
中山	15 100.0	10 66.7	4 26.7	6 40.0	- -	2 13.3	- -	
わからない	15 100.0	7 46.7	3 20.0	2 13.3	2 13.3	4 26.7	1 6.7	
無回答	26 100.0	3 11.5	1 3.8	2 7.7	3 11.5	1 3.8	20 76.9	

4. 道路・公共交通・景観について

(1) 柳川市の道路が快適に通行できると感じる度合い(問16)

【Q16】市内の道路は快適に通行できると思いますか。(○を1つだけ)

「どちらかと言えばそう思う」の割合が40.9%で最も高くなっている。

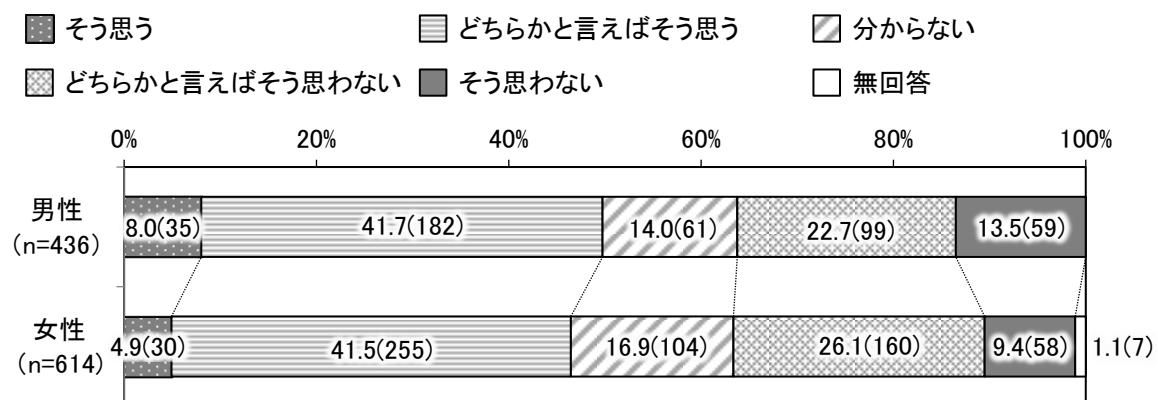


「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合は47.3%、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合は36.1%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「分からない」が5.4ポイント増加し、「そう思わない」が2.0ポイント減少しています。

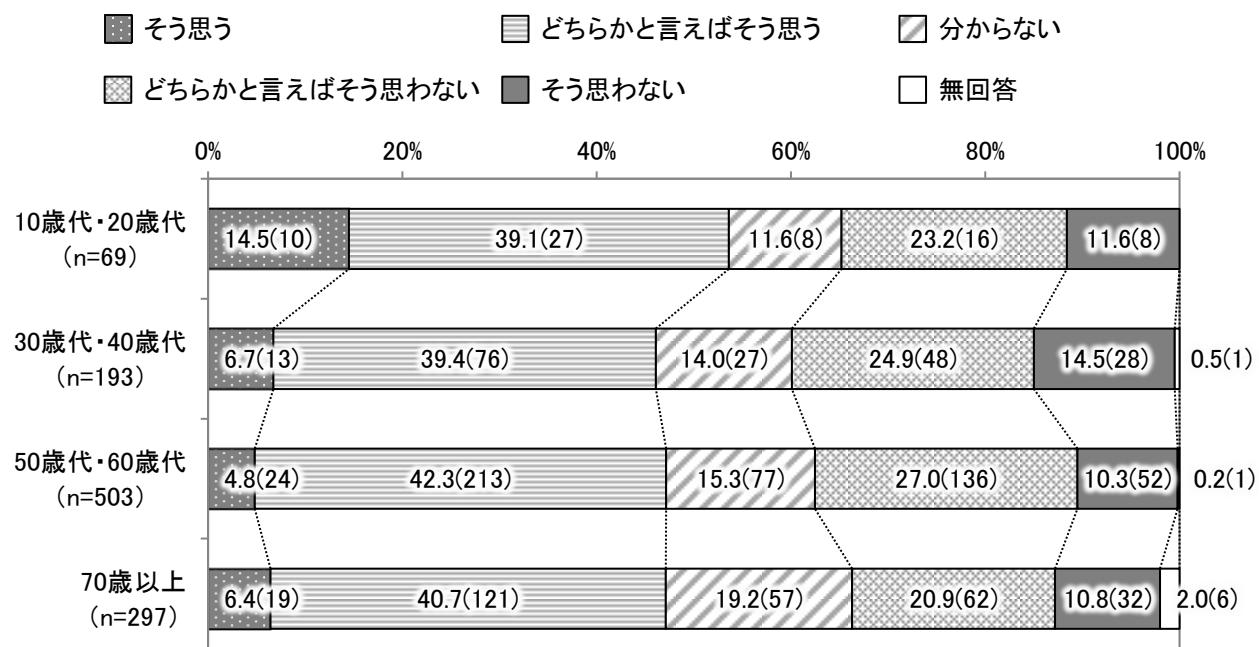
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『快適に通行できると思う』の割合は、女性（46.4%）と比較すると男性（49.7%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『快適に通行できると思う』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（53.6%）で、他の年代では大きな差異はみられません。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

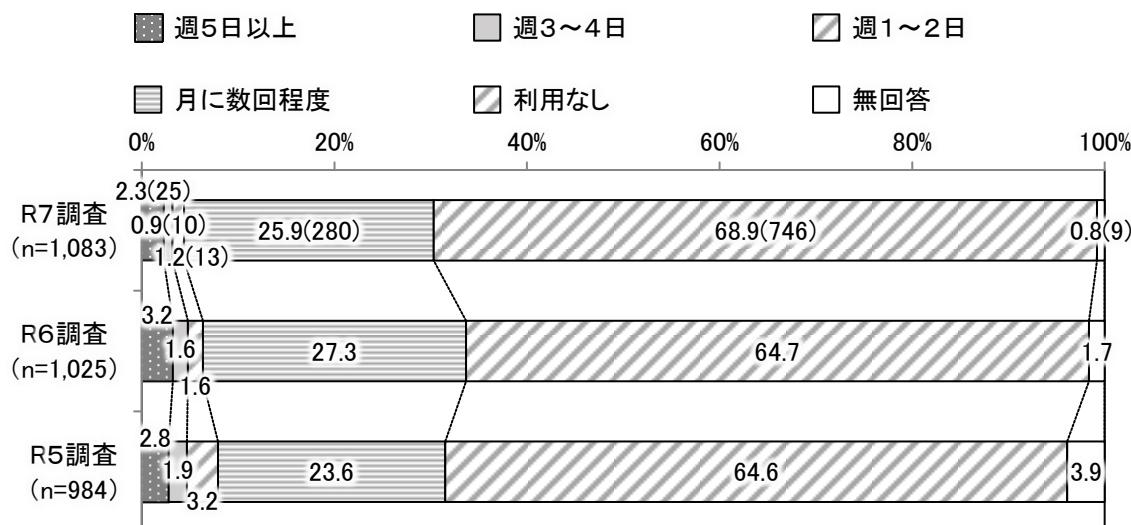
	回答者数 (件)	そう思 う	思 うど ちら かとい えばそ う	分 から ない	思 ど わ ら い かとい えばそ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	『そ う 思 う』	『そ う 思 わ な い』
全 体	1083 100.0	69 6.4	443 40.9	171 15.8	267 24.7	124 11.4	9 0.8	512 47.3	391 36.1
居住地区別									
柳河	87 100.0	7 8.0	35 40.2	16 18.4	21 24.1	7 8.0	1 1.1	42 48.2	28 32.1
城内	45 100.0	5 11.1	10 22.2	3 6.7	16 35.6	10 22.2	1 2.2	15 33.3	26 57.8
矢留	79 100.0	8 10.1	20 25.3	11 13.9	24 30.4	16 20.3	- -	28 35.4	40 50.7
東宮永	67 100.0	4 6.0	28 41.8	10 14.9	18 26.9	7 10.4	- -	32 47.8	25 37.3
両開	58 100.0	3 5.2	25 43.1	12 20.7	10 17.2	8 13.8	- -	28 48.3	18 31.0
昭代第一	76 100.0	6 7.9	26 34.2	6 7.9	22 28.9	16 21.1	- -	32 42.1	38 50.0
昭代第二	61 100.0	2 3.3	20 32.8	10 16.4	20 32.8	8 13.1	1 1.6	22 36.1	28 45.9
蒲池	83 100.0	4 4.8	37 44.6	14 16.9	21 25.3	7 8.4	- -	41 49.4	28 33.7
皿垣	28 100.0	3 10.7	14 50.0	2 7.1	3 10.7	5 17.9	1 3.6	17 60.7	8 28.6
有明	21 100.0	1 4.8	14 66.7	1 4.8	4 19.0	1 4.8	- -	15 71.5	5 23.8
中島	57 100.0	7 12.3	23 40.4	8 14.0	14 24.6	5 8.8	- -	30 52.7	19 33.4
六合	34 100.0	- -	18 52.9	8 23.5	6 17.6	2 5.9	- -	18 52.9	8 23.5
大和	44 100.0	3 6.8	23 52.3	5 11.4	9 20.5	4 9.1	- -	26 59.1	13 29.6
豊原	45 100.0	2 4.4	24 53.3	6 13.3	12 26.7	1 2.2	- -	26 57.7	13 28.9
藤吉	103 100.0	5 4.9	50 48.5	14 13.6	24 23.3	10 9.7	- -	55 53.4	34 33.0
矢ヶ部	18 100.0	- -	7 38.9	5 27.8	3 16.7	1 5.6	2 11.1	7 38.9	4 22.3
二ツ河	68 100.0	1 1.5	27 39.7	15 22.1	17 25.0	7 10.3	1 1.5	28 41.2	24 35.3
垂見	53 100.0	3 5.7	22 41.5	13 24.5	12 22.6	3 5.7	- -	25 47.2	15 28.3
中山	15 100.0	- -	9 60.0	4 26.7	2 13.3	- -	- -	9 60.0	2 13.3
わからない	15 100.0	2 13.3	2 13.3	6 40.0	3 20.0	2 13.3	- -	4 26.6	5 33.3
無回答	26 100.0	3 11.5	9 34.6	2 7.7	6 23.1	4 15.4	2 7.7	12 46.1	10 38.5

III. 調査結果

(2) 最近3か月間の公共交通機関の利用状況(問17)

【Q17】最近3か月間に公共交通機関（バス、電車、タクシー、コミュニティバス）をどの程度の頻度で利用しましたか。（○を1つだけ）

「利用なし」の割合が68.9%で最も高くなっている。



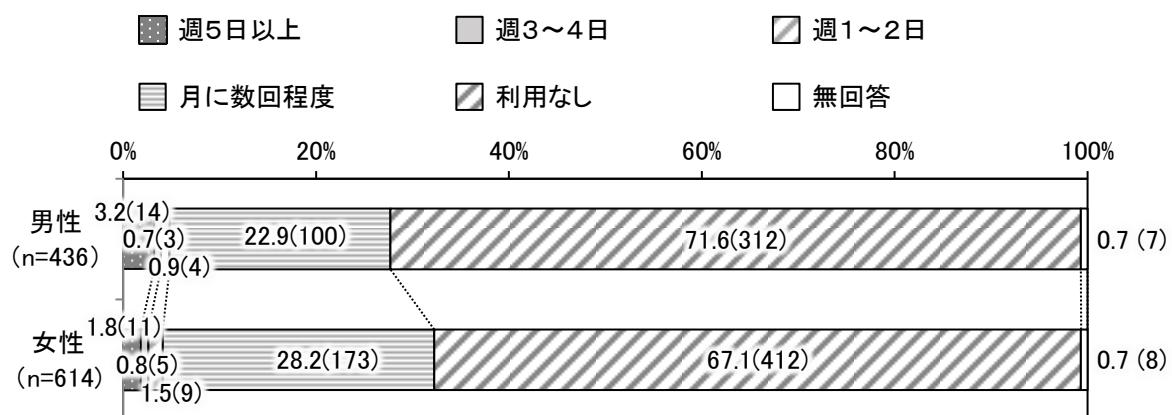
「週5日以上」の割合が2.3%、「週3～4日」の割合が0.9%、「週1～2日」の割合が1.2%、「月に数回程度」の割合が25.9%、「利用なし」の割合が68.9%となっています。

「週5日以上」、「週3～4日」、「週1～2日」、「月に数回程度」を合わせた『利用している』の割合は30.3%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「利用なし」の割合が最も増加しています。

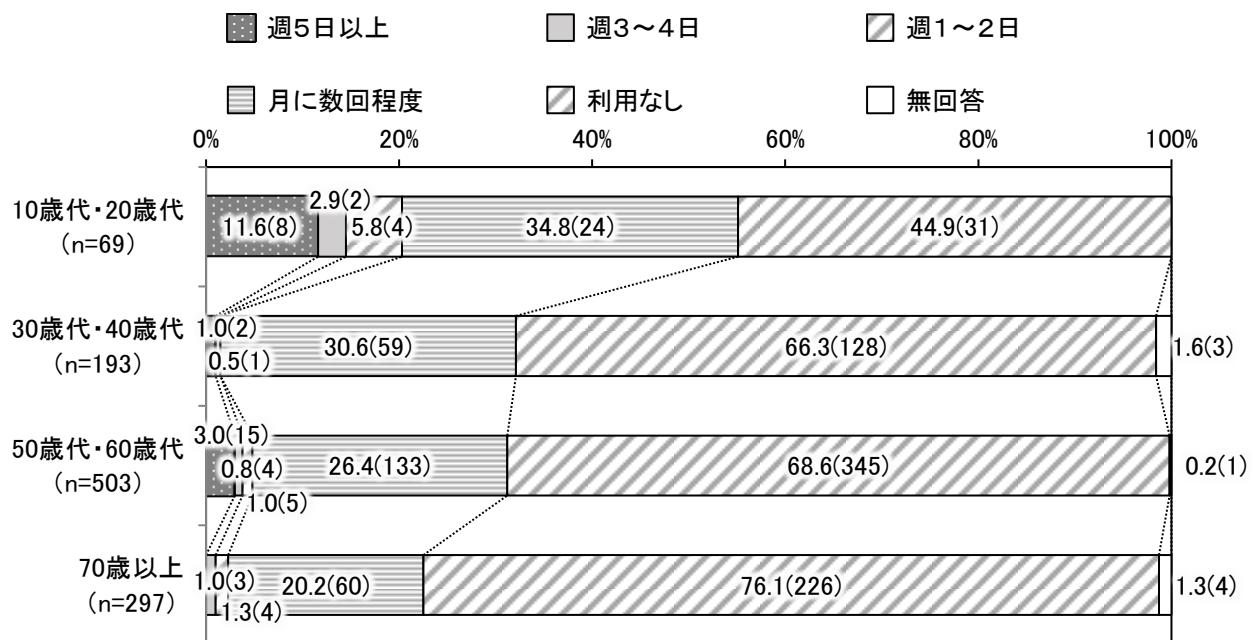
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、男性、女性共に「利用なし」の割合が最も高くなっています。『利用している』の割合は男性（27.7%）よりも女性（32.3%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別に見ると、『利用している』の割合は 10 歳代・20 歳代（55.1%）が最も高くなっています。他の年代と比較すると 20 ポイント程多くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

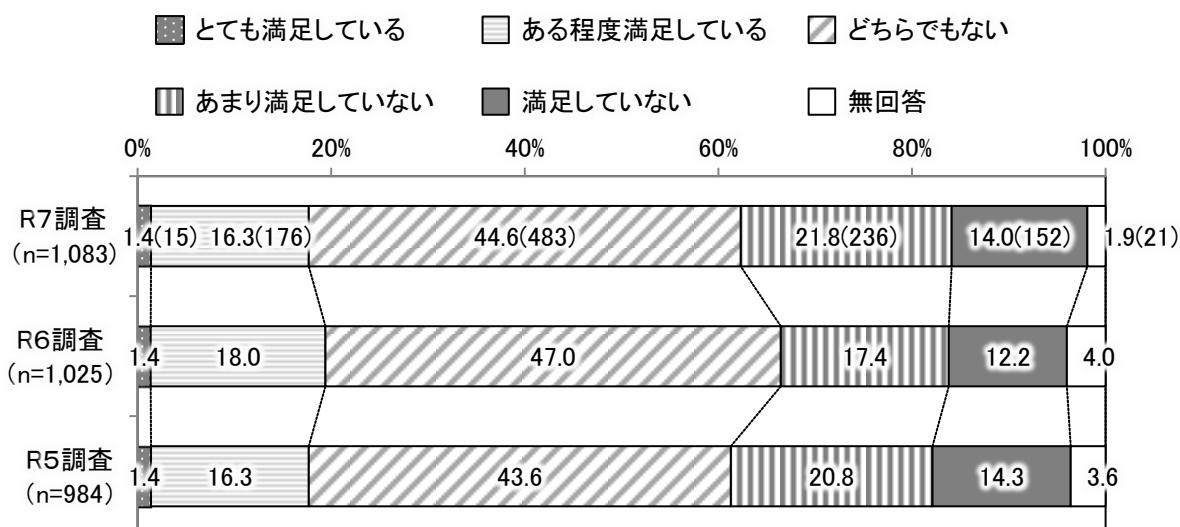
居住地区別	回答者数 (件)	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月に数回程度	利用なし	無回答	『利用あり』
全 体	1083 100.0	25 2.3	10 0.9	13 1.2	280 25.9	746 68.9	9 0.8	328 30.3
柳河	87 100.0	6 6.9	-	-	28 32.2	52 59.8	1 1.1	34 39.1
城内	45 100.0	- -	2 4.4	1 2.2	18 40.0	24 53.3	- -	21 46.6
矢留	79 100.0	2 2.5	3 3.8	-	16 20.3	58 73.4	- -	21 26.6
東宮永	67 100.0	- -	1 1.5	-	18 26.9	48 71.6	- -	19 28.4
両開	58 100.0	4 6.9	-	-	10 17.2	43 74.1	1 1.7	14 24.1
昭代第一	76 100.0	1 1.3	-	2 2.6	20 26.3	51 67.1	2 2.6	23 30.2
昭代第二	61 100.0	1 1.6	-	1 1.6	10 16.4	49 80.3	- -	12 19.6
蒲池	83 100.0	3 3.6	-	1 1.2	19 22.9	58 69.9	2 2.4	23 27.7
皿垣	28 100.0	- -	- -	- -	10 35.7	18 64.3	- -	10 35.7
有明	21 100.0	- -	- -	- -	4 19.0	17 81.0	- -	4 19.0
中島	57 100.0	1 1.8	1 1.8	-	8 14.0	46 80.7	1 1.8	10 17.6
六合	34 100.0	1 2.9	-	-	8 23.5	25 73.5	- -	9 26.4
大和	44 100.0	1 2.3	-	1 2.3	13 29.5	29 65.9	- -	15 34.1
豊原	45 100.0	2 4.4	-	1 2.2	10 22.2	32 71.1	- -	13 28.8
藤吉	103 100.0	2 1.9	3 2.9	3 2.9	39 37.9	56 54.4	- -	47 45.6
矢ヶ部	18 100.0	- -	- -	- -	9 50.0	9 50.0	- -	9 50.0
二ツ河	68 100.0	1 1.5	-	2 2.9	12 17.6	53 77.9	- -	15 22.0
垂見	53 100.0	- -	- -	1 1.9	15 28.3	37 69.8	- -	16 30.2
中山	15 100.0	- -	- -	-	5 33.3	10 66.7	- -	5 33.3
わからない	15 100.0	- -	- -	-	4 26.7	11 73.3	- -	4 26.7
無回答	26 100.0	- -	- -	-	4 15.4	20 76.9	2 7.7	4 15.4

III. 調査結果

(3)市内の公共交通に対する満足度(問 18)

【Q18】市内の公共交通に対する満足度を教えてください。(○を1つだけ)

「どちらでもない」の割合が44.6%で最も高くなっている。

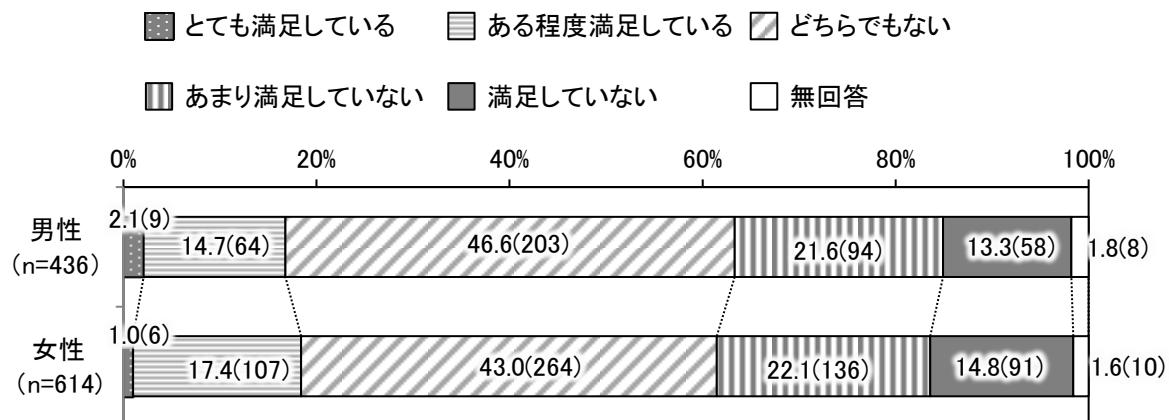


「とても満足している」と「ある程度満足している」を合わせた『満足している』の割合が17.7%、「どちらでもない」の割合が44.6%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』の割合が35.8%となっています。

令和6年度調査と比較すると、『満足している』の割合が1.7ポイント減少し、『満足していない』の割合が6.2ポイント増加しています。

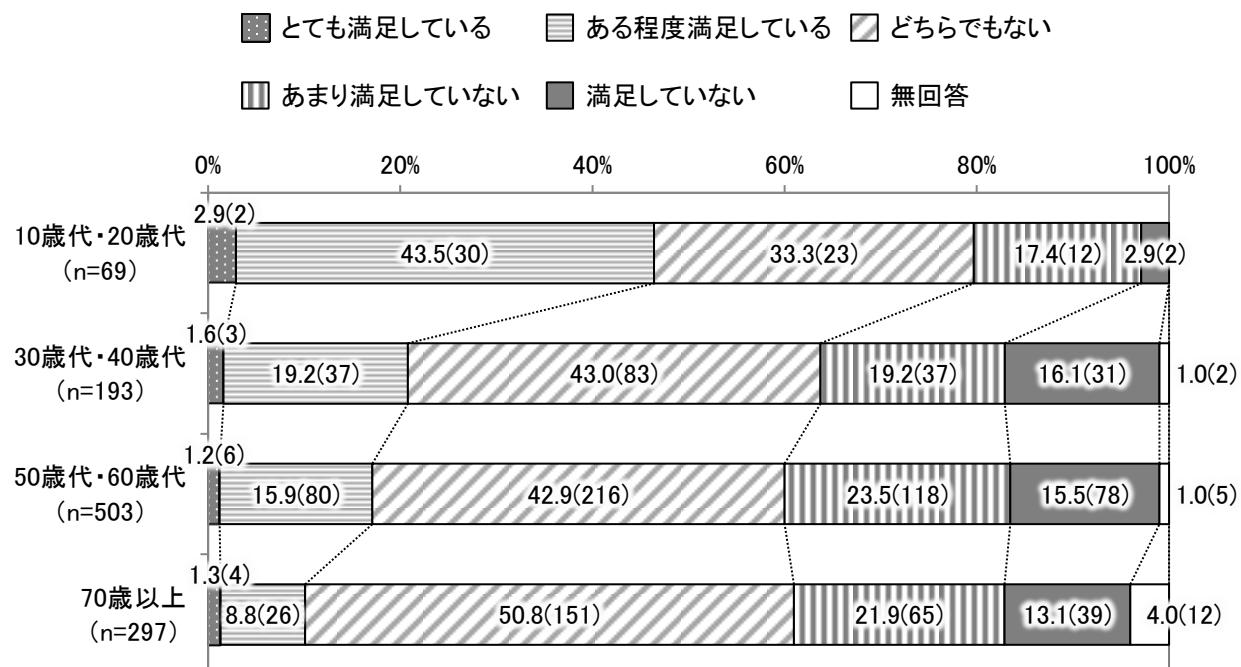
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『満足している』の割合は、男性（16.8%）と比較すると女性（18.4%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『満足している』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（46.4%）で、最も低いのは 70 歳以上（10.1%）となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

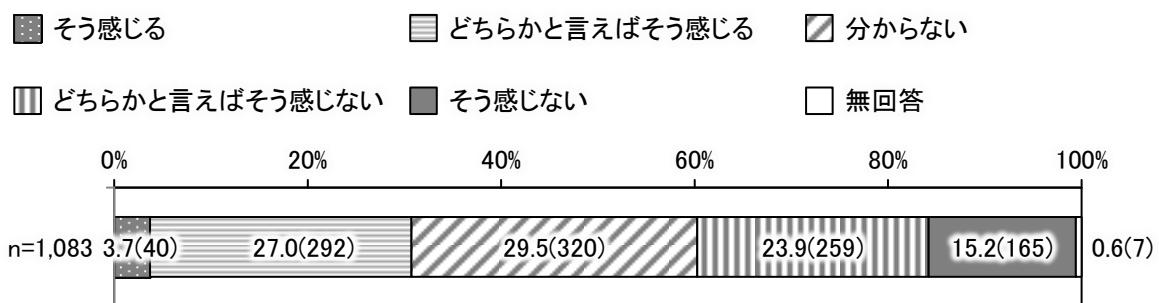
	回答者数 (件)	とても満足している	ある程度満足している	どちらでもない	あまり満足していない	満足していない	無回答	『満足している』	『満足していない』
全 体	1083 100.0	15 1.4	176 16.3	483 44.6	236 21.8	152 14.0	21 1.9	191 17.7	388 35.8
居住地区別									
柳河	87 100.0	1 1.1	25 28.7	39 44.8	13 14.9	7 8.0	2 2.3	26 29.8	20 22.9
城内	45 100.0	1 2.2	9 20.0	12 26.7	12 26.7	11 24.4	- -	10 22.2	23 51.1
矢留	79 100.0	1 1.3	11 13.9	34 43.0	18 22.8	13 16.5	2 2.5	12 15.2	31 39.3
東宮永	67 100.0	1 1.5	8 11.9	33 49.3	17 25.4	7 10.4	1 1.5	9 13.4	24 35.8
両開	58 100.0	1 1.7	4 6.9	20 34.5	15 25.9	16 27.6	2 3.4	5 8.6	31 53.5
昭代第一	76 100.0	- -	4 5.3	35 46.1	22 28.9	14 18.4	1 1.3	4 5.3	36 47.3
昭代第二	61 100.0	- -	6 9.8	33 54.1	14 23.0	8 13.1	- -	6 9.8	22 36.1
蒲池	83 100.0	- -	16 19.3	38 45.8	18 21.7	10 12.0	1 1.2	16 19.3	28 33.7
皿垣	28 100.0	1 3.6	1 3.6	13 46.4	9 32.1	4 14.3	- -	2 7.2	13 46.4
有明	21 100.0	- -	1 4.8	13 61.9	3 14.3	3 14.3	1 4.8	1 4.8	6 28.6
中島	57 100.0	2 3.5	11 19.3	26 45.6	12 21.1	5 8.8	1 1.8	13 22.8	17 29.9
六合	34 100.0	- -	4 11.8	14 41.2	8 23.5	6 17.6	2 5.9	4 11.8	14 41.1
大和	44 100.0	- -	7 15.9	14 31.8	11 25.0	11 25.0	1 2.3	7 15.9	22 50.0
豊原	45 100.0	- -	12 26.7	20 44.4	5 11.1	5 11.1	3 6.7	12 26.7	10 22.2
藤吉	103 100.0	2 1.9	26 25.2	48 46.6	19 18.4	8 7.8	- -	28 27.1	27 26.2
矢ヶ部	18 100.0	1 5.6	5 27.8	6 33.3	5 27.8	- -	1 5.6	6 33.4	5 27.8
二ツ河	68 100.0	- -	10 14.7	29 42.6	15 22.1	14 20.6	- -	10 14.7	29 42.7
垂見	53 100.0	2 3.8	8 15.1	30 56.6	9 17.0	4 7.5	- -	10 18.9	13 24.5
中山	15 100.0	- -	4 26.7	7 46.7	2 13.3	2 13.3	- -	4 26.7	4 26.6
わからない	15 100.0	2 13.3	2 13.3	8 53.3	2 13.3	1 6.7	- -	4 26.6	3 20.0
無回答	26 100.0	- -	2 7.7	11 42.3	7 26.9	3 11.5	3 11.5	2 7.7	10 38.4

III. 調査結果

(4)柳川市の自然やまちなみ、夜の景観が良好だと感じる度合い(問19)

【Q19】 柳川市の景観全般（自然やまちなみ、夜の景観など）は良好だと感じますか。（○を1つだけ）

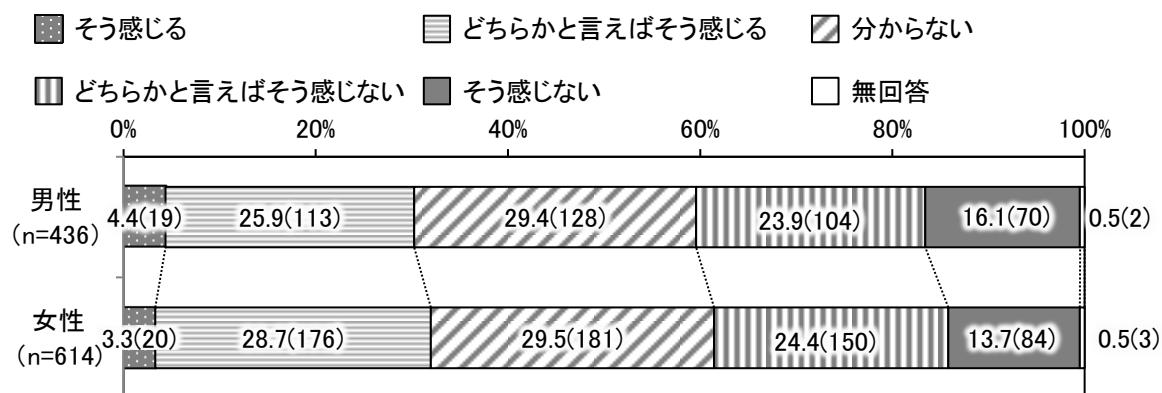
「わからない」の割合が29.5%で最も高くなっている。



「そう感じる」と「どちらかと言えばそう感じる」を合わせた『そう感じる』の割合は30.7%、「分からない」の割合が29.5%、「どちらかと言えばそう感じない」と「そう感じない」を合わせた『そう感じない』の割合が39.1%となっています。

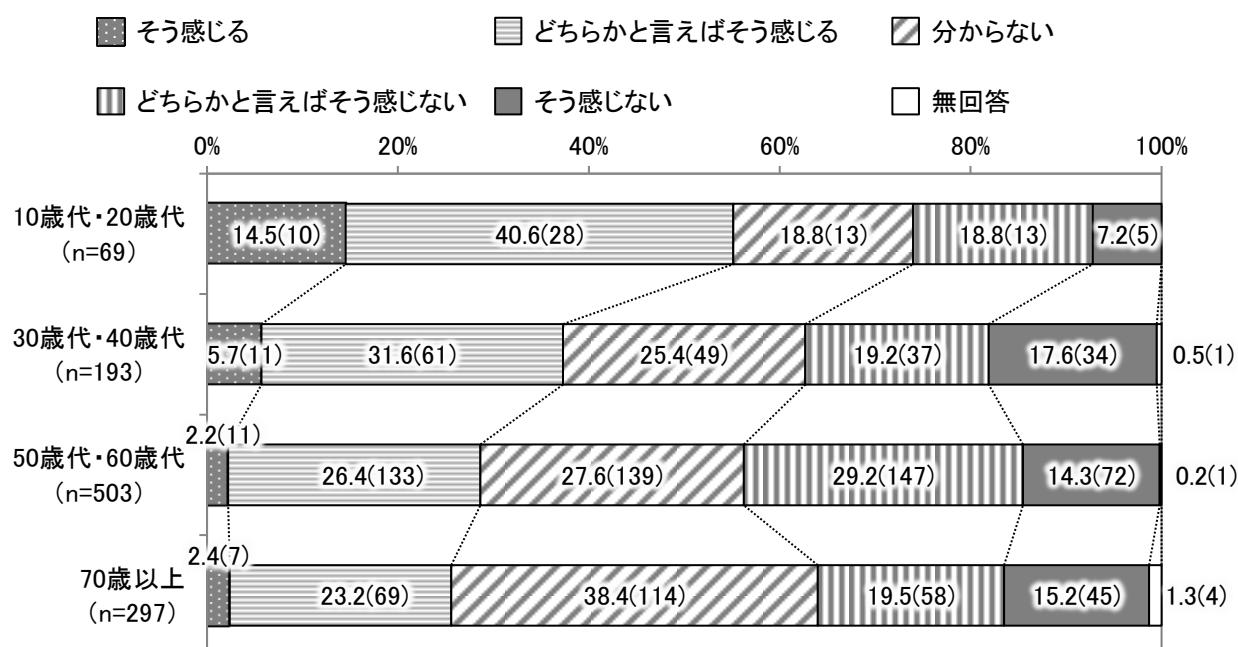
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『そう感じる』の割合は、男性（30.3%）と比較すると女性（32.0%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『そう感じる』の割合が最も高いのは、10歳代・20歳代（55.1%）で、唯半数を超えていました。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

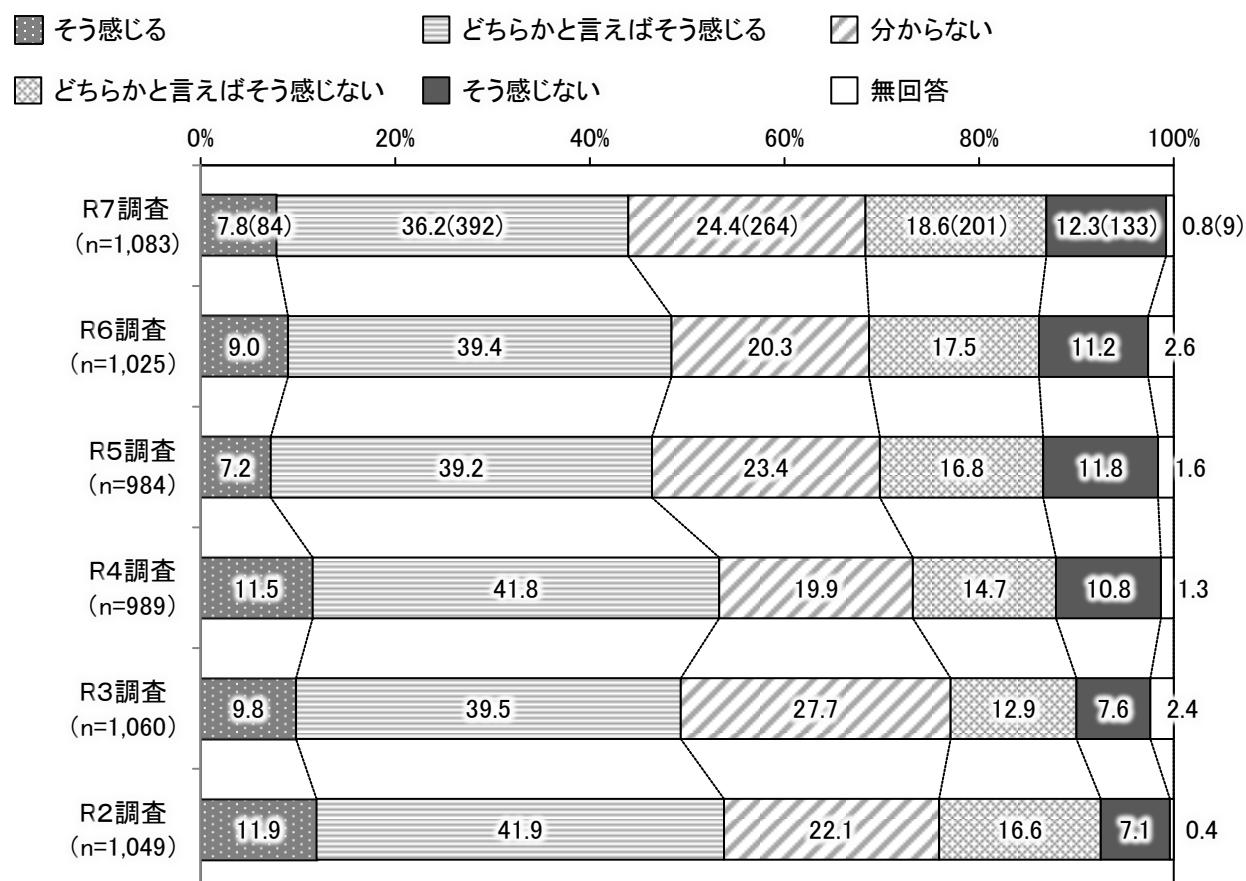
	回答者数 (件)	そう感じ る	ど ちらかと 言え ばそ う	分 から ない	ど ちらかと 言え ばそ う	そ う 感 じ な い	無 回 答	『そ う 感 じ る』	『そ う 感 じ な い』
全 体	1083 100.0	40 3.7	292 27.0	320 29.5	259 23.9	165 15.2	7 0.6	332 30.7	424 39.1
居住地区別									
柳河	87 100.0	6 6.9	25 28.7	25 28.7	19 21.8	12 13.8	-	31 35.6	31 35.6
城内	45 100.0	- -	9 20.0	7 15.6	19 42.2	10 22.2	-	9 20.0	29 64.4
矢留	79 100.0	3 3.8	26 32.9	25 31.6	16 20.3	8 10.1	1 1.3	29 36.7	24 30.4
東宮永	67 100.0	1 1.5	20 29.9	24 35.8	13 19.4	9 13.4	-	21 31.4	22 32.8
両開	58 100.0	2 3.4	17 29.3	12 20.7	15 25.9	11 19.0	1 1.7	19 32.7	26 44.9
昭代第一	76 100.0	3 3.9	19 25.0	18 23.7	21 27.6	15 19.7	-	22 28.9	36 47.3
昭代第二	61 100.0	3 4.9	11 18.0	20 32.8	13 21.3	14 23.0	-	14 22.9	27 44.3
蒲池	83 100.0	1 1.2	15 18.1	32 38.6	22 26.5	13 15.7	-	16 19.3	35 42.2
皿垣	28 100.0	1 3.6	12 42.9	6 21.4	6 21.4	3 10.7	-	13 46.5	9 32.1
有明	21 100.0	- -	6 28.6	8 38.1	3 14.3	4 19.0	-	6 28.6	7 33.3
中島	57 100.0	4 7.0	16 28.1	20 35.1	10 17.5	7 12.3	-	20 35.1	17 29.8
六合	34 100.0	- -	9 26.5	10 29.4	10 29.4	5 14.7	-	9 26.5	15 44.1
大和	44 100.0	2 4.5	12 27.3	13 29.5	10 22.7	6 13.6	1 2.3	14 31.8	16 36.3
豊原	45 100.0	3 6.7	14 31.1	13 28.9	10 22.2	4 8.9	1 2.2	17 37.8	14 31.1
藤吉	103 100.0	3 2.9	40 38.8	24 23.3	26 25.2	10 9.7	-	43 41.7	36 34.9
矢ヶ部	18 100.0	- -	3 16.7	5 27.8	7 38.9	2 11.1	1 5.6	3 16.7	9 50.0
二ツ河	68 100.0	3 4.4	16 23.5	20 29.4	15 22.1	14 20.6	-	19 27.9	29 42.7
垂見	53 100.0	- -	15 28.3	20 37.7	11 20.8	7 13.2	-	15 28.3	18 34.0
中山	15 100.0	- -	4 26.7	7 46.7	4 26.7	-	-	4 26.7	4 26.7
わからない	15 100.0	4 26.7	1 6.7	6 40.0	2 13.3	2 13.3	-	5 33.4	4 26.6
無回答	26 100.0	1 3.8	2 7.7	5 19.2	7 26.9	9 34.6	2 7.7	3 11.5	16 61.5

III. 調査結果

(5)柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い(問20)

【Q20】 柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(○を1つだけ)

「どちらかと言えばそう感じる」の割合が36.2%で最も高くなっている。

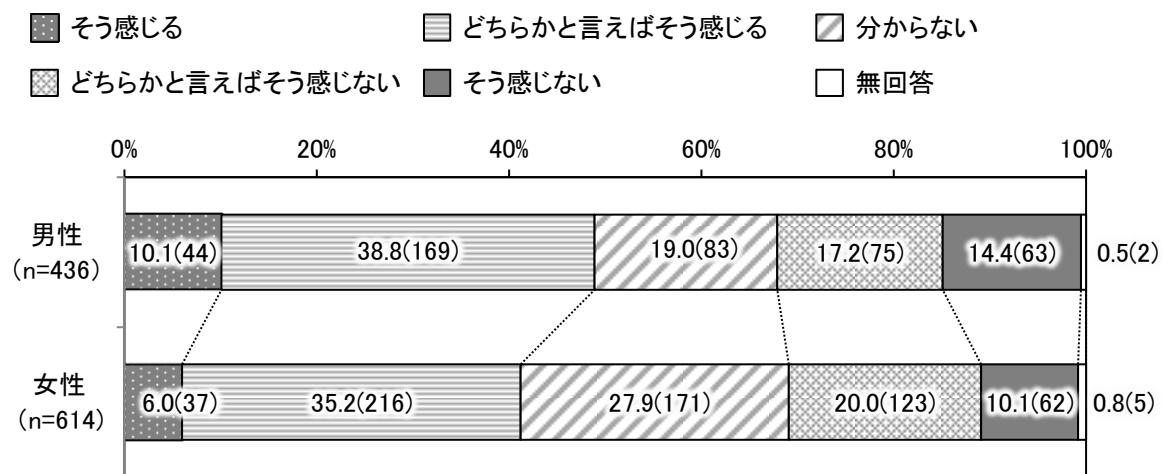


「そう感じる」と「どちらかと言えばそう感じる」を合わせた『そう感じる』の割合は44.0%、「分からぬ」の割合が24.4%、「どちらかと言えばそう感じない」と「そう感じない」を合わせた『そう感じない』の割合が30.9%となっています。

令和6年度調査と比較すると、『そう感じる』の割合は4.4ポイント減少し、『そう感じない』の割合は2.2ポイント増加しています。

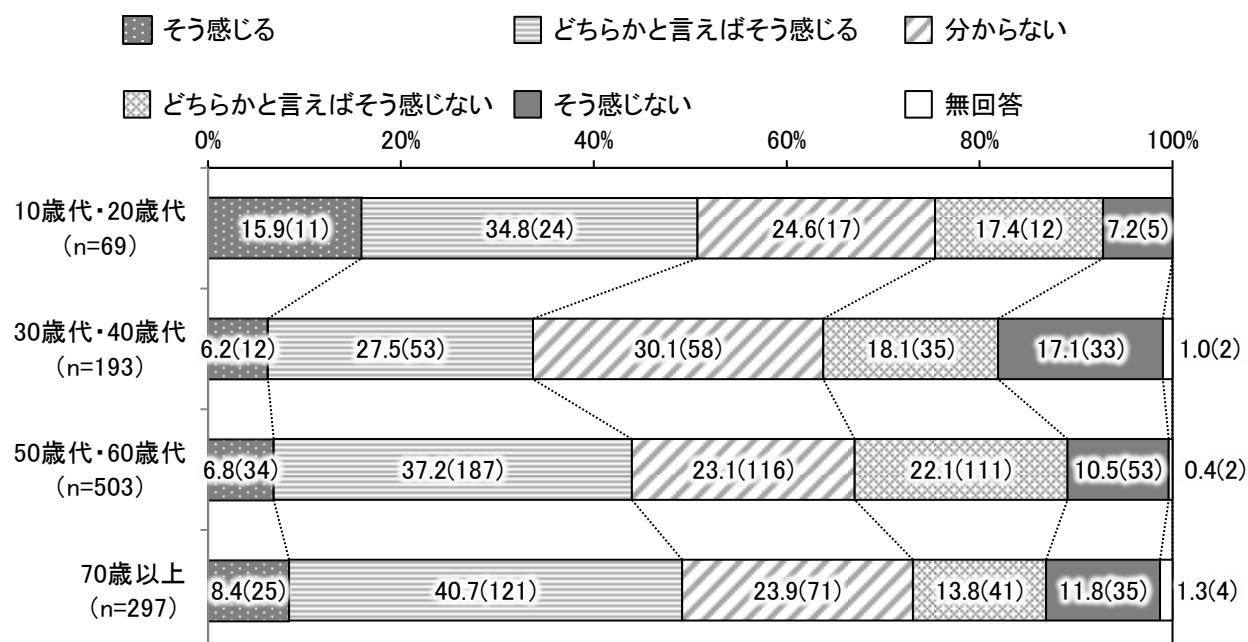
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『そう感じる』の割合は、女性（41.2%）と比較すると男性（48.9%）の方が高く、また半数を超えていました。

【年齢別】



年齢別にみると、『そう感じる』の割合が最も高いのは、10歳代・20歳代（50.7%）で、唯一半数を超えていました。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

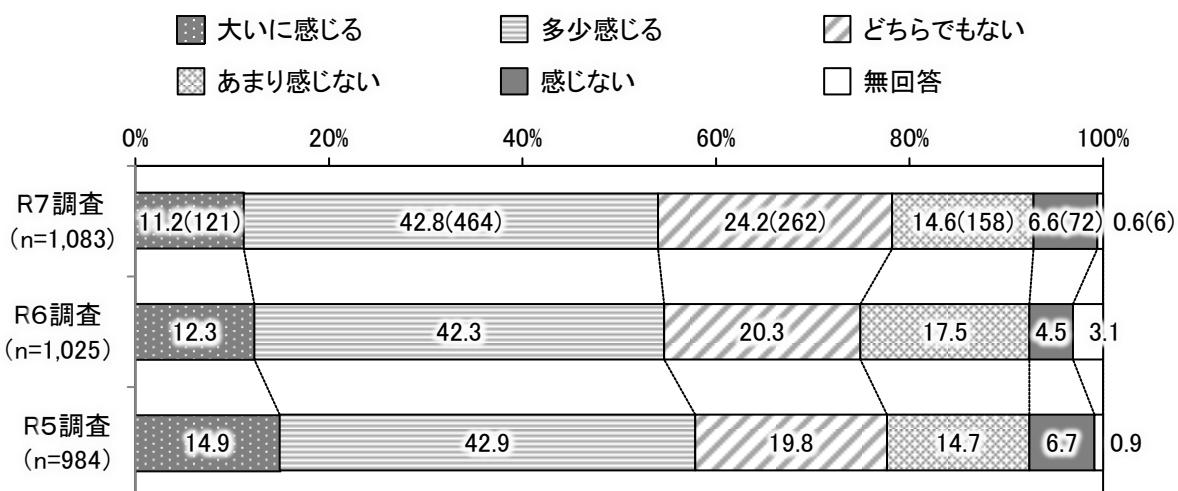
	回答者数 (件)	そう思 う	思 うど ちらかと 言え ばそ う	分 から ない	思 わ ら かと 言え ばそ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	『そ う 思 う』	『そ う 思 わ な い』
全 体	1083 100.0	84 7.8	392 36.2	264 24.4	201 18.6	133 12.3	9 0.8	476 44.0	334 30.8
居住地区別									
柳河	87 100.0	7 8.0	29 33.3	21 24.1	19 21.8	10 11.5	1 1.1	36 41.3	29 33.3
城内	45 100.0	2 4.4	13 28.9	7 15.6	14 31.1	9 20.0	-	15 33.3	23 51.1
矢留	79 100.0	4 5.1	27 34.2	19 24.1	19 24.1	9 11.4	1 1.3	31 39.3	28 35.5
東宮永	67 100.0	8 11.9	30 44.8	12 17.9	13 19.4	4 6.0	-	38 56.7	17 25.4
両開	58 100.0	9 15.5	27 46.6	7 12.1	7 12.1	8 13.8	-	36 62.1	15 25.9
昭代第一	76 100.0	6 7.9	28 36.8	16 21.1	16 21.1	10 13.2	-	34 44.7	26 34.3
昭代第二	61 100.0	4 6.6	17 27.9	18 29.5	12 19.7	10 16.4	-	21 34.5	22 36.1
蒲池	83 100.0	3 3.6	35 42.2	16 19.3	18 21.7	11 13.3	-	38 45.8	29 35.0
皿垣	28 100.0	3 10.7	7 25.0	12 42.9	5 17.9	1 3.6	-	10 35.7	6 21.5
有明	21 100.0	1 4.8	11 52.4	5 23.8	1 4.8	2 9.5	1 4.8	12 57.2	3 14.3
中島	57 100.0	8 14.0	15 26.3	21 36.8	7 12.3	5 8.8	1 1.8	23 40.3	12 21.1
六合	34 100.0	1 2.9	11 32.4	12 35.3	9 26.5	1 2.9	-	12 35.3	10 29.4
大和	44 100.0	3 6.8	9 20.5	19 43.2	6 13.6	6 13.6	1 2.3	12 27.3	12 27.2
豊原	45 100.0	3 6.7	19 42.2	11 24.4	8 17.8	4 8.9	-	22 48.9	12 26.7
藤吉	103 100.0	8 7.8	46 44.7	15 14.6	19 18.4	15 14.6	-	54 52.5	34 33.0
矢ヶ部	18 100.0	- -	8 44.4	7 38.9	2 11.1	1 5.6	-	8 44.4	3 16.7
二ツ河	68 100.0	4 5.9	22 32.4	19 27.9	8 11.8	13 19.1	2 2.9	26 38.3	21 30.9
垂見	53 100.0	3 5.7	24 45.3	12 22.6	9 17.0	5 9.4	-	27 51.0	14 26.4
中山	15 100.0	2 13.3	4 26.7	5 33.3	4 26.7	-	-	6 40.0	4 26.7
わからない	15 100.0	3 20.0	2 13.3	8 53.3	1 6.7	1 6.7	-	5 33.3	2 13.4
無回答	26 100.0	2 7.7	8 30.8	2 7.7	4 15.4	8 30.8	2 7.7	10 38.5	12 46.2

III. 調査結果

(6)掘割への愛着や誇りの度合い(問 21)

【Q21】あなたは掘割に愛着や誇りを感じますか。(○を1つだけ)

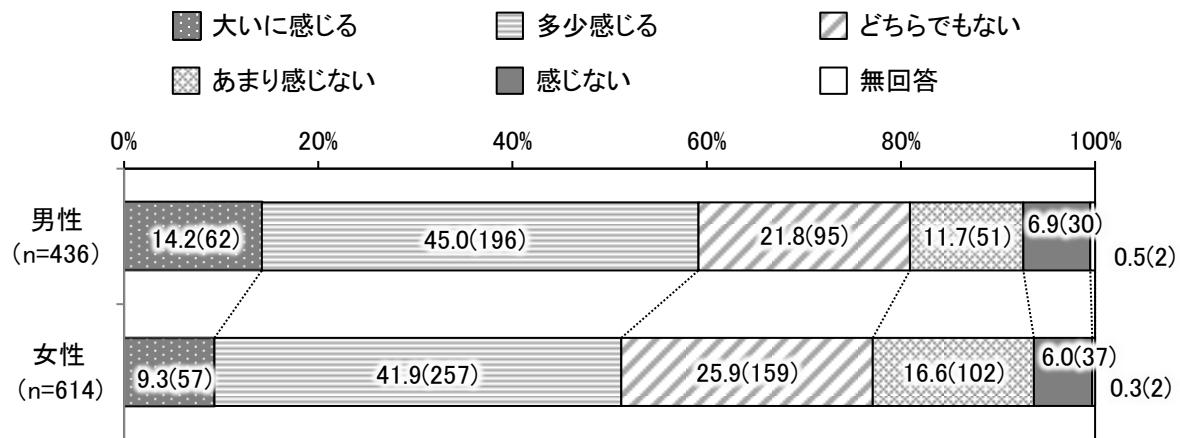
「多少感じる」の割合が42.8%で最も高くなっている。



「大きいに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合は54.0%、「どちらでもない」の割合が24.2%、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合が21.2%となっています。令和6年度調査と比較すると、『感じる』の割合と『感じない』の割合はほぼ差異はありません。

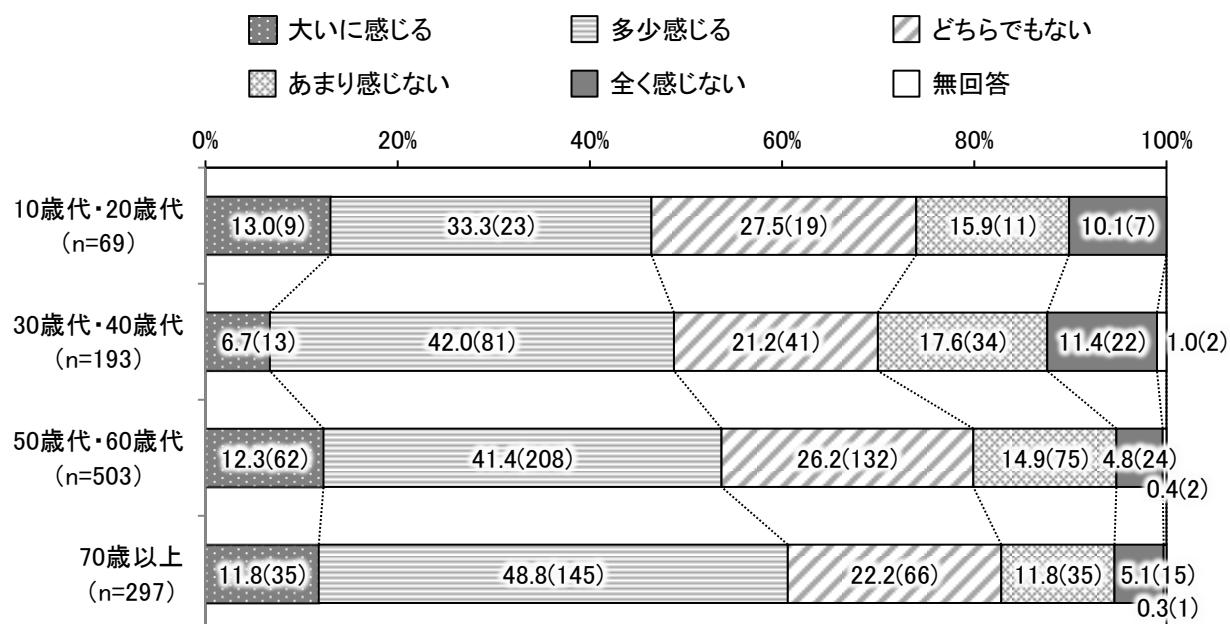
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『感じる』の割合は、女性（51.2%）と比較すると男性（59.2%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『感じる』の割合が最も高いのは70歳以上（60.6%）で、年代が下がるにつれて『感じる』割合が低くなっています。

III. 調査結果

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

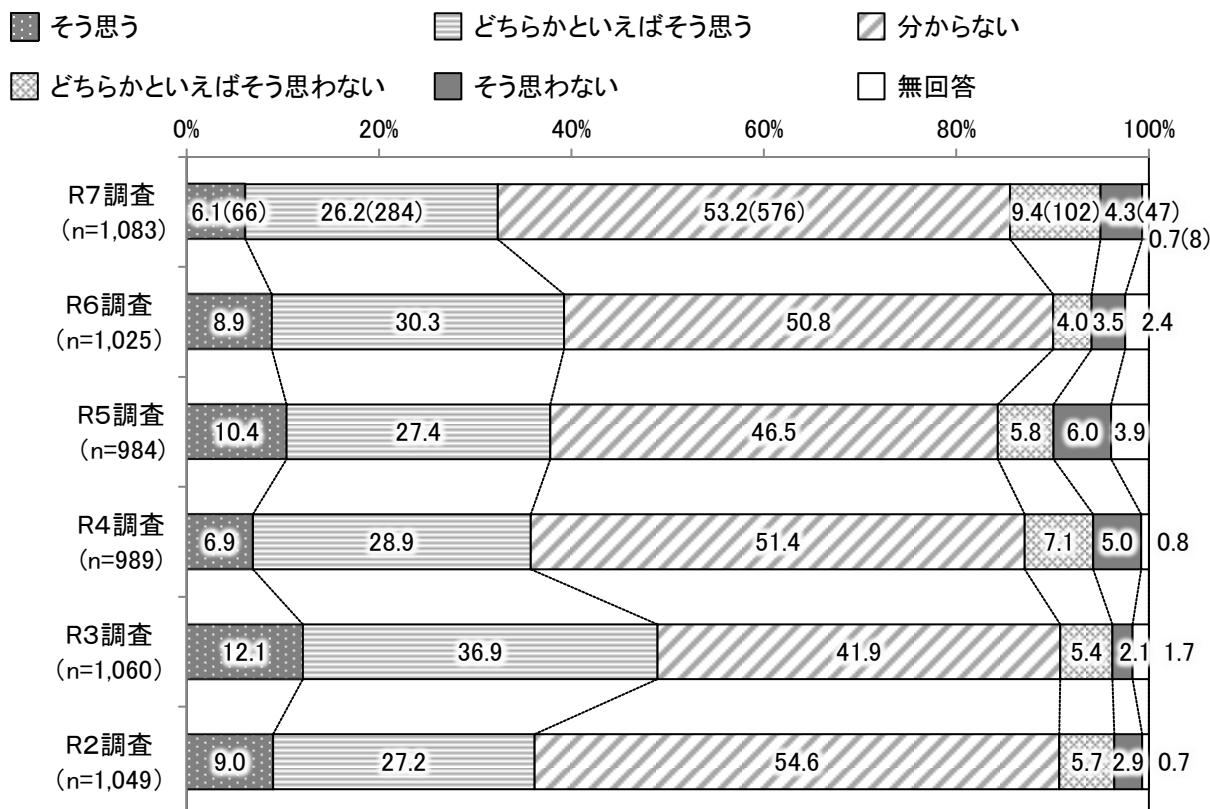
	回答者数 (件)	大いに感じ る	多少感じ る	どちらでもない	あまり感じ ない	感 じ な い	無回答	『感 じ る』	『感 じ な い』
全 体	1083 100.0	121 11.2	464 42.8	262 24.2	158 14.6	72 6.6	6 0.6	585 54.0	230 21.2
居住地区別									
柳河	87 100.0	9 10.3	44 50.6	17 19.5	14 16.1	2 2.3	1 1.1	53 60.9	16 18.4
城内	45 100.0	10 22.2	25 55.6	5 11.1	4 8.9	1 2.2	-	35 77.8	5 11.1
矢留	79 100.0	7 8.9	36 45.6	19 24.1	10 12.7	7 8.9	-	43 54.5	17 21.6
東宮永	67 100.0	8 11.9	31 46.3	15 22.4	9 13.4	3 4.5	1 1.5	39 58.2	12 17.9
両開	58 100.0	7 12.1	30 51.7	8 13.8	10 17.2	2 3.4	1 1.7	37 63.8	12 20.6
昭代第一	76 100.0	15 19.7	29 38.2	14 18.4	14 18.4	4 5.3	-	44 57.9	18 23.7
昭代第二	61 100.0	9 14.8	21 34.4	20 32.8	8 13.1	3 4.9	-	30 49.2	11 18.0
蒲池	83 100.0	6 7.2	44 53.0	12 14.5	16 19.3	5 6.0	-	50 60.2	21 25.3
皿垣	28 100.0	1 3.6	9 32.1	15 53.6	2 7.1	1 3.6	-	10 35.7	3 10.7
有明	21 100.0	1 4.8	12 57.1	5 23.8	- -	2 9.5	1 4.8	13 61.9	2 9.5
中島	57 100.0	7 12.3	17 29.8	15 26.3	12 21.1	6 10.5	-	24 42.1	18 31.6
六合	34 100.0	- -	13 38.2	11 32.4	9 26.5	1 2.9	-	13 38.2	10 29.4
大和	44 100.0	4 9.1	19 43.2	11 25.0	3 6.8	7 15.9	-	23 52.3	10 22.7
豊原	45 100.0	5 11.1	15 33.3	14 31.1	8 17.8	3 6.7	-	20 44.4	11 24.5
藤吉	103 100.0	13 12.6	44 42.7	30 29.1	11 10.7	5 4.9	-	57 55.3	16 15.6
矢ヶ部	18 100.0	2 11.1	9 50.0	6 33.3	1 5.6	-	-	11 61.1	1 5.6
二ツ河	68 100.0	7 10.3	24 35.3	15 22.1	13 19.1	9 13.2	-	31 45.6	22 32.3
垂見	53 100.0	4 7.5	23 43.4	14 26.4	7 13.2	5 9.4	-	27 50.9	12 22.6
中山	15 100.0	1 6.7	5 33.3	6 40.0	3 20.0	-	-	6 40.0	3 20.0
わからない	15 100.0	3 20.0	5 33.3	6 40.0	-	1 6.7	-	8 53.3	1 6.7
無回答	26 100.0	2 7.7	9 34.6	4 15.4	4 15.4	5 19.2	2 7.7	11 42.3	9 34.6

5. 人権に関することについて

(1) 人権が守られていると思う度合い(問 22)

【Q22】柳川市は人権が守られていると思いますか。(○を 1 つだけ)

「分からぬ」の割合が 53.2% で最も高くなっている。

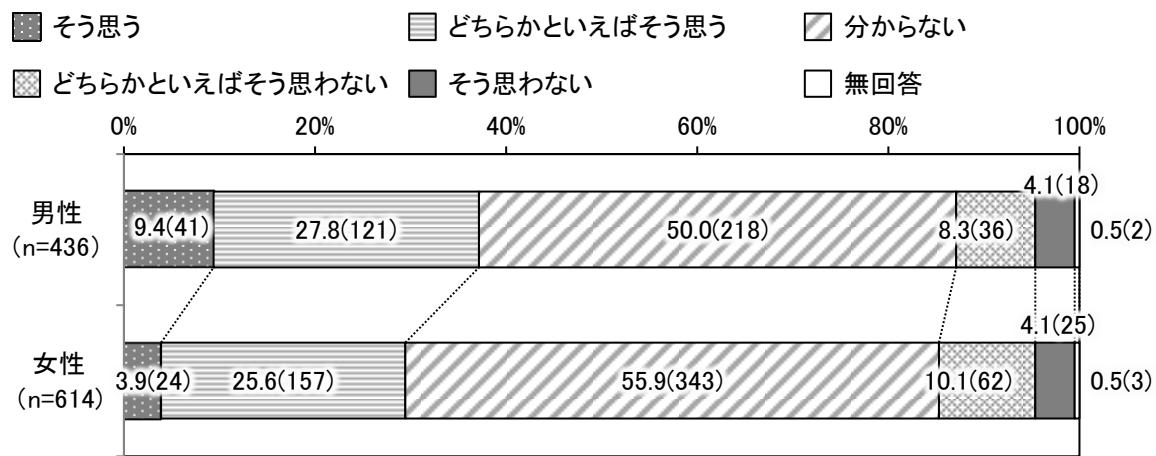


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が 32.3%、「分からぬ」の割合が 53.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が 13.7% となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、『そう思う』の割合が 6.9 ポイント減少し、『そう思わない』の割合が 6.2 ポイント増加しています。

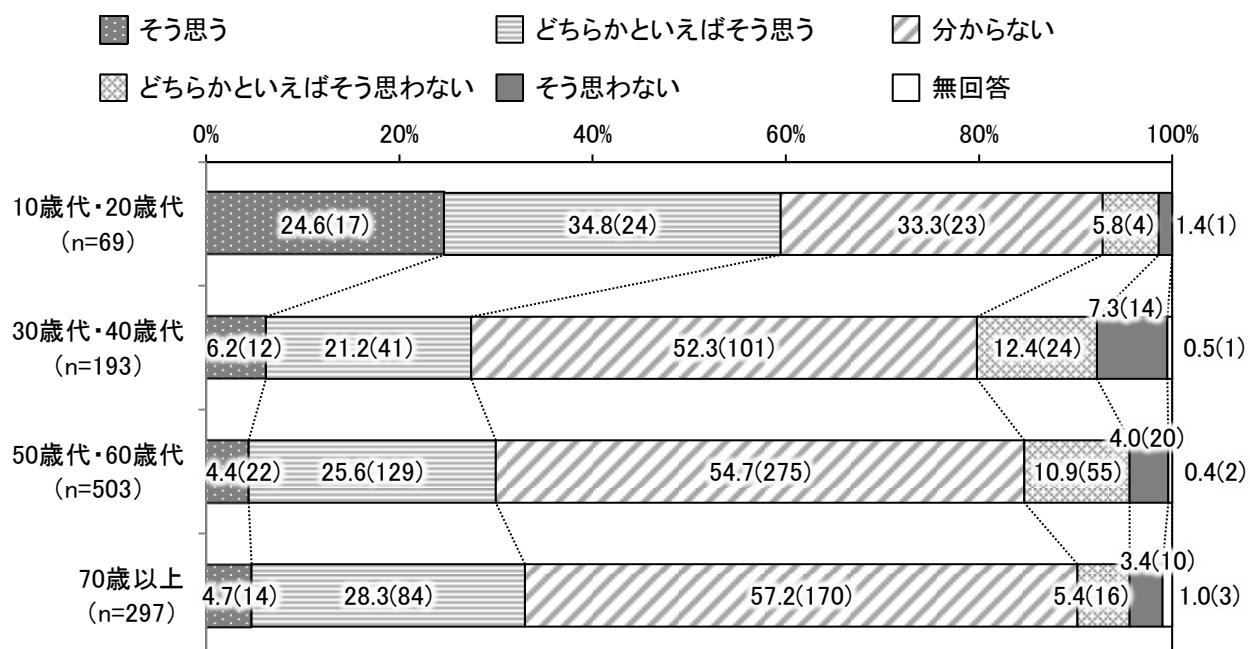
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『そう思う』の割合は、女性（29.5%）と比較すると男性（37.2%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（59.4%）で、最も低いのは 30 歳代・40 歳代（27.4%）となっています。

10 歳代・20 歳代を除くいずれの年代も、「分からぬ」の割合が半数以上を占め、『そう思わない』は 2 割未満となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

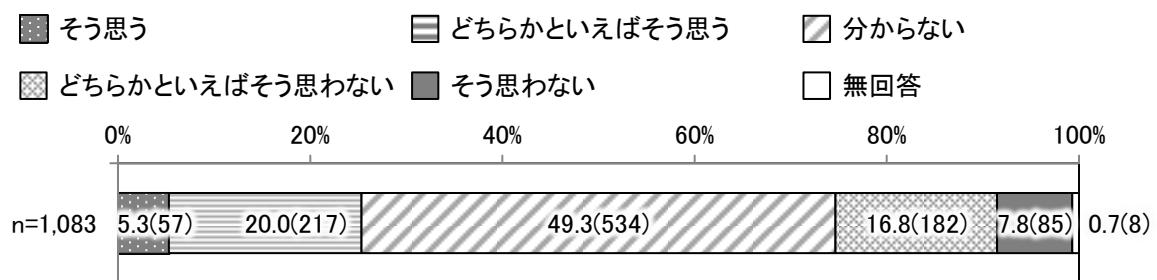
	回答者数 (件)	そう思 う	思 うど ちらか とい えばそ う	分 から な い	思 わ ら か とい え ばそ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	『そ う 思 う』	『そ う 思 わ な い』
全 体	1083 100.0	66 6.1	284 26.2	576 53.2	102 9.4	47 4.3	8 0.7	350 32.3	149 13.8
居住地区別									
柳河	87 100.0	5 5.7	24 27.6	51 58.6	4 4.6	2 2.3	1 1.1	29 33.3	6 6.9
城内	45 100.0	2 4.4	13 28.9	24 53.3	4 8.9	2 4.4	-	15 33.3	6 13.3
矢留	79 100.0	7 8.9	22 27.8	37 46.8	7 8.9	5 6.3	1 1.3	29 36.7	12 15.2
東宮永	67 100.0	3 4.5	16 23.9	43 64.2	4 6.0	1 1.5	-	19 28.4	5 7.5
両開	58 100.0	4 6.9	19 32.8	29 50.0	5 8.6	-	1 1.7	23 39.7	5 8.6
昭代第一	76 100.0	4 5.3	23 30.3	36 47.4	12 15.8	1 1.3	-	27 35.6	13 17.1
昭代第二	61 100.0	2 3.3	9 14.8	40 65.6	9 14.8	1 1.6	-	11 18.1	10 16.4
蒲池	83 100.0	2 2.4	26 31.3	43 51.8	7 8.4	5 6.0	-	28 33.7	12 14.4
皿垣	28 100.0	1 3.6	9 32.1	13 46.4	5 17.9	-	-	10 35.7	5 17.9
有明	21 100.0	- -	7 33.3	11 52.4	2 9.5	1 4.8	-	7 33.3	3 14.3
中島	57 100.0	5 8.8	13 22.8	31 54.4	5 8.8	3 5.3	-	18 31.6	8 14.1
六合	34 100.0	1 2.9	4 11.8	25 73.5	4 11.8	-	-	5 14.7	4 11.8
大和	44 100.0	4 9.1	9 20.5	24 54.5	5 11.4	1 2.3	1 2.3	13 29.6	6 13.7
豊原	45 100.0	3 6.7	13 28.9	22 48.9	7 15.6	-	-	16 35.6	7 15.6
藤吉	103 100.0	6 5.8	26 25.2	52 50.5	8 7.8	11 10.7	-	32 31.0	19 18.5
矢ヶ部	18 100.0	1 5.6	5 27.8	10 55.6	2 11.1	-	-	6 33.4	2 11.1
二ツ河	68 100.0	5 7.4	19 27.9	30 44.1	5 7.4	8 11.8	1 1.5	24 35.3	13 19.2
垂見	53 100.0	8 15.1	14 26.4	28 52.8	2 3.8	1 1.9	-	22 41.5	3 5.7
中山	15 100.0	- -	3 20.0	9 60.0	1 6.7	2 13.3	-	3 20.0	3 20.0
わからない	15 100.0	2 13.3	2 13.3	10 66.7	-	1 6.7	-	4 26.6	1 6.7
無回答	26 100.0	1 3.8	8 30.8	8 30.8	4 15.4	2 7.7	3 11.5	9 34.6	6 23.1

III. 調査結果

(2)男女平等であると思う度合い(問23)

【Q23】柳川市は男女平等であると思いますか。(○を1つだけ)

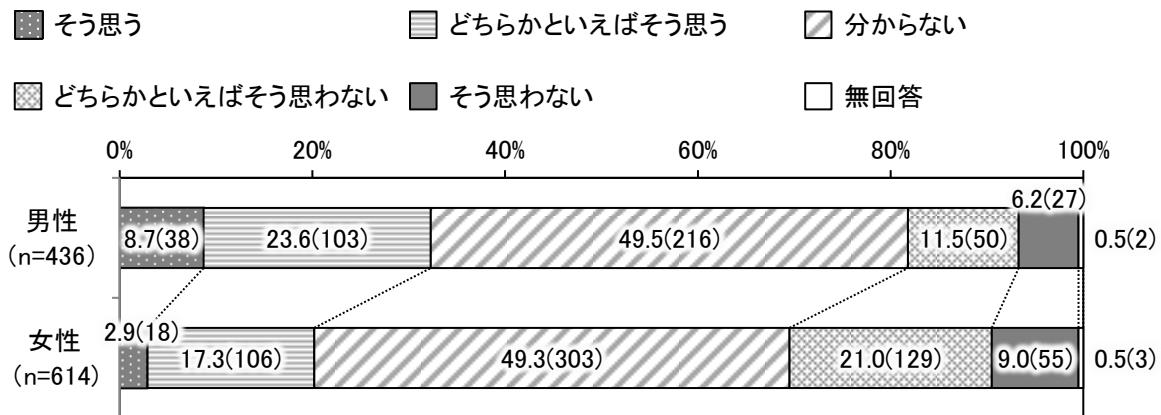
「分からぬ」の割合が49.3%で最も高くなっている。



「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が25.3%、「分からぬ」の割合が49.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が24.6%となっています。

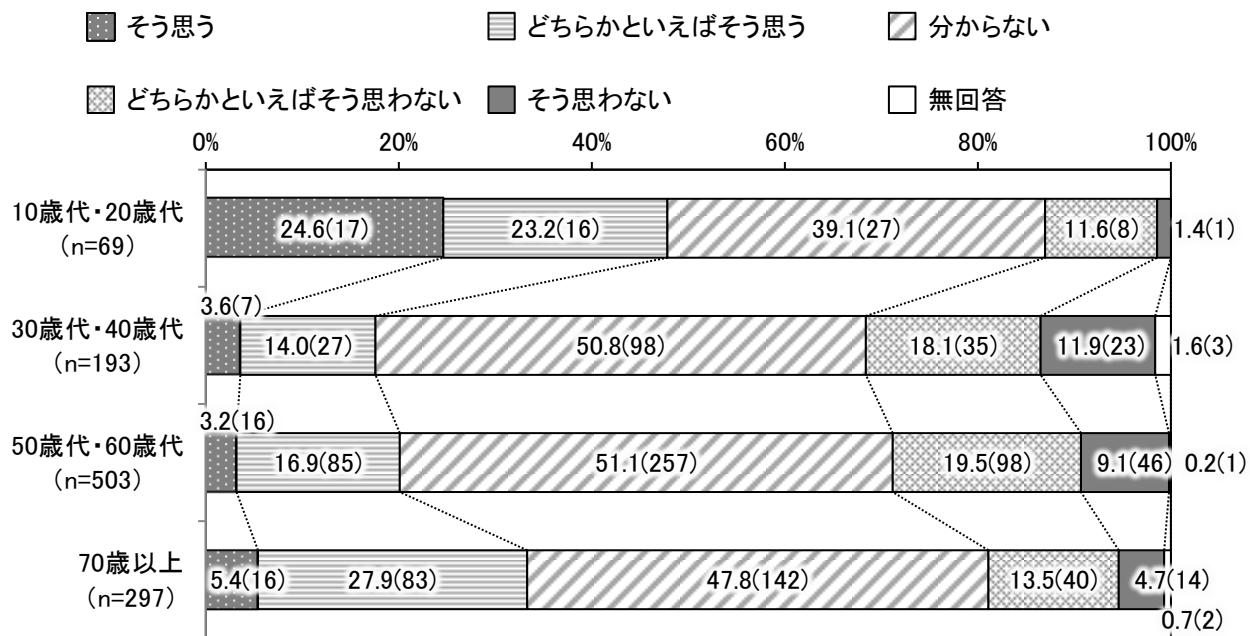
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『そう思う』の割合は、女性（20.2%）と比較すると男性（32.3%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（47.8%）で、最も低いのは 30 歳代・40 歳代（17.6%）となっています。

10 歳代・20 歳代を除くいずれの年代も、「分からない」の割合が約半数を占めています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

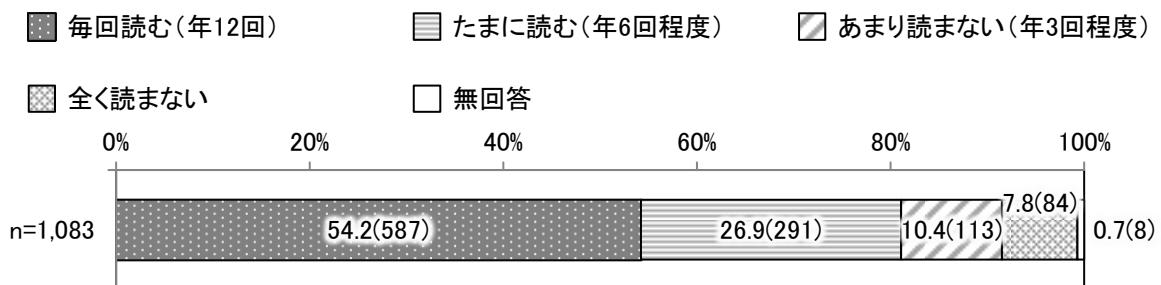
	回答者数 (件)	そう思 う	思 うど ちらか とい えばそ う	分 から な い	思 わ ら か とい えばそ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	『そ う 思 う』	『そ う 思 わ な い』
全 体	1083 100.0	57 5.3	217 20.0	534 49.3	182 16.8	85 7.8	8 0.7	274 25.3	267 24.7
居住地区別									
柳河	87 100.0	5 5.7	15 17.2	51 58.6	11 12.6	3 3.4	2 2.3	20 22.9	14 16.0
城内	45 100.0	3 6.7	6 13.3	24 53.3	10 22.2	2 4.4	- -	9 20.0	12 26.6
矢留	79 100.0	5 6.3	20 25.3	34 43.0	14 17.7	5 6.3	1 1.3	25 31.6	19 24.0
東宮永	67 100.0	2 3.0	11 16.4	43 64.2	5 7.5	6 9.0	- -	13 19.4	11 16.5
両開	58 100.0	4 6.9	14 24.1	25 43.1	10 17.2	5 8.6	- -	18 31.0	15 25.8
昭代第一	76 100.0	4 5.3	17 22.4	34 44.7	13 17.1	8 10.5	- -	21 27.7	21 27.6
昭代第二	61 100.0	2 3.3	10 16.4	32 52.5	10 16.4	6 9.8	1 1.6	12 19.7	16 26.2
蒲池	83 100.0	3 3.6	16 19.3	44 53.0	14 16.9	6 7.2	- -	19 22.9	20 24.1
皿垣	28 100.0	1 3.6	7 25.0	14 50.0	5 17.9	1 3.6	- -	8 28.6	6 21.5
有明	21 100.0	1 4.8	5 23.8	8 38.1	4 19.0	3 14.3	- -	6 28.6	7 33.3
中島	57 100.0	5 8.8	13 22.8	25 43.9	8 14.0	6 10.5	- -	18 31.6	14 24.5
六合	34 100.0	2 5.9	3 8.8	13 38.2	14 41.2	2 5.9	- -	5 14.7	16 47.1
大和	44 100.0	3 6.8	5 11.4	26 59.1	4 9.1	5 11.4	1 2.3	8 18.2	9 20.5
豊原	45 100.0	2 4.4	7 15.6	21 46.7	12 26.7	3 6.7	- -	9 20.0	15 33.4
藤吉	103 100.0	2 1.9	23 22.3	49 47.6	20 19.4	9 8.7	- -	25 24.2	29 28.1
矢ヶ部	18 100.0	- -	5 27.8	10 55.6	3 16.7	- -	- -	5 27.8	3 16.7
二ツ河	68 100.0	3 4.4	11 16.2	32 47.1	13 19.1	9 13.2	- -	14 20.6	22 32.3
垂見	53 100.0	6 11.3	17 32.1	22 41.5	6 11.3	2 3.8	- -	23 43.4	8 15.1
中山	15 100.0	- -	2 13.3	9 60.0	3 20.0	1 6.7	- -	2 13.3	4 26.7
わからない	15 100.0	3 20.0	1 6.7	9 60.0	1 6.7	1 6.7	- -	4 26.7	2 13.4
無回答	26 100.0	1 3.8	9 34.6	9 34.6	2 7.7	2 7.7	3 11.5	10 38.4	4 15.4

6. 市役所に関することについて

(1) 広報やながわを読んでいる頻度(問 24)

【Q24】 広報やながわを読んでいますか。(○を 1 つだけ)

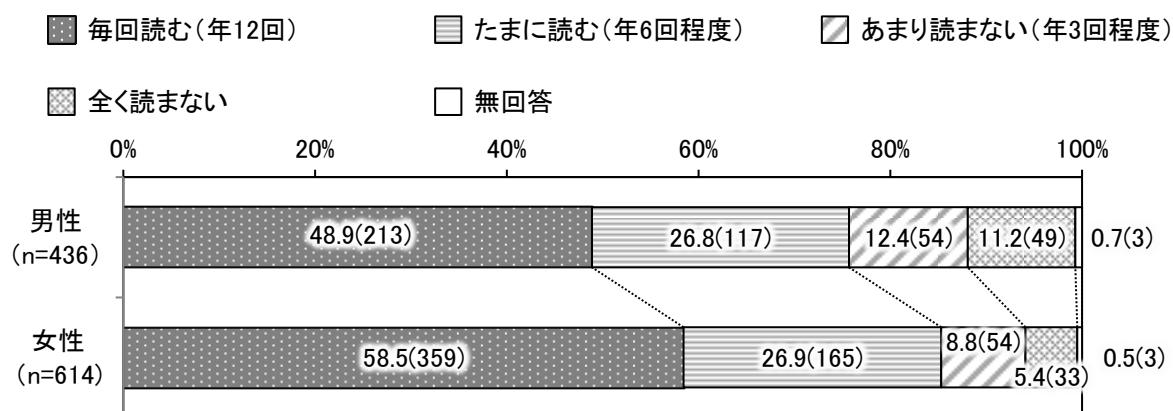
「毎回読む（年 12 回）」の割合が 54.2% で最も高くなっている。



「毎回読む（年 12 回）」の割合は 54.2%、「たまに読む（年 6 回程度）」の割合が 26.9%、「あまり読まない（年 3 回程度）」の割合が 10.4%、「全く読まない」の割合が 7.8% となっています。

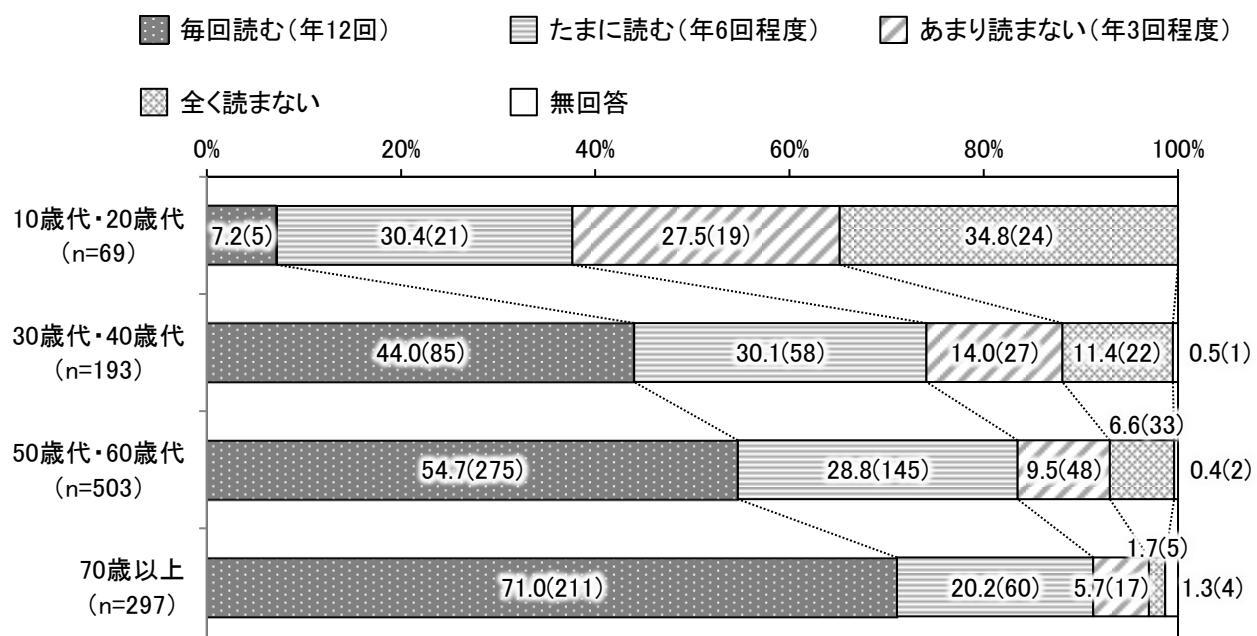
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「毎回読む（年 12 回）」の割合は、男性（48.9%）と比較すると女性（58.5%）の方が高く、また半数を超えていました。

【年齢別】



年齢別にみると、「毎回読む（年 12 回）」の割合が最も高いのは、70 歳以上（71.0%）で、7 割を越えています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

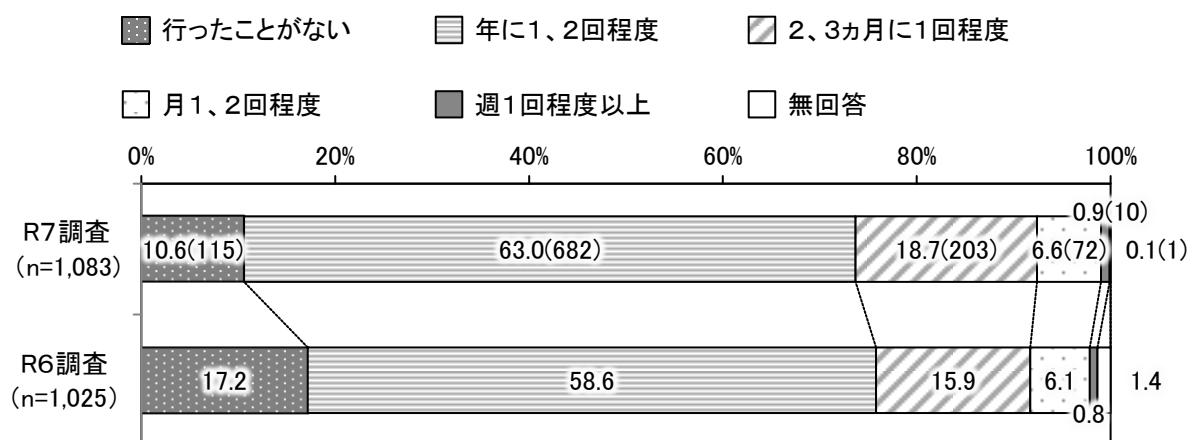
	回答者数 (件)	毎回読む (年1~2回)	度たまに読む (年6回程度)	回あまり読まない (年3)	全く読まない	無回答	『読む』	
全 体	1083 100.0	587 54.2	291 26.9	113 10.4	84 7.8	8 0.7	991 91.5	
居住地区別	柳河	87 100.0	46 52.9	25 28.7	7 8.0	9 10.3	- -	78 89.6
	城内	45 100.0	30 66.7	8 17.8	4 8.9	3 6.7	- -	42 93.4
	矢留	79 100.0	49 62.0	22 27.8	4 5.1	4 5.1	- -	75 94.9
	東宮永	67 100.0	34 50.7	22 32.8	9 13.4	2 3.0	- -	65 96.9
	両開	58 100.0	27 46.6	21 36.2	4 6.9	5 8.6	1 1.7	52 89.7
	昭代第一	76 100.0	43 56.6	18 23.7	11 14.5	4 5.3	- -	72 94.8
	昭代第二	61 100.0	28 45.9	25 41.0	5 8.2	3 4.9	- -	58 95.1
	蒲池	83 100.0	52 62.7	15 18.1	10 12.0	5 6.0	1 1.2	77 92.8
	皿垣	28 100.0	14 50.0	4 14.3	5 17.9	5 17.9	- -	23 82.2
	有明	21 100.0	9 42.9	10 47.6	2 9.5	- -	- -	21 100.0
	中島	57 100.0	28 49.1	15 26.3	3 5.3	11 19.3	- -	46 80.7
	六合	34 100.0	23 67.6	7 20.6	4 11.8	- -	- -	34 100.0
	大和	44 100.0	25 56.8	11 25.0	5 11.4	3 6.8	- -	41 93.2
	豊原	45 100.0	28 62.2	10 22.2	5 11.1	2 4.4	- -	43 95.5
	藤吉	103 100.0	58 56.3	23 22.3	11 10.7	9 8.7	2 1.9	92 89.3
	矢ヶ部	18 100.0	9 50.0	4 22.2	4 22.2	1 5.6	- -	17 94.4
	二ツ河	68 100.0	35 51.5	16 23.5	9 13.2	6 8.8	2 2.9	60 88.2
	垂見	53 100.0	25 47.2	18 34.0	5 9.4	5 9.4	- -	48 90.6
	中山	15 100.0	6 40.0	6 40.0	3 20.0	- -	- -	15 100.0
	わからない	15 100.0	4 26.7	4 26.7	1 6.7	6 40.0	- -	9 60.1
	無回答	26 100.0	14 53.8	7 26.9	2 7.7	1 3.8	2 7.7	23 88.4

III. 調査結果

(2)この1年以内の来庁頻度(問25)

【Q25】直近1年間で市役所（柳川庁舎・大和庁舎・三橋庁舎）にどの程度の頻度で来庁されましたか。（○を1つだけ）

「年に1、2回程度」の割合が63.0%で最も高くなっています。

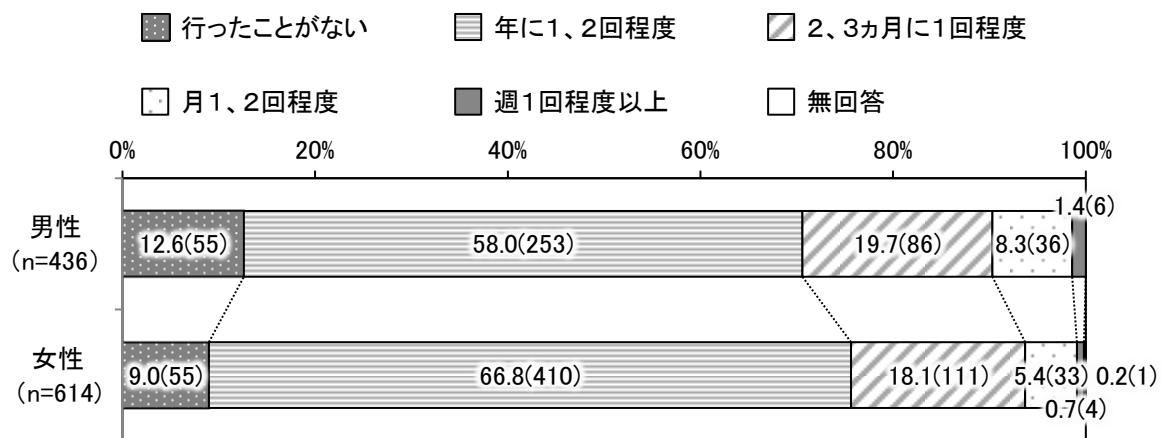


「行ったことがない」の割合が10.6%、「年に1、2回程度」の割合が63.0%、「2、3ヵ月に1回程度」の割合が18.7%、「月に1、2回程度」の割合が6.6%、「週に1回程度以上」の割合が0.9%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「行ったことがない」の割合が6.6ポイント減少し、「年に1、2回程度」が4.4ポイント増加しています。

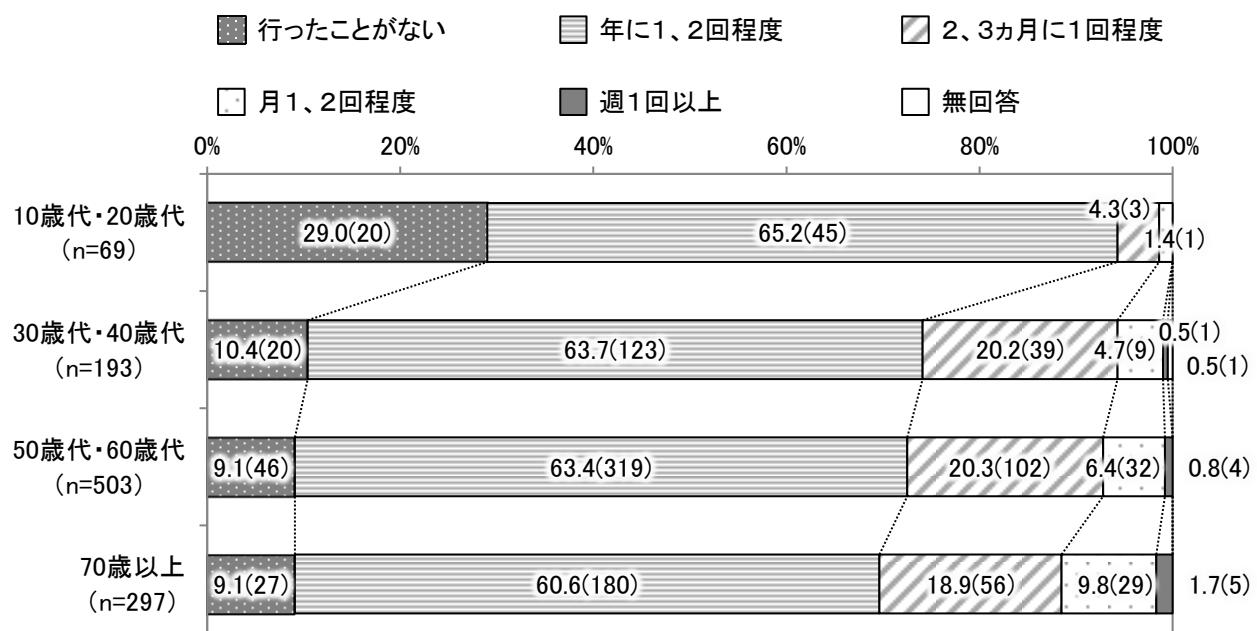
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「行ったことがない」の割合は、女性（9.0%）と比較して男性（12.6%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、「行ったことがない」の割合が最も高いのは 10 歳代・20 歳代（29.0%）となっており、30 歳以上は 10% 前後となっています。

【居住地区別】

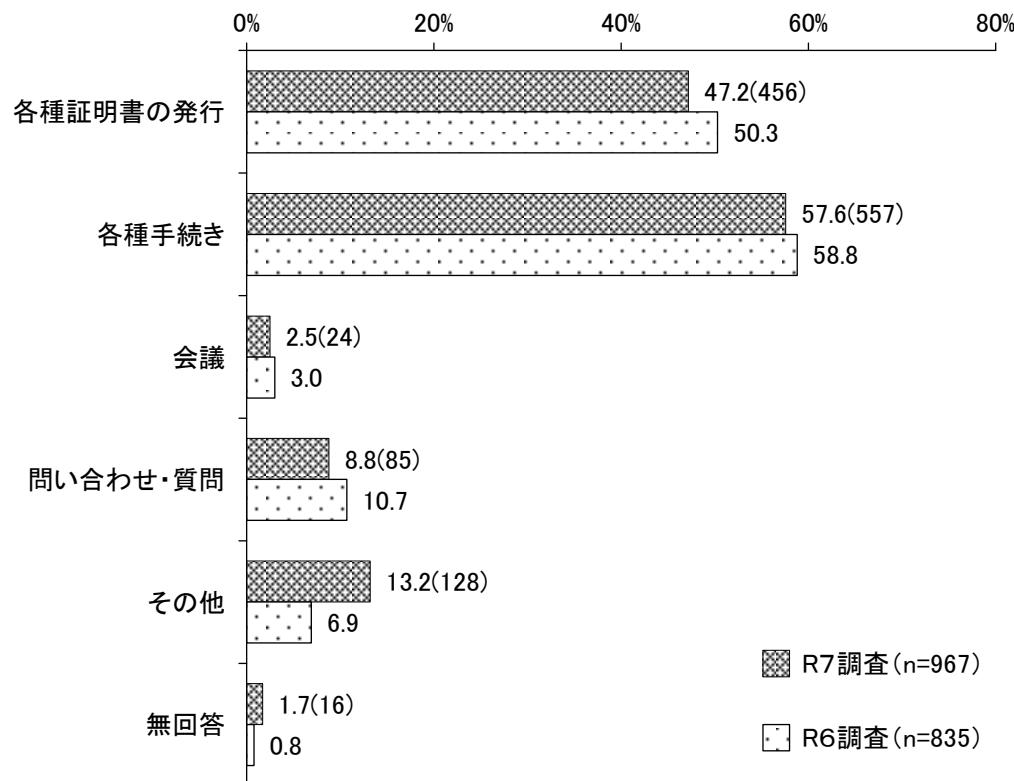
【上段：件数、下段：%】

居住地区別	回答者数(件)	行つたことがない	年に1、2回程度	2、3ヵ月に1回程度	月1、2回程度	週1回以上	無回答	『行つたことがある』
								967 89.3
全 体	1083 100.0	115 10.6	682 63.0	203 18.7	72 6.6	10 0.9	1 0.1	75 89.3
柳河	87 100.0	11 12.6	51 58.6	20 23.0	3 3.4	1 1.1	1 1.1	75 86.1
城内	45 100.0	7 15.6	25 55.6	7 15.6	5 11.1	1 2.2	-	38 84.5
矢留	79 100.0	11 13.9	48 60.8	16 20.3	1 1.3	3 3.8	-	68 86.2
東宮永	67 100.0	2 3.0	47 70.1	13 19.4	5 7.5	-	-	65 97.0
両開	58 100.0	7 12.1	41 70.7	6 10.3	4 6.9	-	-	51 87.9
昭代第一	76 100.0	6 7.9	45 59.2	19 25.0	6 7.9	-	-	70 92.1
昭代第二	61 100.0	6 9.8	31 50.8	20 32.8	4 6.6	-	-	55 90.2
蒲池	83 100.0	9 10.8	54 65.1	12 14.5	8 9.6	-	-	74 89.2
皿垣	28 100.0	6 21.4	17 60.7	3 10.7	1 3.6	1 3.6	-	22 78.6
有明	21 100.0	1 4.8	10 47.6	7 33.3	1 4.8	2 9.5	-	20 95.2
中島	57 100.0	7 12.3	38 66.7	10 17.5	2 3.5	-	-	50 87.7
六合	34 100.0	1 2.9	23 67.6	6 17.6	4 11.8	-	-	33 97.0
大和	44 100.0	3 6.8	31 70.5	7 15.9	2 4.5	1 2.3	-	41 93.2
豊原	45 100.0	6 13.3	25 55.6	7 15.6	6 13.3	1 2.2	-	39 86.7
藤吉	103 100.0	4 3.9	75 72.8	19 18.4	5 4.9	-	-	99 96.1
矢ヶ部	18 100.0	2 11.1	11 61.1	3 16.7	2 11.1	-	-	16 88.9
二ツ河	68 100.0	12 17.6	36 52.9	15 22.1	5 7.4	-	-	56 82.4
垂見	53 100.0	5 9.4	37 69.8	7 13.2	4 7.5	-	-	48 90.5
中山	15 100.0	1 6.7	10 66.7	2 13.3	2 13.3	-	-	14 93.3
わからない	15 100.0	5 33.3	9 60.0	1 6.7	- -	-	-	10 66.7
無回答	26 100.0	3 11.5	18 69.2	3 11.5	2 7.7	-	-	23 88.4

(3)来庁の目的(問26)

【Q26】来庁された目的は何ですか。(○はいくつでも)

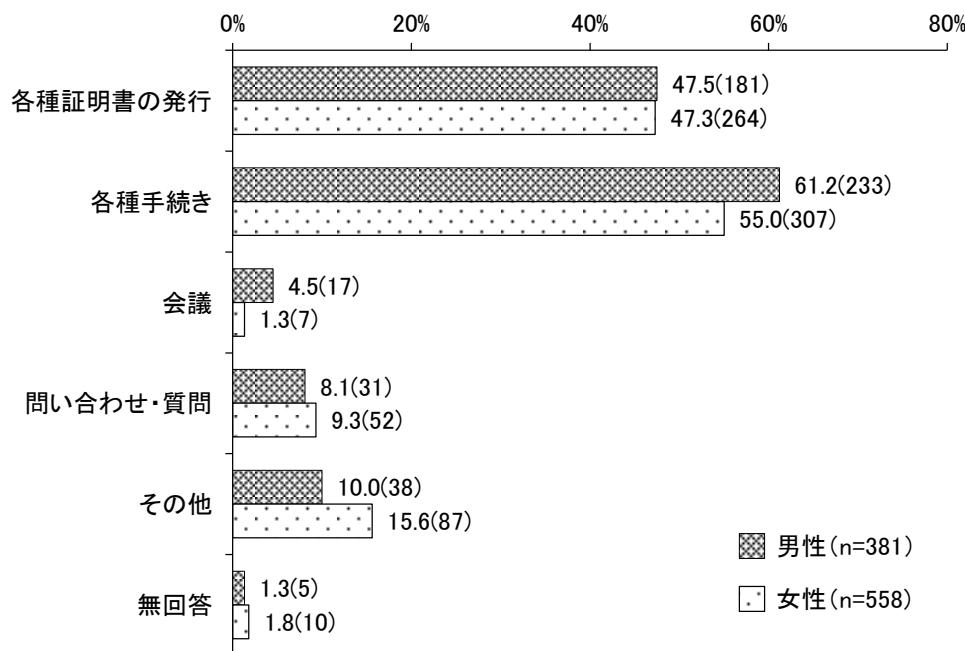
「各種手続き」の割合が 57.6% で最も高くなっている。



この 1 年以内に来庁したことのある 967 人の内、「各種証明書の発行」の割合が 47.2%、「各種手続き」の割合が 57.6%、「会議」の割合が 2.5%、「問い合わせ・質問」の割合が 8.8%、「その他」の割合が 13.2% となっています。

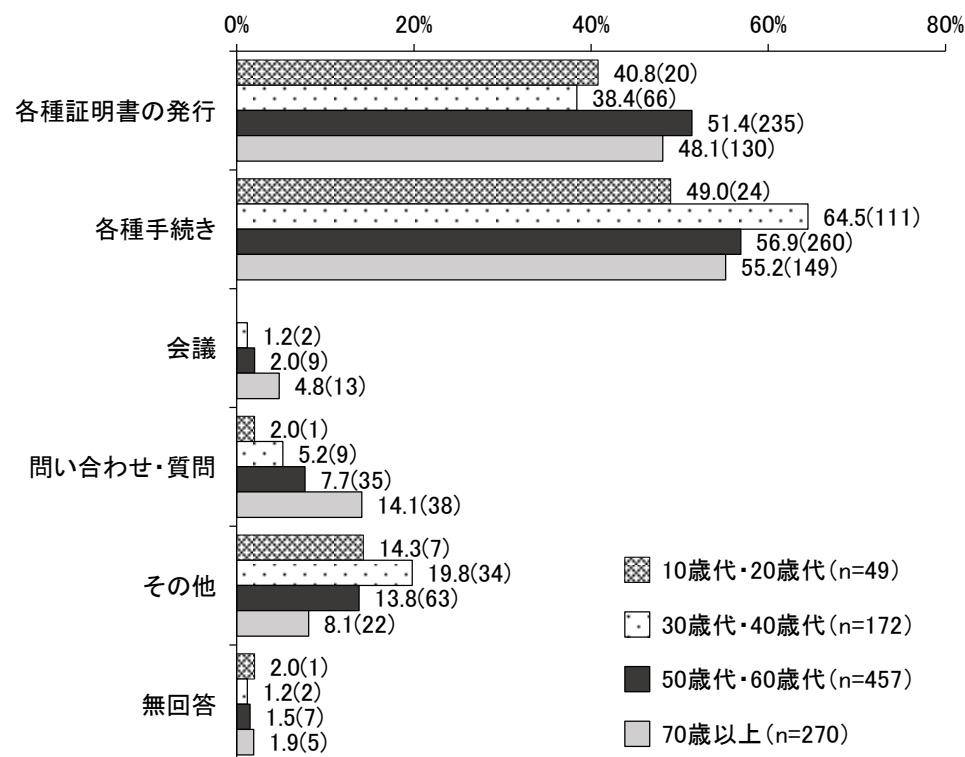
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、男女ともに回答で割合が最も高い項目は「各種手続き」となっています。

【年齢別】



年齢別にみると、すべての年代において割合が最も高い項目は「各種手続き」となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

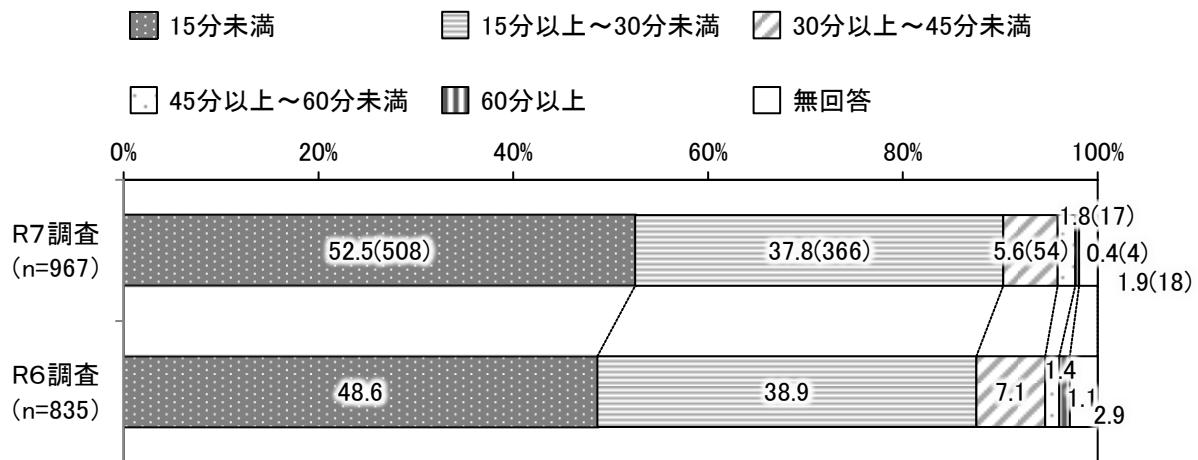
	回答者数 (件)	各種証明書の発行	各種手続き	会議	問い合わせ・質問	その他	無回答
全 体	967 100.0	456 47.2	557 57.6	24 2.5	85 8.8	128 13.2	16 1.7
居住地区別	柳河	75 100.0	28 37.3	44 58.7	- -	6 8.0	8 10.7
	城内	38 100.0	24 63.2	21 55.3	2 5.3	5 13.2	3 7.9
	矢留	68 100.0	36 52.9	38 55.9	2 2.9	5 7.4	11 16.2
	東宮永	65 100.0	37 56.9	37 56.9	- -	4 6.2	9 13.8
	両開	51 100.0	30 58.8	27 52.9	- -	1 2.0	8 15.7
	昭代第一	70 100.0	35 50.0	38 54.3	2 2.9	6 8.6	7 10.0
	昭代第二	55 100.0	24 43.6	33 60.0	- -	7 12.7	6 10.9
	蒲池	74 100.0	37 50.0	43 58.1	3 4.1	14 18.9	10 13.5
	皿垣	22 100.0	7 31.8	20 90.9	2 9.1	1 4.5	1 4.5
	有明	20 100.0	9 45.0	10 50.0	3 15.0	3 15.0	2 10.0
	中島	50 100.0	27 54.0	27 54.0	2 4.0	2 4.0	5 10.0
	六合	33 100.0	19 57.6	20 60.6	1 3.0	3 9.1	5 15.2
	大和	41 100.0	21 51.2	22 53.7	1 2.4	4 9.8	5 12.2
	豊原	39 100.0	14 35.9	21 53.8	2 5.1	3 7.7	8 20.5
	藤吉	99 100.0	33 33.3	59 59.6	1 1.0	8 8.1	21 21.2
	矢ヶ部	16 100.0	10 62.5	7 43.8	- -	4 25.0	1 6.3
	二ツ河	56 100.0	27 48.2	37 66.1	- -	5 8.9	8 14.3
	垂見	48 100.0	21 43.8	28 58.3	1 2.1	1 2.1	6 12.5
	中山	14 100.0	4 28.6	8 57.1	2 14.3	- -	1 7.1
	わからない	10 100.0	5 50.0	4 40.0	- -	1 10.0	- -
	無回答	23 100.0	8 34.8	13 56.5	- -	2 8.7	3 13.0
							2 8.7

III. 調査結果

(4) 来庁時の平均所要時間(問 27)

【Q27】来庁された際の平均所要時間（滞在時間）はどれくらいでしたか。（○を 1 つだけ）

「各種手続き」の割合が 57.6% で最も高くなっている。

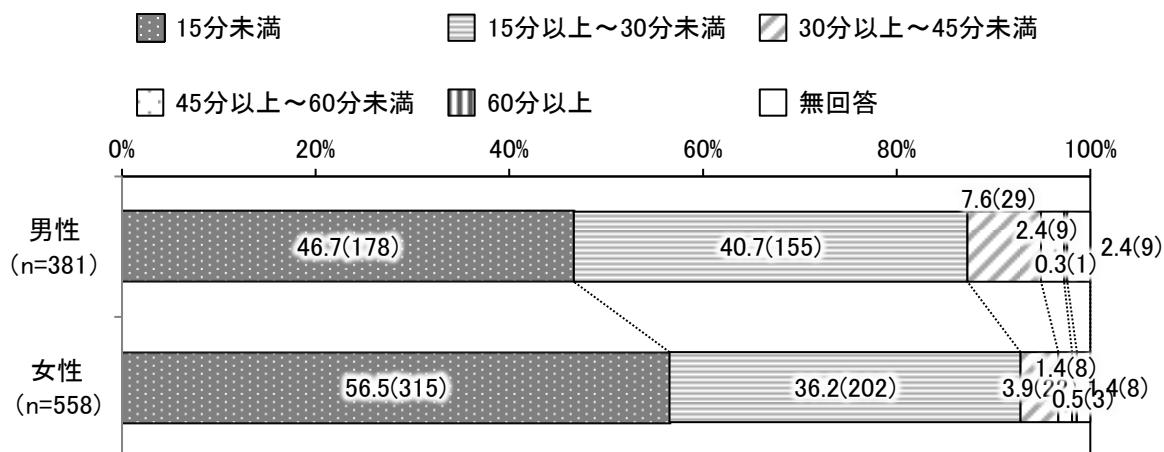


この 1 年以内に来庁したことのある 967 人の内、所要時間が「15 分未満」の割合が 52.5%、「15 分以上～30 分未満」の割合が 37.8%、「30 分以上～45 分未満」の割合が 5.6%、「45 分以上～60 分未満」の割合が 1.8%、「60 分以上」の割合が 0.4% となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、「15 分未満」の割合が 3.9 ポイント増加し、「30 分以上～45 分未満」の割合が 1.6 ポイント減少しています。

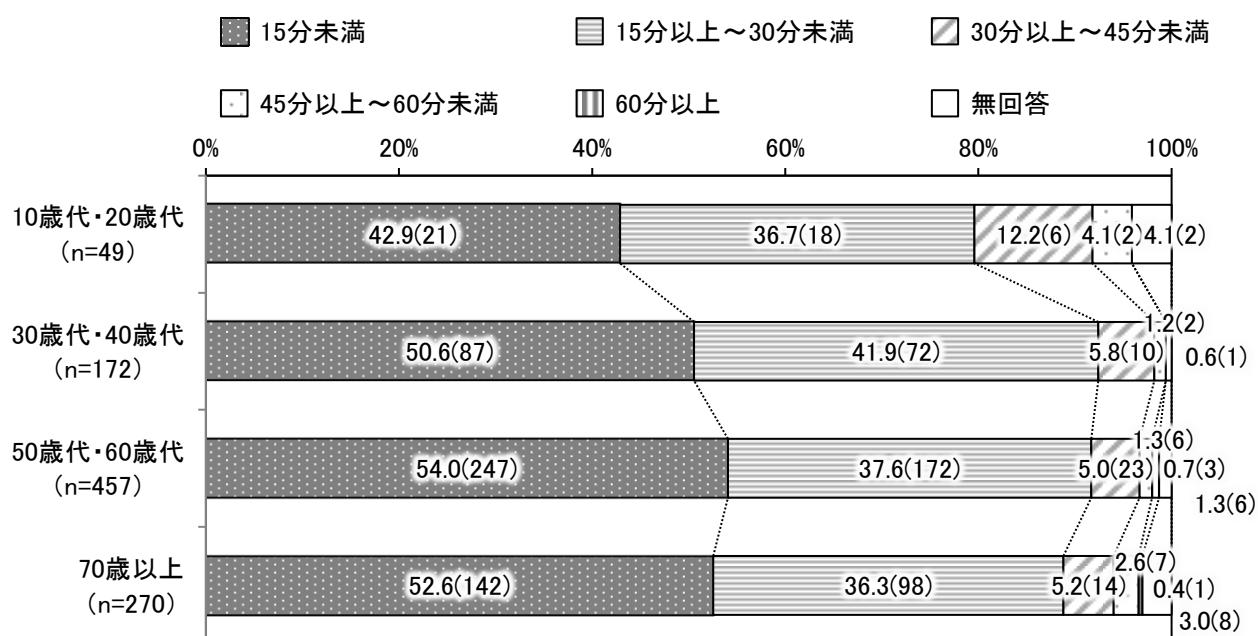
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、男性（46.7%）、女性（56.5%）ともに回答割合が最も高い項目は「15分未満」となっています。

【年齢別】



年齢別にみると、すべての年代（10歳代・20歳代（42.9%）、30歳代・40歳代（50.6%）、50歳代・60歳代（54.0%）、70歳以上（52.6%））で「15分未満」の割合が最も高くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

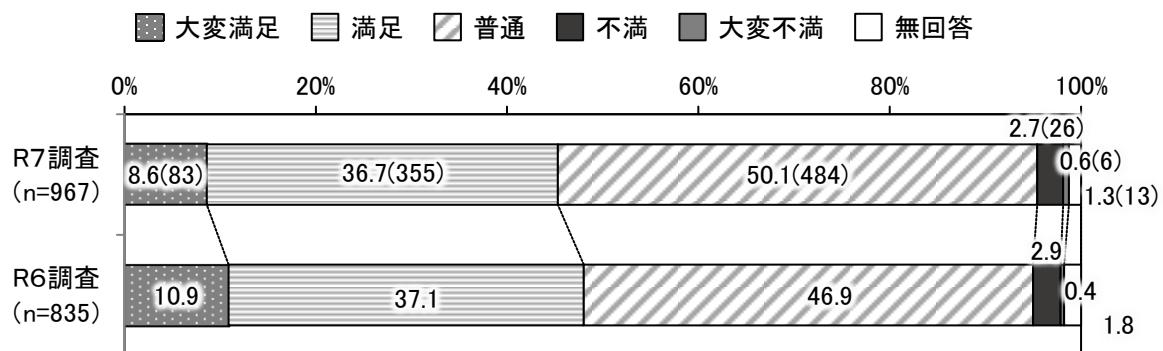
回答者数（件）	15分未満	満15分以上～30分未満	満30分以上～45分未満	満45分以上～60分未満	60分以上	無回答
全 体	967 100.0	508 52.5	366 37.8	54 5.6	17 1.8	4 0.4
柳河	75 100.0	39 52.0	33 44.0	2 2.7	-	- 1.3
城内	38 100.0	22 57.9	12 31.6	4 10.5	-	-
矢留	68 100.0	38 55.9	22 32.4	3 4.4	3 4.4	- 2.9
東宮永	65 100.0	36 55.4	23 35.4	3 4.6	1 1.5	- 3.1
両開	51 100.0	28 54.9	18 35.3	3 5.9	-	- 3.9
昭代第一	70 100.0	30 42.9	31 44.3	6 8.6	1 1.4	1 1.4
昭代第二	55 100.0	27 49.1	24 43.6	2 3.6	-	- 3.6
蒲池	74 100.0	39 52.7	27 36.5	5 6.8	2 2.7	- 1.4
皿垣	22 100.0	8 36.4	10 45.5	4 18.2	-	-
有明	20 100.0	12 60.0	5 25.0	1 5.0	-	1 5.0
中島	50 100.0	32 64.0	16 32.0	1 2.0	-	1 2.0
六合	33 100.0	17 51.5	14 42.4	1 3.0	-	- 3.0
大和	41 100.0	24 58.5	15 36.6	1 2.4	1 2.4	-
豊原	39 100.0	21 53.8	15 38.5	-	2 5.1	- 2.6
藤吉	99 100.0	50 50.5	39 39.4	6 6.1	3 3.0	- 1.0
矢ヶ部	16 100.0	8 50.0	6 37.5	2 12.5	-	-
二ツ河	56 100.0	25 44.6	20 35.7	7 12.5	2 3.6	- 3.6
垂見	48 100.0	25 52.1	20 41.7	2 4.2	1 2.1	-
中山	14 100.0	6 42.9	6 42.9	-	1 7.1	1 7.1
わからない	10 100.0	7 70.0	3 30.0	-	-	-
無回答	23 100.0	14 60.9	7 30.4	1 4.3	-	1 4.3

III. 調査結果

(5)来庁時の職員の対応(問 28)

【Q28】 来庁された際の職員の対応はどうでしたか。(○を 1 つだけ)

「普通」の割合が 50.1%で最も高くなっている。

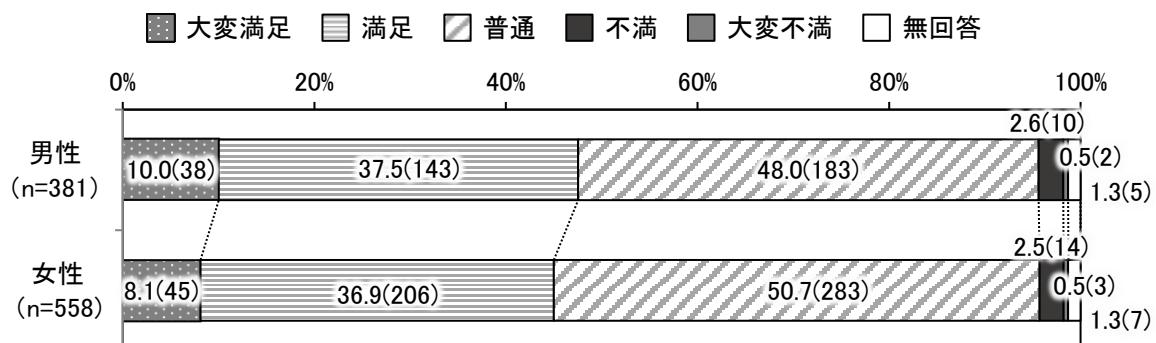


この 1 年以内に来庁したことのある 967 人の内、対応した職員の印象において「大変満足」と「満足」を合わせた『満足』の割合が 45.3%、「普通」の割合が 50.1%、「不満」と「大変不満」を合わせた『不満』の割合が 3.3%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、「普通」の割合が 3.2 ポイント増加し、「大変満足」が 2.3 ポイント減少しています。

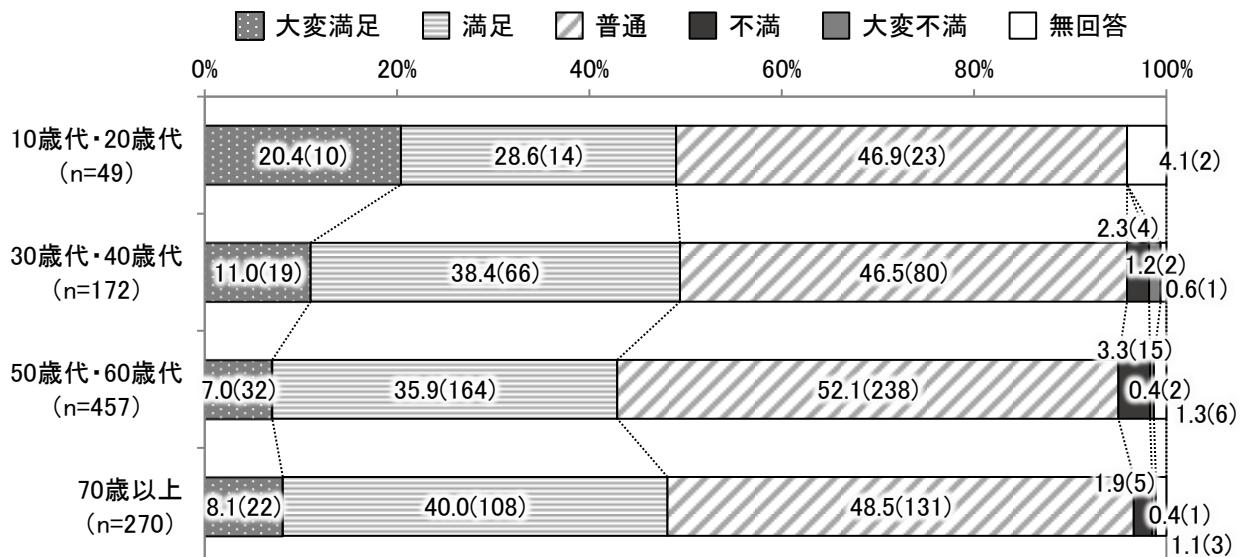
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、『満足』の割合は男性（47.5%）、女性（45.0%）で大きな差は見られません。

【年齢別】



年齢別にみると、すべての年代において、『満足』の割合が40%～50%となっており、大きな割合の差はみられません。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

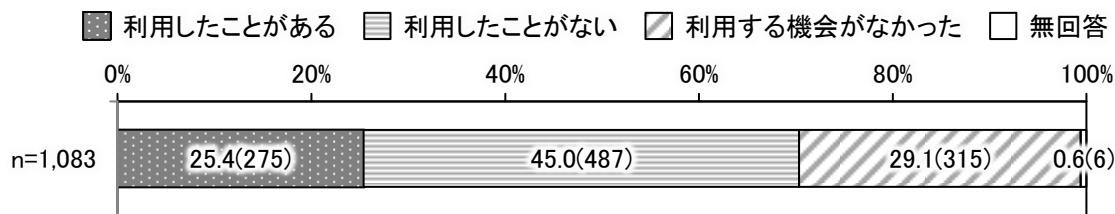
	回答者数 (件)	大変満足	満足	普通	不満	大変不満	無回答	『満足』	『不満』
全 体	967 100.0	83 8.6	355 36.7	484 50.1	26 2.7	6 0.6	13 1.3	438 45.3	32 3.3
居住地区別									
柳河	75 100.0	3 4.0	34 45.3	34 45.3	3 4.0	-	1 1.3	37 49.3	3 4.0
城内	38 100.0	3 7.9	12 31.6	20 52.6	2 5.3	1 2.6	-	15 39.5	3 7.9
矢留	68 100.0	5 7.4	24 35.3	37 54.4	1 1.5	-	1 1.5	29 42.7	1 1.5
東宮永	65 100.0	3 4.6	23 35.4	38 58.5	-	1 1.5	-	26 40.0	1 1.5
両開	51 100.0	6 11.8	21 41.2	22 43.1	-	-	2 3.9	27 53.0	-
昭代第一	70 100.0	8 11.4	28 40.0	33 47.1	1 1.4	-	-	36 51.4	1 1.4
昭代第二	55 100.0	5 9.1	18 32.7	29 52.7	1 1.8	-	2 3.6	23 41.8	1 1.8
蒲池	74 100.0	8 10.8	26 35.1	36 48.6	2 2.7	-	2 2.7	34 45.9	2 2.7
皿垣	22 100.0	1 4.5	7 31.8	13 59.1	1 4.5	-	-	8 36.3	1 4.5
有明	20 100.0	1 5.0	8 40.0	10 50.0	-	-	1 5.0	9 45.0	-
中島	50 100.0	8 16.0	23 46.0	18 36.0	1 2.0	-	-	31 62.0	1 2.0
六合	33 100.0	1 3.0	15 45.5	16 48.5	-	-	1 3.0	16 48.5	-
大和	41 100.0	6 14.6	10 24.4	23 56.1	1 2.4	-	1 2.4	16 39.0	1 2.4
豊原	39 100.0	6 15.4	10 25.6	21 53.8	1 2.6	1 2.6	-	16 41.0	2 5.2
藤吉	99 100.0	6 6.1	46 46.5	44 44.4	2 2.0	-	1 1.0	52 52.6	2 2.0
矢ヶ部	16 100.0	1 6.3	6 37.5	7 43.8	1 6.3	1 6.3	-	7 43.8	2 12.6
二ツ河	56 100.0	3 5.4	21 37.5	28 50.0	3 5.4	1 1.8	-	24 42.9	4 7.2
垂見	48 100.0	2 4.2	14 29.2	31 64.6	1 2.1	-	-	16 33.4	1 2.1
中山	14 100.0	3 21.4	5 35.7	4 28.6	2 14.3	-	-	8 57.1	2 14.3
わからない	10 100.0	4 40.0	1 10.0	5 50.0	-	-	-	5 50.0	-
無回答	23 100.0	-	3 13.0	15 65.2	3 13.0	1 4.3	1 4.3	3 13.0	4 17.3

III. 調査結果

(6)この1年以内でコンビニでの証明書等の発行利用の有無(問30)

【Q30】直近1年間でコンビニでの証明書（住民票や所得証明など）発行を利用したことがありますか。（○を1つだけ）

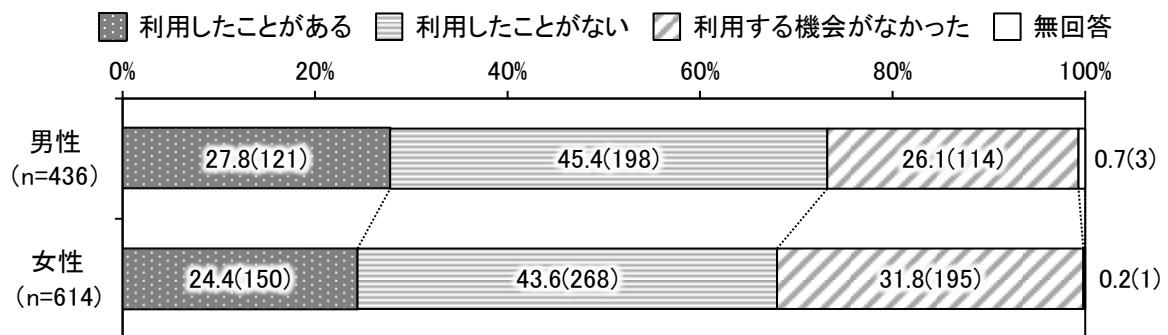
「利用したことがない」の割合が45.0%で最も高くなっている。



この1年以内にコンビニでの証明書（住民票や所得証明など）発行を「利用したことのある」の割合が25.4%、「利用したことがない」の割合が45.0%、「利用する機会がなかった」の割合が29.1%となっています。

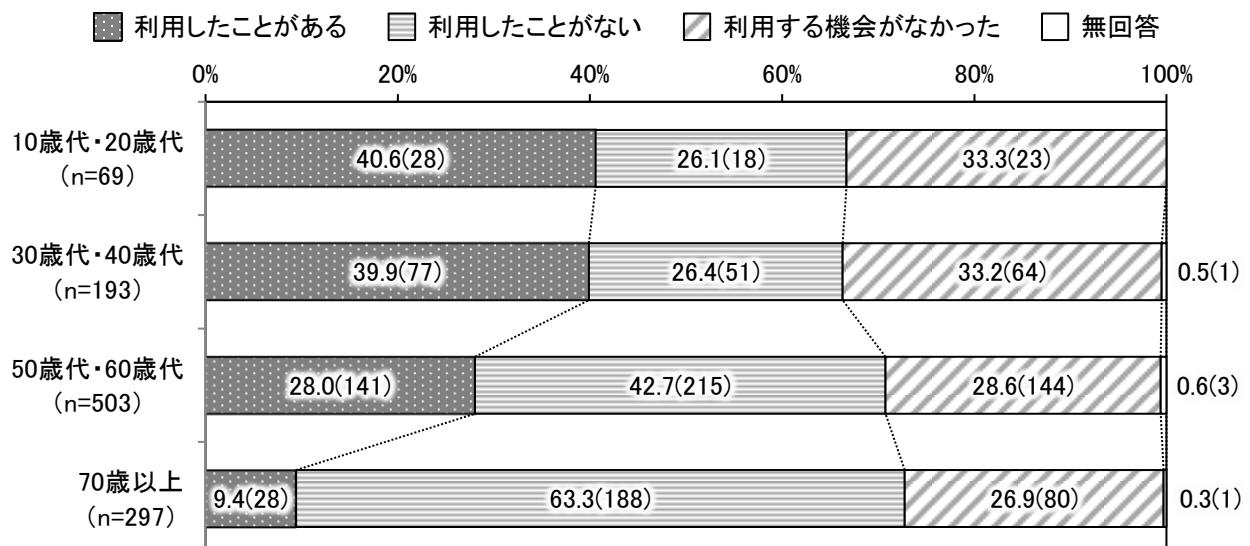
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、男女とも「利用したことのない」の割合が最も高くなっています。男性が45.4%、女性が43.6%で大きな差は見られません。

【年齢別】



年齢別にみると、「利用したことのある」の割合が最も高い年代は10歳代・20歳代(40.6%)で、年代が上がるにつれて低くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

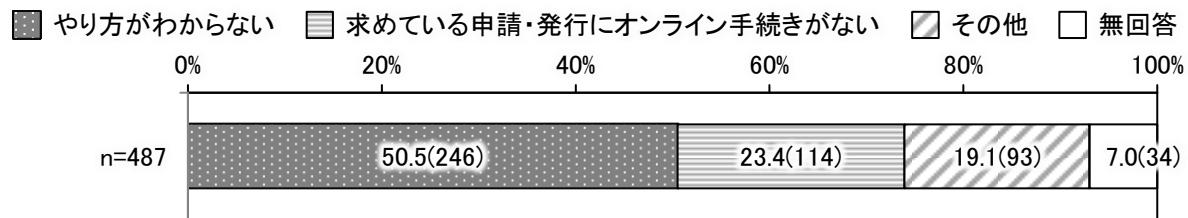
	回答者数 (件)	利用したことがある	利用したことがない	た利用する機会がなかつ	無回答
全 体	1083 100.0	275 25.4	487 45.0	315 29.1	6 0.6
居住地区別					
柳河	87 100.0	26 29.9	32 36.8	28 32.2	1 1.1
城内	45 100.0	14 31.1	21 46.7	10 22.2	-
矢留	79 100.0	13 16.5	45 57.0	21 26.6	-
東宮永	67 100.0	17 25.4	29 43.3	21 31.3	-
両開	58 100.0	16 27.6	29 50.0	13 22.4	-
昭代第一	76 100.0	25 32.9	27 35.5	24 31.6	-
昭代第二	61 100.0	19 31.1	28 45.9	14 23.0	-
蒲池	83 100.0	18 21.7	47 56.6	18 21.7	-
皿垣	28 100.0	7 25.0	13 46.4	8 28.6	-
有明	21 100.0	2 9.5	11 52.4	8 38.1	-
中島	57 100.0	15 26.3	24 42.1	18 31.6	-
六合	34 100.0	3 8.8	20 58.8	11 32.4	-
大和	44 100.0	13 29.5	21 47.7	10 22.7	-
豊原	45 100.0	9 20.0	18 40.0	17 37.8	1 2.2
藤吉	103 100.0	31 30.1	30 29.1	42 40.8	-
矢ヶ部	18 100.0	3 16.7	10 55.6	5 27.8	-
二ツ河	68 100.0	16 23.5	34 50.0	16 23.5	2 2.9
垂見	53 100.0	14 26.4	19 35.8	20 37.7	-
中山	15 100.0	8 53.3	4 26.7	3 20.0	-
わからない	15 100.0	3 20.0	9 60.0	3 20.0	-
無回答	26 100.0	3 11.5	16 61.5	5 19.2	2 7.7

III. 調査結果

(7)利用したことがない理由(問 31)

【Q31】利用したことがない理由は何ですか。(○を1つだけ)

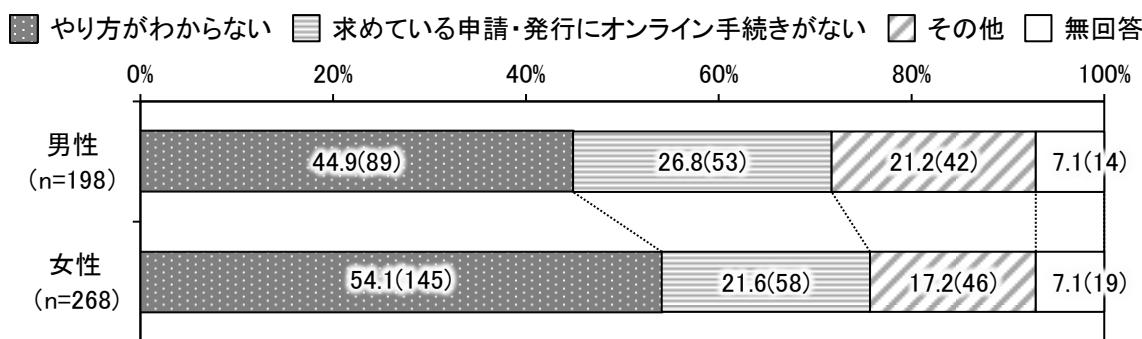
「やり方がわからない」の割合が50.5%で最も高くなっている。



この1年以内にコンビニでの証明書(住民票や所得証明など)発行を利用したことのない487人の内、利用したことがない理由は、「やり方がわからない」の割合が50.5%、「求めている申請・発行にオンライン手続きがない」の割合が23.4%、「その他」の割合が19.1%となっています。

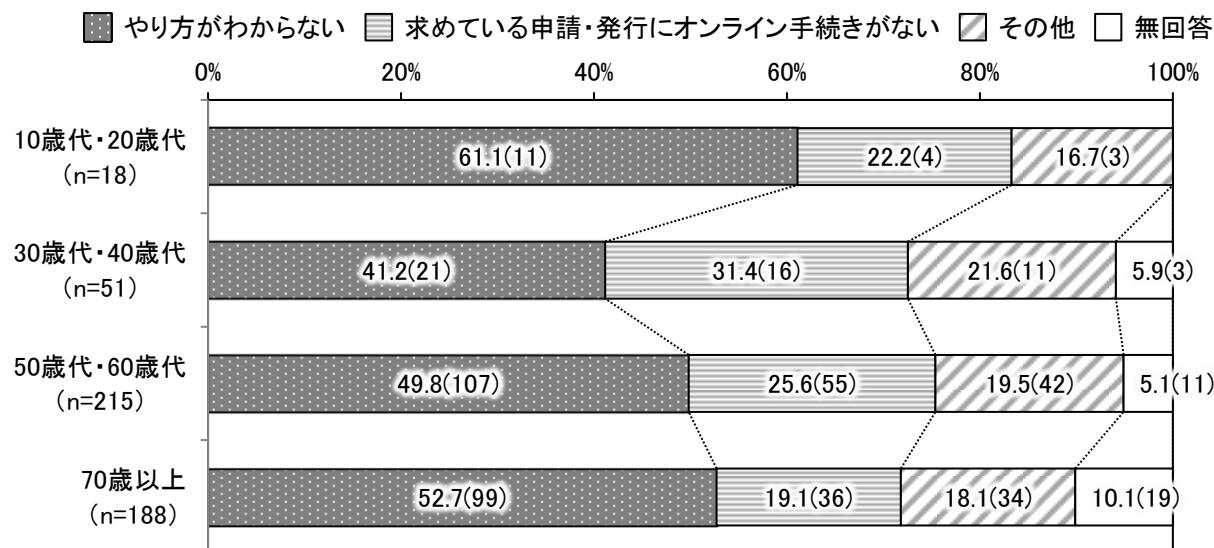
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「やり方がわからない」の割合は男性（44.9%）と比べると、女性（54.1%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、「やり方がわからない」の割合が最も高い年代は 10 歳代・20 歳代（61.1%）で、30 歳代・40 歳代で 41.2% と低くなるが、年代が上がるごとに割合が増加しています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

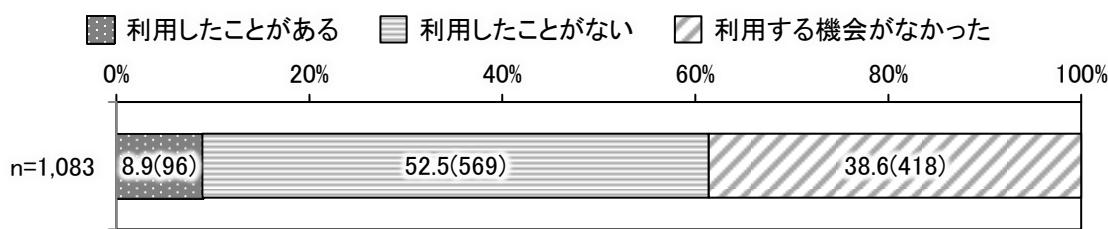
	回答者数 (件)	やり方 がわから ない	なに求 めんて らい る申 手請 続・ き発 が行	その 他	無 回 答
全 体	487 100.0	246 50.5	114 23.4	93 19.1	34 7.0
居住地区別	柳河	32 100.0	15 46.9	6 18.8	6 18.8
	城内	21 100.0	8 38.1	4 19.0	9 42.9
	矢留	45 100.0	27 60.0	10 22.2	8 17.8
	東宮永	29 100.0	12 41.4	13 44.8	4 13.8
	両開	29 100.0	18 62.1	3 10.3	4 13.8
	昭代第一	27 100.0	14 51.9	6 22.2	5 18.5
	昭代第二	28 100.0	13 46.4	8 28.6	4 14.3
	蒲池	47 100.0	32 68.1	8 17.0	5 10.6
	皿垣	13 100.0	10 76.9	2 15.4	1 7.7
	有明	11 100.0	6 54.5	4 36.4	1 9.1
	中島	24 100.0	11 45.8	5 20.8	7 29.2
	六合	20 100.0	8 40.0	8 40.0	3 15.0
	大和	21 100.0	13 61.9	1 4.8	6 28.6
	豊原	18 100.0	8 44.4	4 22.2	2 11.1
	藤吉	30 100.0	16 53.3	7 23.3	5 16.7
	矢ヶ部	10 100.0	1 10.0	3 30.0	5 50.0
	二ツ河	34 100.0	14 41.2	11 32.4	7 20.6
	垂見	19 100.0	6 31.6	7 36.8	4 21.1
	中山	4 100.0	2 50.0	1 25.0	- -
	わからない	9 100.0	4 44.4	- -	4 44.4
	無回答	16 100.0	8 50.0	3 18.8	3 18.8
					2 12.5

III. 調査結果

(8)この1年以内でオンライン申請などの利用の有無(問 32)

【Q32】直近1年間で市への手続きにおいて、オンライン申請などを利用したことがありますか。(○を1つだけ)

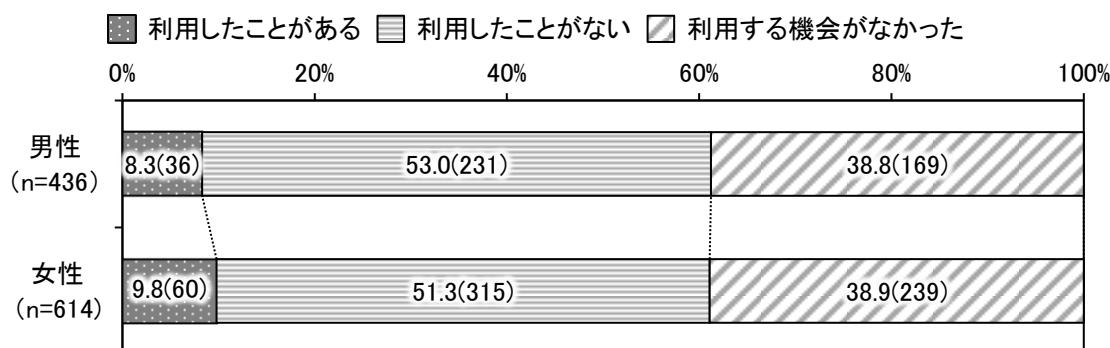
「利用したことがない」の割合が52.5%で最も高くなっている。



この1年以内にオンライン申請などを「利用したことのある」の割合が8.9%、「利用したことない」の割合が52.5%、「利用する機会がなかった」の割合が38.6%となっています。

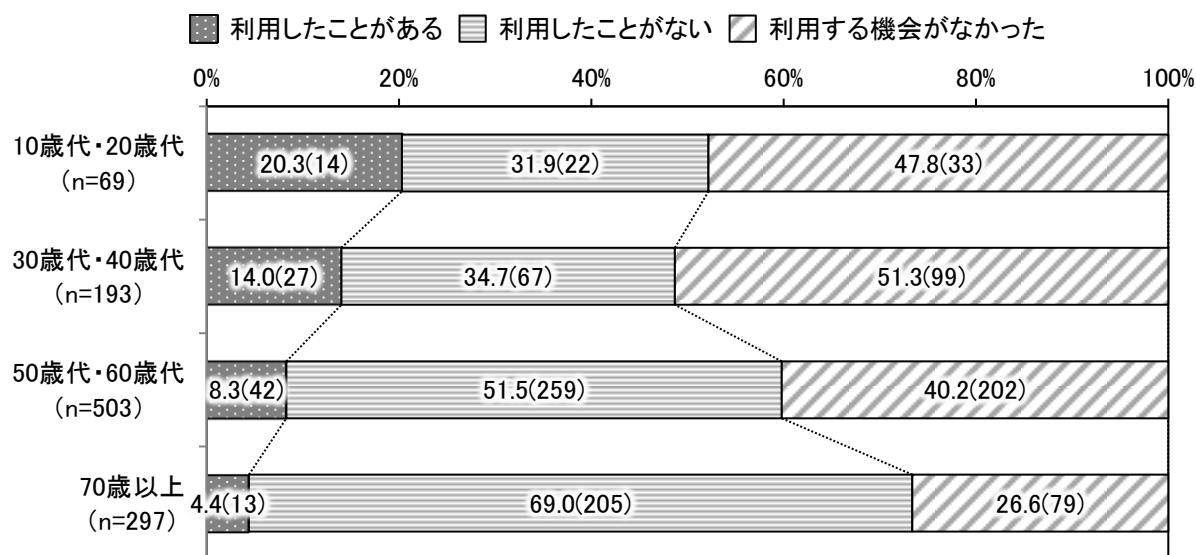
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「利用したことがない」の割合は男性（53.0%）、女性（51.3%）で大きな差は見られません。

【年齢別】



年齢別にみると、「利用したことがない」の割合が最も高い年代は70歳以上（69.0%）で、年代が下がるにつれ低くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

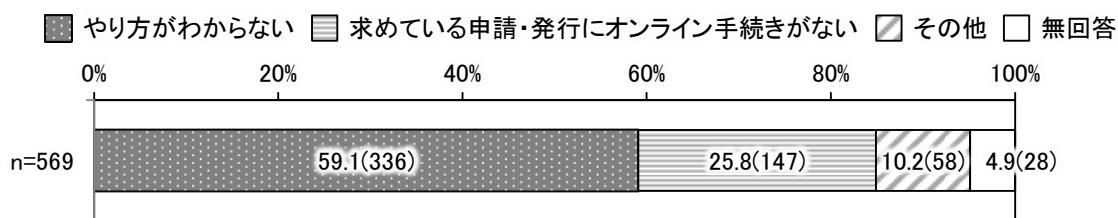
	回答者数 (件)	利用したことがある	利用したことがない	たた利用する機会がなかつ
全 体	1083 100.0	96 8.9	569 52.5	418 38.6
居住地区別	柳河	87 100.0	8 9.2	47 54.0
	城内	45 100.0	5 11.1	23 51.1
	矢留	79 100.0	10 12.7	41 51.9
	東宮永	67 100.0	6 9.0	33 49.3
	両開	58 100.0	6 10.3	33 56.9
	昭代第一	76 100.0	6 7.9	34 44.7
	昭代第二	61 100.0	4 6.6	34 55.7
	蒲池	83 100.0	3 3.6	54 65.1
	皿垣	28 100.0	1 3.6	18 64.3
	有明	21 100.0	1 4.8	15 71.4
	中島	57 100.0	4 7.0	25 43.9
	六合	34 100.0	3 8.8	20 58.8
	大和	44 100.0	5 11.4	25 56.8
	豊原	45 100.0	1 2.2	22 48.9
	藤吉	103 100.0	16 15.5	41 39.8
	矢ヶ部	18 100.0	1 5.6	9 50.0
	二ツ河	68 100.0	6 8.8	39 57.4
	垂見	53 100.0	5 9.4	20 37.7
	中山	15 100.0	2 13.3	8 53.3
	わからない	15 100.0	1 6.7	11 73.3
	無回答	26 100.0	2 7.7	17 65.4
				7 26.9

III. 調査結果

(9)利用したことがない理由(問 33)

【Q33】利用したことがない理由は何ですか。(○を 1 つだけ)

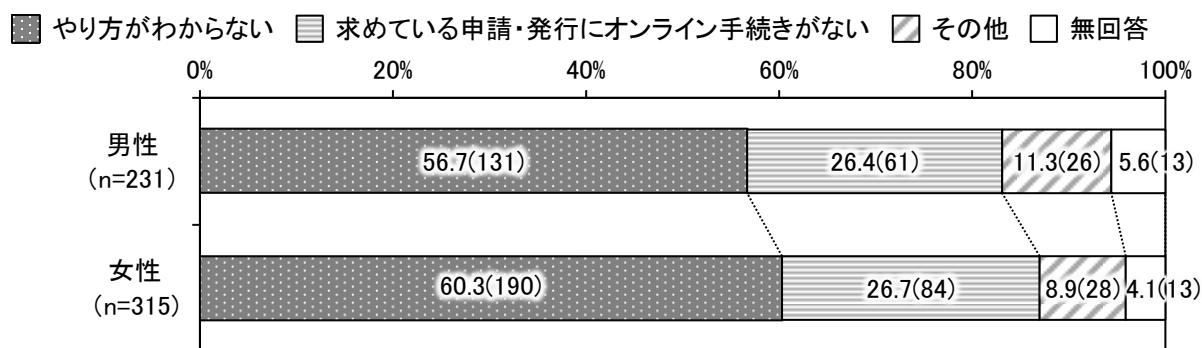
「やり方がわからない」の割合が 59.1%で最も高くなっている。



この 1 年以内にオンライン申請などを利用したことのない 569 人の内、「やり方がわからない」の割合が 59.1%、「求めている申請・発行にオンライン手続きがない」の割合が 25.8%、「その他」の割合が 10.2% となっています。

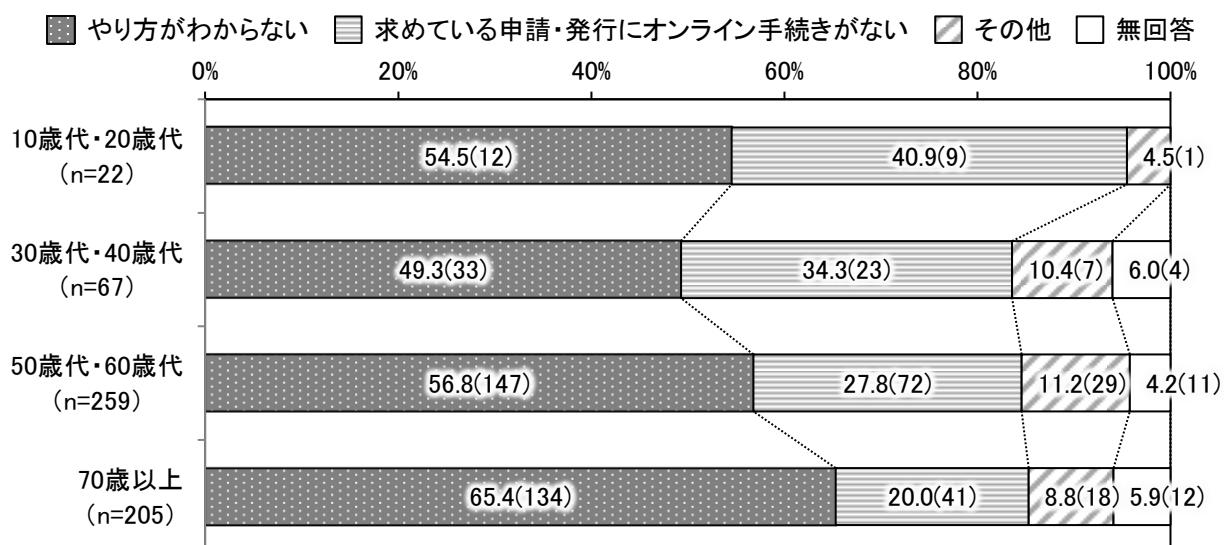
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「やり方がわからない」の割合は男性（56.7%）、女性（60.3%）で大きな差は見られません。

【年齢別】



年齢別にみると、「やり方がわからない」の割合が最も高い年代は70歳以上で（65.4%）で、各年代とも約半数と高い割合となっています。

【居住地区別】

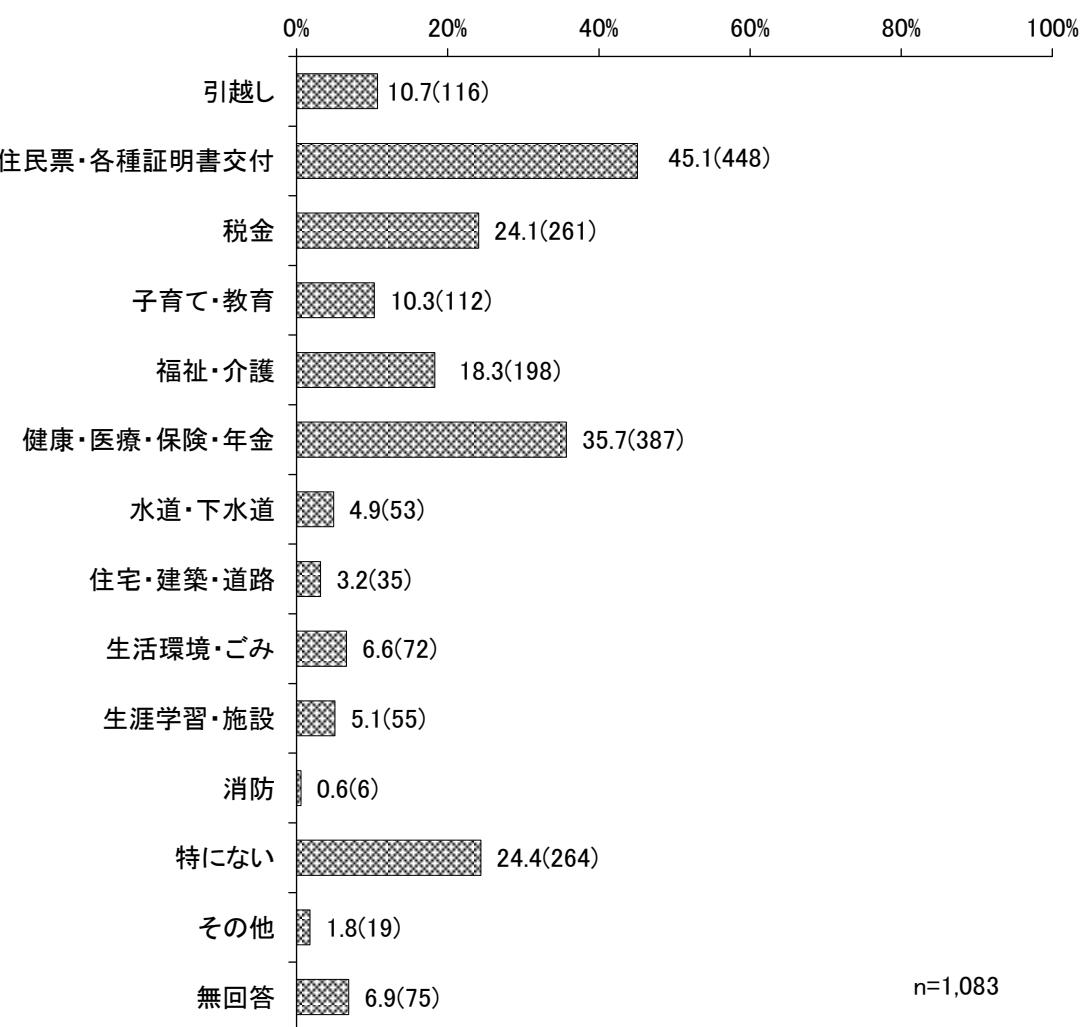
【上段：件数、下段：%】

	回答者数 (件)	やり方 がわから ない	なに求 めんて らい る 申 手請 続・ き発 が行	その 他	無 回答
全 体	569 100.0	336 59.1	147 25.8	58 10.2	28 4.9
居住地区別					
柳河	47 100.0	25 53.2	14 29.8	5 10.6	3 6.4
城内	23 100.0	11 47.8	8 34.8	4 17.4	-
矢留	41 100.0	30 73.2	7 17.1	4 9.8	-
東宮永	33 100.0	18 54.5	11 33.3	2 6.1	2 6.1
両開	33 100.0	24 72.7	4 12.1	3 9.1	2 6.1
昭代第一	34 100.0	22 64.7	7 20.6	2 5.9	3 8.8
昭代第二	34 100.0	23 67.6	9 26.5	2 5.9	-
蒲池	54 100.0	37 68.5	12 22.2	5 9.3	-
皿垣	18 100.0	13 72.2	3 16.7	2 11.1	-
有明	15 100.0	9 60.0	5 33.3	1 6.7	-
中島	25 100.0	13 52.0	8 32.0	4 16.0	-
六合	20 100.0	9 45.0	6 30.0	2 10.0	3 15.0
大和	25 100.0	16 64.0	6 24.0	3 12.0	-
豊原	22 100.0	13 59.1	7 31.8	- -	2 9.1
藤吉	41 100.0	23 56.1	11 26.8	4 9.8	3 7.3
矢ヶ部	9 100.0	3 33.3	4 44.4	1 11.1	1 11.1
二ツ河	39 100.0	16 41.0	14 35.9	4 10.3	5 12.8
垂見	20 100.0	12 60.0	5 25.0	1 5.0	2 10.0
中山	8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	-
わからない	11 100.0	6 54.5	1 9.1	4 36.4	-
無回答	17 100.0	9 52.9	2 11.8	4 23.5	2 11.8

(10)どの部門の手続き・申請がオンラインでできると便利と思うか(問34)

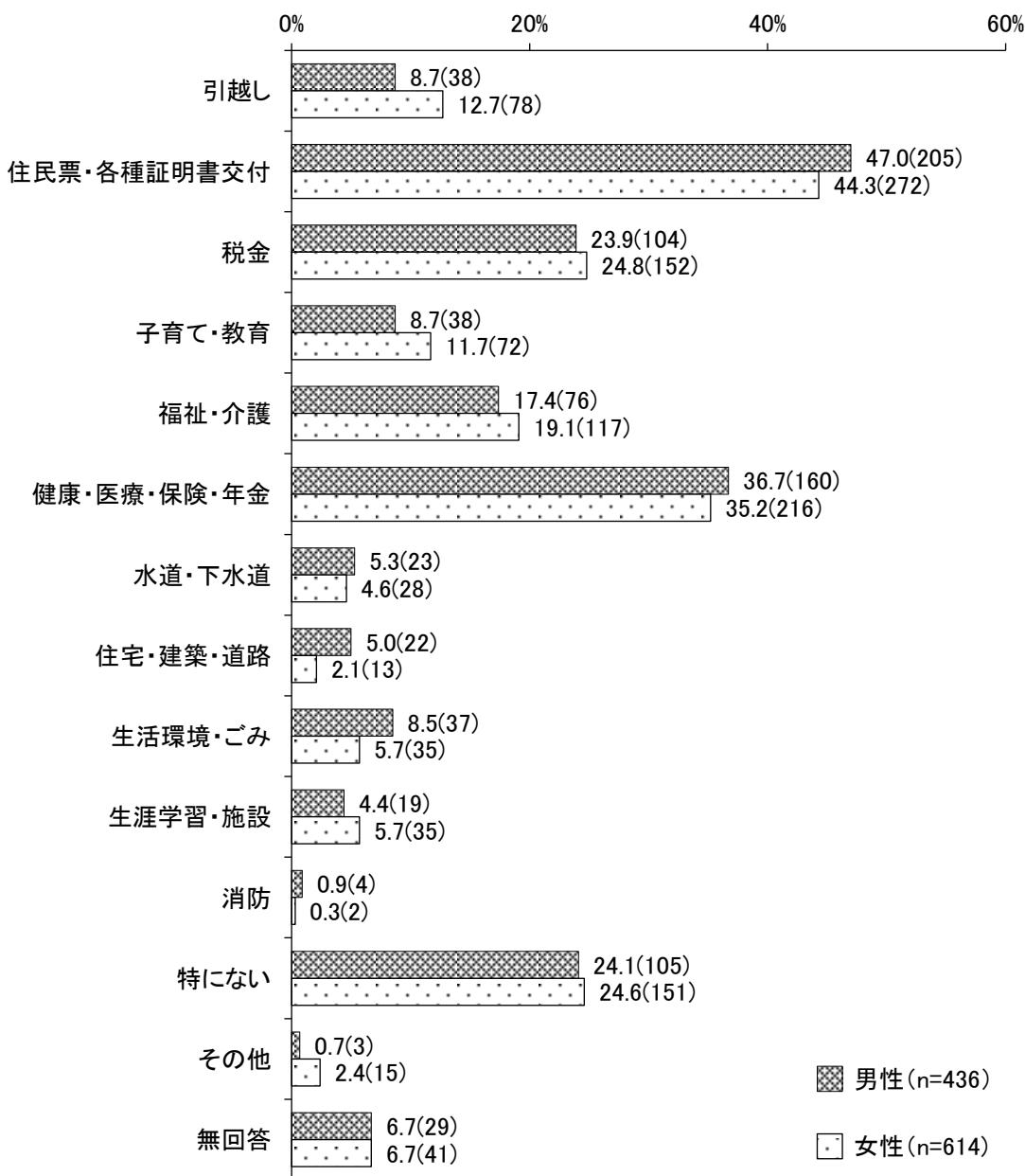
【Q34】本市では、市役所に行かなくても手続きや申請ができる「オンライン申請」の充実・拡大を進めています。どの部門の手続き・申請がオンラインで行えると便利だと思いますか。(○を3つまで)

「住民票・各種証明書交付」の割合が45.1%で最も高くなっている。



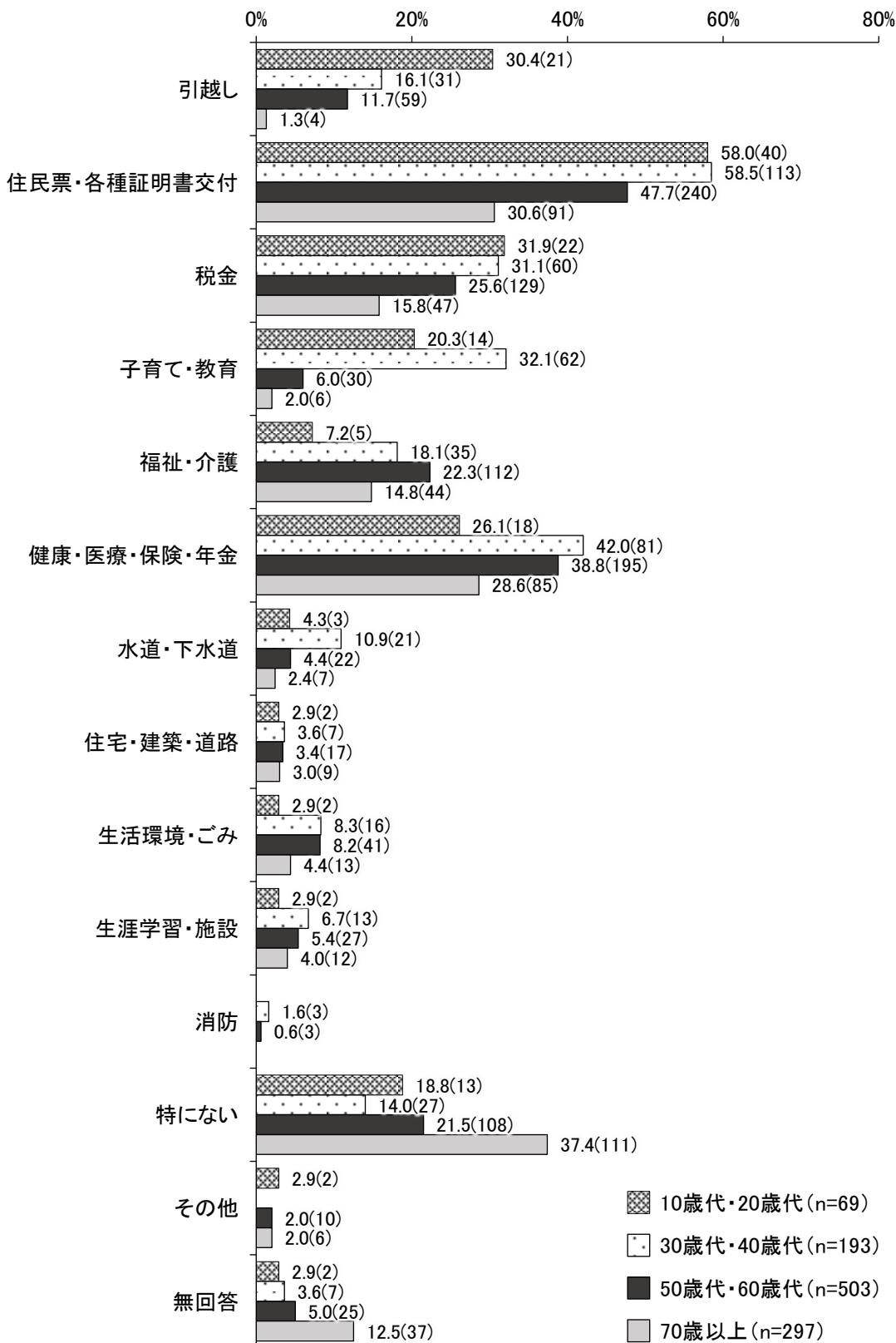
「引越し」の割合が10.7%、「住民票・各種証明書交付」の割合が45.1%、「税金」の割合が24.1%、「子育て・教育」の割合が10.3%、「福祉・介護」の割合が18.3%、「健康・医療・保険・年金」の割合が35.7%、「水道・下水道」の割合が4.9%、「住宅・建築・道路」の割合が3.2%、「生活環境・ごみ」の割合が6.6%、「生涯学習・施設」の割合が5.1%、「消防」の割合が0.6%、「特にない」の割合が24.4%、「その他」の割合が1.8%となっています。

【性別】



性別にみると、男性（47.0%）、女性（44.3%）ともに回答で割合が最も高い項目は「住民票・各種証明書交付」となっています。

【年齢別】



年齢別にみると、すべて年代の割合が最も高い項目は「住民票・各種証明書交付」となっています。年代が上がるとともに割合が高くなっている項目は「特にない」(24.4%) となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

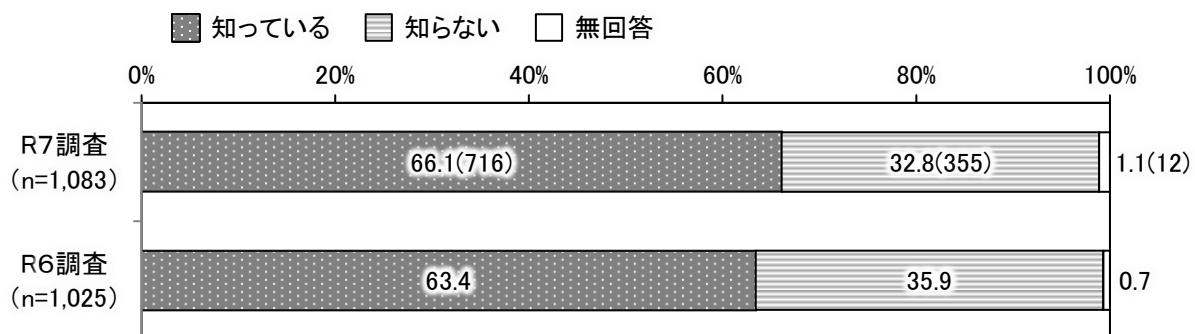
	回答者数 (件)	引つ 越し	付住 民票・ 各種 証明書 交	税 金	子育 て・ 教育	福祉 ・介護	金健 康・医 療・保 険・ 年	水道 ・下水道	住宅 ・建 築・ 道路	生活 環境 ・ご み	生涯 学習 ・施 設	消防	特 に ない	その 他	無 回答	
全 体	1083 100.0	116 10.7	488 45.1	261 24.1	112 10.3	198 18.3	387 35.7	53 4.9	35 3.2	72 6.6	55 5.1	6 0.6	264 24.4	19 1.8	75 6.9	
居住 地区 別	柳河	87 100.0	10 11.5	37 42.5	21 24.1	11 12.6	18 20.7	31 35.6	5 5.7	1 1.1	7 8.0	1 1.1	- -	25 28.7	- 5.7	
	城内	45 100.0	- -	21 46.7	13 28.9	4 8.9	4 8.9	13 28.9	2 4.4	1 2.2	2 4.4	3 6.7	- -	15 33.3	1 2.2	
	矢留	79 100.0	11 13.9	33 41.8	20 25.3	8 10.1	19 24.1	29 36.7	- -	3 3.8	8 10.1	7 8.9	- -	22 27.8	1 1.3	
	東宮永	67 100.0	7 10.4	32 47.8	18 26.9	9 13.4	14 20.9	27 40.3	4 6.0	3 4.5	8 11.9	- -	1 1.5	14 20.9	1 1.5	
	両開	58 100.0	9 15.5	25 43.1	7 12.1	3 5.2	17 29.3	25 43.1	3 5.2	1 1.7	1 1.7	3 5.2	1 1.7	18 31.0	- 6.9	
	昭代第一	76 100.0	7 9.2	30 39.5	18 23.7	10 13.2	15 19.7	24 31.6	3 3.9	4 5.3	7 9.2	1 1.3	- -	19 25.0	1 1.3	
	昭代第二	61 100.0	4 6.6	29 47.5	12 19.7	11 18.0	11 18.0	24 39.3	3 4.9	1 1.6	- -	6 9.8	1 1.6	15 24.6	1 1.6	
	蒲池	83 100.0	8 9.6	37 44.6	15 18.1	7 8.4	15 18.1	28 33.7	6 7.2	3 3.6	5 6.0	6 7.2	1 1.2	19 22.9	5 6.0	
	皿垣	28 100.0	2 7.1	13 46.4	4 14.3	4 14.3	4 14.3	11 39.3	- -	- -	1 3.6	1 3.6	- -	5 17.9	2 7.1	
	有明	21 100.0	1 4.8	11 52.4	8 38.1	- -	6 28.6	11 52.4	- -	1 4.8	1 4.8	1 4.8	- -	4 19.0	- -	
	中島	57 100.0	5 8.8	27 47.4	16 28.1	6 10.5	5 8.8	21 36.8	2 3.5	2 3.5	3 5.3	1 1.8	- -	17 29.8	- 7.0	
	六合	34 100.0	4 11.8	12 35.3	9 26.5	1 2.9	7 20.6	12 35.3	1 2.9	1 2.9	2 5.9	3 8.8	- -	8 23.5	2 5.9	
	大和	44 100.0	5 11.4	18 40.9	16 36.4	6 13.6	9 20.5	23 52.3	1 2.3	1 2.3	5 11.4	1 2.3	- -	5 11.4	- 13.6	
	豊原	45 100.0	6 13.3	22 48.9	12 26.7	3 6.7	5 11.1	18 40.0	2 4.4	- -	3 6.7	3 6.7	1 2.2	7 15.6	1 2.2	
	藤吉	103 100.0	12 11.7	52 50.5	24 23.3	11 10.7	19 18.4	32 31.1	12 11.7	6 5.8	10 9.7	6 5.8	- -	24 23.3	1 1.0	
	矢ヶ部	18 100.0	1 5.6	9 50.0	5 27.8	2 11.1	2 11.1	3 16.7	1 5.6	- -	1 5.6	- -	3 16.7	1 5.6	4 22.2	
	二ツ河	68 100.0	6 8.8	30 44.1	21 30.9	4 5.9	11 16.2	20 29.4	2 2.9	4 5.9	4 5.9	- -	21 30.9	- -	7 10.3	
	垂見	53 100.0	7 13.2	25 47.2	13 24.5	8 15.1	13 24.5	16 30.2	3 5.7	2 3.8	4 7.5	8 15.1	1 1.9	11 20.8	- -	2 3.8
	中山	15 100.0	2 13.3	11 73.3	1 6.7	3 20.0	2 13.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	- -	2 13.3	1 6.7	-
	わからない	15 100.0	5 33.3	7 46.7	2 13.3	1 6.7	- -	3 20.0	1 6.7	- -	- -	- -	- -	5 33.3	- -	2 13.3
	無回答	26 100.0	4 15.4	7 26.9	6 23.1	- -	2 7.7	11 42.3	1 3.8	- -	- -	2 7.7	- -	5 19.2	1 3.8	5 19.2

7. 公衆衛生について

(1)市のがん検診の認知度(問 35)

【Q35】市のがん検診は【男性40歳以上】、【女性20歳以上】であれば受けることができることを知っていますか。(○を1つだけ)

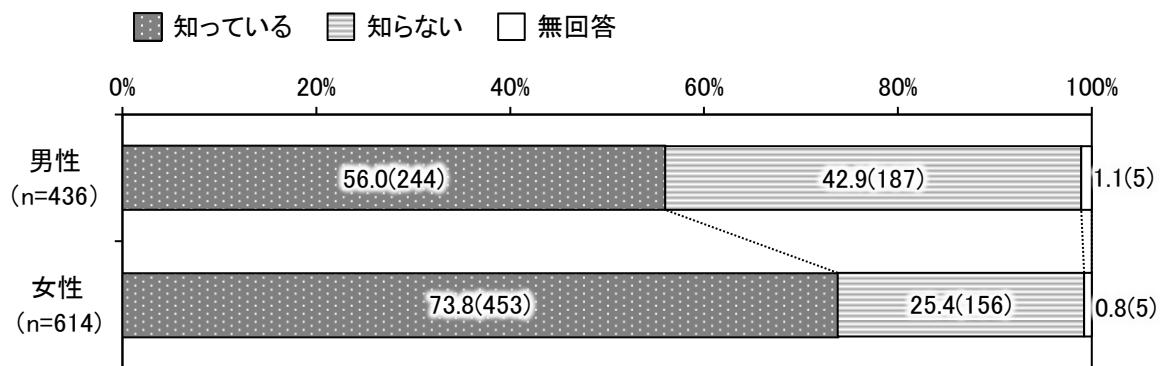
「知っている」の割合が66.1%で最も高くなっています。



「知っている」の割合が66.1%、「知らない」の割合が32.8%となっています。令和6年度の調査と比較すると、「知っている」の割合が2.7ポイント上がっています。

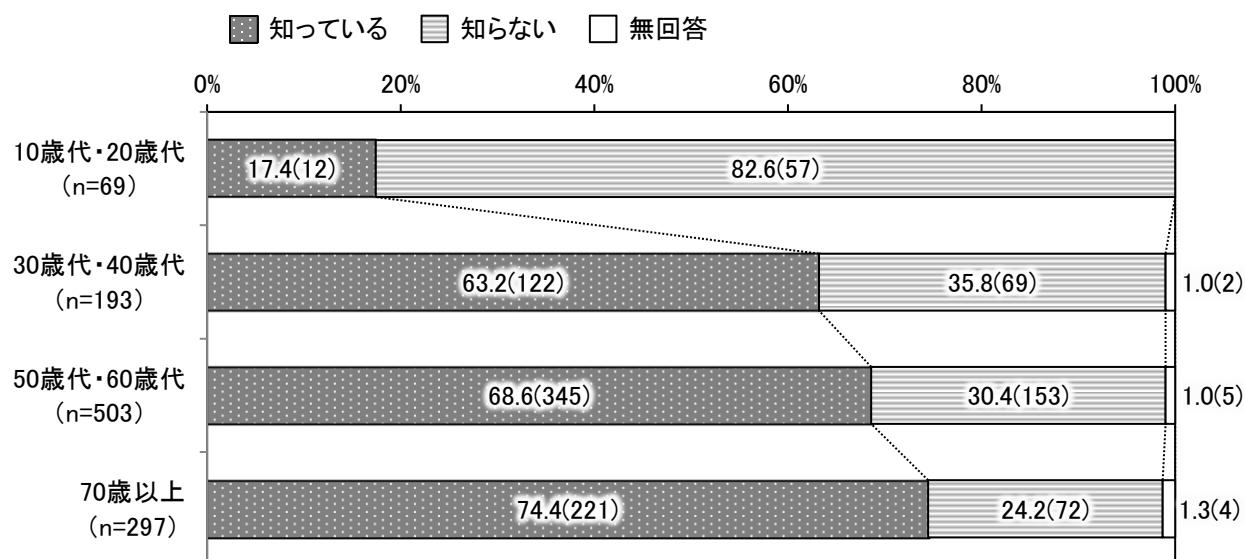
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「知っている」の割合は、男性は 56.0%、女性は 73.8%で、ともに半数をこえています。

【年齢別】



年齢にみると、「知っている」の割合は、70 歳以上が 74.4% と最も高く、年代が下がるにつれて低くなっています。

最も低い 10 歳代・20 歳代は 17.4% で、70 歳以上の 74.4% と比較すると、57.0 ポイントの差が生じています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

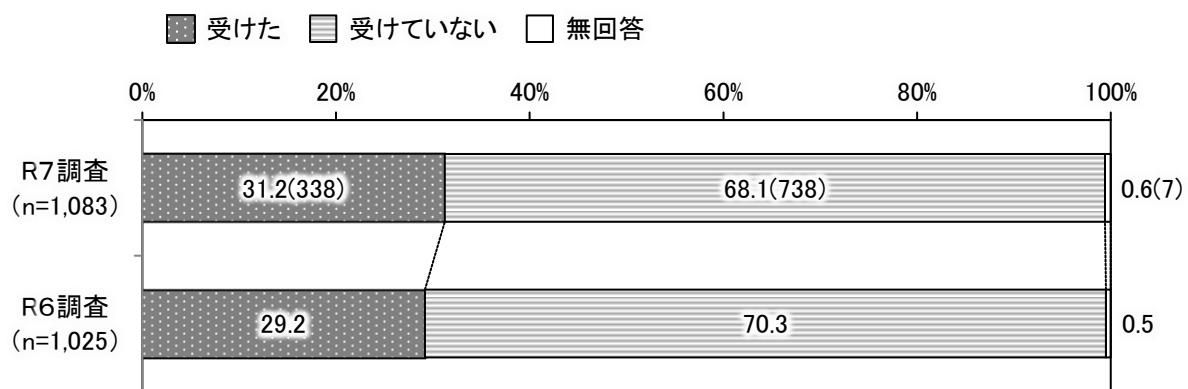
	回答者数 (件)	知つ て いる	知 ら ない	無 回 答
全 体	1083 100.0	716 66.1	355 32.8	12 1.1
居住地区別				
柳河	87 100.0	56 64.4	29 33.3	2 2.3
城内	45 100.0	30 66.7	15 33.3	-
矢留	79 100.0	54 68.4	25 31.6	-
東宮永	67 100.0	39 58.2	28 41.8	-
両開	58 100.0	40 69.0	16 27.6	2 3.4
昭代第一	76 100.0	49 64.5	27 35.5	-
昭代第二	61 100.0	44 72.1	16 26.2	1 1.6
蒲池	83 100.0	58 69.9	25 30.1	-
皿垣	28 100.0	15 53.6	12 42.9	1 3.6
有明	21 100.0	16 76.2	4 19.0	1 4.8
中島	57 100.0	37 64.9	20 35.1	-
六合	34 100.0	23 67.6	10 29.4	1 2.9
大和	44 100.0	32 72.7	12 27.3	-
豊原	45 100.0	36 80.0	9 20.0	-
藤吉	103 100.0	63 61.2	39 37.9	1 1.0
矢ヶ部	18 100.0	12 66.7	6 33.3	-
二ツ河	68 100.0	41 60.3	26 38.2	1 1.5
垂見	53 100.0	34 64.2	19 35.8	-
中山	15 100.0	11 73.3	4 26.7	-
わからない	15 100.0	7 46.7	8 53.3	-
無回答	26 100.0	19 73.1	5 19.2	2 7.7

III. 調査結果

(2)この1年以内のがん検診の受診の有無(問36)

【Q36】この1年以内にがん検診を受けましたか。(○は1つだけ)

「受けていない」の割合が68.1%で半数を超えていいます。

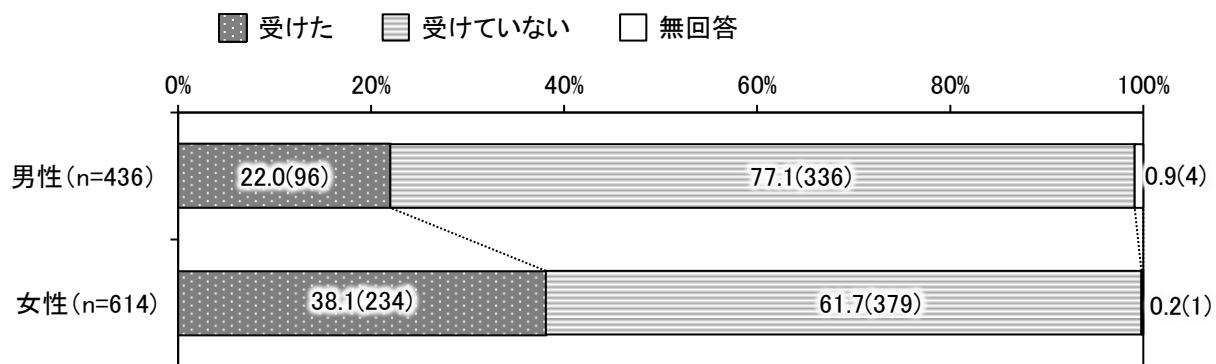


「受けた」の割合が31.2%、「受けていない」の割合が68.1%となっています。

令和6年度の調査と比較すると、「受けた」の割合が若干増加しています。

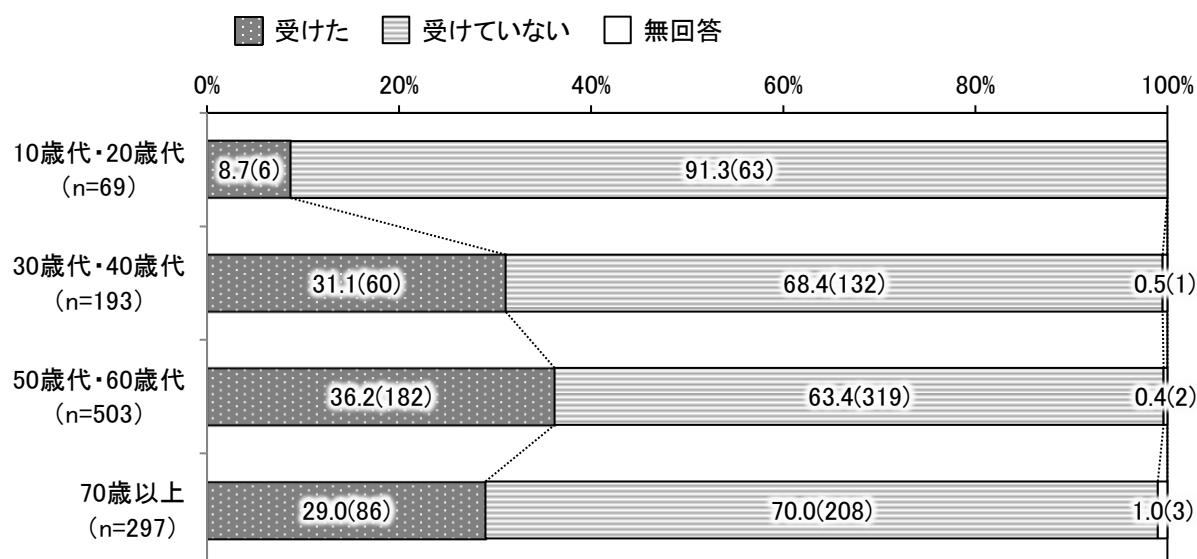
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、「受けた」の割合は、男性（22.0%）と比較すると女性（38.1%）の方が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、「受けた」の割合が最も高いのは 50 歳代・60 歳代（36.2%）で、最も低いのは 10 歳代・20 歳代（8.7%）となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

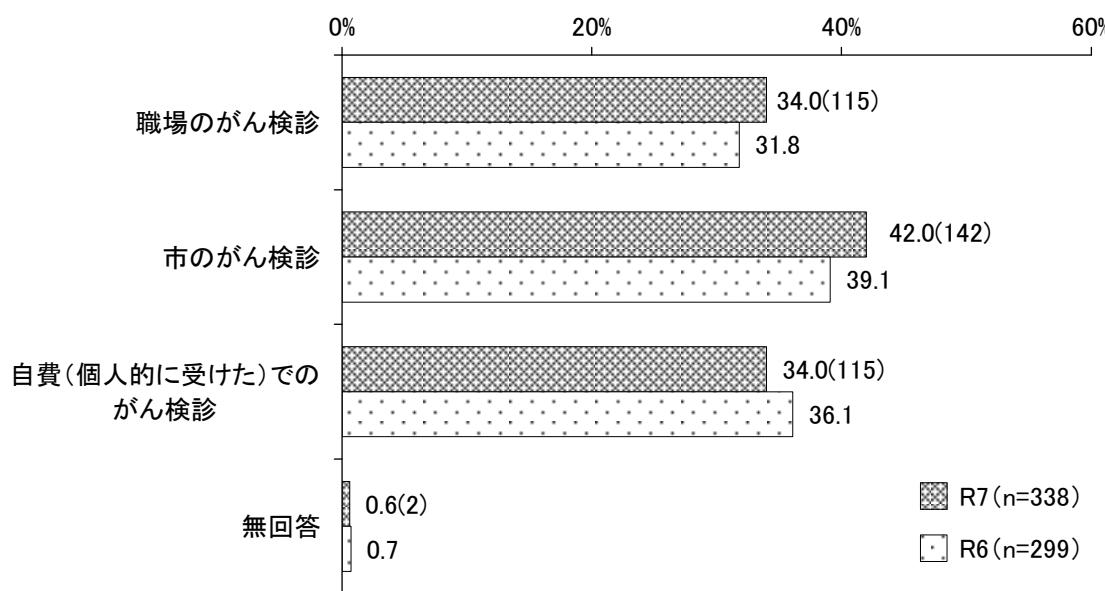
	回答者数 (件)	受けた	受けてい ない	無回答
全 体	1083 100.0	338 31.2	738 68.1	7 0.6
居住地区別				
柳河	87 100.0	25 28.7	61 70.1	1 1.1
城内	45 100.0	15 33.3	30 66.7	-
矢留	79 100.0	30 38.0	49 62.0	-
東宮永	67 100.0	18 26.9	49 73.1	-
両開	58 100.0	18 31.0	40 69.0	-
昭代第一	76 100.0	30 39.5	46 60.5	-
昭代第二	61 100.0	20 32.8	40 65.6	1 1.6
蒲池	83 100.0	20 24.1	63 75.9	-
皿垣	28 100.0	9 32.1	19 67.9	-
有明	21 100.0	7 33.3	14 66.7	-
中島	57 100.0	18 31.6	39 68.4	-
六合	34 100.0	13 38.2	20 58.8	1 2.9
大和	44 100.0	13 29.5	31 70.5	-
豊原	45 100.0	18 40.0	27 60.0	-
藤吉	103 100.0	39 37.9	63 61.2	1 1.0
矢ヶ部	18 100.0	4 22.2	14 77.8	-
二ツ河	68 100.0	16 23.5	51 75.0	1 1.5
垂見	53 100.0	15 28.3	38 71.7	-
中山	15 100.0	1 6.7	14 93.3	-
わからない	15 100.0	4 26.7	11 73.3	-
無回答	26 100.0	5 19.2	19 73.1	2 7.7

III. 調査結果

(3)がん検診を受けた方法(問37)

【Q37】がん検診を受けた方法を教えてください。(○はいくつでも)

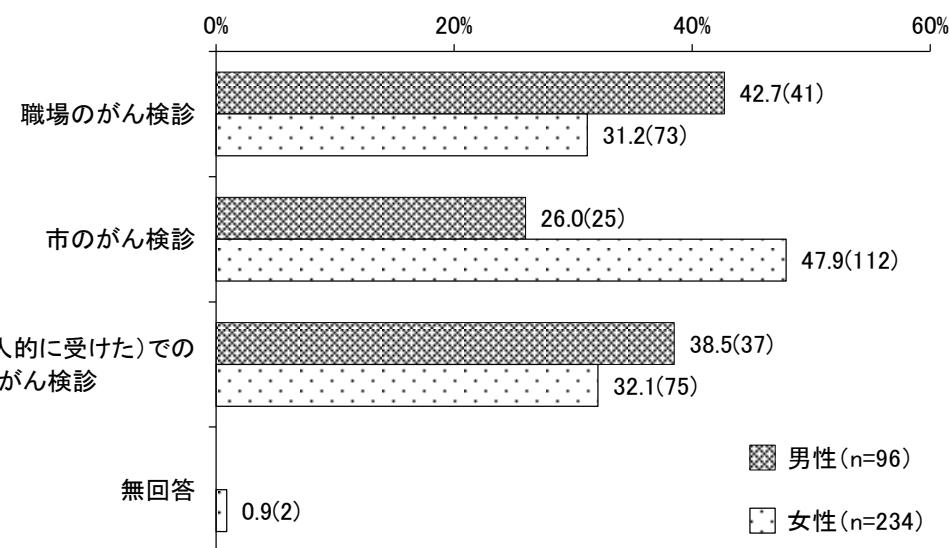
「市のがん検診」の割合が42.0%と最も高くなっている。



この1年以内にがん検診を受けたと回答した338人の内、「職場のがん検診」の割合が34.0%、「市のがん検診」の割合が42.0%、「自費（個人的に受けた）でのがん検診」の割合が34.0%となっています。

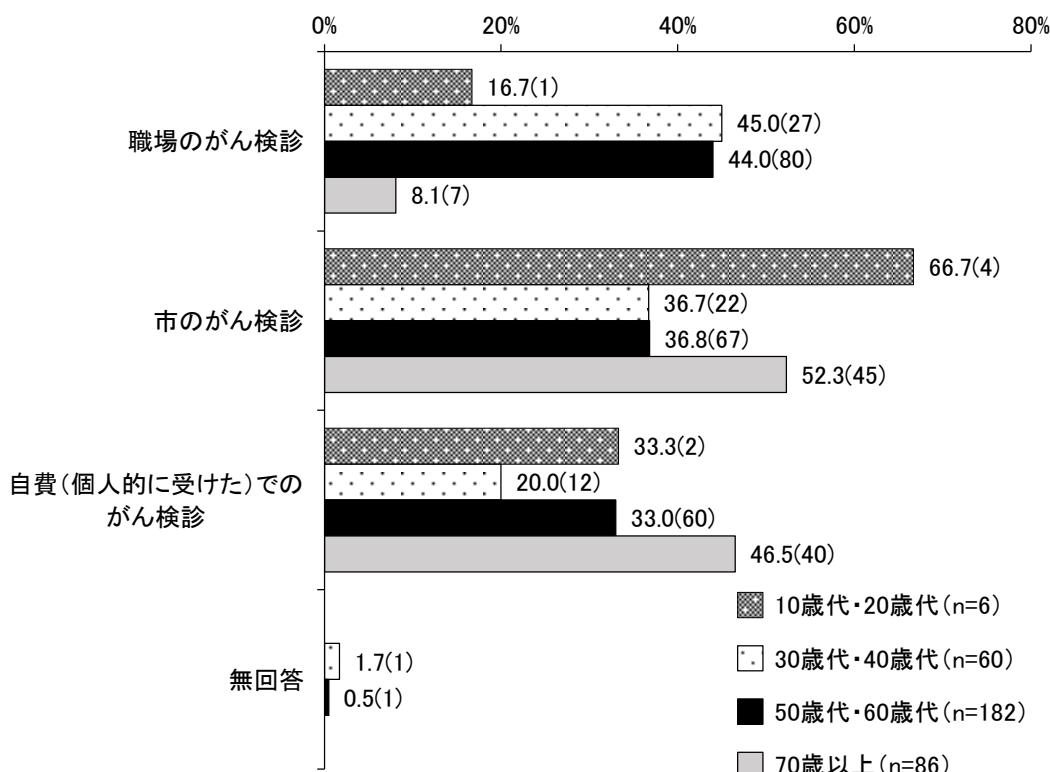
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、回答割合が最も高い項目は、男性は「職場のがん検診」(42.7%)、女性は「市のがん検診」(47.9%) となっています

【年齢別】



年齢別にみると、10歳代・20歳代において割合が高い項目は「市のがん検診」(66.7%)、30歳代・40歳代は「職場のがん検診」(45.0%)、50歳代・60歳代は「職場のがん検診」(44.0%)、70歳以上は「市のがん検診」(52.3%) となっています。

【居住地区別】

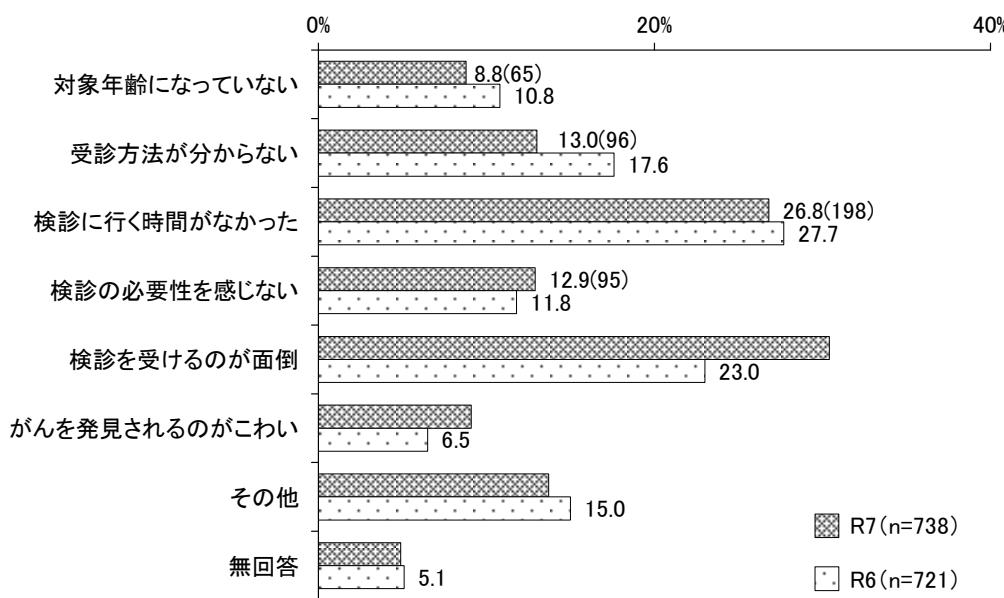
【上段：件数、下段：%】

居住地区別	回答者数 (件)	職場の がん検診	市の がん検診	自費 で個 人の がん的 に検 診受け	無 回答
全 体	338 100.0	115 34.0	142 42.0	115 34.0	2 0.6
柳河	25 100.0	8 32.0	13 52.0	6 24.0	- -
城内	15 100.0	3 20.0	6 40.0	6 40.0	- -
矢留	30 100.0	9 30.0	12 40.0	12 40.0	- -
東宮永	18 100.0	6 33.3	5 27.8	7 38.9	- -
両開	18 100.0	5 27.8	7 38.9	11 61.1	- -
昭代第一	30 100.0	8 26.7	15 50.0	9 30.0	- -
昭代第二	20 100.0	10 50.0	7 35.0	6 30.0	- -
蒲池	20 100.0	7 35.0	7 35.0	9 45.0	- -
皿垣	9 100.0	3 33.3	3 33.3	3 33.3	- -
有明	7 100.0	3 42.9	1 14.3	3 42.9	- -
中島	18 100.0	5 27.8	9 50.0	6 33.3	1 5.6
六合	13 100.0	4 30.8	7 53.8	4 30.8	- -
大和	13 100.0	4 30.8	5 38.5	5 38.5	- -
豊原	18 100.0	8 44.4	9 50.0	6 33.3	- -
藤吉	39 100.0	18 46.2	14 35.9	11 28.2	- -
矢ヶ部	4 100.0	- -	4 100.0	- -	- -
二ツ河	16 100.0	3 18.8	6 37.5	8 50.0	- -
垂見	15 100.0	8 53.3	5 33.3	2 13.3	1 6.7
中山	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
わからない	4 100.0	1 25.0	3 75.0	- -	- -
無回答	5 100.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	- -

(4)がん検診を受けない理由(問38)

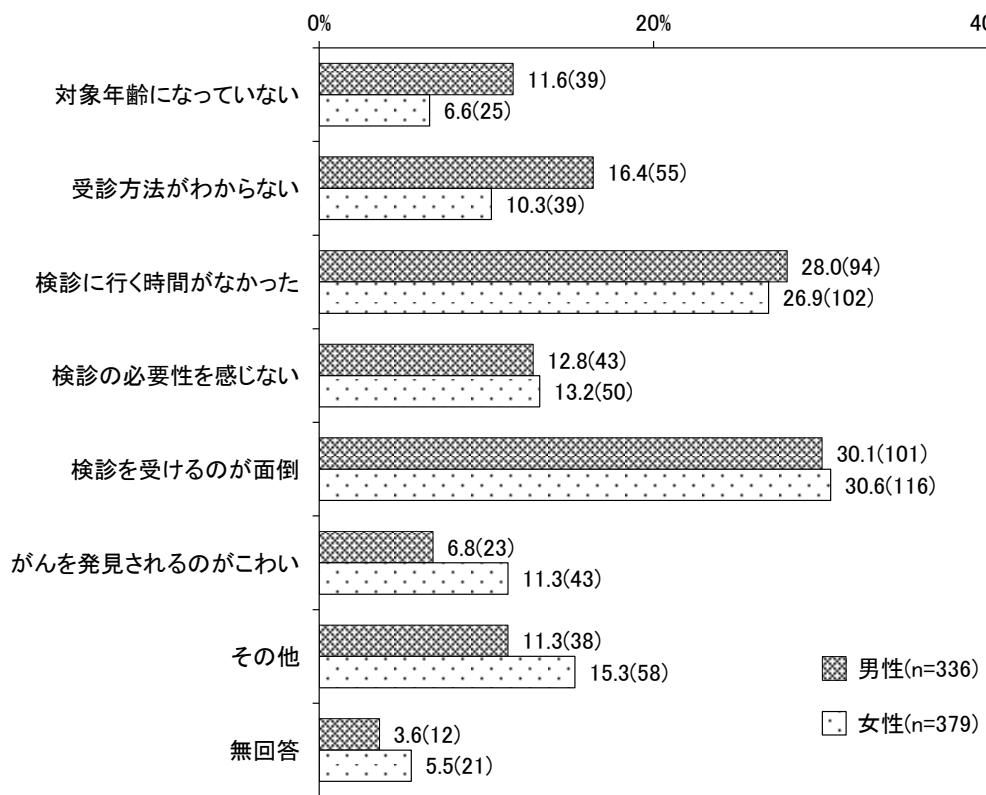
【Q38】がん検診を受けていない理由を教えてください。(○はいくつでも)

「検診を受けるのが面倒」の割合が30.4%と最も高くなっている。



この1年以内にがん検診を受けていないと回答した738人の内、「対象年齢になっていない」の割合が8.8%、「受診方法が分からない」の割合が13.0%、「検診に行く時間がなかった」の割合が26.8%、「検診の必要性を感じない」の割合が12.9%、「検診を受けるのが面倒」の割合が30.4%、「がんを発見されるのがこわい」の割合が9.1%、「その他」の割合が13.7%となっています。

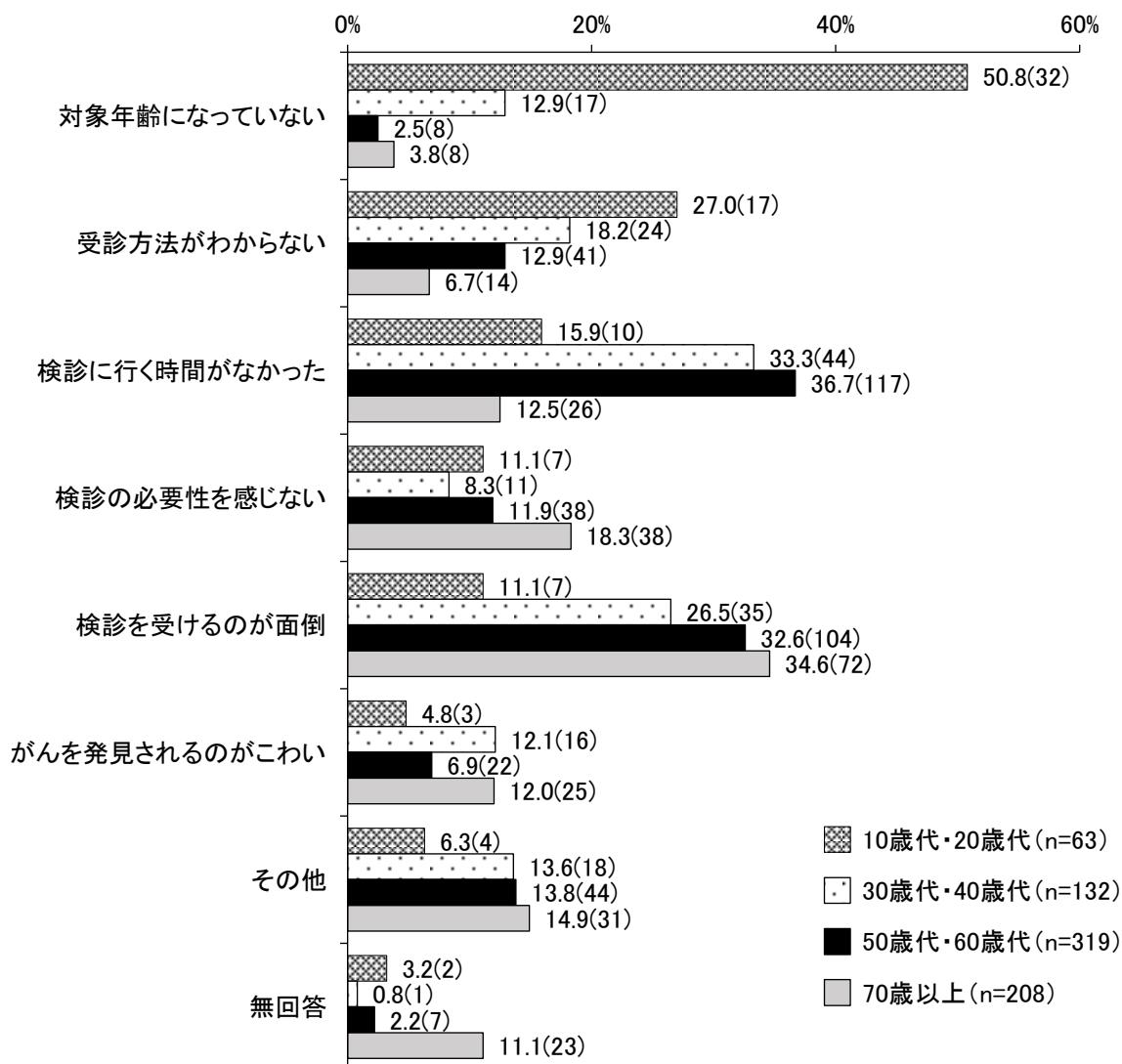
【性別】



性別にみると、受診しない理由は、男性（30.1%）、女性（30.6%）ともに「検診を受けるのが面倒」が最も高くなっています。

III. 調査結果

【年齢別】



年齢別にみると、受診しない理由の最も高い割合は、10歳代・20歳代は「対象年齢になつてない」(50.8%)、30歳代・40歳代は「検診に行く時間がなかった」(33.3%)、50歳代・60歳代は「検診に行く時間がなかった」(36.7%)、70歳以上は「検診を受けるのが面倒」(34.6%)となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

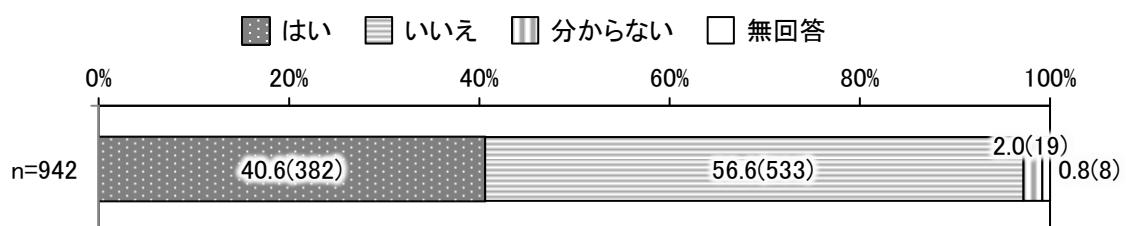
	回答者数（件）	い対象年齢になつていな	受診方法がわからな	か検診に行く時間がな	い検診の必要性を感じな	検診を受けるのが面倒	こがんを発見されるのが	その他	無回答
全 体	738 100.0	65 8.8	96 13.0	198 26.8	95 12.9	224 30.4	67 9.1	101 13.7	36 4.9
居住地区別									
柳河	61 100.0	8 13.1	8 13.1	17 27.9	6 9.8	22 36.1	2 3.3	7 11.5	1 1.6
城内	30 100.0	2 6.7	8 26.7	7 23.3	2 6.7	11 36.7	- -	6 20.0	2 6.7
矢留	49 100.0	3 6.1	5 10.2	10 20.4	9 18.4	14 28.6	6 12.2	6 12.2	3 6.1
東宮永	49 100.0	4 8.2	8 16.3	14 28.6	8 16.3	11 22.4	4 8.2	7 14.3	5 10.2
両開	40 100.0	2 5.0	4 10.0	12 30.0	3 7.5	15 37.5	3 7.5	5 12.5	3 7.5
昭代第一	46 100.0	6 13.0	6 13.0	12 26.1	5 10.9	11 23.9	6 13.0	7 15.2	1 2.2
昭代第二	40 100.0	6 15.0	7 17.5	11 27.5	5 12.5	12 30.0	3 7.5	7 17.5	- -
蒲池	63 100.0	4 6.3	7 11.1	21 33.3	5 7.9	24 38.1	11 17.5	6 9.5	2 3.2
皿垣	19 100.0	4 21.1	2 10.5	5 26.3	- -	5 26.3	2 10.5	3 15.8	2 10.5
有明	14 100.0	2 14.3	- -	2 14.3	4 28.6	3 21.4	- -	3 21.4	2 14.3
中島	39 100.0	3 7.7	6 15.4	14 35.9	6 15.4	9 23.1	6 15.4	3 7.7	3 7.7
六合	20 100.0	1 5.0	2 10.0	7 35.0	4 20.0	6 30.0	- -	2 10.0	- -
大和	31 100.0	1 3.2	4 12.9	8 25.8	4 12.9	12 38.7	2 6.5	5 16.1	1 3.2
豊原	27 100.0	1 3.7	- -	8 29.6	4 14.8	8 29.6	2 7.4	5 18.5	2 7.4
藤吉	63 100.0	8 12.7	11 17.5	16 25.4	8 12.7	18 28.6	8 12.7	8 12.7	2 3.2
矢ヶ部	14 100.0	2 14.3	1 7.1	3 21.4	2 14.3	5 35.7	1 7.1	1 7.1	- -
二ツ河	51 100.0	2 3.9	8 15.7	11 21.6	11 21.6	13 25.5	5 9.8	4 7.8	3 5.9
垂見	38 100.0	4 10.5	4 10.5	11 28.9	5 13.2	13 34.2	3 7.9	6 15.8	- -
中山	14 100.0	- -	2 14.3	5 35.7	1 7.1	4 28.6	2 14.3	3 21.4	- -
わからない	11 100.0	1 9.1	3 27.3	2 18.2	1 9.1	3 27.3	- -	3 27.3	- -
無回答	19 100.0	1 5.3	- -	2 10.5	2 10.5	5 26.3	1 5.3	4 21.1	4 21.1

III. 調査結果

(5)特定検診の受診の有無(問 39)

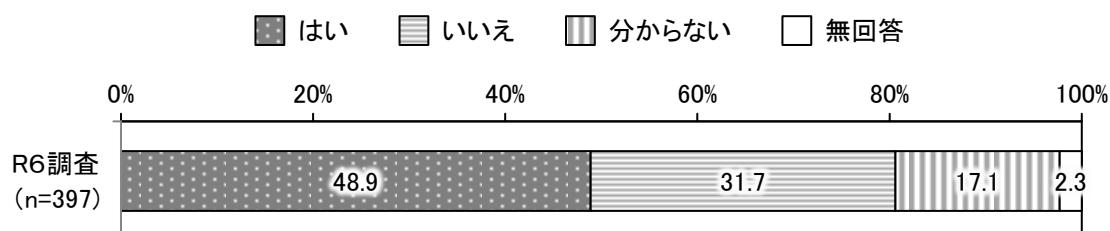
【Q39】昨年度、特定健診を受診しましたか。(○を1つだけ)

「はい」の割合が40.6%で、「いいえ」の割合(56.6%)よりも16.0%低くなっている。



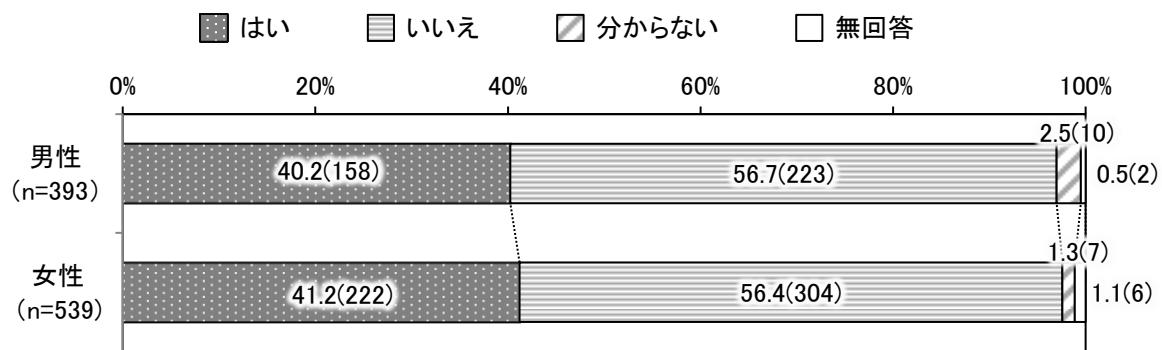
40歳以上の942人の内、「はい」の割合が40.6%、「いいえ」の割合が56.6%となっています。

※参考：R6調査) 今年度、特定健診を受診しますか。(○を1つだけ)



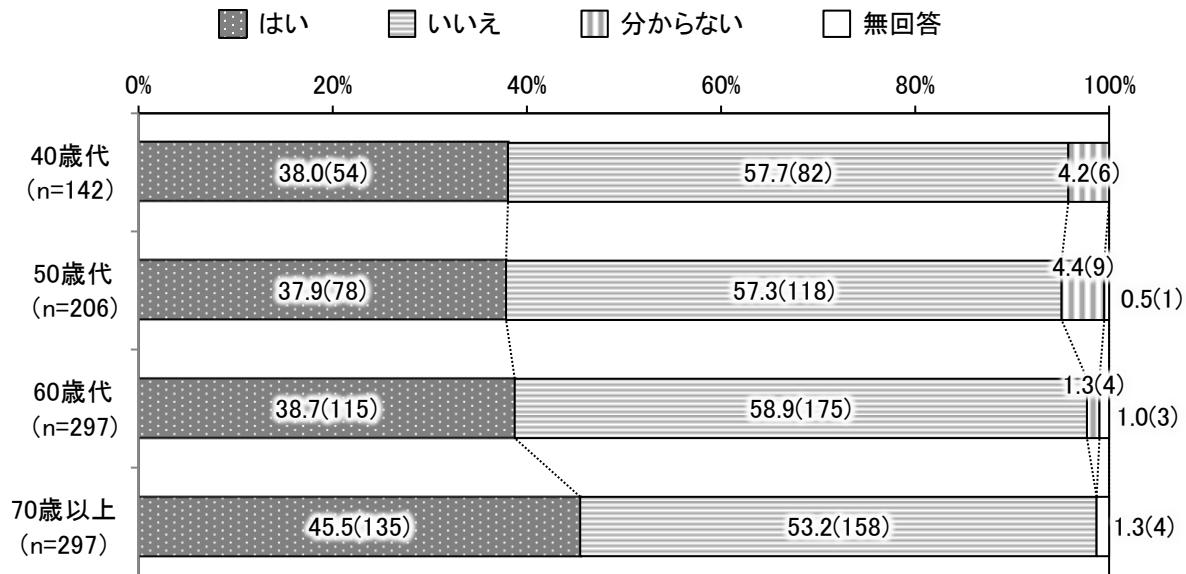
III. 調査結果

【性別】



性別にみると、男性（56.7%）、女性（56.4%）ともに「いいえ」の割合が高く、いずれも半数を超えています。

【年齢別】



年齢別にみると、どの年代も「いいえ」の割合が半数を超えていました。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

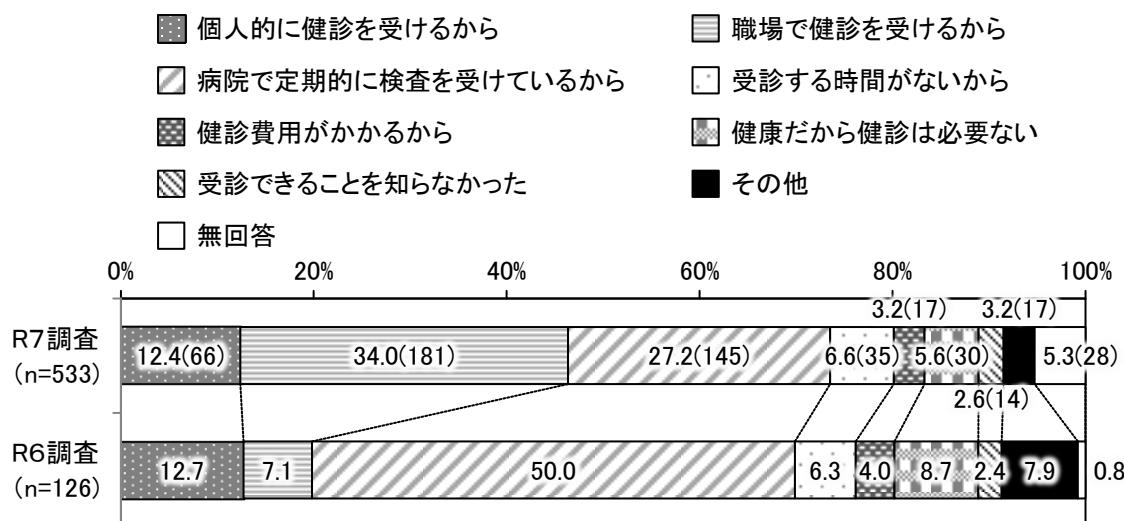
	回答者数 (件)	は い	い い え	分 か ら な い	無 回 答
全 体	942 100.0	382 40.6	533 56.6	19 2.0	8 0.8
居住地区別					
柳河	74 100.0	28 37.8	43 58.1	3 4.1	- -
城内	44 100.0	19 43.2	25 56.8	- -	- -
矢留	70 100.0	31 44.3	39 55.7	- -	- -
東宮永	58 100.0	24 41.4	32 55.2	1 1.7	1 1.7
両開	51 100.0	18 35.3	32 62.7	1 2.0	- -
昭代第一	63 100.0	27 42.9	33 52.4	2 3.2	1 1.6
昭代第二	55 100.0	16 29.1	39 70.9	- -	- -
蒲池	78 100.0	23 29.5	52 66.7	2 2.6	1 1.3
皿垣	24 100.0	9 37.5	13 54.2	1 4.2	1 4.2
有明	19 100.0	6 31.6	12 63.2	- -	1 5.3
中島	49 100.0	29 59.2	18 36.7	2 4.1	- -
六合	33 100.0	12 36.4	21 63.6	- -	- -
大和	41 100.0	23 56.1	17 41.5	1 2.4	- -
豊原	42 100.0	21 50.0	21 50.0	- -	- -
藤吉	89 100.0	41 46.1	46 51.7	1 1.1	1 1.1
矢ヶ部	14 100.0	7 50.0	7 50.0	- -	- -
二ツ河	62 100.0	24 38.7	37 59.7	- -	1 1.6
垂見	46 100.0	13 28.3	30 65.2	2 4.3	1 2.2
中山	13 100.0	6 46.2	6 46.2	1 7.7	- -
わからない	13 100.0	4 30.8	7 53.8	2 15.4	- -
無回答	4 100.0	1 25.0	3 75.0	- -	- -

III. 調査結果

(6)特定検診を受診しない理由(問40)

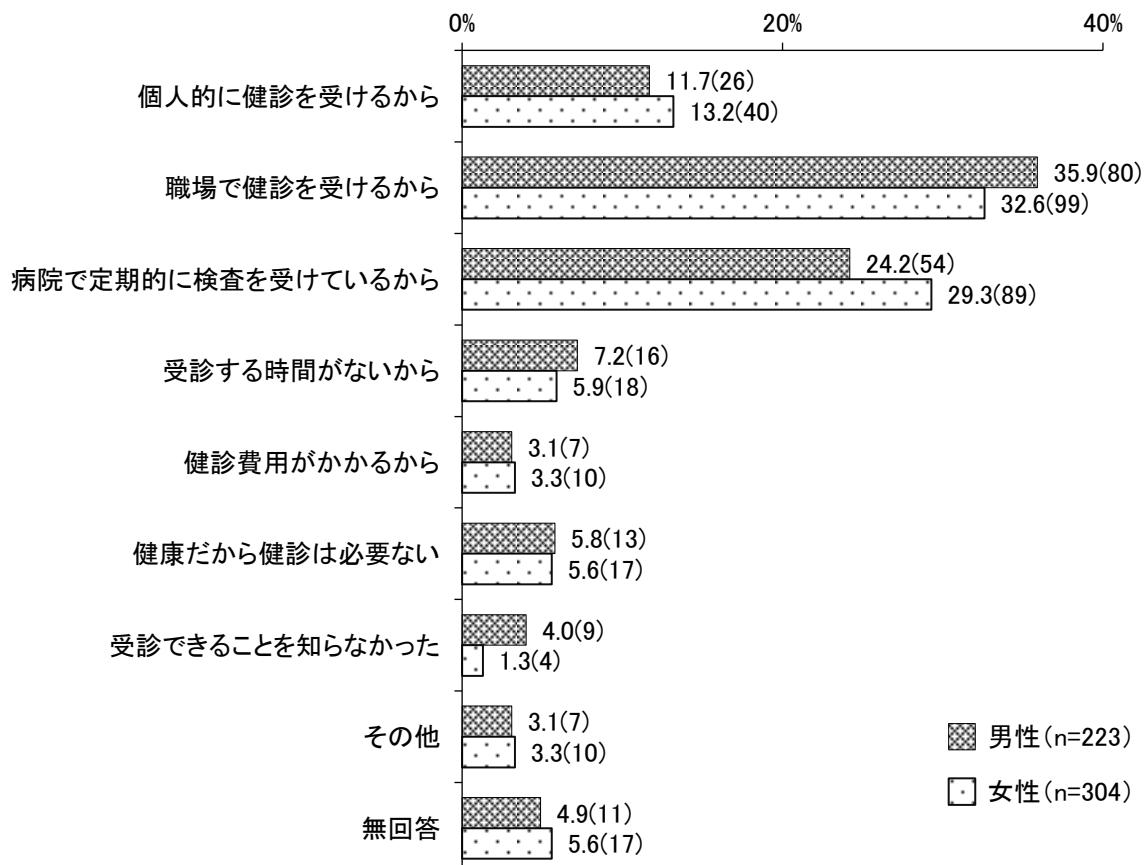
【Q40】特定健診を受診しなかった理由は何ですか。(○を1つだけ)

「職場で検診を受けるから」の割合が34.0%で最も高くなっている。



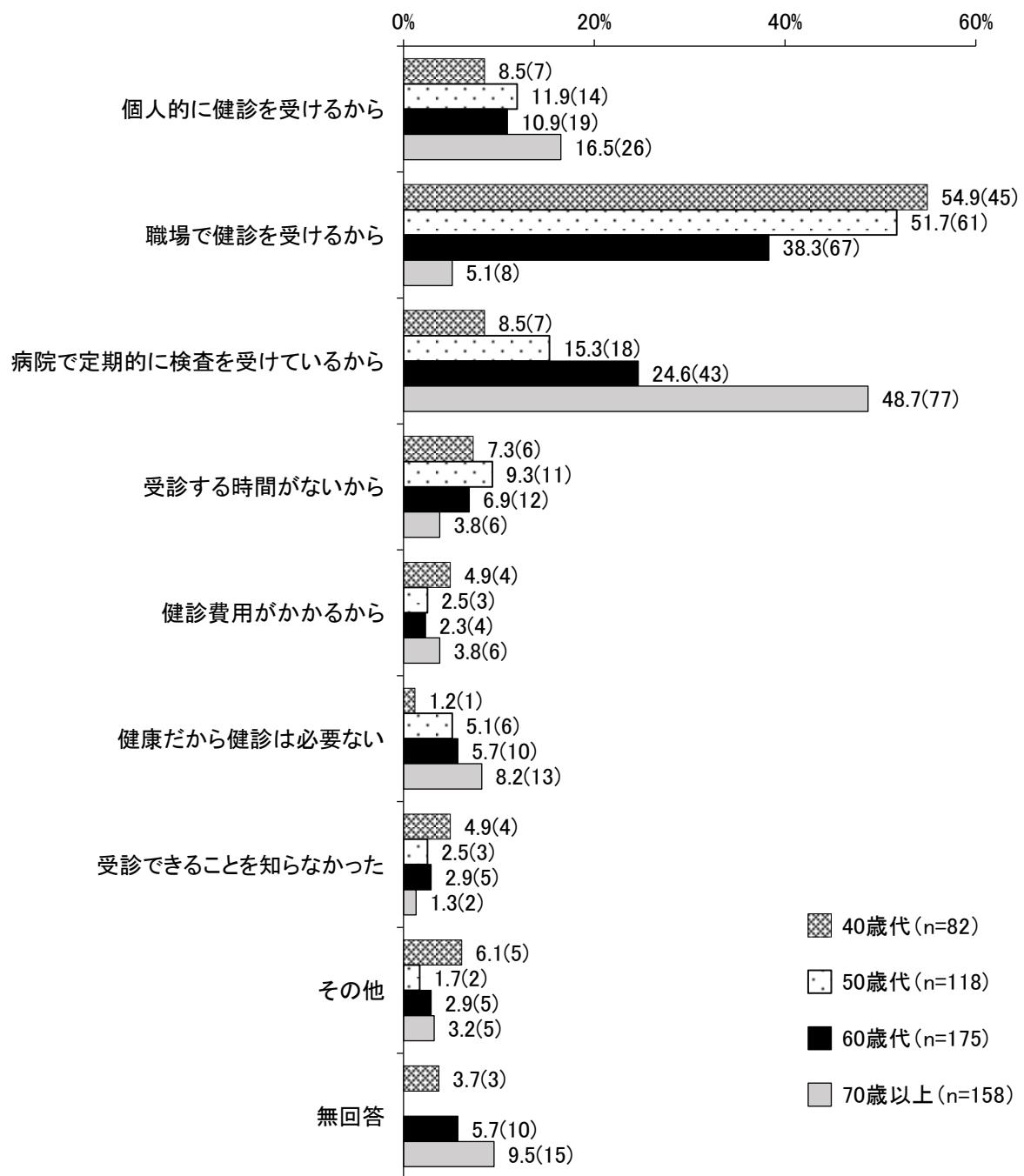
40歳以上で、特定検診を受診していないと回答した533人の内、「個人的に健診を受けるから」の割合が12.4%、「職場で健診を受けるから」の割合が34.0%、「病院で定期的に検査を受けているから」の割合が27.2%、「受診する時間がないから」の割合が6.6%、「健診費用がかかるから」の割合が3.2%、「健康だから健診は必要ない」の割合が5.6%、「受診できることを知らなかった」の割合が2.6%、「その他」の割合が3.2%となっています。

【性別】



性別にみると、最も割合が高い項目は、男性（35.9%）、女性（32.6%）共に「職場で検診を受けるから」となっています。

【年齢別】



年齢別にみると、40歳代（54.9%）、50歳代（51.7%）、60歳代（38.3%）で最も割合が高い項目は「職場で検診を受けるから」（25.0%）、70歳以上は「病院で定期的に検査を受けているから」（48.7%）となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

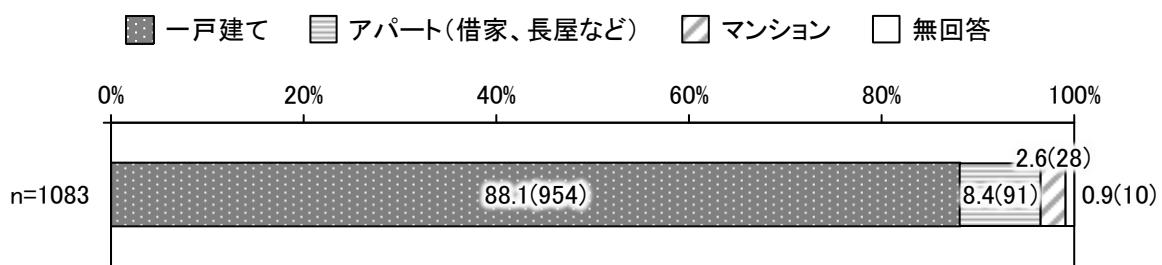
	回答者数 (件)	から個人的に健診を受けるか	ら職場で健診を受けるか	受病院で定期的に検査を	ら受診する時間がかかるか	健診費用がかかるから	ない健康だから健診は必要	な受かっただきることを知ら	その他	無回答
全 体	533 100.0	66 12.4	181 34.0	145 27.2	35 6.6	17 3.2	30 5.6	14 2.6	17 3.2	28 5.3
居住地区別	柳河	43 100.0	5 11.6	16 37.2	10 23.3	5 11.6	1 2.3	1 2.3	1 2.3	2 4.7
	城内	25 100.0	2 8.0	8 32.0	7 28.0	4 16.0	- -	- -	- -	2 8.0
	矢留	39 100.0	5 12.8	13 33.3	12 30.8	- -	2 5.1	3 7.7	- -	1 2.6
	東宮永	32 100.0	6 18.8	13 40.6	7 21.9	- -	1 3.1	2 6.3	- -	2 3.1
	両開	32 100.0	3 9.4	12 37.5	10 31.3	1 3.1	- -	3 9.4	- -	2 6.3
	昭代第一	33 100.0	4 12.1	12 36.4	8 24.2	2 6.1	- -	2 6.1	1 3.0	1 3.0
	昭代第二	39 100.0	1 2.6	14 35.9	9 23.1	1 2.6	4 10.3	4 10.3	2 5.1	- -
	蒲池	52 100.0	11 21.2	10 19.2	16 30.8	3 5.8	3 5.8	2 3.8	1 1.9	4 7.7
	皿垣	13 100.0	1 7.7	5 38.5	4 30.8	2 15.4	- -	1 7.7	- -	- -
	有明	12 100.0	2 16.7	3 25.0	4 33.3	- -	- -	2 16.7	- -	1 8.3
	中島	18 100.0	4 22.2	1 5.6	9 50.0	2 11.1	1 5.6	- -	1 5.6	- -
	六合	21 100.0	3 14.3	8 38.1	5 23.8	1 4.8	1 4.8	2 9.5	- -	1 4.8
	大和	17 100.0	2 11.8	5 29.4	4 23.5	1 5.9	1 5.9	2 11.8	2 11.8	- -
	豊原	21 100.0	4 19.0	7 33.3	5 23.8	2 9.5	- -	1 4.8	- -	2 9.5
	藤吉	46 100.0	2 4.3	21 45.7	13 28.3	4 8.7	- -	2 4.3	2 4.3	- -
	矢ヶ部	7 100.0	1 14.3	- -	3 42.9	2 28.6	- -	- -	- -	1 14.3
	二ツ河	37 100.0	6 16.2	14 37.8	7 18.9	5 13.5	1 2.7	1 2.7	2 5.4	- 2.7
	垂見	30 100.0	2 6.7	11 36.7	8 26.7	- -	2 6.7	2 6.7	2 6.7	1 6.7
	中山	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -
	わからない	7 100.0	- -	3 42.9	2 28.6	- -	- -	- -	1 14.3	1 14.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -

8. ご自宅の防火設備に関することについて

(1) 住宅の種別(問41)

【Q41】お住いの住宅は、次の内どれに該当しますか。(○を1つだけ)

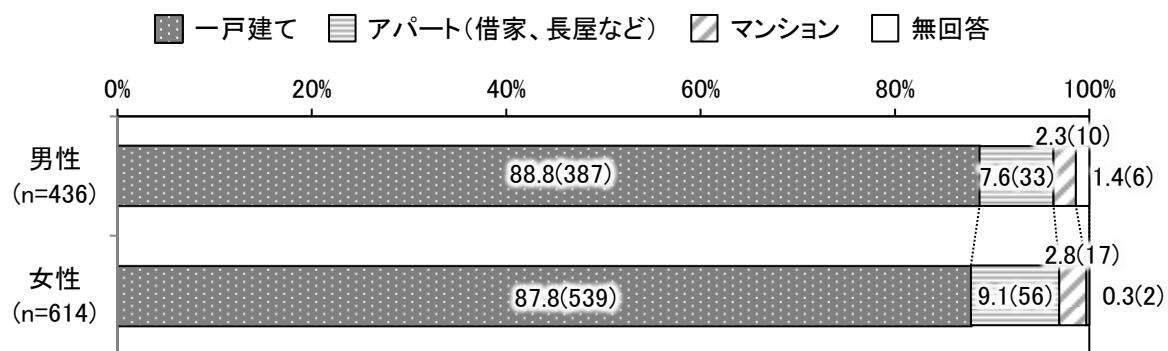
「一戸建て」の割合が88.1%で最も高くなっています。



「一戸建て」の割合が88.1%、「アパート（借家、長屋など）」の割合が8.4%、「マンション」の割合が2.6%となっています。

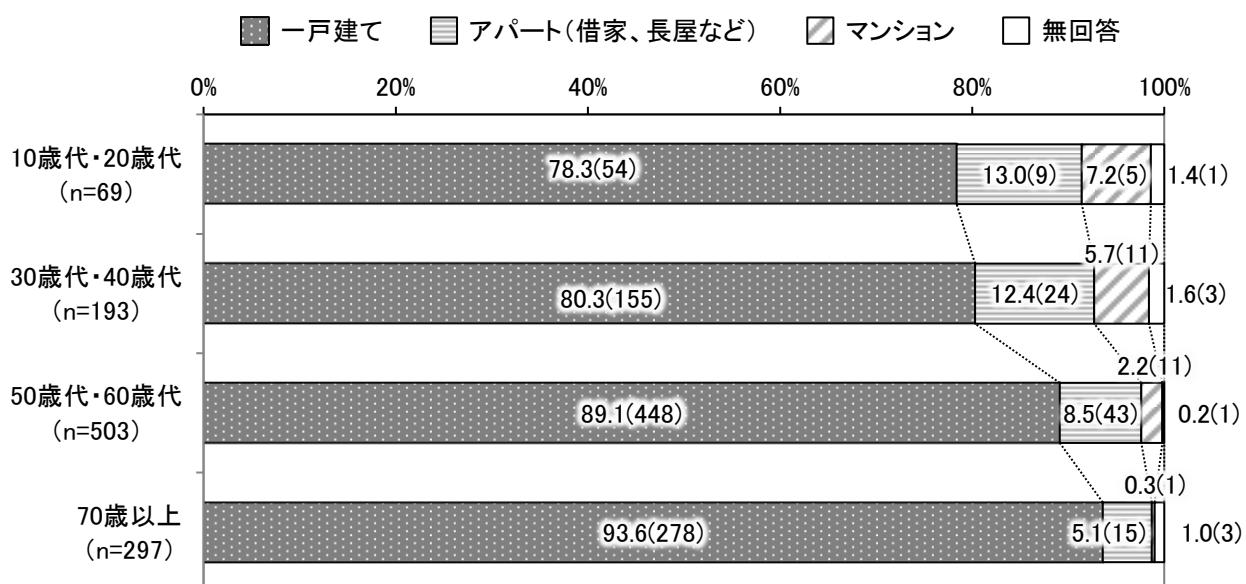
III. 調査結果

【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「一戸建て」の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、年齢が上がるほど「一戸建て」の割合が高くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

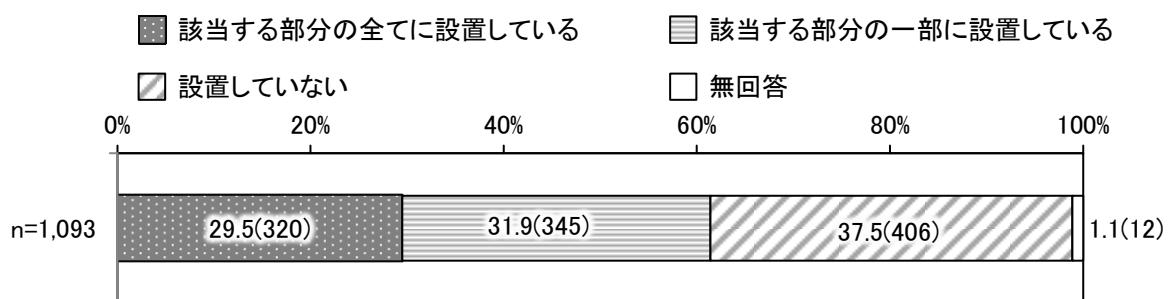
	回答者数 (件)	一戸建て	な ど ア パ ー ト (借 家 、 長 屋)	マン シ ヨ ン	無 回 答
全 体	1083 100.0	954 88.1	91 8.4	28 2.6	10 0.9
柳河	87 100.0	56 64.4	16 18.4	14 16.1	1 1.1
城内	45 100.0	40 88.9	4 8.9	1 2.2	- -
矢留	79 100.0	72 91.1	7 8.9	- -	- -
東宮永	67 100.0	58 86.6	9 13.4	- -	- -
両開	58 100.0	57 98.3	1 1.7	- -	- -
昭代第一	76 100.0	72 94.7	4 5.3	- -	- -
昭代第二	61 100.0	60 98.4	1 1.6	- -	- -
蒲池	83 100.0	74 89.2	7 8.4	- -	2 2.4
皿垣	28 100.0	28 100.0	- -	- -	- -
有明	21 100.0	21 100.0	- -	- -	- -
中島	57 100.0	51 89.5	6 10.5	- -	- -
六合	34 100.0	33 97.1	- -	- -	1 2.9
大和	44 100.0	40 90.9	4 9.1	- -	- -
豊原	45 100.0	42 93.3	3 6.7	- -	- -
藤吉	103 100.0	80 77.7	13 12.6	9 8.7	1 1.0
矢ヶ部	18 100.0	15 83.3	2 11.1	1 5.6	- -
二ツ河	68 100.0	66 97.1	2 2.9	- -	- -
垂見	53 100.0	48 90.6	5 9.4	- -	- -
中山	15 100.0	13 86.7	2 13.3	- -	- -
わからない	15 100.0	5 33.3	5 33.3	3 20.0	2 13.3
無回答	26 100.0	23 88.5	- -	- -	3 11.5

III. 調査結果

(2)住宅用火災報知機の設置の有無(問 42)

【Q42】住宅用火災報知機を使用している寝室（2階に使用している寝室がある場合は階段にも設置が必要）に設置されていますか（○を1つだけ）

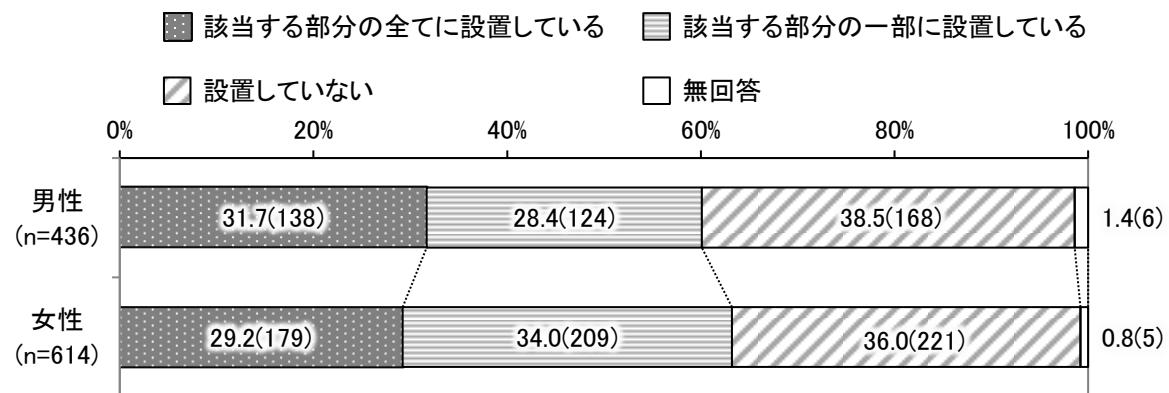
「設置していない」の割合が37.5%で最も高くなっている。



「該当する部分の全てに設置している」の割合が29.5%、「該当する部分の一部に設置している」の割合が31.9%、「設置していない」の割合が37.5%となっています。「該当する部分の全てに設置している」と「該当する部分の一部に設置している」を合わせた『設置している』の割合は61.4%となっています。

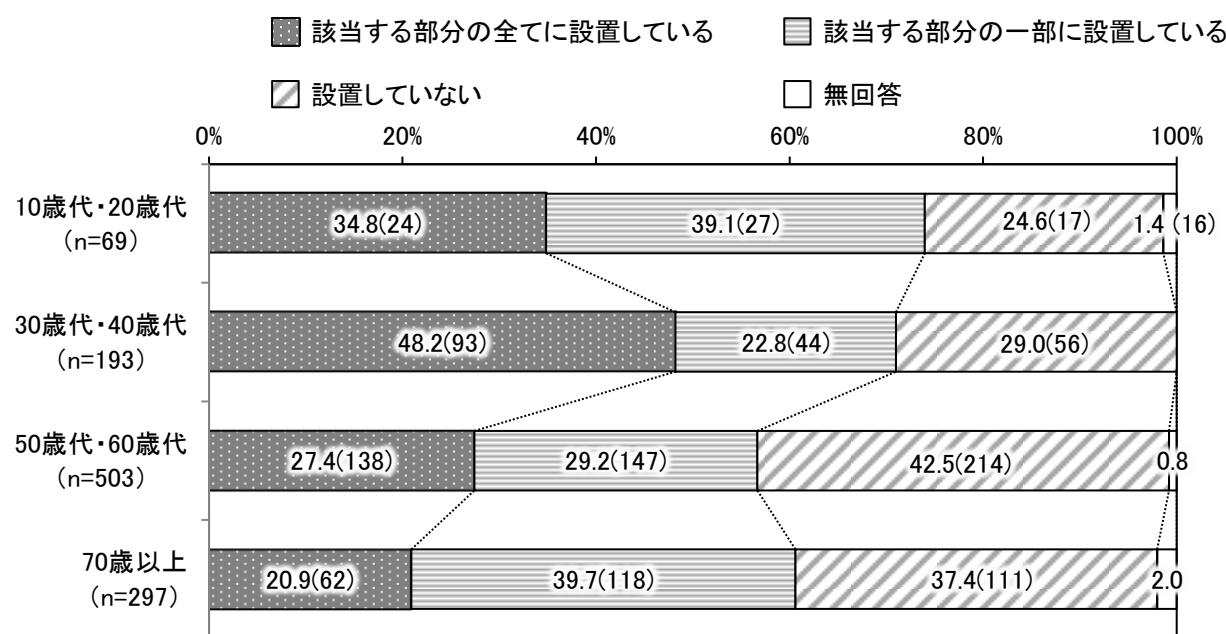
III. 調査結果

【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で『設置している』の割合がやや高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、50歳代・60歳代を除く年代で『設置している』が6割以上となっています。一方、「設置していない」の割合については、50歳代・60歳代で42.5%と最も高くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

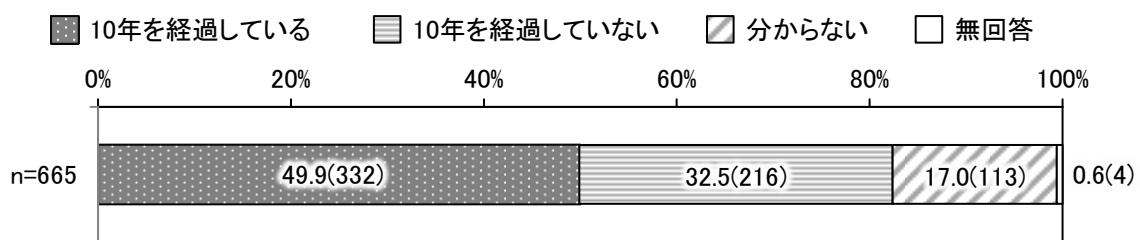
	回答者数 (件)	設置当する いる部分の 全てに	設置当する いる部分の 一部に	設置してい ない	無回答
全 体	1083 100.0	320 29.5	345 31.9	406 37.5	12 1.1
柳河	87 100.0	35 40.2	22 25.3	29 33.3	1 1.1
城内	45 100.0	16 35.6	13 28.9	16 35.6	-
矢留	79 100.0	13 16.5	28 35.4	38 48.1	-
東宮永	67 100.0	20 29.9	26 38.8	19 28.4	2 3.0
両開	58 100.0	17 29.3	18 31.0	23 39.7	-
昭代第一	76 100.0	29 38.2	13 17.1	34 44.7	-
昭代第二	61 100.0	15 24.6	14 23.0	30 49.2	2 3.3
蒲池	83 100.0	23 27.7	25 30.1	34 41.0	1 1.2
皿垣	28 100.0	9 32.1	8 28.6	11 39.3	-
有明	21 100.0	5 23.8	7 33.3	9 42.9	-
中島	57 100.0	16 28.1	21 36.8	20 35.1	-
六合	34 100.0	5 14.7	15 44.1	13 38.2	1 2.9
大和	44 100.0	11 25.0	19 43.2	14 31.8	-
豊原	45 100.0	12 26.7	19 42.2	13 28.9	1 2.2
藤吉	103 100.0	43 41.7	28 27.2	31 30.1	1 1.0
矢ヶ部	18 100.0	6 33.3	6 33.3	6 33.3	-
二ツ河	68 100.0	16 23.5	23 33.8	28 41.2	1 1.5
垂見	53 100.0	16 30.2	20 37.7	17 32.1	-
中山	15 100.0	4 26.7	7 46.7	4 26.7	-
わからない	15 100.0	3 20.0	5 33.3	6 40.0	1 6.7
無回答	26 100.0	6 23.1	8 30.8	11 42.3	1 3.8

III. 調査結果

(3)住宅用火災警報器を設置後、10 年の経過有無(問 43)

【Q43】設置されている住宅用火災報知機は、設置してから 10 年を経過していますか。

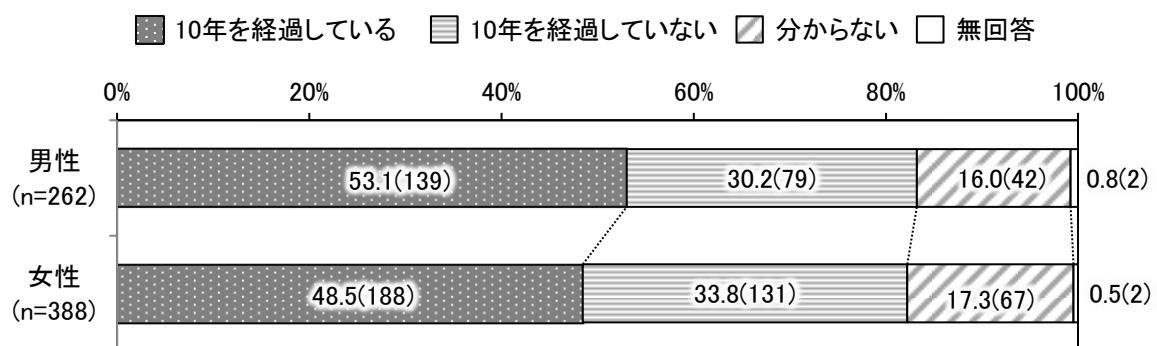
「10 年を経過している」の割合が 49.9% で最も高くなっています。



「10 年を経過している」の割合が 49.9%、「10 年を経過していない」の割合が 32.5%、「分からない」が 17.0% となっています。

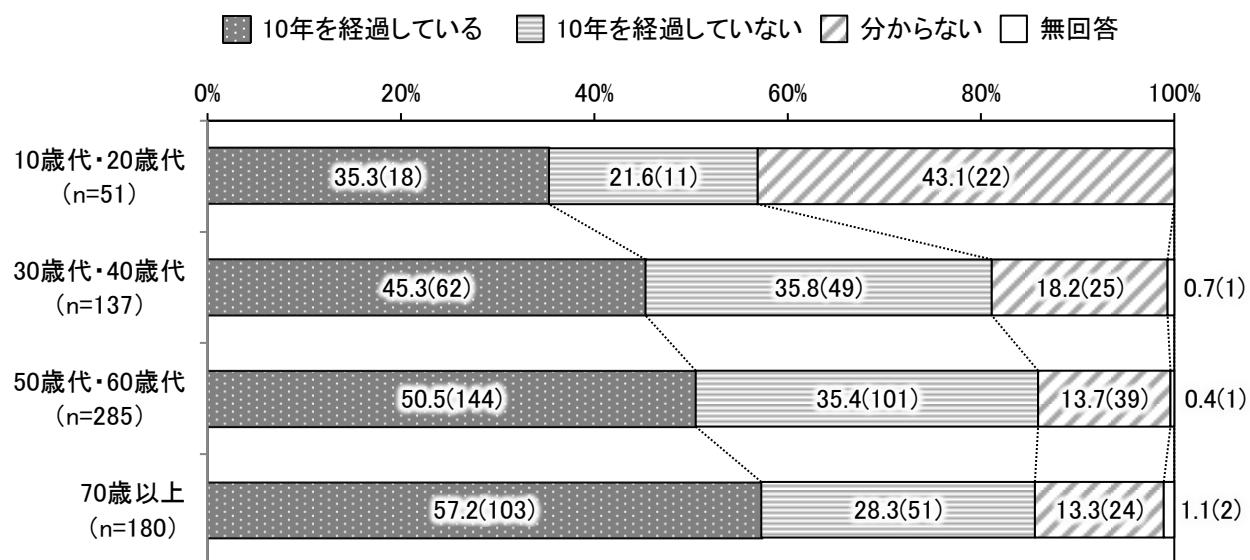
III. 調査結果

【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「10年を経過している」の割合がやや高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、年代が上がるにつれて「10年を経過している」の割合が高くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

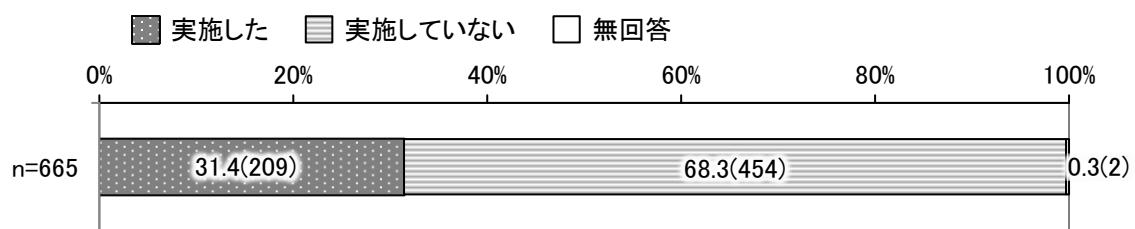
	回答者数 (件)	10年を経過している	い 10年を経過していな	分からな い	無回答
全 体	665 100.0	332 49.9	216 32.5	113 17.0	4 0.6
居住地区別					
柳河	57 100.0	30 52.6	14 24.6	13 22.8	- -
城内	29 100.0	9 31.0	13 44.8	7 24.1	- -
矢留	41 100.0	18 43.9	14 34.1	8 19.5	1 2.4
東宮永	46 100.0	29 63.0	13 28.3	4 8.7	- -
両開	35 100.0	21 60.0	9 25.7	5 14.3	- -
昭代第一	42 100.0	19 45.2	17 40.5	5 11.9	1 2.4
昭代第二	29 100.0	16 55.2	7 24.1	6 20.7	- -
蒲池	48 100.0	26 54.2	12 25.0	10 20.8	- -
皿垣	17 100.0	6 35.3	8 47.1	3 17.6	- -
有明	12 100.0	7 58.3	3 25.0	2 16.7	- -
中島	37 100.0	21 56.8	12 32.4	4 10.8	- -
六合	20 100.0	9 45.0	8 40.0	3 15.0	- -
大和	30 100.0	18 60.0	8 26.7	4 13.3	- -
豊原	31 100.0	15 48.4	10 32.3	5 16.1	1 3.2
藤吉	71 100.0	35 49.3	24 33.8	12 16.9	- -
矢ヶ部	12 100.0	5 41.7	4 33.3	3 25.0	- -
二ツ河	39 100.0	21 53.8	12 30.8	5 12.8	1 2.6
垂見	36 100.0	11 30.6	17 47.2	8 22.2	- -
中山	11 100.0	8 72.7	3 27.3	- -	- -
わからない	8 100.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	- -
無回答	14 100.0	5 35.7	6 42.9	3 21.4	- -

III. 調査結果

(4)住宅用火災警報器の作動確認状況(問44)

【Q44】半年以内に住宅用火災報知機の作動確認を実施しましたか。

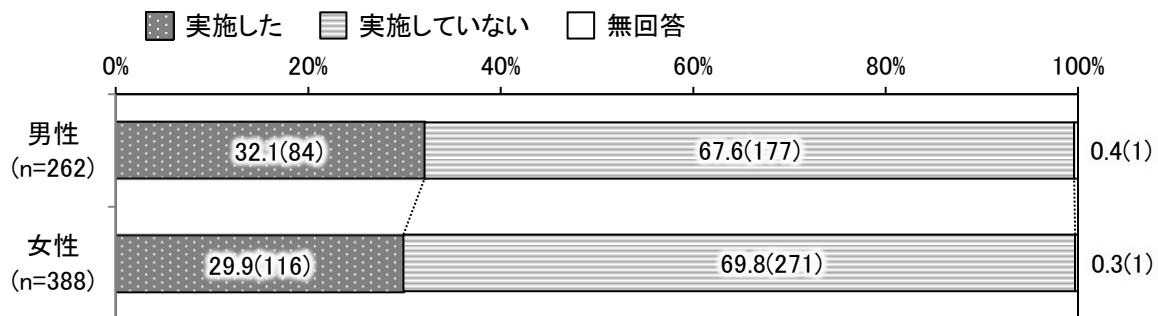
「実施していない」の割合が68.3%で最も高くなっています。



「実施した」の割合が31.4%、「実施していない」の割合が68.3%となっています。

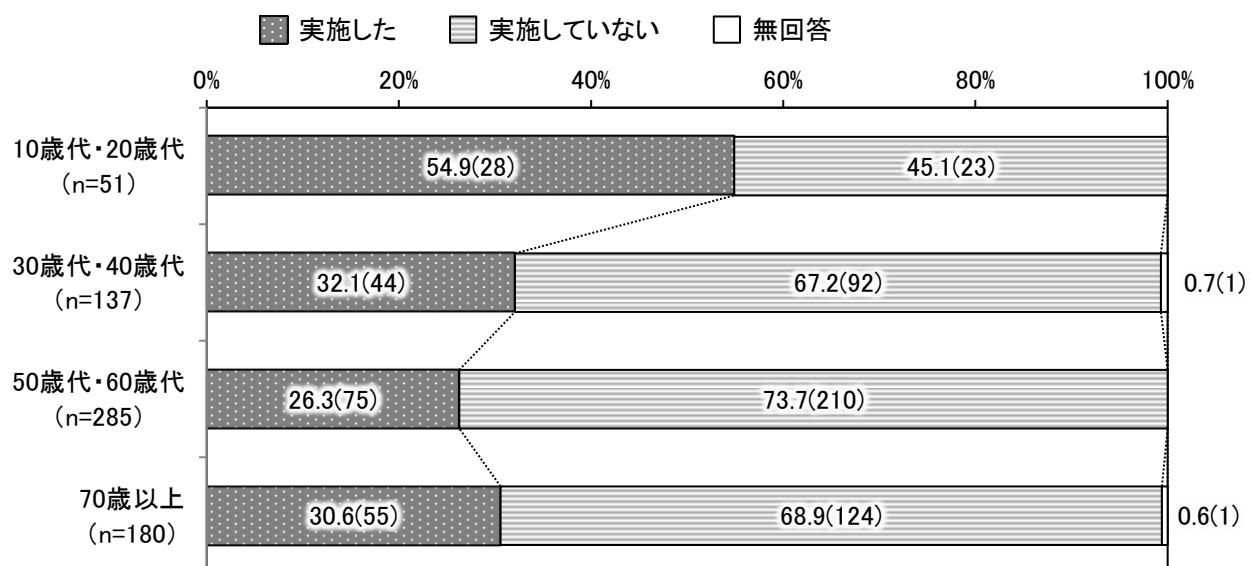
III. 調査結果

【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「実施した」の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、他の年代に比べ、10 歳代・20 歳代 (54.9%) で「実施した」の割合が高くなっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

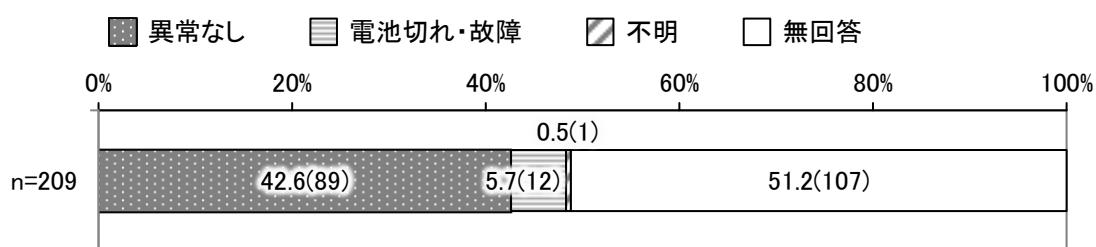
	回答者数 (件)	実施した	実施してい ない	無回答
全 体	665 100.0	209 31.4	454 68.3	2 0.3
居住地区別				
柳河	57 100.0	25 43.9	31 54.4	1 1.8
城内	29 100.0	13 44.8	16 55.2	-
矢留	41 100.0	12 29.3	29 70.7	-
東宮永	46 100.0	13 28.3	33 71.7	-
両開	35 100.0	9 25.7	26 74.3	-
昭代第一	42 100.0	14 33.3	28 66.7	-
昭代第二	29 100.0	7 24.1	22 75.9	-
蒲池	48 100.0	17 35.4	31 64.6	-
皿垣	17 100.0	6 35.3	11 64.7	-
有明	12 100.0	3 25.0	9 75.0	-
中島	37 100.0	11 29.7	26 70.3	-
六合	20 100.0	6 30.0	14 70.0	-
大和	30 100.0	7 23.3	23 76.7	-
豊原	31 100.0	8 25.8	23 74.2	-
藤吉	71 100.0	19 26.8	52 73.2	-
矢ヶ部	12 100.0	3 25.0	9 75.0	-
二ツ河	39 100.0	11 28.2	28 71.8	-
垂見	36 100.0	10 27.8	25 69.4	1 2.8
中山	11 100.0	2 18.2	9 81.8	-
わからない	8 100.0	4 50.0	4 50.0	-
無回答	14 100.0	9 64.3	5 35.7	-

III. 調査結果

(5)住宅用火災警報器の作動確認結果(問45)

【Q45】作動確認を実施した結果はどうでしたか。

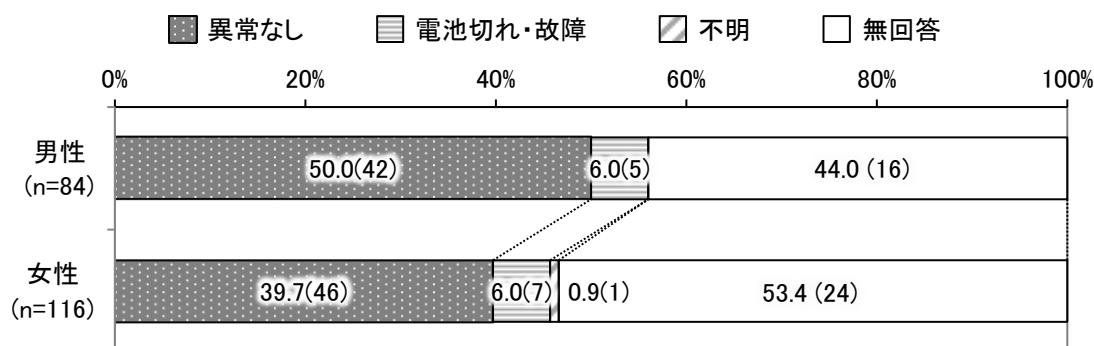
「異常なし」の割合が42.6%で最も高くなっている。



「異常なし」の割合が42.6%、「電池切れ・故障」の割合が5.7%、「不明」の割合が0.5%となっています。

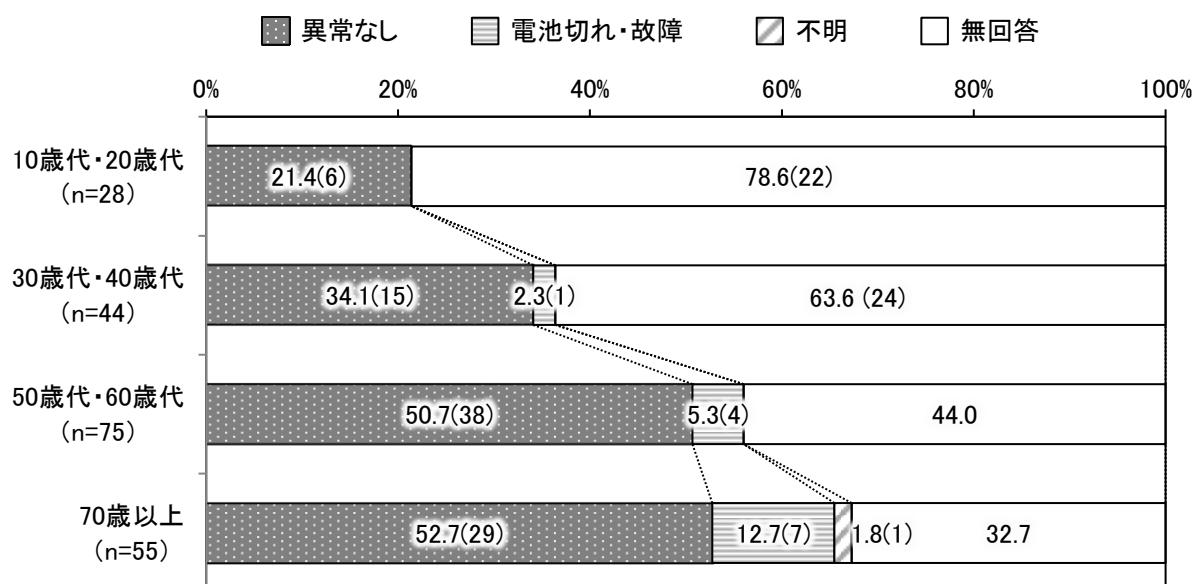
III. 調査結果

【性別】



性別でみると、女性（39.7%）に比べ、男性（50.0%）で「異常なし」の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、50歳代・60歳代（50.7%）、70歳以上（52.7%）で「異常なし」が半数以上となっています。

【居住地区別】

【上段：件数、下段：%】

	回答者数 (件)	異常なし	電池切れ・故障	その他	無回答
全 体	209 100.0	89 42.6	12 5.7	1 0.5	107 51.2
居住地区別	柳河	25 100.0	12 48.0	1 4.0	- -
	城内	13 100.0	7 53.8	1 7.7	- -
	矢留	12 100.0	4 33.3	- -	- 66.7
	東宮永	13 100.0	8 61.5	1 7.7	- -
	両開	9 100.0	2 22.2	2 22.2	- -
	昭代第一	14 100.0	8 57.1	- -	- 42.9
	昭代第二	7 100.0	1 14.3	2 28.6	- -
	蒲池	17 100.0	7 41.2	1 5.9	- -
	皿垣	6 100.0	3 50.0	- -	- 50.0
	有明	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -
	中島	11 100.0	7 63.6	- -	- 36.4
	六合	6 100.0	2 33.3	1 16.7	- -
	大和	7 100.0	2 28.6	- -	1 14.3
	豊原	8 100.0	3 37.5	- -	- 62.5
	藤吉	19 100.0	7 36.8	- -	- 63.2
	矢ヶ部	3 100.0	- -	- -	- 100.0
	二ツ河	11 100.0	6 54.5	1 9.1	- -
	垂見	10 100.0	3 30.0	- -	- 70.0
	中山	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -
	わからない	4 100.0	1 25.0	- -	- 75.0
	無回答	9 100.0	3 33.3	- -	- 66.7

IV. 参考資料

1. 自由記述

(1) 川下り全体の満足度の理由(問 14)

【Q14】 Q13で回答した満足度の理由をお答えください。

『満足』の理由として最も多いのは「担当した船頭のサービスが良かった」という意見で、『不満』として最も多いのは「川や景色への不満」という意見である。

■ 『満足』の理由

キーワード	件数
担当した船頭のサービスが良かった	12
楽しい	8
景色がいい	6
気持ちがいい、安らげる	3
風情がある	2
その他	9

■ 「普通」の理由

キーワード	件数
川、景色への不満	2
その他	5

■ 『不満』の理由

キーワード	件数
川、景色への不満	5
サービスが物足りない	4
その他	1

- ▶ 『満足』の理由で最も多いのは「担当した船頭のサービスが良かった」で、次点では「楽しい」となっています。
- ▶ 『不満』の理由で最も多いのは「川、景色への不満」で、川の水質の改善や景観への整備を求める意見がありました。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

①『満足』の理由

居住地区	記述内容	性別	年齢別
藤吉	柳川の情緒を感じた。客人を川下りでもてなしました。	男性	50歳代
柳河	どの季節の川下りも魅力があり、うなむすやアイスなどを沖端で買って食べながら川下りするのが私は好きで、友人が柳川に遊びにきた際は必ず案内しています。	女性	20歳代
中山	かっこいい	女性	20歳代
矢留	観光される方だけじゃなく、地元の子供たちも喜んで乗船しています。特に子供たちが乗船していると、海外のお客様が手を振って下さって挨拶したり、交流の場にもなって良いなと思います。	女性	30歳代
東宮永	船頭さんの船上での説明が良かった	女性	30歳代
わからない	何度か乗させて貰っていますが毎回違った魅力を感じる。船頭さんや同乗している外の乗客さんによって印象が違って楽しいです。今年初めて夜の川下りを体験したがそれも楽しかったです。	女性	40歳代
柳河	新しくできた"伯舟"を利用させていただきましたが、舟もきれいで、船頭さんもおもしろくて楽しかったです。	女性	50歳代
城内	掘割もきちんと整備されていてよかったです。	女性	50歳代
豊原	遠くから来た親戚の人達のおもてなしに利用できた。とても喜んでもらったから。	女性	60歳代
有明	船頭さんの受け答え、観光客への心配りやさしさとても感心しました。	女性	70歳代

②『やや満足』の理由

居住地区	記述内容	性別	年齢別
垂見	接客態度がよかったです	男性	20歳代
藤吉	夜の川下りにもう少し工夫がほしい	男性	50歳代
城内	やはり趣があり良いですね。ただ水質・ゴミは問題ですね。コース以外の掘割の整備も必要です。	男性	60歳代
矢留	のんびりできるから。先頭さんも親切丁寧です	男性	60歳代
藤吉	柳川にしかない風景だから	男性	60歳代
垂見	船頭さんの歌や語りが癒しになる。	男性	60歳代
柳河	柳川市民の生活環境と川下りコースの関連が理解できて良かった。	男性	70歳代
城内	コース的には満足だが水の流れと透明度を高めるとより満足	男性	70歳代
豊原	自然環境豊かである	男性	70歳代
昭代第一	景色がいい。船頭さんが丁寧	女性	30歳代
城内	たまに乗ると楽しい。柳川の良さを知れる。愛着を感じる。	女性	40歳代
矢留	柳川のことを改めて聞いて（歴史など）おもしろかった。歌を歌ってもらったり、たまに音程が微妙なのでもう少し練習してもらうと心地よく聞けると思った。30分で2000円だったので、もう少し安いとまた乗りたい。	女性	40歳代
中島	普段気づかない風景が見れたこと。	女性	40歳代
城内	川下りの最終下船場まで行けなかった。工事のため？柳がない。沖の端	女性	50歳代
矢留	川下りの船頭さんの会話が楽しくいつもと違い水辺のけしきが美しかった。	女性	50歳代
矢留	時間的にもちょうど良く、気持ちが良かったです	女性	50歳代
両開	母の米寿祝いを兼ねて、ひ孫まで4世代で利用しました。船頭さんの若い女の子が一生懸命やってくれました。	女性	50歳代
昭代第二	久しぶりに乗船して楽しかった。	女性	50歳代
中島	季節の花々を増やすとより一層満足できると思います	女性	50歳代
藤吉	慌ただしい日常をしばし忘れ、ゆったりとした時を過ごせた。また、このような風光明媚な観光手段は他ではあまり体験できない。とにかく掘割をどんこ舟でゆっくり巡るのは何とも言えぬ風情があった。	女性	50歳代
藤吉	職場のレクレーションとして川下りを行なったが、同僚が船に乗り込んだとき、それほど目立ったことはしていないと思ったが、大きな声で船頭さんに注意されていた。また、船頭さんの歌や解説が、おもてなしする側として聞くに堪えないこともある。人材を育て、それに見合った報酬が必要なお仕事だと思う。	女性	50歳代
柳河	川下りしながら飲食できるし、たのしい。	女性	60歳代
矢留	色々なことを学び、よき人達とのご縁がある	女性	60歳代
昭代第二	柳川市外から来た方に喜んでもらったから	女性	60歳代
昭代第二	柳川の名所や名士の知識があって、よく案内されていると思います。	女性	60歳代
豊原	昨年の10月に久しぶりに川下り（お祝いで）をしたのだが、以前より水がきれいで、川周りの環境（家なみ）が工夫されていて、良かったと思ったから。	女性	60歳代
豊原	伯舟観光の船頭さんの対応が良かった。特に説明、歌	女性	60歳代
柳河	川下り中説明等良かった。楽しかった。	女性	70歳代
昭代第一	すれちがう舟の人達とお互い挨拶をしたり、手を振ったりして、気分が良かった。また乗りたいと思った！	女性	70歳代
藤吉	舟会社の船頭さんの対応がとてもよかったです	女性	70歳代

IV. 参考資料

③『普通』の理由

居住地区	記述内容	性別	年齢別
昭代第一	地元だから	男性	40歳代
垂見	目に入ってくるもので心地よいものが少なかったから。例えば、花の数と種類	男性	50歳代
両開	川の水があまりきれいな水ではなかった。船頭さんも人により愛想がない人もいるので。	女性	40歳代
柳河	インバウンドの観光客にそれなりに船頭さんが対応していました。	女性	60歳代
矢留	清掃がよかったです	女性	60歳代
柳河	天候も良く初めて川下りして素晴らしい体験をしたからです。	女性	70歳代
昭代第一	何度も経験した事があるから	無回答	10歳代

④『やや不満』の理由

居住地区	記述内容	性別	年齢別
城内	・川下りコースは様々あると思うが、掘割の全体像で自分が進んでいるコースを知る事ができると、より楽しめると思います。船頭さんが喋りすぎる人がいる。外国の方の対応に寄りすぎているように感じた。	男性	40歳代
大和	海外のお客様用に外国語ガイドがほしい。	男性	40歳代
無回答	船頭さんによって…。	男性	60歳代
柳河	水があまりキレイじゃない	女性	40歳代
昭代第一	川下りをしましたが、それ自体は楽しめました。ただ、川にポリ袋に入ったゴミが浮いていたりと数個見かけ、恥ずかしくなりました。	女性	40歳代
柳河	座っていて板だからおしりが痛かった（つらかった）風景に変化がない。おもしろいもの、美しい特別なものがない（季節にもよるが）	女性	50歳代
中島	・川下りは、乗船するには短時間といえども、乗り心地がよくない。定員が多く乗せすぎてぎゅうぎゅうに乗船するようになっている。船頭さんの歌があまりよろしくない？自己満足で歌われている感が感じられる。柳川の歴史をリズムよく紹介していただけたらと思う。若い船頭さんは接客が、笑顔が素敵だが、年配の方は、あまり感じが宜しくない。川下りを遠方から来た人に案内し、乗船していただくが、二度目は、もう乗らなくていいと返答されることが多い。それは、川下り事業する側が、リピーターを念頭において企画、営業されていないと思う。川下りコースに花々を植えたり、文化的な生演奏や踊りなどの演出が川下り事業の中にもあればよいと思う。	女性	50歳代
藤吉	川の水が汚い	女性	50歳代
藤吉	もっと川柳をアピールできると思う	答えたくない	40歳代

⑤『不満』の理由

居住地区	記述内容	性別	年齢別
城内	船頭さん（女性）の学習不足を感じた。もっと柳川の歴史（立花家の事等）や文化人の事を説明する企業努力が足りない。柳川の事をアピールするいい機会なのにもったいない。市も助言すべきである。NHKの立花宗茂のドラマの誘致をしているのに、あまりにもチャンスを逃している。川下りの舟会社と市当局の連携が足りない。緻密な努力をもってすべきでは。	男性	70歳代

(2)来庁の目的(問 26)

(Q25で2~5(「年に1、2回程度」、「2、3か月に1回程度」、「月1、2回程度」、「週1回以上」)と回答した人にお尋ねします。)

【Q26】来庁された目的は何ですか。(5.その他における自由回答)

■来庁の目的

キーワード	件数
投票	93
納税	7
ハローワーク	3
仕事関係	3

- ▶ 来庁の目的で最も多いのは「投票」、次に「納税」という結果になりました。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
東宮永	入口の外にあるATM	女性	40歳代
城内	区長用務	男性	70歳代
矢留	資源ゴミと生ゴミの回収です。	男性	50歳代
ニッ河	筑後若者サポートステーションの柳川出張相談での利用	女性	20歳代
藤吉	紙ゴミ用の袋を購入しに伺いました。	男性	40歳代

(3)職員の対応に『不満』の理由(問 29)

(Q28で「不満」または「大変不満」と回答した人にお尋ねします。)

【Q29】その理由をお答えください。

『不満』での理由として最も多いのは「職員の態度」であった。

■来庁の目的

キーワード	件数
職員の態度	19
仕事内容	10

- ▶ 職員の対応に『不満』である理由で最も多いのは「職員の態度」、次に「仕事内容」という結果になりました。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
無回答	法務局に提出してあった書類に対して境界線が違っていた。境界線を勝手に書き換えられるものですか?	無回答	無回答
矢ヶ部	総合窓口で以前丁寧で笑顔で接して下さっている方がいらっしゃいましたが、退職されたと聞き、とても残念に思いました。地元の私たちは慣れていると言え、観光等で他の地方の方も伺われることもあるかと思います。市役所の総合窓口は市の顔とも言えるところがあるかと思います。窓口担当の方がお昼の休憩でいらっしゃらなかった時、たまたま通りかかると代わりの男性の方が対応してましたが、慣れない様で対応の仕方、言葉遣いがどうかなと疑問に思いました。生まれ慣れ親しんだ地元の印象が他の地方の方からいいねと言われる様、市役所業務も大変かと思いますが、配慮していただけたらと思います。	女性	60歳代

(4)利用したことがない理由(問 31)

(Q30でコンビニでの証明書発行を「利用したことがない」と回答した人にお尋ねします。)

【Q31】利用したことがない理由は何ですか。(3.その他における自由回答)

利用したことがない理由として最も多いのは「市役所で行うため」であった。

■利用したことがない理由

キーワード	集計
市役所で行うため(窓口で行うから)	41
マイナンバーカードを持っていない(紛失した)	10
不安感がある・安全面に不安	3
オンラインを使うつもりがない	2
家族がしてくれるから	2

- 利用したことがない理由で最も多いのは「市役所で行うため（窓口で行うから）」、次に「マイナンバーカードをもっていない（紛失した）」という結果になりました。
- 以下、上記以外の記述内容を紹介します。（個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。）

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
柳河	選択肢に入っていない	男性	20歳代
無回答	説明を聞きたいことなどがあり、利用しない	無回答	無回答
昭代第二	分からぬところは、尋ねてから申請したいから。	女性	50歳代

(5) 利用したことがない理由(問 33)

(Q32でオンライン申請などを「利用したことない」と回答した人にお尋ねします。)

【Q33】 利用したことない理由は何ですか。(3.その他における自由回答)

利用したことない理由として最も多いのは「市役所で行うため」であった。

■ 利用したことない理由

キーワード	件数
市役所で行うため(窓口で行うから、窓口で聞きながらやりたい)	16
オンラインを使うつもりがない(使いたくない)	4
家族にやってもらう	4
マイナンバーカードを持っていない(紛失した)	2
面倒くさい	2

- ▶ 利用したことない理由で最も多いのは「市役所で行うため（窓口で行うから、窓口で聞きながらやりたい）」、次に「オンラインを使うつもりがない（使いたくない）」、「家族にやってもらう」という結果になりました。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。（個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。）

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
ニッ河	スマホ、パソコン持っていない	女性	70歳代
東宮永	自宅でパソコンをやらない	男性	60歳代
藤吉	証明書等申請の際はネットで事前に調べはするものの、不明な点がある場合が多く、やはり窓口で確認しながらのほうが確実かつ早いため。	女性	30歳代

(6)どの部門の手続き・申請がオンラインでできると便利と思うか(問 34)

【Q34】本市では、市役所に行かなくても手続きや申請ができる「オンライン申請」の充実・拡大を進めています。どの部門の手続き・申請がオンラインで行えると便利だと思いますか。(13.その他における自由回答)

問い合わせに対する「その他」の回答としては「狂犬病注射の登録」のみであった。

■利用したことがない理由

キーワード	件数
オンラインのやり方がわからない(不安がある)	12
操作内容の簡潔さによる	1
狂犬病注射の登録	1
大事な事なのでオンラインは必要ない	1

- ▶どの部門の手続き・申請がオンラインでできると便利と思うかの問い合わせに対して最も多いのは「オンラインのやり方がわからない(不安がある)」という結果になりました。

(7)がん検診を受けていない理由(問 38)

(Q36で2、「受けていない」と回答した人にお尋ねします。)

【Q38】がん検診を受けていない理由を教えてください。(7.その他における自由回答)

「その他」のがん検診を受けていない理由で最も多いのは「他の検査を受けており、必要が無いと判断した」であった。

■がん検診を受けていない理由

キーワード	件数
他の検査を受けており、必要がないと判断した	34
職場の定期健診に含まれているから	19
これから受ける予定	3
すでに癌だから	3
昨年受けたから	3
市でがん検診を受けることができるということを知らなかつた	2
職場で含まれていると思っていたが、含まれていなかつた。	2

- がん検診を受けていない理由で最も多いのは、「他の検査を受けており、必要が無いと判断した」、次に「職場の定期健診にふくまれているから」となっています。
- 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
中島	3年に1回検診している	女性	70歳代
豊原	以前受診した際に不快な思いをしたため	女性	40歳代
柳河	期限が決まっているのが嫌だ	女性	40歳代
皿垣	特定検診の項目に胸メークEKGがない→医院利用時	男性	70歳代
東宮永	予約する為に電話するのが嫌いだから	女性	40歳代
垂見	予約がしにくい	女性	40歳代

(8)特定検診を受診しない理由(問 40)

【Q40】特定健診を受診しなかった理由は何ですか。(8.その他における自由回答)

「その他」の特定検診を受診しない理由で最も多いのは「受けたくないから」であった。

■特定検診を受診しない理由

キーワード	件数
受けたくないから	2
どこの病院に行くのがいいか迷って	1
3~4年に1度と考えるから	1
色々こわい	1
タイミングが合わなかつた	1
病院で検診を受ける事にストレスを感じる（苦痛）	1
受けるのが面倒	1
検診日が不十分	1
今年が対象なので受ける予定	1
生活習慣病は食事や運動では改善しないことが分かったから	1
ついつい	1

- ▶ 特定検診を受診しない理由として最も多いのは「受けたくないから」という結果になりました。

(9)来庁の目的(問 35)

【Q45】作動確認を実施した結果はどうでしたか。(3.その他における自由回答)

火災報知機の作動確認をした結果の「その他」回答は「10年過ぎた為交換した」のみであった。

■住宅用火災報知機の作動確認結果

キーワード	件数
10年過ぎた為交換した	1

- 火災報知機の作動確認を実施した結果のその他回答として「10年過ぎた為交換した」の回答1件という結果になりました。

(10)行政への意見(問46)

【Q46】柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご記入ください。

まちづくりについての意見の中で、行政についての意見が一番多かった。

有効票が1,083票ある中で、自由意見を頂いたのは443票です。その意見を整理すると以下の結果となっています。

なお、いただいたご意見の中で、観光についての事と行政についての事、問答・所信と要望が含まれるものがあったため、キーワードを分割して集計しています。また、ご意見の記載も分割して掲載しています。

キーワード	件数
観光	91
問答・所信	69
観光全般	30
景観	7
再開発	4
水質改善	4
イベント	3
外国人	3
大河ドラマ	3
交通	2
道路整備	2
柳川城	2
PR	1
ごみ	1
マナー	1
高齢者対応	1
宿泊施設	1
川下り	1
買い物施設	1
その他	2
要望	18
柳川城	4
道路整備	3
観光全般	2
水質改善	2
イベント	1
海苔	1
掘削整備	1
景観	1
川下り	1
大河ドラマ	1
民泊	1
現状報告	4
ごみ	1
観光全般	1
柳川駅	1
その他	1

キーワード	件数
行政	252
問答・所信	145
市政	47
人口減少	11
再開発	10
高齢者対応	7
災害対策	7
水質改善	7
ごみ	5
施設建設	5
若者対策	5
オスプレイ	4
空き家	4
市職員	4
福祉	4
街灯	3
学校統廃合	3
景観	3
少子高齢化	2
イベント	1
海苔	1
企業誘致	1
公園	1
公害	1
公共交通	1
買い物施設	1
その他	7

キーワード	件数
行政	252
要望	103
市政	14
福祉	11
ごみ	10
再開発	7
空き家	6
掘削整備	5
施設建設	5
企業誘致	4
高齢者対応	4
人口減少	4
学校統廃合	3
公園	3
若者対策	3
水質改善	3
鳥害	3
外国人	2
災害対策	2
下水道	1
海苔	1
街灯	1
景観	1
雇用	1
交通	1
公害	1
子育て	1
水道	1
税金	1
その他	4
現状報告	4
イベント	1
空き家	1
福祉	1
その他	1

キーワード	件数
交通・道路	63
問答・所信	27
道路整備	10
公共交通	8
交通	4
交通マナー	1
人口減少	1
掘削整備	1
騒音	1
その他	2
要望	29
道路整備	14
公共交通	8
交通	3
街灯	2
高齢者対応	1
市政	1
現状報告	7
道路整備	3
街灯	1
交通	1
公共交通	1
道路	1
子育て	44
問答・所信	28
子育て	11
公園	5
福祉	4
公害	1
子育て	1
水道	1
税金	1
その他	4
現状報告	4
イベント	1
空き家	1
福祉	1
その他	1
要望	15
子育て	7
福祉	4
イベント	2
公園	2
その他	1
給食	1

キーワード	件数
その他	77
問答・所信	31
景観	3
イベント	2
市政	2
商店街	2
買い物施設	2
若者対策	1
その他	19
要望	30
買い物施設	11
イベント	3
施設建設	2
商店街	2
カフェ	1
医療施設	1
掘削整備	1
柳川駅	1
その他	8
現状報告	9
公園	2
雇用	1
商店街	1
水質改善	1
川下り	1
買い物施設	1
その他	2
その他	7
イベント	1
その他	6

▶ 問答・所信

「問答・所信」と分類した意見は、アンケートを受けて、抱いた感想等を分類しています。

意見例は、「時間が出来たら、老人大学で色々な体験をしたいです。それに伴い充実した環境作りをしてもらいたい。」や、「人口減少に歯止めがかかる様な施策があれば良いのかなと思います。」等があります。

▶ 要望

「要望」と分類した意見は、市や特定施設への要望等を分類しています。

意見例は、「駅の周りだけではなく、商店街（京町、辻町周辺）の開発をお願いしたい。沖端周辺はもっと風情を大切にした取組をしていただきたい。」や、「バスなどをもっと増やしてほしい。」等があります。

▶ 現状報告

「現状報告」と分類した意見は、日頃心がけている意見等を分類しています。

意見例は、「街角の花壇がいつ見ても整備され、花が咲いているのを見るとホッとします。」や、「いつもありがとうございます。30代後半になったので、柳川市民として協力していかなければならないと感じております。」等があります。

IV. 参考資料

記述内容を以下に示します。

① 観光について

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
柳河	柳川市民アンケート調査は柳川市活性化に大いに結構なことだと思います。柳川市の観光、活性化を目的に市長自ら博多どんたくに参加されたようですが、柳川市民並びに観光客を楽しませる祭り（おにぎえ）に市役所として積極的に参加すべきだと思います。私は他の地域の祭りに参加したことがあります、観覧席を設置し盛大なお祭りで、祭りが終わると短時間のうちに市の職員全員で清掃作業を行い通常の交通状態にしているのを見て、感動しました。提案ですが、市役所の駐車場に観覧席を設置し、市役所前の道路を通行止めにし、祭り会場（競演会場）としたらと思います。	男性	70歳代	問答・所信
柳河	柳川は城下町で寺院も沢山あるので、空き家をなくし、古民家カフェ、ゲストハウスに再生し、観光客・旅行者に喜んでもらえるコース作りを。	女性	60歳代	問答・所信
城内	「立花宗茂と閻千代」大河ドラマ招致活動頑張ってください。応援しています。西鉄柳川駅周辺整備事業の完成を楽しみにしています。	女性	50歳代	問答・所信
城内	観光に関しては駅近くの歩道に川下りの客引きが目立つなど秩序が守られない感じがあり残念です。基本的なルールを市で作っていただきたいです。以上よろしくお願ひします。	女性	60歳代	問答・所信
城内	柳川市には歴史的にも希少な伝統・文化の宝庫です。「宗茂」だけにこだわらず、古文書館等などの資料を大いに活用し柳川にしかない魅力を発掘し発信すべきです。今のまでは宝の持ち腐れと思われます。	女性	60歳代	問答・所信
城内	柳川を代表する堀なんですが、観光客の方々が実際目にする堀はきれいにされていますが、私達市民の生活圏にある堀は、そういった堀に比べると、比べものにならないくらい汚い上、悪臭がする場所もあります。市役所職員さん達も、気候が良い時で構わないので、実際に外に出て柳川市の隅々を歩いてみていただければと思います。これから若い世代の人達が住みたいと思える町になることを願っております。	女性	60歳代	問答・所信
矢留	観光客（外国）の方はよく見かけるが道路にゴミを捨ててあったり、イヤホンを着けて歩いている方も多く、道の真ん中を歩かれている方もいたりして危ない。	男性	30歳代	問答・所信
矢留	川下りを楽しんである方は多いが、堀割の水（川下りコース）が汚いし、くさい。	男性	30歳代	問答・所信
矢留	観光客が増えているが、道路の整備、活気あるようにお店を増やし、楽しかった。また行きたいと思ってもらえるまちづくりをしていく必要がある。	女性	30歳代	問答・所信
矢留	水天宮周辺の景観を考えられたと思いますが、道路の整備をしてほしいです。歩きづらい、車でも通りづらいです。早く舗装をして欲しい。堀の階段は必要だったでしょうか。ポールを立てられて意味がないようです。一部には車がいつも駐車されてたりしているけど、どうなのでしょうか。素敵な観光地になればいいと思います。	女性	50歳代	問答・所信
矢留	観光に関しては、柳川は川下りと鰻めしのイメージは強いが他の歴史に関しては弱く感じる。せっかくお花や古文書館などがあるので、強く発信すればいいと思う。訪れた観光客が宿泊せずに立ち寄るだけというのももったいない。ホテルでなくとも小規模の宿泊施設や生活が体験できる場所があれば楽しそう。あと観光スポットが集中しすぎていると思う。たぶん難しい事なのかもだけど、「見せ方」大事かなと思う。	女性	50歳代	問答・所信
矢留	川下りコースだけではなく、堀割全体をもっときれいにしてほしい。それから観光に来た人が、川下りからおりたあと「どうやって帰ればいいのか分からぬ」とたずねられたことがあります。その辺をもっとわかりやすくする事（案内）も大事だと思う。観光案内の図が「ずさん」すぎて迷っておられる方が多いのも問題です。	女性	60歳代	問答・所信

① 観光について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
矢留	矢留地区の中天宮回りはきれいになり良いとは思いますが、長期間に渡り大変だとは思いますが、もう少しスピードーにとは感じています。夜景はすごく素敵になっていると思います。柳川と言えば川下りの両側の柳だと思いますが、バッサリと切られて、情緒がなくなったと感じます。柳川商店街の寂しさ（この頃あの道路を使用することが多くつくづく感じてます）	女性	70歳代	問答・所信
東宮永	観光客が非常に増えたと、特に西鉄柳川駅付近で感じるが、活気があつて良いと思う人もいるだろうが、観光客相手の商売に携わる一部の人は潤うかもしれないが、関係がない者は関心が薄いように思う。	男性	60歳代	問答・所信
東宮永	英語表記の看板をもっと増やして、外国人の人が歴史・文化をより分かりやすくなる工夫が必要。川下りコースだけでなく、多くのルートに英語表記を増やすことで、日本人の英語力向上にもつながり、説明力の向上にもつながる（日英両表記なら更によい）	男性	60歳代	問答・所信
両開	新しい観光スポットを増やす（お店や遊び場など）	男性	40歳代	問答・所信
両開	景観を活かした店や観光地が少ない。大分の日田市のような景観を活かした食べ歩きスポットなどが充実すると良いと思う。川下り、うなぎ以外の強みが見当たらない。観光スポットとしては他に集客性のあるものを考える必要がある。	女性	20歳代	問答・所信
両開	柳川らしさを残す町づくりを考えていく。案内板ももうひと工夫。そしてわかり易く（色デザイン）。	女性	70歳代	問答・所信
昭代第一	映画の撮影地になる様なまちになったら良いです。	男性	40歳代	問答・所信
昭代第一	新柳川城計画検討をお願いします。夕日と有明海が見えるお城、新柳川城（立花宗茂と田中吉政公を中心に柳川の歴史を展示）①稼ぐお城（お城の入館料と土産物店の賃料で維持費、建設費を回収黒字化する）②市内宿泊客の増（スタンプラリーを完成した人は入城料無料）③柳川城完成後に大河ドラマを誘致する（実現できれば城建設費は一気に回収できる）④その他（現古文書館の移設）⑤建設候補地（矢留小学校跡地）。	男性	70歳代	問答・所信
昭代第二	柳川市は観光が主の町ではあるけれども、以前の様な（ひなまつり、白秋祭）盛り上がりは感じない。	男性	70歳代	問答・所信
昭代第二	沖ノ端は観光客が多いのに、道路がきれいではない。もう少しきれいにした方が良い（見た目）。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第二	市をあげて、いろんな団体に働きかけて、市民の方々が柳川の魅力を発見あるいは再発見出来る企画や機会を作っていて頂きたい。立花宗茂、闇千代の大河ドラマ誘致活動ももっと盛り上がるよう。例えば、市外から観光に来られた方が、市民の誰に聞いても、宗茂、闇千代を語れるように。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	・川下りコースの川の透明度を増して欲しい。・おにぎえの山車の進行状況を観光客用に分かるようにしたら親切であり、リピーターも増える可能性があり、柳川の文化宣伝にも大いに役立つと思います。	男性	40歳代	問答・所信
有明	沖の端の川下りは前の様にやなぎを。桜の木もいいと思います。柳川ツアード泊りPRをホテル、旅館、食事、見学等川下り、花見。	女性	60歳代	問答・所信
有明	5年前川下りをした折、川の匂いがひどかったのを覚えていました（悪臭）浄化して生活排水を流しているとは思うけど、お客様に不快な思いをさせてしまいました。市の担当者も定期的に乗船して確認してもらえればと思います。	女性	70歳代	問答・所信
中島	観光客を夜も呼び込むにはホタルの飛ぶ町にすること。川下りコースにビオトープを造りホタルを飼育しホタルが多く飛ぶ町にすれば夜間の観光客も多くなると思う。	男性	70歳代	問答・所信

① 観光について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
六合	既存の観光スポットからの拡充。例えば大和町の大地蔵さんは人寄せの価値が十分にある。「ほとくらべ地蔵」とも言われ由緒もある。このように磨けば光る原石のようなスポットがあるはず。市内のウォッキングを実施して地図に落とし、由来・由緒を探求する。もっと重厚な観光スポットに仕上げていく。中島東上町の大蛇山も十分価値がある。雲龍さんも引き続きPRしていってほしい。大和町のスポットを面に拡充していくべき、それなりの観光資源として活用できると思う。サイクリングや雲龍公園の利用の検討。	男性	70歳代	問答・所信
大和	さげもんまつりに海外から来られますが、街並みが淋しすぎると思います。（例えばコースに飾り物をしてにぎわいが欲しい！！）	男性	70歳代	問答・所信
大和	川下りコースの水をきれいにするならば、御花の近くの橋のなまこかべ、白秋の水影の碑の下のくずれなど柳川の大事な遺跡を大事に残していくことはしないのですか？東京で柳川観光に行かれた方とお会いした時、水は汚いし、また行きたいとは思わないと言われました。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	観光等に力を入れたいなら、他の観光都市と交流を深め色々参考にすべきだと思います。	男性	60歳代	問答・所信
豊原	ちょっと厳しい事書かせていただきます。・まず西鉄の柳川駅に飲食出来る店がない。無い事を他市から来た人をがっかりさせます。・もう一つ夜遅くまで開いている、うなぎ店、カフェ等が無い事を又他市から来た人をがっかりさせます。・もう一つ私は福岡市に通勤していますが、仕事の質・サービス等が福岡市と違いが感じられます。少しでも福岡市に近づきますと柳川市の発展につながると思います。	女性	50歳代	問答・所信
豊原	柳川駅周辺・御花周辺は観光スポットとして様々な工夫がされていたり、活気を感じたりするが、京町通りの閑散とした様子、何か手立てを打てないのかと考えます。川下りの前後にバスの送迎をするのではなく、京町などを通る観光ルートを作るとか？	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	西鉄柳川駅への川下り乗り入れについてはぜひとも完成させられたし。御花、白秋生家などへの観光の起爆剤となりし可能性大いにあり。	男性	30歳代	問答・所信
藤吉	観光客に対しての宿泊施設の充実化。柳川城下町としての魅力アップ（柳川城の再建）	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	様々な事業があると思うが、西鉄駅前の工事を早くして欲しい。市のおもてなし玄関口として今の景観は良くないと思う。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	街並みも悪い。歴史を売るなら、それに合った外観に統一しては。舟が通る所も雑草だらけ。	女性	40歳代	問答・所信
藤吉	観光のためにお客様を呼ぶにしても、主に川下りしかないし、他はせいろ蒸しからい。柳川駅もそこまでショップなどが無いし。もう少し人が集まるように、駅周辺を再開発していただきたい。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	柳川の掘割沿いの建物や草木などは景観を損なうことのないよう配慮してほしい。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	沖端の観光地付近は道が狭い上車が多い。ゆっくり掘割沿いを散策しようという気にならない。あの通りは車両通行禁止としても良いのではと思う。周りに駐車場たくさんあるので車はそこに停めて観光（歩きで）して欲しい。・子どもの通学路も藤吉小学校付近の道路は交通量が多く、歩道も狭いので事故に遭わないか心配である。車が比較的通らない道を通学路として車両禁止時間帯とか設定できないか検討いただきたい。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	日吉神社や三柱神社など観光するのに良いと思われる場所はあるのに、その周辺に観光客をもてなせる飲食店や雑貨屋がない。日吉神社のまよい焼きは、接客が雑で観光客目線ではとても買い物したい店となっていない。	女性	50歳代	問答・所信

① 観光について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	柳川は全国的に知名度はあるが、うまく活用できていない。観光客が来て「がっかり」ではなく「もう一度来たい」と印象をもってもらえる様に、しっかりとビジョンを明確にしてほしい。単に駅前から川下りが出来るでは上手くいかない。見る・食べる・泊まるの全てで全国に名を売る様にしていくべきで、そのための受け皿をしっかりと基礎から作るべきだと思う。道は？宿泊施設は？食事は？それを万人に知らせる為にどうしたら良いかを本気で考えないとダメだと思う。子育ても、もっと案を出すべきであると思う。	女性	40歳代	問答・所信 答えたくない
矢ヶ部	観光客を増やす為に、情緒ある町づくりをした方が良いと思います。八女市の福島などを参考にしたらいかがでしょうか。	女性	60歳代	問答・所信
矢ヶ部	柳川といえば川下りと鰻のイメージですが、他にもこれは是非いいところですよと他の地域の方に自慢できるところがあれば広報等でコマーシャル等で広めていけたらと思います。私自身も旅が好きなので、いろいろな所をめぐる中で出会った人たちに柳川の良さを広めていきたいと思います。観光だけでなく、みんなが温かく交流しあえる市になれば良いなあと思います。沖端の柳の木がなくなっているので、今後どうなるのか気になっています。	女性	60歳代	問答・所信
垂見	観光地としての魅力が弱い。柳川はいい所だけど、観光の通過点でしかない。（宿泊地ではない）御花や川下りまでの距離が遠いのに交通手段が少なく不便（タクシーさえ少なすぎる）インスタ映えするようなオシャレなカフェやおもしろい所があれば若い子たちも来ると思うけれど…柳川は遊ぶところがないとよく聞く。いい街なのにもったいない。	女性	40歳代	問答・所信
無回答	川下りコースの掘削にある、シダレヤナギの植樹活動と手入れ（病害虫防除）をしっかりお願いします。シダレヤナギは市の木です。川下りコースの終点（沖端町）のシダレヤナギが伐採されて、殺風景です。例年開催されるひまわり園は駐車場から会場までが遠いです。残暑がきびしいので自動販売機の設置、案内掲示、無料の給水コーナーを設置をお願いします。	男性	30歳代	問答・所信
無回答	柳川はとても良いところ。ただ観光の方がわざわざ"柳川"を目的にして来ているのに何か最高のおもてなしをしていない気がする。接客が上から目線！	男性	60歳代	問答・所信
無回答	柳川市に生まれて79年、今の柳川市はとても寂しくなりました。外国人の方が自分の国の様に、外に出れば動いています。何か悪い出来事が起らぬよう願っています。	無回答	無回答	問答・所信
柳河	もっと観光客の皆さんのが疲れないような工夫が必要だと思います。車で見かけると、どこか皆さんぐったりされているようで、柳川市民として申し訳ない気持ちになります。柳川駅からどこに向かって歩いているのか分かりませんが、おそらく長い距離を歩かれているのではないでしょうか。特に京町通りを歩く観光客を見ると、その思いが強くなります。	男性	40歳代	問答・所信
柳河	宿泊施設の充実が必要と思う。	男性	50歳代	問答・所信
城内	観光に関しては、中途半端のような気がする。宿泊客を増やすためには、宿泊施設の拡大、温泉など目玉になるものがなければ難しい。駅から沖ノ端周辺まで散策しながら巡るにしても、観光客を惹きつけるものがないのではないか。	女性	50歳代	問答・所信
城内	高齢者が買い物などで不自由しないような政策も必要。子育てしやすく、高齢者が生活しやすい福祉が充実したまちづくりを希望。小中学校の統合については、再度十分な見直しをする必要がある。地域や学校現場の意見をしっかりと聞き、必要ならば計画を白紙にもどすことがあってもよいのではないか。	女性	50歳代	問答・所信
東宮永	観光の柱が川下りだけでは厳しいとおもう。	女性	30歳代	問答・所信

① 観光について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
東宮永	<p>・観光客は一見の方が多く、お金も大して落とさない場合が多いように思う。観光客に頼る政策ではなく、海外の方と市民の交流を活発にして、柳川のリソースである、おもてなしを肌で感じてもらい柳川に愛着を持ちまた柳川を訪れたくなる仕掛けを作る必要があると思う。</p> <p>また、柳川人しか知らない隠れた魅力を感じられる体験型のローカルツーリズムを取り入れてはどうでしょうか。</p> <p>・柳川市出身の優秀な方で、地元柳川をもっと良くしたい、資源が生かされず勿体無いなどと考えている方は多い。そういう方の知恵や力を借りるなど、もっと多くの声を反映させて頂きたい。</p> <p>・大河ドラマ誘致活動は終止符を打ち、予算を削減する。柳川の文化を国際的に広める活動を行って欲しい。</p>	女性	40歳代	問答・所信
東宮永	柳の川 やながわの柳が貧相なのはどうでしょうか？水都の柳は、切りすぎのように思います。沖端の柳も早く景観を整えてほしいです。街路樹も元気がありません。さくら通りなど。駅前の川下りコースは、本当に必要でしょうか？継続的に利用価値があるものなのか疑問に思います。少子高齢化の地域で、少ない人口でも住んでいる人が幸福感に満ちて生活していくようにと願います。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第一	観光地なのに大型バスが通れない道路があるので店舗などに問い合わせが多い。道路拡張が無理なら、バスの停車場から小型バスで送迎する等、何か策がほしい。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第二	お寺があるのでもっとアピールして、観光にいかして欲しい。お寺巡りが好きな人もいるので。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第二	駅から沖端まで歩いても楽しめるような途中休憩できる古民家喫茶が何軒かあるといいかな？	男性	60歳代	問答・所信
昭代第二	町並みの景観をもっと整備しないといけないと思います。駅から商店街への町並みが古すぎます	男性	60歳代	問答・所信
蒲池	柳川の歴史を広報に連載で記載したら、子供達にも柳川の誇りが持てるのでは。田中吉政、高橋招運、戸次道雪、立花壱岐等他県の方にも自慢出来ると思います。他にも立花(宗茂)家の父から弟の妻の逸話、奥州の地名の由来、幸若舞、(蒲池氏)。また川下りに対しましては、小さい時は川で泳ぎ、川で米を研ぐ方もおられてました、また以前の川下りでは舟から水草のなかの魚が見えておりもっと川が綺麗だったと思います。川より水草が無くなり汚くなつたと感じております。水草復活を望みます。	男性	60歳代	問答・所信
蒲池	駅まわりの川下りは要らない。	女性	40歳代	問答・所信
蒲池	<p>①致し方ないとは思いますが、市の中心部や観光施設周辺に居住している人とそうでない人の温度差はあるかと思います。</p> <p>②今は分からないです、私たちが子供のころは地域学習的なものがなく、歴史についても成り立ちについても大人になるまで柳川市についての知識がありませんでした。(①にも関連してますが)進学や就職で県外に出ていく若い人も多いと思いますが、その人たちが観光大使として柳川市の魅力を語ることができ、「ぜひ柳川へ」と自信をもって言えるといいと思います。</p> <p>③以前住んでいた海外の町は観光客を観光施設に案内する地元の人は無料で入場できました。市民がもっと率先して知り合いを案内できるハードルが下がればいいと思います。</p> <p>④このアンケートですが、ネガティブな意見の場合は「なぜ、どのような部分がそうなのか」を聞き取りすればよいのではと思います。</p> <p>またweb回答の場合はQRコードだけでなく「キーワード」で検索できれば助かります。PCではQR読み取れないので。</p>	女性	50歳代	問答・所信

① 観光について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
蒲池	商店街の空きスペースに、インスタ映えする店を造る。家賃を無料にして、若い人達の感性を取り込む。観光客は川下り、鰻を食べて終わりなので、他の所にお金を落としてもらえるように、名産の有明のり等販売所、観光バスが停まれるようだ。よかもんかんが大きくなつたイメージ。柳川観光して、又行きたいと思つていただけるようにしたいと思います。素敵な街を真似することが1番だと思うので、いろんな観光地を視察に行かれることも大事だと思います。	女性	60歳代	問答・所信
六合	柳川には観光バスや車を使って来られる観光客が多いと思うので、御花近くに大きい駐車場を整備したら。中学校統合が進められているので、柳城中・柳南中の統合校舎を現柳南中にして、柳城中跡地は駐車場にしたらどうだろうか。	男性	70歳代	問答・所信
豊原	柳川市の魅力は、掘割が作るノスタルジックな景観が一番だと感じている。その一方で海外からの観光客が増加し、観光需要は多様化している。とりわけ、短時間で観光名所を回るような、いわゆる「タイムパフォーマンス（タイバ）」を意識した観光需要が増加しているように感じる。柳川の川下りは非常に魅力だが、タイバの観点から見ると、相性が悪いように感じている。また、柳川市内の観光名所の位置が、ひまわり園や大和干拓などと市内各所にも分散しており、必ずしも川下りコースに存在していないことも事実である。観光客を最終的に沖の端へ誘導し柳川を楽しんでもらうことを前提にすると、川下りありきではなく、別の手段で沖の端へ導く方法もあると思う。たとえば、トウクトウクなど安価でアトラクション性に富む乗り物を用いて、川下りコース沿いの名所を短時間で巡ったり、市内に点在する観光名所を巡ったりして、最終的に沖の端へということも可能かと思う。法律的な障害があるかもしれないが、トウクトウクなどで沿岸道路に乗って景観を樂しませることができれば、柳川の古典的な名所を目当てにしない観光客も取り込めるのではないかと思う。柳川は観光地として魅力的だが、川下りに固執しすぎているように感じる。観光客あっての観光地であるため、川下りにこだわらず、需要を敏感に汲み取って、柔軟に対応する必要が今後あるように感じている。	男性	30歳代	問答・所信
藤吉	ゴミの事。いつも、陶器やガラスが捨てられていたところがなくなり、非常に困っています。らくらくステーションで捨てるのかと思ってました。なんか、違うようで。地区のゴミは、行きたくないです。フライパンの柄が木だったのを、はずなさいといけないって。はずれないし。ラムネ瓶の中の玉もはずせと。以来、うるさくいわれてからいってないです。結局、市の集配さんは、いいですよーってそのままとってくれたんですが。時間は合わないし、今まで捨てれて助かってましたが。地区の方に任せるのは今の時代どうかと思います。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	観光客がだいぶん多くなったが、商店街をずっと歩いてる多くの人を見て、どこにいっているんだろうと思います。わかってあるいてるのか?謎で。目的はどこなんだろうか。と思います。もちろん物産館と、雑飾りはわかるが、私は子供連れで暑い中、何があるのかなーくらいで、長く歩くのは苦痛です。沖ノ端から離れているので、コンパクトにはならないだろうが、もう少し見どころが、わかりやすくモデルコースがあればと思います。すでにあってなら、すいません。無知で。商店街も長いので。歩いては川下りとはいかないし。大変だなあと毎回みています。	女性	50歳代	問答・所信

① 観光について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
二ツ河	柳川大好きです。以前は北原白秋の故郷でどこへ行っても解っていたいおりましたが、時代の流れで知らない方も増えてきています。川下りは地方いろいろあり、（他はもっとシチュエーション良かったりします）あまり目玉とも言えなくなっています。せいろ蒸しも高くて・・・！高級品で気軽に食せない。ウナギも好き嫌いが結構はっきりしていて、好きな人しか来ない印象もあります。立花闇千代さんで盛り立てようとされていますが、ドラマチックな背景からは、田中吉政の方を盛り立てたほうがもっと深く広く展開ができるのではないかと感じます。もったいない！です。視野が狭まってしまっているのでは？沖の端だけが盛り上がりがいいものではなく、いろんなところの（神社仏閣やら）史跡後なども追加、農業・漁業体験や掘割探索など（二ツ河のところから昔子供が川魚を見ながら下ったこともあります）アプローチするターゲットを決めていろんな遊びや学びができるスタイルを作ってそれを軸に柳川全体で取り組むことができればもっと観光の方も喜びますよね。もっと誇れる街にしてわたしもおばあちゃんになんかって何かに携わって稼ぎたい。高齢者も稼げる街づくりもかなり重要！です。なんか子供から年寄りまで楽しく遊べる柳川を目指してもらいたいです。	女性	50歳代	問答・所信
わからない	堀の水落ちが必要なことはわかるが、なぜひなまつりのシーズンをずらすことができないのかは長年の疑問。もてなすという意識が低いのでは？商店街もシャッター街化しており、賑わいを感じない。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	お祭りをもっと盛り上げてほしい。SNSで告知するなど。	女性	20歳代	要望
柳河	知らないだけかもしれないが、季節のイベントカレンダーとか観光コースとか「ここに行って見たら」という場所のマップ等が欲しいです。地域ではあるみたいだけど、全体のものがないから他県からの人に聞かれても答えづらい。	女性	50歳代	要望
城内	観光では川下りコースやクリーク全てに側道（遊歩道）整備。	男性	40歳代	要望
城内	川下りコースに面した場所にお住いの方は毎回の船頭さんの説明、歌に迷惑をされている方も多いようです。観光客へのおもてなしも大切だとは思いますが、住宅地の中にコースがある事、病気の方やプライバシー、交通安全の問題もありますので、川下りのコースの管理をお願いしたいと思います。最近は舟の数も増え、駅から乗れる船着き場も進行しています。今後の大切な観光資源ですので、早めに問題を対処させていただきたく、業務者とのルール作りをお願いします。	女性	50歳代	要望
城内	柳川観光の命でもある川をきれいにしていただきたい	女性	70歳代	要望
両開	観光を充実する為の景観・道路の整備およびイベントの実施	男性	60歳代	要望
両開	観光に力を入れるのであれば、川下りと鰻に頼らず、街並みも考えてほしい	女性	50歳代	要望
昭代第二	大河ドラマの誘致、即刻中止を望む。NHKの『歴史探偵』で取り上げられたことで十分！それよりも、観光資源を活かし、ドラマや映画のロケ地になるような誘致ができないのか。後にファンの聖地巡礼に繋がるはず。とにかく、税金を有効に使ってほしい。	女性	70歳代	要望
蒲池	お城の復興を願います	男性	50歳代	要望
有明	柳川城を再建してほしい	男性	70歳代	要望
有明	文化・歴史・観光についてのアンケートからは川下りや御花、その周辺のことしか感じられませんでした。大和町や三橋町にももっと大事にすべく文化や歴史があります。そちらにももっと目を向けて頂きたいです。	女性	50歳代	要望
中島	柳河城を造ってほしい パネルの城など金のムダ 今はパネルはしていないかもしないがもし今後するようなら石垣の一つでも増やした方がよい	男性	50歳代	要望
中島	観光客へ川下りや歴史だけでなく海苔の方にも興味を持っていただきたい	女性	20歳代	要望
大和	掘割の水をきれいにする。掘割の景観を少し派手にするなど「水郷」をもっと整備して欲しい。	男性	30歳代	要望

① 観光について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	歩道の整備、特に京町商店街は観光客も通るので、きれいに整備してほしい。歩道の草刈りを定期的にしてほしい。	男性	40歳代	要望
藤吉	せめて川下りのコースだけでも、きれいにして下さい（水が汚い）。	答えたくない	無回答	要望
垂見	ぜひお城を建ててほしい。	男性	50歳代	要望
無回答	近くで民泊の話が出ているが問題が多いと聞いているので何とかやめて欲しい。	無回答	無回答	要望
柳河	西鉄柳川駅のタクシーの対応が悪い。旅行・出張者からの意見です。	男性	60歳代	現状報告
蒲池	柳川駅のトイレが驚くほど汚い。電車から降りた観光客が入口で行列を作っているのを見ると、柳川の第一印象はこれになるのかと残念になる。	女性	50歳代	現状報告
藤吉	観光に力を入れて町にはゴミがかなり落ちています。特に沿岸道路の横の通り等ひどいです。 観光名所だけきれいでも町全体が綺麗じゃないとと思います。	女性	50歳代	現状報告
二ッ河	柳川の商店街がもっといろんな人が借りやすいシステムだといいのにシャッター街で、活気がない。さげもんめぐりにしても市議会議員さんのお店さえも、さげもんは奥の方にちょろっとだし、観光客はどこ巡るんですか？って聞かれる。	女性	50歳代	現状報告
昭代第一	みやま柳川ICから沖端地区へのアクセス改善。みやま柳川ICから沖端地区へ行くには、徳益ICを右折し、県道767号を通って沖端へ行かなければなりません。ここは渋滞も酷く観光者はストレスを感じます。観光者がスムーズに観光地へ行けるように、徳益ICから沖端地区へのアクセス道路整備を要望します。	男性	50歳代	要望

② 行政について

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
柳河	空き家、空き地をどうにかしてほしい。草や虫が多くて困る。	女性	60歳代	問答・所信
柳河	税金の有効活用を市の生活はカツカツです。年金だけでは暮らせない。市としての給付金は考えてないのか？	女性	70歳代	問答・所信
城内	掘割をきれいにして欲しい。コースは手入れをされていて、それ以外は無視されています。雑木・草など、ひどい状態です。ゴミ（大・小）も漂着しています。どうか宜しくお願い致します。	男性	60歳代	問答・所信
城内	柳川市の未来は観光だけでは成立しないと思います。企業誘致を積極的にやっていかないと若者は出て行って帰ってきません。柳川市職員の皆様、ぜひもっと真剣になって働いて下さい。窓口に行っても客はないのに雑談？（ぼく見えます）しているのが気になります。早く対応してもらいたいのに一番奥に座っている人（課長、お偉いさん？）と目が合ってもそらされて席に座らされたまま。知人、家族も同じことを言っております。仕事の内容を知らないのですか？と思ってしまいます。一般職員、会計年度任用職員の皆様に任せすぎです。この意見は留めることなく、ぜひ、上の方（市長）まで伝えて下さい。市民は税金を払っております！！現市長も元は市の職員でしたね。なあなあの関係はありませんから。	女性	60歳代	問答・所信
矢留	掘割の水がもう少しきれいになる事をお願いします。	女性	70歳代	問答・所信
東宮永	市の税金は市民のために役立てていただきたい。観光にばかり注力している気がする。	その他	40歳代	問答・所信
両開	ゴミ袋のサイズをもっと増やして欲しい。いまより小さいのも欲しい。分別をすると、ゴミがたまらず夏場においの原因になる。ゴミ袋の種類も草や植木など直接搬入できる車がないので、強くて大きい袋、草や植木専用が欲しい！	女性	40歳代	問答・所信
両開	ごみの分別をもう少し徹底しないと、温暖化は止まらない	女性	70歳代	問答・所信
昭代第一	観光に重点を置いて欲しくない。住民が住みやすい町にして欲しい。昭代地区田脇沖田は大川の家具工場の廃ガス、煙突からビニールの燃えたような臭い匂いがする。騒音がうるさい。企業のコンプライアンスがなっていない。静かな田園に戻して欲しい。人工的な景観は必要ないのでは？	男性	50歳代	問答・所信
昭代第一	充電式の小型家電（ハンディファンなど）、もっと簡単に捨てられるようになればなと思います。ゴミの処分方法がもっと分かりやすく処分しやすくなればいいなど。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	市長、議員、市の職員等、知恵を出し合って頑張って下さい。	女性	70歳代	問答・所信
昭代第二	・再開発は（駅周辺）かなり進んではいるが特定の地域だけで特に中心部から離れている場所は不便さを感じる。・他の自治体よりも、かなり遅れて学校の統廃校も始まったが、ぜひ前に進めてほしい。・災害対策、人口減少等々課題は山積しています。観光だけでは市の発展は望めないので他の対策も考える必要があると思います。	男性	70歳代	問答・所信
昭代第二	柳川市のまちづくりについてですが、私は観光客ばかりに目を向けたまちづくりのような気がします。市民中心のまちづくりのやり方があつてもいいのではと思います。観光客も大事ですが、柳川から若い人を出さない様なこと…難しいですがいろいろ考えて下さい。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	数年前、親類の者が、初めて柳川に来ることになり、久々でしたので、柳川市役所に観光名所等々TELにて聞きましたところ、川下りは会社に聞いてくれ、別に情報はない！？みたいなとてもうすっぺらな対応に驚きました。部所の方が何にも情報を持っていない、おすすめもなく、さあ～？？みたいな対応では柳川も衰退するはずだと！！あきれてしまった次第です。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	川下りの水がきれいだといいですね。	女性	60歳代	問答・所信
有明	外国人の受け入れに対して、慎重に取り組んでください。	男性	20歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
有明	柳川もみやま市のような道の駅を広く作って欲しい。地元の花、野菜等を安く売って欲しい。プールがほしい	女性	60歳代	問答・所信
中島	下水道を全体に進めていただきたい。NHKの大河に立花様をとかに金使うより下水道を。	男性	50歳代	問答・所信
中島	柳川駅の西口に川下り乗り場を作るのに多額の税金を使っていますが、柳川市民の為になるとは思えない。川下りの関係者だけの為になるように感じる。電車を使う人は柳川市民じゃない人が多いと思う。柳川市民の為に税金を使うべきだと思う。	男性	70歳代	問答・所信
六合	柳川と言ったら川下りとうなぎめしが定番でしょうけど、川の水がとても気になります。「美しい水郷柳川」宜しくお願ひ致します。	女性	60歳代	問答・所信
大和	まちづくりより控除額を見直して、税金を安くしてほしい。住民が潤わないとまちはどうなる。	男性	50歳代	問答・所信
豊原	税金は有効に活用して、市の借金をこれ以上増やさないように頑張ってください。よろしくお願ひいたします。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	今まで市に相談する様な事項がありませんでしたが、これから老化して相談が自由にできるか不安があります。大和庁舎が解体されるそうですが、その後の対応はどうなるのでしょうか。	女性	70歳代	問答・所信
藤吉	空家が多いのが、やや心配です。	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	西鉄柳川駅前の工事を早く終わらせてほしい。出来上がりが楽しみです。	女性	70歳代	問答・所信
矢ヶ部	柳川市のまちづくりとは何でしょうか？一市二町合併後20年間で人口は約19%減少してしまいました。筑後市、みやま市の様に国道バイパス沿の市街化、道の駅等の地場産業に貢献する行政方策はなく、箱物建築、宗茂と閻千代ばかりで…また多額の借金財政の中、何人と意見をしたら良いのでしょうか？西鉄駅周辺の農地規制緩和等、産業、住宅の促進をされ、人口の増加が望ましい！	男性	70歳代	問答・所信
矢ヶ部	粗大ごみに関してみやま市の様に処分料のシールを家具に貼って自宅前に置いておけば片づけてもらえるシステムがあれば助かります。	女性	60歳代	問答・所信
ニッ河	市役所職員のやる気が感じられない。我々サラリーマンと違いお金を生み出していくない事が理由であろう。一度トヨタ自動車で研修を受けるべきである。	男性	40歳代	問答・所信
ニッ河	柳川市の目指す目標みたいなものが一切感じられない。観光重視でいくのであれば、もっと観光に投資すべきである。でなければ、企業を誘致し雇用を生み出す事を優先すべきだ！新しい産業を生み出す事もひとつの手であると思う。	男性	40歳代	問答・所信
ニッ河	ごみ袋がもう少し大きくなると助かります。	女性	20歳代	問答・所信
ニッ河	現役世代（20～60才ぐらいまで）が税金を納めた分の利用できるサービスを充実させてほしい。（子供やお年寄りだけでなく）	女性	20歳代	問答・所信
ニッ河	祖母のマイナンバーカードを作成したいのですが、施設に入っていて外出困難な為、ネットでも作成出来るようにしていただきたいです。	女性	20歳代	問答・所信
垂見	うつ病で働けなく税金を納められなくて申し訳ないです。体調、感情の起伏が激しくまともな仕事ができなくてまとまった収入がありません。自分と同じような人が他にもいらっしゃると思うので、そういう人達のために何か制度を設けてほしいです。	男性	40歳代	問答・所信
垂見	国保特定健診、30代～でも受けれるようにしてほしい。若い人の方が病気の進行など早いので定期的に健診が受けれるといいと思う。若くて国保の人は健診離れている。	答えたくない	30歳代	問答・所信
中山	小学校、中学校の統合はどうなったんですか。広報やながわなどで知らせてください。	男性	50歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
無回答	粗大ごみシールを発行してほしい（粗大ごみ柳川市民はどうしてるの？ トランクないよ）	女性	60歳代	問答・所信
無回答	柳川市の昔の景観（カヤブキ等）が消滅していることに失望しています。今現在の状況を見ることも必要ですが、柳川の昔のいい所は消滅させないで欲しいです。	無回答	無回答	問答・所信
無回答	空家が多すぎる！又老人が多くて若者が少なくなった。我が家周囲にも5～6件空家、一人暮らししてゐる人もいる！又町内環境も笹や草が生い茂り手が付けられない！家主が放置して引っ越ししたりして連絡がとれない！動物、犬、猫が多いし、タヌキの粪もあちこち。堀は多いし、ブラックバス釣りで他県から的人が多い！町内での釣りを禁止の看板をたててほしい！	無回答	無回答	問答・所信
無回答	若い方の定住ができる様なまちづくりを希望します。	無回答	無回答	問答・所信
無回答	大雨の時に川の水が満水になり、水洗トイレが使えなくなる。川の水が満水にならないようにしてほしい。	無回答	無回答	問答・所信
柳河	柳川駅周りにムダな河川など作らず子供たちやご高齢（福祉）にお金を使ったらどうですか？柳川駅をみかけだけよくして誰得なんですか？本当にムダ！！	男性	20歳代	問答・所信
柳河	はっきり、申し上げるなら近隣市町村に劣っている点がある。子育て、企業誘致など多数。市の職員数が人口に対して多すぎる。まちづくりに関しても、観光地だと言うが、そこまで魅力のある所が限定的。前から言うように経由地とかしか思われていない。	男性	40歳代	問答・所信
柳河	観光ばかりに目が向けられていて、観光あっての市民という感じがします。	男性	40歳代	問答・所信
柳河	企業誘致・人口増加計画・税収増加・18歳以下医療費無償化	男性	50歳代	問答・所信
柳河	柳川市の人口減少に対する対策として、大学キャンパスの誘致。柳川市は多くの文人を生み出した町（文化のまち）として多くの若い学生を受け入れて、活気のある町づくりが必要だと思います。	男性	70歳代	問答・所信
柳河	飲酒運転が多い気がします。 柳川市民を守るためにもっと見回りをお願いします。	女性	20歳代	問答・所信
柳河	鳥の粪が多い、きれいにしてほしい	女性	20歳代	問答・所信
柳河	・身体が不自由な方が快適に生活できる環境デザインが増えてほしいです。 ・SNSでイベントや街の情報、よかもん館等スマホで検索したいけどあまり出てこないから運用してほしいです。 ・カラスの粪等、カラスどうにかならないかなあとがでます。 ゴミの日アプリはとても便利で使いやすいです！希望ばかり書いてすみません。	女性	30歳代	要望

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
柳河	現在、私は、81歳の母と息子の3人で生活しており、しかも近くにはバス停がったり、病院があったりと便利で生活しやすいと思っております。また、昔にくらべて掘り割りはとても綺麗になり、柳川の市民文化会館での催し物など、芸術、文化が潤ってきたなども感じられ、嬉しくなります。ただ、独り暮らしのお年寄りとかで、交通機関が側にない方等、コミュニティバス等はうまく利用出来たり、買い物等うまくできるシステムがあるのか心配なることもあります。4年前に小郡から実家へ25年ぶりに戻って来たわけですが、周りはお年寄りばかりで昔に比べて、とても活気が無くなつたと感じています。外国人の方が、よく柳川を訪れて下さるようになったのは、非常に有り難いし、誇りに感じます。ただ、周りには子どもたちの声は全く聞こえず、地域のお祭り等も、その時だけ息子等に急に声がかかり、お祭りを支える基盤があまりないのが現状のようです。元気な地域のお年寄りの方々が、頑張られておられると思いますが、数少ない子ども達が、自分達が守っていきたいと思える政策があればよいなと感じています。私達の子どもの頃は、おにぎえの山車は、みんな引きたがって、山車を持っている地域が羨ましくてたまりませんでしたが、最近は大人やお年寄りが頑張らないと回らないような状態に感じ、寂しくなりました。おにぎえのお祭りのあり方も、子ども達が主体的に守っていけるような仕組みづくりがあると、もっと活気が感じられるのではないかと考えています。子どもの数はとても少なく、お年寄りがとても多い、現在の柳川で、子ども達が生き生きと過ごし、地域に愛着や誇りを感じてもらえるような、子どもを真ん中においた行政をお願いしたいと思います。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	運動施設の充実や筑後広域公園のようなウォーキングなども出来る公園があると嬉しいです。歩道や自転車が通りやすい道づくりも希望します。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	大型ゴミの回収 久留米市同様に自宅まで取りに来ていただけたら助かります（軽トラがない為）。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	沖の端の柳が無くなり悲しい。早く移植して同情ある柳川を取り戻してほしい。町中心の美化中心だけでなく、その他もお堀の整備をもっとしてほしい。郊外のクリークが汚い。「水の町、柳川」を大切にする町づくりを進めてほしい。郊外の埋め立てが目立っている。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	高齢化がすすんでいるため（観光に力を入れるのも大切だが）高齢者が過ごしやすい工夫をしてほしいです。昔は町内で買い物ができていたが、今では遠くのスーパー等にいかないと買い物ができなかつたり、側溝のふた（？）の穴に引っかかって転倒したお年寄りを2人見かけました。このままだと、私が老人になった時は更に暮らしにくくなっているでしょう	女性	50歳代	問答・所信
柳河	ゴミ収集の方々には頭が下がりますが、もっとルールを守らせてほしい。袋がしまってなくとも、持つて行ってあげるから、ずっと変な出し方してる。特に京町のコッサンとか、ああいうのは持つて行つてはダメです。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	古家（誰も住んでいない）がたくさんあります。倒壊の危険もあり、市として対応していただきたいです	女性	50歳代	問答・所信
柳河	駅周辺の店は夜も開店していて賑やかだが、他は夕方5~6時で閉店してしまい、町が寂しく、非常に不便。駅前以外も開発してはどうでしょうか？例えば市役所通り等。夜は真っ暗で怖いです。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	掘割の整備にもっと力を入れてほしい	女性	60歳代	問答・所信
柳河	人口も減つて（子供達）きていて、空き家も多くなつてゐる様です。空き家の整備・管理をしていただきたい。	女性	60歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
柳河	柳川市全土埋め立てなのに、なぜ柳川西鉄駅の付近に土が掘ってあるのでしょうか。全ての人が「なぜ」と言って反対しています。そのお金が他の方向に使われないのでしょうか。もう少し意義のあるに使って欲しいです。みんなの税金だからですね。	女性	70歳代	問答・所信
城内	川のゴミが多い 古着の回収がプラゴミとかと同じように回収してほしい	男性	40歳代	問答・所信
城内	公共交通機関の時間的、本数的、エリア的な拡充。	男性	40歳代	問答・所信
城内	積極的な中小～大手まで様々な企業誘致として雇用の創出。駅周辺には事務系、道路整備が整っている沿岸道路周辺、みやまICに接続出来るエリアは物流や工業地帯、農耕地区の集約で大規模農業化により、高齢者～若年求職者や生活困窮者まで地元総活躍社会を作る。 大学の誘致でゆりかごから墓場までの政策。 公園やスポーツ施設を1ヵ所に集中させて大規模化、イベントや全国大会レベルまでの開催出来る施設整備。 娯楽施設を作り観光客から地元の人まで楽しめる施設作り。	男性	40歳代	問答・所信
城内	町に魅力がない。観光を発展させて、人が集う町にしてほしい。若い人の多くが出ていく町になっている。柳川市に家を建てたことを後悔している。土地の値段も下がり、子供達も柳川に戻るつもりがないと言っている。市として何がしたのか、どうしたいのかをはっきり打ち出し、魅力を高めてほしい。	男性	50歳代	問答・所信
城内	広報は広報紙だけではないと思う。ネットで見ていますが広報紙はいらない。	男性	60歳代	問答・所信
城内	雇用を増やし子育て支援(子育てにお金のかからない)をして人口を増やすなければ柳川の未来はないと思う。今の市長のやり方では柳川の発展はなく衰退するばかりもっと中途半端な観光ではなく企業誘致してしっかり雇用を増やして欲しい。	男性	60歳代	問答・所信
城内	第一にすべき事は、水の浄化である。第二にすべき事は、公共トイレ数を増やすことである。観光客や散策を楽しむ市民に喜ばれると思われる。65年前は、堀割の水を風呂の水に使っていたし、堀割には沢山の生き物がいた。水に関する条例を作り、市民に予告し周知して澄み渡る川面の復活に本腰を入れなければ柳川市の未来はないと考える。	男性	60歳代	問答・所信
城内	・防災対策の構築・子育て支援の充実・老齢者支援の充実	男性	70歳代	問答・所信
城内	堀割を売りにするわりに、堀割が汚すぎるし臭すぎでは。堀割を綺麗にする方に注力することなく、新たに船着き場を作製する始末。駅のトイレの音姫はいつまで経っても直らず、東口側の明らかに車を停めては行けない場所に車が停り続け規制しない。一体どこに金を掛けているのか。街を汚すだけの外国観光客のための事業や金稼ぎばかりで呆れる。もっと他に金を使う場所があるだろう。市民を最優先にした施策をして頂きたい。	女性	20歳代	問答・所信
城内	人口が減少しているため、人口増となるような町づくりをしていただきたい。人口が増加しなければ、市政の運営に支障がでるのでは？	女性	50歳代	問答・所信
城内	以前、福岡市内に住む知人達が柳川を訪れた際に言っていたのですが、市内の至る所に、「猫に餌をやるな」といった看板を目にして、とても驚いたと言っておりました。私達も日頃からそれを目にするたびに、驚きを通り越し、もう呆れとしか言いようがありません。今福岡県が掲げているワンヘルスをご存知でしょうけど、その看板は人と動物の共生といったことに欠けていると思いますし、餌をやるなといった考えに至るのではなく、地域猫としての考え方を推し進めてみたいかがかと思います。地域の方々と地域の獣医師が手を組んでいくことも近隣の市町でも行われていることなので、柳川市にできないことではないと思われます。そういうことに関して、市は市民にわかりやすく、理解を得るために発信していくって欲しいと思っております。人に対しても、動物に対しても優しい市になっていただきたいと心より願っております。	女性	60歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
城内	柳川駅周辺（特に西側）が柳川の玄関口であるにも関わらず、汚いし、夜になると治安もよくないし、暗いと思います。さらに、現在、柳川駅の横に船の乗り場を新設されているようですが、私達の支払っている市民税はそのような所に使われているのですか？私達、柳川市民、住んでいる人達にとっては何の利益もありません。もう少し、そこに住む市民のために、市民税を使っていただけないでしょうか。そういった点も考えていただかないと、今後柳川市に住む人は減少していく一方だと思います。ほかの発展している市を参考にしてみたらいかがですか。せっかく、柳川は水郷の市として世の中に知られているのに大変残念だなと思わざるを得ません。	女性	60歳代	問答・所信
城内	デジタル化が進み申請等にオンラインが必須になったますが、高齢者には対応できません。時代の波に乗らなくてはと思いつつ不安です。	女性	70歳代	問答・所信
矢留	合併から1万人以上人口が減っていること。人口減対策として、抜本的な対策をしないと、柳川市の将来は大変な事になる。国保税が高すぎる。小中学校の学校再編は見直すべきである。少人数学級が学力の向上につながる。	男性	70歳代	問答・所信
矢留	柳川駅前の川下り拡張はいらないと思った。それよりも駅のテナントを充実させてほしい。ミスターードーナツのような気軽に時間をつぶしたり、お茶したりできるところがないと、バスや電車の待ち時間が苦痛。お土産ショップもいまいちパツとしてない。店内のディスプレイや、店舗設計にもう少しこだわらないと、柳川らしさがでないと思う。観光も大事だけど、市民が日常的に利用するところにも、もっと注力してほしいです。	女性	40歳代	問答・所信
矢留	仕事上主に柳川市民や近隣方と話す機会が多いです。最近は筑後市が家がよく建っていて人口が増えてるらしい・自分が住んでいる地域は若い世帯が少なく又はいなくて今後だれもいなくなってしまうんじゃないか・雇用がないから発展しないなどマイナス視点が多いように思います。 自分は子育て時期が終わり今は少し落ち着いて過ごす時期になり柳川の暮らしに何の不便も感じませんし、むしろ暮らしやすいです。最近は地域の行事もほとんどなくなりました。けれど色々なくなってよかったですとの意見も聞きます。色々な役や出事が煩わしくてしたくない人もいるのも確かです。それでは何も発展はしないですよね。横や縦の繋がりも一人一人が少しでも進んで動けるような取り組みがあればいいですね。 最後に可燃ゴミ袋に小よりももっと小さいサイズ極小あると夏場など助かります。臭くなるので毎回出したいけれどサイズが小でもあまるので。柳川市が更に発展しますように。	女性	50歳代	問答・所信
矢留	家庭ゴミの缶類、びん類の月1回ずつ地区の決められた場所に出す。の改善をお願いします。その日は係が当番で回ってきて立ち合いをします。早めの出勤や色々な理由で出れない方が何人もいます。私の場合は仕事で出れず90代の母が出ています。そしてそこには何年もゴミは出さず、他で出しています。カンは、あちこちに収集場があるが、プラスチックといっしょの回収の見当を願います。ビン類はそう出ないので、年3回程度、プラスチックと同様に家の回りの回収を望みます。今後ますます高齢化が進みもって行けず当番にも出れない方が増加するので当番制の廃止の見当を要望します。	女性	60歳代	問答・所信
矢留	市役所の窓口で福祉課が入り口から遠く、高齢者や足が不自由な人にとって大変だと話を聞きます。 高齢者の8050問題、交通手段、買い物支援など考えてほしいです。 住んでいる地域の事を知らない人が多いので、コミセンが主になって子供食堂や地域の交流の場を作りたいです。	女性	60歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
矢留	自然環境が破壊されます。クリーク（護岸工事のコンクリート）に水性動植物がない。※絶滅進行中！虫の住める城堀を見たい。昭和30年代までは近くの堀には沢山いました。田や畑にゴミ（食べ物カス、カン、ナイロン）が多い。立て看板を建てたらいかがですか？環境美化推進の為！	女性	60歳代	問答・所信
矢留	柳川市のまちづくり活動は柳川市の発展に役立つとは思いますが、別の目線でみると、市民が必要とすること発展することもあると思います。市が発展するよう頑張って下さい。	女性	70歳代	問答・所信
矢留	柳川は開発に規制が強かったり、余所者を拒むイメージが強く、人口減少が進んでいるのではないかと感じる。柳川駅周辺は景観規制（高さ、色）を緩和すべきと感じるし、もっとメリハリをつけて「開発もできるんだよ」とアピールしていくことも大事ではないか？大牟田市やみやま市のように国道443号沿いに工業団地を造ることも大切ではないか？	答えたくない	70歳代	問答・所信
東宮永	街灯が少なすぎる。夜間ウォーキングが怖いので、小学校校庭を開放してほしい。	男性	20歳代	問答・所信
東宮永	駅前（西鉄）の川下り乗り場の建設は不要だと思います。観光ばかりに力を入れるのではなく、市民の生活を良くする努力をしていただきたい。	男性	40歳代	問答・所信
東宮永	人口を増やすことができていない原因を本気で考え、対策をしていかなければ、柳川の未来はないと思う（本来は20年前から本気で対策をしなければならなかっただろうが…）。観光に来てもらうだけでは、新たな人は定住しない。企業誘致を進めていくにしろ、農業をしっかり支えていくにしろ、柳川市としての本気度が残念ながら見えない。また、学校再編について、柳川市はどのようなビジョンを持って進めているのかが全く分からない。既存の学校のまま、名前だけの義務教育学校をつくって何になるのか。中学校同士の合併は本当にできると思って提案していたのか。柳川市が何もビジョンを持っていないから、校区民に丸投げ状態になり、結果ほとんど進めることができていないのではないか。このような状態では、子育て世代は不安でしかない。そのくせ、なぜか高額な税金を使って陸上競技場をつくろうとしている。このような状態で、新たな子育て世代が、定住しようと思うわけがない。もっと本気で、柳川の未来を考えたまちづくりをしてほしい。	男性	40歳代	問答・所信
東宮永	7~8年前に業者が道路と堀の間の土手をポンプで壊していたのを見たのですが、その後土手が流れてしまい今ではいつくずれるか分からない状態になっている。通行者も危ないので、すぐに整備してもらいたい！！	男性	60歳代	問答・所信
東宮永	空き家が景観を損ねている	男性	60歳代	問答・所信
東宮永	高齢者に対してやさしいまちづくり（自然・公園・道路・医療等）	男性	60歳代	問答・所信
東宮永	産業がない為、若い人が外へ出てしまって人口が減っている。大きな工場ではなくてもいいので、企業を入れて少しは活力のある町づくりをして欲しい。大きな公園、スポーツ施設等、市民が自由に運動したり、競技が出来たりする場所が欲しい。	男性	60歳代	問答・所信
東宮永	もう少し外灯などをふやした方がよいと思う	男性	60歳代	問答・所信
東宮永	街路樹の周りの雑草が目に付く。花類が少なく計画的に花を植える範囲を拡大することが必要（運動公園にも花畠を！）	男性	70歳代	問答・所信
東宮永	水路のゴミ（特に水門周り）が目に付く。水路課で対応されていますが、ゴミ回収の回数を増やす事が必要。	男性	70歳代	問答・所信
東宮永	議員定数を減らしてください。掘削をもっときれいにしてください。空き家対策をしてください	男性	70歳代	問答・所信
東宮永	西鉄柳川駅周辺の工事は必要なのがもう一度話し合ってほしい	女性	30歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
東宮永	人口減少し、若者が柳川へ戻って来ない、戻ってきて働く場所がない。中小企業でも安心して働けるよう、会社を元気にする様な政策を打ち出す必要があると思う。	女性	40歳代	問答・所信
両開	大雨や台風の時、避難所が開設されますが、数人のところがある。災害を予想される規模や状況もあると思いますが、旧市町に1つか2つくらいでいいと思います。	男性	50歳代	問答・所信
両開	人口流出減の為の企業誘致	男性	60歳代	問答・所信
両開	柳川市は市民税が高いとよく聞きます。若い人達は住みやすい所に住むようになり柳川の人口は減るばかりです。企業誘致などして働く場所を確保したりすみやすい町になるようしてほしいです	男性	60歳代	問答・所信
両開	市外周辺のゴミポイ捨て家庭ゴミの野焼なくしたい 少子高齢化問題	男性	70歳代	問答・所信
両開	駅周辺に西鉄久留米駅のように併設して飲食店や買い物できる商業施設を建てたら活気づくのではないか?雇用で人口増、観光客増にもつながる。若い人も集まるし。	女性	50歳代	問答・所信
両開	駅前の川下り乗り場工事は今もすすめるつもりなのか?不要と思う	女性	50歳代	問答・所信
両開	高齢化で空き家が増える。どういう対策をとるのか?	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	産業や観光業の活性化。学校や企業誘致 教育に関する施策を進めてほしいです。	男性	20歳代	問答・所信
昭代第一	市内の電線の撤去。特に鍛冶屋町から柳川橋までの京町通り。通行人も車も電柱があるために通行がしづらいくいつもストレスを感じます。また外観も良くないので、是非地中埋設をお願いします。 市内の信号の改善。特に国道443号の「辰橋南」信号。車もいらないのに毎回赤信号にかかります。我々もそうですが、みやま柳川ICを利用される観光者もストレスを感じると思います。この他、市内の信号の状況を確認・改善していただき、ストレスのない運転が出来るようご配慮頂けませんか。 沖端地区の整備。柳川観光の基盤である沖端。以前は風情があったのですが、柳の木が切られ、石畳は剥がれ、以前のような趣きが無いように感じます。以前から感じていたのですが、沖端は「通行禁止」にすべきです。歩いて風情を楽しむ場所として、情緒ある風景を復活させて欲しい。	男性	50歳代	要望
昭代第一	チーム柳川「座談会」の開催。私・家族そして地域の方々も同意見ですが、柳川市がもっと発展して貰いたいと切に願っています。この様な同志を集めて「座談会」を開催したら如何でしょうか。冒頭の市長のアンケート趣旨にありますように、より良いまちづくりにテーマを絞り行政も市民も一緒に考えながら。様々な意見がある中からきっと良い案が出されるのではないかでしょうか。 立花宗茂公にあやかった「勝利のまちづくり」豊臣秀吉が「西国無双」と称した立花宗茂公。生涯無敗の立花宗茂公が初代藩主である柳川市は、他の自治体にしてみれば、これほど魅力的な観光資源はないと思うのでは?近隣の観光で話題となった事と言えば、今年の正月に大川市の白蛇神社が多くの観光客を集め話題になりました。筑後市には恋木神社が多くの若い人を集めています。我が柳川市も立花宗茂公をお祀りした、三柱神社を「勝利の神様」として仕掛けませんか?仕掛ける方法は三柱神社の絵馬。「○○合格しました。」「○○大会で優勝しました」等の御礼絵馬を抽出し、結果をインスタグラムなどのSNSに掲載する。確立するまで時間はかかりますが、公知となれば様々な事が出来ます。例えば太宰府市とコラボした「受験生必勝応援パック」など。いずれにしても「ローマは1日にしてならず」です。まだまだ沢山のアイデアがありますがこれくらいで。柳川市には先人から受け継いだ観光資源があり、これまで多くの観光客が訪れ周辺にはみやま柳川IC、有明海沿岸道路もあります。近隣にはない恵まれた立地条件にあり、これらを有効活用頂けるような斬新なアイデアと行動力に大いに期待しています。	男性	50歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
昭代第一	外国人の居住が目立ってきましたが、同時に地域の治安の悪化が心配になります。治安の良い住みやすい街にして欲しい。	男性	50歳代	問答・所信
昭代第一	これから自然災害に対応出来る設備等、特に南海トラフによる津波等に避難出来る様な施設があれば良いと思う	男性	60歳代	問答・所信
昭代第一	早く沖ノ端の工事を終わらせてほしい 観光地なのにもったいない。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第一	無駄な事にお金を使わないでほしい。駅周囲の工事、本当に必要ですか？	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	空き家を減らして欲しい	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	高台の避難所がほしい	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	観光がなくても自立できる柳川市であって欲しい。観光客も大切ですが昭代にスーパーがないのはとても不便で、暑い中、雨の中でも自転車で遠くまで買い物に出かける年配の方たちが暮らしやすい環境を作りたい。病院の利用がない又は少ない家庭には次年度は国保税の減税を是非ともお願いしたい。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	空家対策が無いまま新規の住宅が建設されている事に疑問を感じます	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	行政区で担当して空き缶とビンの回収に立ち会うことになっていますが、平日の為、仕事などで、参加が厳しいのですが、やはり無理してでも参加しないといけないと思うので、すごく負担になります。間隔がながくなってしまってもいいので、資源ゴミみたいに回収していただけたら助かります。変な物が出されないように記名してもいいと思います。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第二	観光だけにとどまらず、生活・仕事・教育・農業などあらゆる面で「柳川に住む理由」が明確になるような重点的な施策が必要。	男性	40歳代	問答・所信
昭代第二	沖の端の川辺、水天宮あたり柳の木があった方が良かった。今の街灯は夜は観光はしない、昼は街灯は見ない、街灯の灯りを見る人はいないでしょう。税金の無駄遣い。通るたびに思う。	男性	70歳代	問答・所信
昭代第二	少子、高齢者で住みやすい街づくり。 ・高齢者のサポート（受診、買い物などのサポート）入院や手続きの際、身寄りの無い人、子どもが遠方ですぐに来れない人が多くなってくる事が増えてくるとおもうでそういうサポート体制。 ・子育てしやすいまち。小学校で特性ある学校を増やして柳川の学校に行かせたい！！というような学びができるような学校を増やすだけで世帯数が増加すると思う。農業が学べる。ボートレーサー学校での体験が一年に一回できる。絵に力を入れた学校。プログラミングを学べる…などなど… ・Z世代の楽しめる場所を増やして市の収入を増やす。 ・生活保護者の見直しをして財源減少させる。本当に受給が必要な人を見直して欲しい。	女性	30歳代	問答・所信
昭代第二	福祉、介護に関する情報をもう少しアピールして頂くと助かります。認知症高齢者が今後も増加するため、予防事業から支援まで、対象者が行きたくなる、参加したくなるようなアピールが欲しいです。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第二	カラスの大群を駆除してほしいです。 西浜武、有明技研さん周りの田んぼ、伝習館周辺、鍛冶屋町交差点、辻町交差点。是非、どうぞよろしくお願ひします。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第二	佐賀空港が近いのでオスプレイの航路等、不安に思います。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第二	柳川市民一人ひとりが、柳川に愛着を持てるようなイベントや相談会(たくさん企画開催されているとは思います)を催して頂きたい。ボランティア活動として、毎月1回ウォーキングを開催していますが、認知度が低いなあと感じています。広報やながわに掲載して頂いたりしていますが。若い世代の参加を促すために、どうしたらいいのか、模索しています。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	市長さんも交代されましたし、若い方のアイデアもどんどん取り入れていかれたらしいと思います。	男性	60歳代	問答・所信
蒲池	市民減少・少子化の問題が不安です	男性	60歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
蒲池	特に水をきれいに！市民全員が関心がないといけない。魚や水草が見えるクリークコンクリートだけではダメ。土木工事ばかりやれば水はきれいにならない。	男性	60歳代	問答・所信
蒲池	これから少子高齢化進行する中で学校給食の無償化高齢者の医療費等が大きな負担になって来ます 税収等も落ち込み他の税も減収すると思います。これらを考えて行政の舵取りをよろしくお願いします。	男性	70歳代	問答・所信
蒲池	何かに特化した政策も大事ですが、市民全員が、生きることに絶望しないあきらめない柳川市をめざして欲しいです。	女性	40歳代	問答・所信
蒲池	少子化、高齢化社会の問題を日常生活においても身近なところで、よく感じるようになりました。今は支える側（支えられているところも多いですが）として、子供達や高齢の親の役に立ちたいと気持ちを通わせながら頑張っているところです。しかし、自分の将来は不安です。”車の免許返納したら、買い物はどうするのだろう”とか”人不足で介護をする人はいてくれるだろうか”とか生活に直結した心配です。市役所の仕事も大変だと思います。市民が生涯を自分らしく幸せに生きられるように、お手伝いいただければと思います。	女性	50歳代	問答・所信
蒲池	観光も大事ですが、前にあった県南センターのプールみたいのがあるといいと思います。スポーツジムも広く、みんな使えるような所があると健康づくりで医療の削減になると思います。小さい施設での教室もいろいろありますが、大きい施設があるのが理想です。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	堀の近くなので、雨が多いときとかいつも心配になります。堀の水が溢れて畠を超えて、家の方に来て浸水しないか心配。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	駅前の掘割は、遠方からの訪問者は柳川の第1に通る場所であるにもかかわらず、時間がかかりすぎに思える。早く美しく完成を望みます。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	先日の大雨、柳川市としての防災のアナウンスがなかったのでもう少し市が防災意識を持ってほしい。 官公庁が、公文書で吉日と使用するのは恥ずかしいのでやめてほしい。	女性	60歳代	問答・所信
皿垣	隣組町などの役割をもう少し軽減できないでしょうかね？ 隣組などの会費を口座引き落としや広報やながわなどをわざわざ一件づつに配る負担などを改善してもらいたいものですね。	男性	50歳代	問答・所信
皿垣	小中学校の再編について明確な方針と実行を期待します	男性	70歳代	問答・所信
皿垣	庁舎のみではなく、廃品回収できる場所、廃品回収できる種類を増やして欲しい	女性	20歳代	問答・所信
皿垣	柳川市は住みやすくて私は好きですが、子どもたちの世代が大人になる時に企業も少ないし、就職を機に地元を離れる方がもっと多くなるのではと思います。今でも超高齢社会です。支出が多いのもわかりますが、収入を増やすこともなにか考えていただきたいです。	女性	40歳代	問答・所信
有明	聴覚障害者（耳が不自由）の安心と安全する為、文字放送と手話通訳者の必要性を求める。	女性	50歳代	問答・所信
中島	佐賀、熊本は海苔を推してるので何故福岡は海苔を推さない？ 補助金も全く違うし、佐賀と熊本に負けるつもりならそれでいいけど、首絞めて税金が少なくなるのも市役所がしんどくなるだけ！ しっかり考えて漁連とも連携とって海苔事業にも力入れて欲しい	男性	40歳代	問答・所信
中島	観光もいいけど、海苔の宣伝もっとしてもらいたい 全国でも有名な有明海があるから。	男性	60歳代	問答・所信
中島	子育て世帯ばかりではなく、市民全員に平等に恩恵・支援が受けられるようにしてほしい。	女性	40歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
中島	新市長が元市職員なので、結局馴れ合い市政が続くのかと思うとウンザリする。駅前に川下りの乗船場所をつくる工事をしているが、そのような無駄なことするより、まず今ある堀の水をきれいにしてほしい。観光やおもてなしをずっと推しているが、西鉄柳川駅周辺のさびれ具合は来た観光客もガッカリすると思う。歩道も整備されてない。大河ドラマ招致はいい加減諦めてほしい。生涯学習や社会教育に全然力を入れていない。中学の新制服について、各学校で対応が違うのはおかしい。広報やながわがダサくなった。特に表紙。	女性	40歳代	問答・所信
中島	観光で人々が来てくれて、柳川が活性化してくれると良いなと思います。子供が少なくなり、大和町はやまと小学校1つになりました。日本どこも子供が少ないですね。海苔を作っています。毎年、温暖化で暑く、海の水温も高く、雨も少なく、台風で有明海をかき回してくれると、水温が下がり、よい海苔がとれると良いのですが、中々大変です。台風の被害は無いといいのですが。漁業も跡継ぎ問題、やめていく方も多いです。何のお仕事も大変です。将来、未来よくなるように私も努力したいですが、職員の方々もよろしくお願ひいたします。柳川市、福岡、日本どこも少子高齢化です。できればそこの方も結婚してもらい、子供さんができて、明るい未来、柳川、福岡、日本になってもらいたいです。市役所の方々いろいろな職種の方々、色々と大変で暑いし、お体に気を付けて、ご自愛ください。ファイトでよろしくお願ひします。	女性	50歳代	問答・所信
中島	健康診断も大事です。一年に一度するように強く市民の方々に言っていただきたいです。体が元気じゃないと何もできません。私は、違う県からお嫁にきましたが、実家の母が元気で検診してなくて74歳で脳出血で右半身麻痺と言語障害がでました。本当に悲しく、つらいです。本人が一番つらいと思います。市の方も皆さんも用心してください。	女性	50歳代	問答・所信
中島	健常者の方々が車椅子に乗り、町を自立移動し散歩してみてほしい。設けられている通行できる動線には、段差が多く違法駐車などが多い。かなり疲労困憊する現状です。視覚障がい者が使用する白杖とアイマスクを使用して、ガイドヘルパーの誘導と共に町の歩道を歩いてみてほしいです。 コミュニティバスにリフト車があればいいと思っています。	女性	50歳代	問答・所信
中島	孤独死が増えていると思います。町のコミュニティをICTやAIを導入し、生きづらさを抱えている人との関わりかたを再検討したらどうかと思います。	女性	50歳代	問答・所信
中島	国道なのに防犯灯がないので暗くて怖いです。歩道が狭い所があるので、怖いです。	女性	60歳代	問答・所信
中島	元気サークルにさんかしております。いつも楽しんでいます。もっと回数を多くしてもらいたいです。高齢者が集まる場を作ってもらいたい。	女性	70歳代	問答・所信
中島	のりの季節のクリークのにごりと臭いの対策をどうにかして欲しい 知人、隣り近所の方がのり事業をされているので直接話しをする事等出来ないので市や組合等で対策をして欲しい！	女性	70歳代	問答・所信
六合	・自宅の施設内での草や枯れ葉などゴミも燃やすのを柳川市全域で禁止してほしいです。六合では燃やしている家庭が多く、洗濯物にも臭いがつくし、火事などもあるので、厳しく禁止してほしい。・柳川商事でビンのリサイクル回収をまた再開してほしい。有明ひまわりセンターは遠すぎるし、回収の金額もビンは重い為高くなる。毎月量が多いときは困る。	女性	50歳代	問答・所信
六合	六合地区に住んでいて、生活の利便性が良いと感じたことはなく、特に憩いの場などがあるわけではなく、変わったのはコミセンができたくらい。でも、小学校はなくなりました。まちづくりは地域の人々がつくっていくものだと思いますが、そこに行政がどう関わっていくのか、もっと発信してほしいですね。合併前と後では何も暮らしの変化は感じません。	女性	50歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
六合	先日の大雨時、裏の堀の水位が少し心配になりました。梅雨時の対応は安心感があります。ハザードマップとその後の行動の再確認をしなければ、小学校の統合で不安山積みです。	女性	60歳代	問答・所信
六合	図書館が2~3分（徒歩）にあるから助かる（しかし本屋がない）	女性	60歳代	問答・所信
六合	柳川市の中心部に大きな公園や多目的グラウンドがあれば良いと思います。	女性	60歳代	問答・所信
六合	新しいものばかり作らないで、昔ながらのものを利用しながら地域密着できればいいなと思います	答えたくない	60歳代	問答・所信
大和	観光事業より、田舎の方の利便性向上。高齢者や子供達に優しい町を作っていくと、柳川から人が減る一方だと思います	男性	40歳代	問答・所信
大和	オスプレイが飛来しない事を前提に町づくりが出来て行けば良いと思います。	男性	60歳代	問答・所信
大和	年寄りに優しい住みやすい町づくりを願う	男性	70歳代	問答・所信
大和	駅前の堀割りはどうなっているのですか？ 高齢者の健康づくりを重点的にやってほしい	女性	40歳代	問答・所信
大和	どの季節でも花を見学できるような場所があるといい（弁天の桜や菖蒲園、ひまわりのような）あるなら広報をお願いしたい。	女性	50歳代	問答・所信
大和	学校編成は難しいと思うがよく検討してほしい	女性	50歳代	問答・所信
大和	柳川駅がよくなつてよかったです。（西口、東口ができる分散できている）	女性	50歳代	問答・所信
大和	歳をとっても能力に応じた仕事ができる機会を多く作ってください。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	企業や高校・専門学校・大学等の高等教育の場がないのが、今後の柳川市的人口減少に大きく影響すると思います。	男性	40歳代	問答・所信
豊原	中身がしっかりしていないのに進める傾向がある。税金お金の無駄遣い。 企業が少ないし、魅力がない為か、若者が出ていってしまう。 何かわかりませんが、すべての歯車が狂つてるように思います。	男性	40歳代	問答・所信
豊原	観光のまちづくりに力を入れすぎと思う　日々生活する人の視線でまちづくりをしてほしい　観光客が増えるのがいいとはかぎらない市民の生活しやすいようなまちづくりを望む	男性	60歳代	問答・所信
豊原	残念なのは堀割りの水質でしょうか。晴れの日が続くと緑色になり水の都柳川といえどあまり綺麗に感じれません。これからも綺麗な景観の柳川であって欲しいなと心から願います。	女性	40歳代	問答・所信
豊原	大濠公園のような便利な良いランニングコースなどが整備されると嬉しい。駐車場完備で。	女性	50歳代	要望
豊原	少子高齢化が目立つ。70歳以上の高齢夫婦のみの世帯が多いので、先が不安	女性	60歳代	問答・所信
豊原	たくさんの種類の予防接種があると思いますけど、全て無償で受けられると良いと思います。帯状疱疹など高額なので受けたくても、受けられません。よろしくお願ひいたします。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	独身の男女が多く、子供の人数が増えないので、独身男女の交流の場がもっと増えると良いと思います。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	市長さんが変わられたので、コミュニティバスが大和町など、あまり病院まわりが無いのでタクシーで行くしかなく、個人的に生活に困っているので、生活がタクシー費が重なり苦しいです。タクシー券は、ありがたく使っていますが半年ぐらいで終わり、あとは自費です。福祉を手厚くしてほしい。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	柳川、三橋、大和が合併して随分経過したと思うが、まだまだ統一とはいかない感じる。学校再編について市長が地域の特性や歴史が違うから見直しをするとの発言をされて、尚更市役所の中でそういう空気があるのかと思った。学校がどうなっていくのかはっきり方針説明がないままでは市民、特に子育て世代は不安がつのるばかりだ。安心して子育てできる基盤があると、仕事はどこにでも行ける交通網を柳川は持っていると思う。観光ばかりに力を入れず、農業も若い就農者が増え、リーダーがでてくるようになってほしい。柳川が誇る堀割は治水のためにあるのだから。	女性	60歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	若い世代が地元に残ったり戻ってきたりできるよう、雇用の創出やテレワーク対応の拠点整備、UIJターン促進支援を進めてほしいです。また、住宅支援や移住者向けの情報発信等を行うべきだと考えます。さらにSNSを活用し、川下りや観光資源のPRを強化し、これから世代に地元に残りたいと思わせるまちづくりに期待しています。	男性	20歳代	問答・所信
藤吉	少子化の理由を考えて人口を増やしてほしい。	男性	60歳代	要望
藤吉	人口の減少を重要項目としてほしい。	男性	60歳代	要望
藤吉	老人がリハビリ出来る場所をつくってほしい。歩けなくなると買い物を行けなくなるので。人と人がかかわっていつまでも人間らしく生きていける柳川になってほしい	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	議員等の私利私欲で動くのではなく、柳川市全体を見渡し、本当に必要なことを見極め、十分に予算検討をして市民のための政策を練っていただきたいです。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	人口減を考えると、コンパクトシティ化を推進するしかないと思います。そこでは自分で車を運転できなくなった高齢者も徒歩圏内に必要な施設（買い物、病院等）が揃い、安心して歩ける道の存在が必須。観光面でも川下り、歩いて水辺を散策できる、回遊する場所づくりが大切だと思います。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	若い人の職場確保の為に、大小問わず多種多様の働き場の確保の為、あらゆる企業誘致を積極的に考えてもらいたい（柳川は観光の町だから反する稀な企業は除く）	男性	70歳代	問答・所信
藤吉	佐賀市にオスプレイが配置されていますが、安全安心の観点から国防、国策の面では、世界の現状の視点からは頼るにやぶさかではないが、過去の事故例を考えると大きな不安を抱いている（墜落事故等）。国や防衛省等関係機関には、慎重かつ（国益を守る判断を含めて）行動することを要望してもらいたい。	男性	70歳代	問答・所信
藤吉	佐賀駐屯地へのオスプレイ配備について、市民生活の安全確保のため、オスプレイの騒音測定ならびに必要に応じて九州防衛局にさ毅然とした態度で要請して頂きたい。また、ここ数年の間に、自宅上空を自衛隊所有機と思われるヘリコプターが頻繁に飛行するようになり、騒音と自宅の振動が気になっています。オスプレイだけでなく自衛隊ヘリの墜落事故も少なくない為、市内上空において安全飛行がなされているかチェック体制をつくって頂きたい。	女性	30歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	<p>令和7年度の主な事業(年度予算、補正予算計上分)について、以下の事業については、費用対効果と将来的な市の財政悪化への懸念から撤回または見直しを強く希望します。</p> <p>①佃町の旧クリーンセンター跡地への市民グラウンド整備事業：目的に「スポーツ環境の充実」が掲げられていますが、少子高齢化が進む中、整備したとして利用者がどれだけ見込めるのでしょうか。新規整備せずとも既存の公共施設の老朽化対策や利便性向上に向けた設備投資で目的は十分達成できると思います。②市庁舎の増築事業：6月定例会の一般質問で緒方議員が示された6つの方針見解に強く賛同します。今後加速度的に人口減少が予想される状況下において、公共施設の新規設備は原則行わず、既存の施設・設備の老朽化対策や利活用に注力すべき。建設費の縮減など本事業も見直しをして頂きたい。③西鉄柳川駅前の整備事業：整備後の豪雨時期における駅周辺の水害の拡大、ならびにオーバーツーリズムによる近隣住民の生活悪化、さらには維持管理コストによる市財政逼迫への懸念が拭えません。市内の川下り事業者が公平・平等に利益を得られる仕組みは構築されているのでしょうか？特定の事業者のみ優遇されて他の事業者が不利益を被ることならないよう、市として適切な対応をお願いします。</p> <p>最後に、松永新市長には、市民の声を無視して強硬する時代遅れのハコモノ行政を脱却し、本当の意味で市民の声を聴き、市民のために社会福祉関連サービスの拡充、既存の基幹インフラ(下水道管・橋など)や公共施設の老朽化対策・保全にお金を使って頂きたいです。よろしくお願ひいたします。</p>	女性	30歳代	問答・所信
藤吉	駅前の再開発がもっと綺麗になったらいいなと思う。	女性	40歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	<p>佐賀・久留米・福岡など、車や電車を使えばほぼ1h以内で移動できる距離にあり、よく言えば「程よい距離」、悪く言えば「中途半端」な位置にあると思う日常生活においては、スーパーや家電量販店、病院などもあり車さえあれば必要な生活が送れると感じています。ただし、人口減が続く昨今このままの現状を維持できるかはやや不安。何しろ観光業以外に産業が無い、雇用の創出が無いため若者の流出は避けられないと思う。企業誘致はもちろんされていると思うが、他にも画期的なアイデアを出して頑張って欲しい</p> <p>以下、copilotより</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 水郷×テクノロジーの融合「スマート水郷プロジェクト」 <ul style="list-style-type: none"> ・掘割に自動運転どんこ舟を導入して、観光と移動手段を兼ねる。・舟にARガイド機能を搭載して、北原白秋の詩や歴史をリアルタイムで体験。 ・地元の高校や高専と連携して、舟のIoT化やアプリ開発を地元人材で担う。テクノロジー系の雇用創出+観光の高付加価値化！ 2. 「柳川バイオラボ」構想 <ul style="list-style-type: none"> ・有明海のムツゴロウやワラスボなど、珍しい生物を活用したバイオ研究拠点を設立。 ・食品・医療・環境分野での応用を目指し、大学や企業との共同研究を誘致。 ・地元の若者が研究補助やラボ運営に関われるような仕組みづくり。地域資源を活かした先端産業の雇用創出！ 3. 「柳川メタバース」観光・教育プラットフォーム <ul style="list-style-type: none"> ・柳川の街並みや川下りをメタバース空間で再現。 ・海外向けにバーチャル修学旅行や文化体験を提供。 ・地元クリエイターや学生が3Dモデリングや運営スタッフとして関わる。デジタル人材育成+観光のグローバル展開！ 4. 「柳川クラフト・ファクトリー」 <ul style="list-style-type: none"> ・地元の伝統工芸（さげもん、和紙、竹細工など）を現代風にリブランディング。 ・若手デザイナーや職人を全国から公募して滞在制作。 ・海外ECやNFTでデジタル販売も展開。文化×デザイン×テックで新しい雇用の形！ 5. 「柳川未来塾」：地域課題を解決する人材育成拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・地元の高校生・大学生・社会人が地域課題をテーマにプロジェクト型学習。 ・企業や自治体と連携して、実際の事業化までサポート。 ・例えば「空き家を活用したカフェ×学習塾」など、実践型起業を促進。教育×起業×地域活性の三位一体！ <p>「1」スマート水郷プロジェクトは若者ウケが良いように思う どんこ舟や北原白秋は観光資源ではあるけれど古い。リピートして川下りをする観光客は少ないと思う。受け身の観光より若者は体験型を望むと思います。柳川市は住み良いけれど、刺激が少ないです。子育て終了したら、移住したいと漠然と考えてしまいます。一市民として柳川市の発展祈念しています</p>	女性	40歳代	問答・所信
藤吉	今年、ゴミ収集のことでのトラブルがありました。その時の市職員の対応が最悪でした。もっと指導や教育をきちんとして下さい。私たちの税金でお給料もらっているんですから。しっかりきちんと市民のために仕事をして下さいね!!	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	柳川市ならではのアトラクション施設	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	1.Q15の①～④若い人はもちろんですが、60歳以上の退職者の人が活躍できる場を推進して欲しい。2.市主催のワークショップ（運動・手芸・絵画・陶芸など）を数多く企画して下さい。3.スマホ・パソコン講習をもっと具体的な内容を提示して（カリキュラム表を作り、段階を分ける）、企画募集して下さい。3.掘割、川の観光ルート以外の清掃強化。草が茂りすぎている。長年放置されているままです。	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	柳川市には見えない（隠れている）所に掘割があります。特に柳川駅の奥に入った所でしょうか、そういう所がとても汚い、とても汚いと思う。タバコのポイ捨ても多い。駅前に入る道路の雑草も多い。	女性	60歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	掘割が多いが、流れていない所が多い。虫・蚊の発生源！全体的に下水の設備が悪いと思う。下水の修正はかなり難しいと思いますが、水の流れがきれいになると、きれいな町になると思う。	女性	70歳代	問答・所信
藤吉	街並みが汚い、草が多い茂っている。新栄工業近くの沖端川の河川敷はせいたかあわだち草が茂り、花粉が飛んできて、近くの民家にも悪影響。喘息の元と言われている。今年やっと草刈りが始まったが、40年位住んでいるが全然草ぼうぼうの河川敷は40年間そのままで税金は市庁舎建築ばかりに使わず、市の環境整備にも使ってほしい。	女性	70歳代	問答・所信
藤吉	柳川駅前の開発は、反対です。あんな所に川下りのコースを作っても、どうかなあと思います。川下り業者だけの柳川ではないはずです。一部の人だけの利益にしかならないと思う。駅前を掘って、大雨の時など、大丈夫ですか？もっと考えてほしかったです。	女性	70歳代	問答・所信
矢ヶ部	観光のためと言って新しく掘割を作っているが乗舟場はいくつもありそなところで大切な税金を使わないでもらいたい。	男性	70歳代	問答・所信
ニッ河	川下り等の観光資源を最大に活用することは必要だが、観光だけに頼らずに他のことも考えてほしい	男性	50歳代	問答・所信
ニッ河	個人（故人）の所有物が放置されたり、荒れている所が多くなっている。	男性	60歳代	現状報告
ニッ河	企業誘致に限ると感じます。	男性	60歳代	問答・所信
ニッ河	町づくりは市民の生活についてが関係してくると思います。市民の生活が安定してくれれば自然と町づくりも活気が出てくるのではないか？他の地方では給付金などが自治体より実施されているのに、柳川市は何も市民に実施していないし、市民税が他の地区より非常に高くて、払うにしても大変です。市民税の見直し実行、何に市民税は使われているのでしょうか？大変気分が悪いです。市民税を5000円位にしてほしい。よろしくお願ひいたします。	男性	60歳代	問答・所信
ニッ河	特定の一部にお金を使ってるようを感じます。川下り業者に特に優遇されているように感じます。全市民柳川のために税金等払ってるので不満あります。とにかく赤字解消 いつまでも立花家を取り上げるのも困ったもんです。興味ある方だけチャリティーで行ってください。税金の無駄遣いだけはやめてください。よろしくお願いします。	男性	60歳代	問答・所信
ニッ河	サンプリンジの支払いがコンビニができる様に。銀行・市役所は遠いから。（毎月市役所に行っている）シルバー代はコンビニができる！又支払いの用紙の枚数が多い。又、大きすぎる、封筒は小さく。→ゴミになる！	男性	70歳代	問答・所信
ニッ河	温暖化の影響大、防災対策	男性	70歳代	問答・所信
ニッ河	柳川駅のところに川下りするところが出来ると聞いて、工事されていたようですが今は進んでなく、どうなっているのか知りたいです。	女性	50歳代	問答・所信
ニッ河	柳川市は他市と比べ給付金とかは無いんだと思いました。コロナ時、他市町村の人の話を聞くと、医療従事者とかにも給付金などがあり、すごいと思いました。またもう少し子育てに対しても支援があっていいのではと思います。はっきり言って、私の周りの人たち（柳川市に住む人）は、今の柳川市はよく思っていないみたいです。みんなが柳川市に住みたいと思われるような町にしてほしいです。いろんな市民の声を聞いてもらいたいですね。	女性	50歳代	問答・所信
ニッ河	高齢化に伴い、一人世帯が増えている。経済面・安全面等を市がしっかり把握し、災害の時にどのように救助・非難するのか把握して対応していく必要がある。	女性	60歳代	問答・所信
ニッ河	子供・老人などが安心して遊んだり、散歩できる憩いの場があれだ良いです。	女性	60歳代	問答・所信
ニッ河	人口流出、人口減の対策の1つとして企業誘致をもっと積極的に行って欲しい。	女性	60歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
二ッ河	柳川市の小中学校再編について、閉校後の小学校をどのように活用するのか、大和中と三橋中の再編見直しは具体的にどうなるのか情報を市民に知らせてほしい。	女性	60歳代	問答・所信
垂見	働く世代への減税や、医療費などのサポートを手厚くして欲しい。	男性	20歳代	問答・所信
垂見	イベント事が旧柳川市ばっかりで三橋町はもりあがっていない。	男性	30歳代	問答・所信
垂見	人口流出の原因是若者が希望する仕事がない働きたい会社もないが遊ぶ場所もない。市民の税金を観光のため、数億の金をかけて西鉄駅まわりに堀をつくるのは無駄だと思う。それだけの金があるなら柳川市の生活いに困っている人達に優先して使うべきだと思う。	男性	30歳代	問答・所信
垂見	福祉がなっていない、地元には「介護の事業所がない」と理由で福祉サービスが受けられない	男性	30歳代	問答・所信
垂見	川下り乗場の新設工事よりも既存のインフラ維持整備に税金を使うべき。管理すべきものをほったらかしにするな。	男性	50歳代	問答・所信
垂見	農地に関する規制が多く、店や人が増えず市の発展を阻害している	男性	50歳代	問答・所信
垂見	お堀をもっともっと美しく！	男性	60歳代	問答・所信
垂見	文化事業の発展のための諸施策の検討及び実施	男性	60歳代	問答・所信
垂見	観光にばかりエネルギーを注がず、雇用に力を入れてほしい。そうすれば若い人の流出も減少し、人口も増えると思う。	男性	70歳代	問答・所信
垂見	緑豊かな環境・景観 美しい木造の図書館がほしい。	女性	40歳代	問答・所信
垂見	木造住宅（外装（壁）・内装）の推進（補助金を出す）	女性	40歳代	問答・所信
垂見	・もう少し移住定住補助に力を入れて欲しいです。外国人移住者も増やすことで、インバウンド対策や色々な交流が増え、より国際色豊かな市になると思います。・ふるさと納税もより収入を増やすために、もっと勉強したり成功している自治体のノウハウを取り入れたり、一般企業の活用をしていただきたい。もっと税収増えます。	女性	50歳代	問答・所信
垂見	公園が少ない 散歩コースのグランドがほしい	女性	60歳代	問答・所信
垂見	1 柳川 ウォーキングマップをつくる 人生100年時代。健康で元気に楽しく生きるために、老若男女、いつでも自由に1人からでもウォーキングができるように、各小学校区ごとにウォーキングコースを作成する。 記入内容・駐車場とトイレは必須・時間 2時間～6時間程度・神社や社、桜や菜の花など植物の綺麗な所や時期。お店や眺めの良いところ、有名な所はもちろん風習などを記入して、楽しくウォーキングできるようにする。地域おこしにもなるのでは? 2 人が多くなるために、会社や工場等の誘致をする。 3 近隣の市はもちろん、佐賀県や熊本県も近いので、アクセスのルートマップを作成する。	女性	70歳代	問答・所信
中山	独身にも住みやすい環境を作りたがりたい。独身に対しての補助が欲しい。 一人暮らし向けの物件を増やしてほしい	女性	40歳代	問答・所信
中山	地域によりますが、集まり(行事や草取りなどの作業)が多いと感じます。今の時代の若者家族などの子育て世代には負担だと感じます。 人口減少のひとつだと思います。	女性	50歳代	問答・所信
わからない	学校再編に伴った旧小学校の保全や整備について早急に対応して頂きたい。窓ガラスは割れ、校庭は草だらけで、周辺の住民は不安を感じているのでは？	女性	40歳代	問答・所信
わからない	オスプレイの騒音や墜落に対する備えは大丈夫か。	答えたくない	40歳代	問答・所信
わからない	過剰な箱もの（市庁舎・市民グラウンド）は見直しを。	答えたくない	40歳代	問答・所信
無回答	コンビニ交付による行政サービスの営業時間（6時30分～23時）を1時間くらい（6時30分～24時など）延長して欲しい。	男性	30歳代	問答・所信

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
無回答	1.物づくりが多すぎる→維持管理費等をどう考えているのか！2.観光の為（西鉄柳川駅、○○の電柱地下）というが維持費はどれだけの費用対効果があるのか？3.柳川市内の全体を見て計画してほしい4.柳川市の財政は県内ワースト15位なのに費用対効果等を考慮して計画しているのか？前市長の古賀敬造（赤字）、古賀杉夫（赤字少）、小宮とおる（赤字減）→今の○能では赤字になる5.職員の駐車場の件ですが、通勤費をもらい、駐車場利用費は無効（当たり前の様に思っている）他の市町村では駐車場利用費を取っている（特別扱いはやめて欲しい）6.家庭排水路（水路等）は臭くてたまらない（水路活用の調整を）	無回答	無回答	問答・所信
柳河	駅前の川下りの計画を進めてほしいです	男性	50歳代	要望
城内	市民全体にあいさつ運動に力を入れたらいいかな？	女性	70歳代	要望
城内	水路をきれいにしてもらいたい！	女性	70歳代	要望
矢留	御花がメリットがあるような政策、予算が多すぎます！	女性	60歳代	要望
両開	カラスの駆除をしてほしい	女性	40歳代	要望
両開	乳がん検診についてです、女性のがん死亡原因のトップの病気です。他の市町村は年1回の所も多くなっています。柳川市も乳がん検診（マンモグラフィー）を年1回してほしいです。宜しくお願ひ致します。	女性	50歳代	要望
両開	電子化はよい事かもしれません。人件費の削減につながります…が逆に職場を追われているかも？働きたくても仕事がない。高齢の人にスマホや機械はちょっと手が出ません。	女性	60歳代	要望
昭代第一	高齢者の貧困家庭、一人暮らしの方等を援助していただきたいです。宜しくお願ひ致します。	女性	50歳代	要望
昭代第一	柳川駅前に川下り関連の工事がずっと行われているが、高額の予算を組んで果たして集客が見込めるのか疑問に思う。その分もっと他に予算を使うべきではないか。昭代地区は道路も狭く、ずっと昔のままで一向に良くなりません。	女性	60歳代	要望
蒲池	仕事が出来る企業を誘致してほしい。	女性	50歳代	要望
蒲池	人口減少を止める為の企業誘致、商店街の活性化（夜市とか？空き店舗の活用）、SDGsへの取組みの明確化、防災・減災の取組み充実化	女性	60歳代	要望
皿垣	若い人達が希望が持て生活できる市にしてほしい。	男性	30歳代	要望
有明	大和町有明校区は、市の管理の土地があります（多いです）。敷地内の草取りなどはしていますが、高齢の方は手が届かなくなっています。今一度確認をしていただいて、市の方で検討をしていただきたいです（特に空き家が増えているので）。よろしくお願ひします。	女性	40歳代	要望
六合	駅前の川下り乗り場は必要ないと思う。これが出来たからといって観光客が来るのか…もっと他の事に市民のお金を使ってほしい。	女性	30歳代	要望
豊原	柳川駅前の川下り掘削工事の進行状況等が分かりづらい。本当に必要だったのか。むつごろうランドは本当に必要だったのか？遠くてなかなか行く機会がない。	男性	60歳代	要望
豊原	まず、まちづくり委員会（協議会）を立ち上げる	男性	70歳代	要望
豊原	小学校が統合されて、やまと小学校が誕生したが通学でのバス利用について、あるいは校舎・校庭の広さなど、課題があることを耳にします。このことは事前に想定できること。なぜ前もって校舎などを建設して統合しなかったのか？やまと小学校の統合によっての課題をもとに、他校の統合などを考えたら、たまたまものではない。もう少し考えて行うべきだと思います。	女性	60歳代	要望
藤吉	観光よりも子育て政策に力を入れてほしい。子育て世代の人が集まるような政策や施設を増やしてほしい。	男性	50歳代	要望
藤吉	市民プールやスポーツ施設を作ってほしい。	男性	50歳代	要望
藤吉	柳川駅前の工事でどう変わるのが楽しみでもあり、不安でもあります。定期的にお知らせ願いたいです。現在どうなっているのか我々には全く分からないです。	男性	70歳代	要望

② 行政について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	家庭用の水道水の塩素量を減らしてほしい。	女性	50歳代	要望
藤吉	筑後市みたいに公園を設置してほしい	女性	60歳代	要望
二ッ河	市区町村の職員に対しての教育・指導があればより良い町づくりになるのでは。	男性	40歳代	要望
二ッ河	もう少し市民の目線の事をお願いします	女性	60歳代	要望
二ッ河	柳川に住んでいて普段は満足して暮らせていても、どうしても毎年感じることがあります。その事が毎年何も改善されない事だけが、とても不満に感じていると言わざるを得ません。それは、台風や大雨等、災害時の際に避難所が開設されるのが遅いこと。設備が何も充実していない事。高齢者対応がとても冷たい事、たくさんあります。今後大きな地震に見舞われるかもしれないというのに、このままいいのでしょうか？たとえどんな災害が起こっても大丈夫と思える準備をしてほしいものです。松永市長に強くお願い致します。	女性	60歳代	要望
垂見	遊ぶ場所が少ないので公園を造ってほしい。	女性	70歳代	要望
東宮永	今まで頑張ってきた世代に対する思いがないように感じています。子育てがおわり、これから第二の人生をと思った矢先、親の介護が始まったりと子育て以上の大変なことがおこっていしまいます。お金ももちろんかかります。そんな世代に対する支援等をもう少し考えてほしい。	女性	50歳代	現状報告
蒲池	掘割の減少をしてほしい。子供の水の事故を防ぐため。ガードレールだけでは防げない。	女性	50歳代	現状報告
六合	川下りの観光に力を入れているのはわかるが、わざわざ柳川駅の所まで大金を使い元を取れるのかと言っている人が多い。	女性	70歳代	現状報告
六合	立花宗茂の件も何年もかかって可能性はほぼないので、もう少し柳川市の人口が増える様に考えてほしい。	女性	70歳代	現状報告
無回答	若者の働く場所がない	無回答	無回答	現状報告

③ 道路・交通について

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
柳河	学生達の自転車のマナーが悪すぎる。こういう所からちゃんとやっていかなきや、町づくりに近づかないと思う。小学生は車が来ても避けることもしない（下校中のこと）町づくりの前にルールを知れ！（ちゃんと教えろ！）※見た目よりできる事からやれ！	女性	40歳代	問答・所信
柳河	・駅通りの歩道の（黄色）点字板が所々めくれていて、それにつまずき、痛がつている人がいました。危ないです。	女性	50歳代	問答・所信
城内	城南町信号（車歩分離）の歩行者信号が短すぎる気がしますが、高齢者の方は間に合いません。	男性	60歳代	問答・所信
城内	遊歩道の整備、剪定をする間隔を短くして欲しい。近所に住んでいるので、風が吹くと枯れ葉が飛んできて、後始末が大変です。 シルバーさんに電話すると、市役所に言って下さいと回答されました。	女性	70歳代	問答・所信
矢留	道路について 私道路について（共有）一部の道路については舗装工事を市からされている所があると聞いています。私道は市では行わないものではないか？	男性	70歳代	問答・所信
矢留	福祉巡回バスの運行ではなく、デマンドタクシーに変更すべき。	男性	70歳代	問答・所信
矢留	せまい柳川になぜ道ばかりができるのか？必要性があるのか？	女性	60歳代	問答・所信
矢留	小学生の通学路が狭くて、車と接触しないか心配しています。	女性	70歳代	問答・所信
矢留	公共交通も中心部では堀川バスと西鉄バスのダイヤを調整して30分に1本の特急電車を必ず接続するようにしてほしい。（今は1時間開いたりする）	答えたくない	70歳代	問答・所信
東宮永	柳川市のかつての中心部が急速に疲弊・衰退してきたと感じる。今は自家用車に乗ることは問題ないが、これから先、年を取り車の運転が出来なくなった場合、買い物や病院への移動手段の確保が非常に不安である。	男性	60歳代	問答・所信
両開	久留米や天神に子供が出かけるのに、駅までのバスの数が少ない。両開はどこへ行くにも遠く、車が運転出来ればいいけど、子供達は自転車で移動するので遠い。とても嫌がっている。	女性	40歳代	問答・所信
両開	市街地はもう少し整備必要（夏になればどこも草ボウボウではネ！）。コミュニティバス 全体的にデザインを印象付けたいね！バス停もわかりづらいし。	女性	70歳代	問答・所信
昭代第二	質問の中に堀割や道路についての質問がありましたが、観光に直結しているところは直ぐに整備されきれいになっていますが、ちょっと外れた所は地元の議員に言ってもまったく動いてもらえません。観光と商店街だけでなく住民一人ひとりのことに目をむけてほしいです。昭代にはスーパーがないので困っています。	女性	60歳代	問答・所信
蒲池	水門の開閉時に車が通れないでせいや細道に入る前に作業内容を表示した上で通行止めにしてほしい。曲がってバックするのが1年に2回ですけどめんどくさい。	男性	40歳代	問答・所信
六合	コミュニティバスの運行路線の見直し。例・買い物エリア 行き帰り利用できるようなダイヤにする・病院エリア・西鉄駅へのアクセス 公共交通の充実。コミュニティバス利用により車免許編のしたいが現状利用しにくい。コミュニティバスの利用により高齢者の車免許返納年齢が低下し、その結果交通事故が減少する可能性がある。コミュニティバスの広域連携（みやま市等近郊地域）	男性	50歳代	問答・所信
六合	コミュニティバスは一度利用したが、西鉄電車利用時には少し利用しにくかった（九博に行く為）。一時車がなく（日々買物）不便。薬局がない。道路幅が狭い。バイクは走りにくい（二輪、原付、自転車）	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	柳川駅周辺での夜間の騒音が気になる。雨の日の柳川駅西口のロータリーでの車の送迎車が多い為、渋滞して迷惑である。警備員を配置することなど、送迎車のスペースをもう少しどったほうが良いのではないか？	男性	40歳代	問答・所信

③ 道路・交通について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	西鉄柳川駅からの川下りが可能となる為の工事がなされているが市民の声を真摯に聞いた上で行動なのか？駅前特に西口付近は工事のため通りにくい。あえてやる必要あったのか？	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	柳川駅のところの駐輪場のマナーが悪すぎる。事故等おきなければいいのだが…。	女性	50歳代	問答・所信
二ッ河	中高年の人々が利用しやすい公共交通手段があれば尚良いと思う。例）無料タクシーや送迎サービスなど。	男性	40歳代	問答・所信
わからない	歩道の柳が垂れ下がって人が通れない。車道を歩いている。風が強いと葉や枝が道に散乱している。観光地以外に柳は要らない	答えたくない	40歳代	問答・所信
柳河	数年前から、区長さんを通じて、畠と隣接する片側の道路が削れている箇所の補修を依頼しています。車がいつか落ちるのではないかと心配していますが、毎年、地域の総会で「市が対応してくれない」との報告を受けています。おそらく、もう5年は経過していると思います。生まれ育った町で愛着はありますが、市政には正直あまり期待できないのが本音です。	男性	40歳代	問答・所信
柳河	駅周辺の整備は進んでいますが、運転免許返納の時代になっているのに、移動手段の整備が進んでいない。観光客についても、局部的な案内のみの為、自動車での移動となっていると思われる。安全・安心の街づくりが必要だと思います。また、市町村合併が行われ十年以上が経過しているが、街のアピールが少ないと思われる。例えば、各地域の特産品の販売が出来る、ゆったりとした広さがあり、交通手段が整備され、地元の人・他地域の人が気軽に立ち寄れる場所が地域活性化になると思います。今後、人口減少が進んでいくと思われる所以、次世代が、他の地域より「柳川にそのまま住みたい」と思ってくれる街づくりを期待します。	男性	50歳代	問答・所信
城内	新しい道路整備は愚の骨頂である。既存の道路や周辺の環境美化作りをした方がよい。例えば、花植えや樹木の剪定を行うことが考えられる。	男性	60歳代	問答・所信
矢留	矢加部地区のゆうゆうの森公園の駐車場を増やしてほしい。路上駐車が多すぎる。遊具も木でできているため、小さい子刺さったりして。矢留地区付近、車のスピードが早すぎて危ない。小学生や小さい子、観光客もいるのに狭いため混む。加藤団子やさんのところ買い物に来た人の路上駐車おおすぎて、しかも家の前に停めたりしてから近隣住民困ってる。伝習館のセブンイレブンの交差点狭いし高校生たくさんなのに、曲がれない車多く、急いで曲がろうとする車と高校生がいて、危ないかな。時差式とかにして欲しい。あと相変わらず、魚市場のところ一時停止してない人多い。ムツゴロウランドの公園はすごく可愛くていい。	女性	20歳代	問答・所信
昭代第一	市の観光事業や各種イベントに関与しない地域に住んでいるので、まちづくりに关心がわかないのが残念です。観光よりインフラ整備を望みます。	女性	50歳代	問答・所信
蒲池	柳川市内のコミュニティバスや路線バスが通っていない地区が多すぎる。交通機関が不便すぎる。車がないと買い物、観光や病院にも行けない。交通機関の充実を臨みます。	男性	60歳代	問答・所信
柳河	通勤で柳川駅の踏切を通るが、踏切を横切って渡る歩行者が多く危うくぶつかりそうになります。ちょうど工事中な為、通路等を考えてほしいです。	女性	30歳代	要望
柳河	京町通りの「あの子のママ」「モード・コガ」辺りに横断歩道を作りたい（斜め横断する人が多くて危ない為）	女性	50歳代	要望
城内	もう少し街灯を増やしてほしい。	女性	70歳代	要望
矢留	もう少し歩行者と自転車の道路を分かりやすくしてください。	男性	40歳代	要望
矢留	下水道工事を止めてほしい。諸磯の堤防の所等を、安全に通れるようにしてほしい！道路のカンボツ、厨水等がないようにしてほしい。よろしくお願ひします！	男性	50歳代	要望

③ 道路・交通について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
矢留	上宮永、水都の近所に住んでいます。亀ノ井ホテルから岩田屋方面に向かうと「保養センター入口」という信号があります。センターに反応しないと信号が変わらないのですが、知らない方がセンターの手前で停車し信号が変わらず、後続車もなぜ進まないか分からず、ずっと待ってあります。自宅がこの通りにあるので車を出せないときもあり、わざわざ歩行者用の信号を押しに行ってます。この位置で止まるとか、ここまで進むとか分かるように工夫してもらえませんか。頻繁に利用するので困っています。よろしくお願ひします。	女性	30歳代	要望
矢留	今一番困っているのは沖の端の水天宮のあたりの道の状態が悪い事。今まで何度も工事されているが、すぐ割れて出っぱりで転びそうになったこともある。早く改善してほしい。・コミュニティバスについて、ルートを見直すとともに利用する人が増えるのではと思う。病院の前で停まるけど、ルートが違って使えないと言ったことが何度かある。お年寄りがよく利用すると思うので、アンケートや聞き取りをしてみてはいかがでしょうか？	女性	50歳代	要望
矢留	道路が割れてたり、穴がほげたりして自転車や歩く人にはころびやすいきれいにしてほしい	女性	70歳代	要望
東宮永	狭い道路の整備。	女性	20歳代	要望
東宮永	道路の拡充	女性	40歳代	要望
両開	信号待ち時間が長い箇所が多いので、昔より渋滞が激しいので、短くして欲しい。特に柳川高校～北方向へ向かう道路（本町交差点も長すぎる）	女性	50歳代	要望
両開	税も安くすると人口増につながるのでは？	女性	50歳代	要望
昭代第一	県道18号経由で柳川駅始発川副終点を30分間隔で運行願う。田脇と間付近のバス停希望。交通の利便性が従業員募集に助かる。現在、交通の不便さから辞退者が多い。是非、ご検討お願ひ申し上げます。	男性	60歳代	要望
昭代第一	お年寄りの運転免許がなくても生活しやすいように考えてほしい	女性	50歳代	要望
昭代第一	まちが発展していくために是非子育てに優しいまちであってほしいと望みます。また、多くの観光客が来てくださいますが、歩道が狭くとても散策しやすい道路ではありません。掘削とともに道路の整備をすすめていただきたい。そして皆さんのが休憩できるような喫茶店などあると良いと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。	女性	60歳代	要望
昭代第一	70代に入り、近い将来運転免許書の返納を考えざるを得ない時が来ると思いますが、車がないと行動にも制限がかかり買い物難民などすごく不安になります。交通機関の充実を考えて下さい。	女性	70歳代	要望
蒲池	自転車専用の道路を増やしてほしい。	男性	10歳代	要望
蒲池	高齢者の交通手段を充実してほしい	男性	70歳代	要望
蒲池	高齢となり街中から外れて住んでいると買い物・通院に困ります。エコノミーバスは乗るにも降りるにも家から遠く利用できない 何か対策を考えてほしい	女性	70歳代	要望
皿垣	高齢者や自家用車を持っていない人の為に交通機関が充実すればいいと思う。タクシー利用もいいが高額になる。（病院受診や買い物）	女性	70歳代	要望
六合	銀行、役所など必要な場所が減ってきているが、年をとっていくと足がなくなる。駅までも遠かったりする（バス停もない）もう少しコミュニティバスを増やして欲しい。時間も多くして欲しいです。	女性	50歳代	要望
六合	自転車が通る道路が狭い。高齢者の免許返納のタクシー券を増やしたり、乗り合いタクシーの充実等を計画してほしい。	女性	50歳代	要望
大和	自転車がきちんと通れる道を作ってください 法律に従ったら事故になりやすい道がまだ沢山あります	女性	20歳代	要望
豊原	柳川駅周辺の交通の混雑回避	男性	60歳代	要望

③ 道路・交通について つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	ソーラー屋外街灯を暗い道につけてほしいです。	女性	50歳代	要望
藤吉	道路の際の除草をお願いします	女性	50歳代	要望
藤吉	コミュニケーションバスなどを増やしてほしい。停車する場所も増やしてほしい。	女性	60歳代	要望
藤吉	(道路について) 私は自転車で動いています。車は乗れません。路側帯の段差が続いていると車道から歩道になかなか移れなくて、むりに行くと段差でずるずるとなり自転車ごと倒れそうになります。なので、路側帯のところどころに段差のないはいれるところを今後近間隔で造ってほしいです。	女性	70歳代	要望
無回答	もう少し市民の安全を守る対策を！・道路の整備	無回答	無回答	要望
柳河	自転車専用通路がないので、歩行者との接触があり危ない。	女性	50歳代	現状報告
矢留	矢留地区の道幅が狭すぎる。老人が多いから緊急車両が進入しにくい。	男性	60歳代	現状報告
大和	街灯が少ない。夜外を歩こうとすると真っ暗で危険	女性	20歳代	現状報告
藤吉	身近に塀が倒れそうで危ない所があり、やっと最近撤去されました。町からの見回りなどがあって、もう少し早めに撤去されても良かったのかなと思いました。子供達に何もなかったのでホッとしています。柳川にいつもご尽力ありがとうございます。	男性	50歳代	現状報告
藤吉	道路に雑草がかなり伸びて放置されている所が沢山ある たいていお盆までに除草してあったのだが今年はあまり除草していない所が目立つ	男性	70歳代	現状報告
藤吉	公共交通機関。電車はいいのだが、柳川市内のコミュニティバスは不便。家族が車を運転しないので、市内の病院に行くにしても、本数が少なく仕事の途中に許可をもらって迎えに行くことになる。	女性	50歳代	現状報告
無回答	自宅前（県道）の通りが多く、ひび割れやくぼみもあり、大きな車が通ると家も揺れます。道路の点検見回り希望。	無回答	無回答	現状報告

IV. 参考資料

④ 子育てについて

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
柳河	全ての柳川市民が住みやすい市にしてほしい。中学生も給食費無償化にならないのか？なぜ小学生だけなのか？	女性	40歳代	問答・所信
柳河	子供達が遊べる公園（遊具）がほとんど無い。	女性	50歳代	現状報告
城内	市の人口増加が大きな課題である。企業誘致や子育てしやすい町づくりにもっと力をいれる必要があると思う。子育てしやすい町づくりに取り組んであると思うが、いろいろな取組みの市外へのアピールが足りないと思う。柳川市へ移住したいと思ってもらえるよう助成金制度を取り入れる等、思い切った取組みも必要だと思う。又、昨年行われた福祉課の子育て中の保育園・幼稚園等の先生方・保護者・関係者等へのアンケート結果の中での沢山の課題に具体的に答えていくかが、子育てしやすい町づくりの答えになっていくと思う。アンケートだけとつて、生かしていけなかったら、市当局の企業努力が足りないということだと思う。大きな課題として①幼稚園、保育園へのカウンセラーの派遣制度の確率②学童保育へ行っていない子供を育てている保護者は求めている放課後や土曜日等の子供を預かってくれる児童館や放課後クラブの設置にどう答えていくか。対応として、小学校の統廃合により使わなくなる学校施設の活用が考えられる。目の前の課題にどう具体的に答えていくか、答えるのがアンケートを取った側の大きな責任である。	男性	70歳代	問答・所信
城内	8月の市報を拝読して、柳川市もやっと給食無償化がスタートを知り安心しましたが、小学校のみとのこと 中学校も一緒にスタートさせて欲しかったです。柳川市は15歳以下の子ども人口減少は特に著しいということはないのでしょうか？今は人口減少をくい止めるためにも特に子どもに予算をかけていただきたいです。一方、市庁舎の増築には30億円越え、市民グランド整備には5億円余りの予算がかけられているには驚いています。20年前の合併当時の人口から17,000人減の人口なりの建築物や施設にされれば給食無償化も小中同時にスタートできたのではないか。私の友人の子どもも達や若い知人達は柳川から大木町、みやま町、大川市などに住居を移しています。子育てしやすいとか若い夫婦に手厚いなどが理由です。建築物や道路に投資する市政から人に投資する市政に変えていただきたいです。市の大重要な産業農漁業に対しても同じく手厚くしてください。	女性	60歳代	問答・所信
東宮永	くらしの中で子供に対する色々なことをがんばって取り組んでいる事はすごくいい事だと思います。子供達のこれからの方の住みよい町になっていく事をのぞんでいます。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	柳川は結婚しても子育支援がないと思います。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第二	子供達が遊べる公園が欲しい。遊具やグラウンドがある広い公園が望ましい。近く（昭代地区）にそのような公園が無く、子供達の行き場に困っており、運動不足の原因にもなっている。	女性	40歳代	問答・所信
六合	噂によれば、大和支所もなくなると聞きます。だんだんと大和町は見放されるようです。どうぞ大和町にも目を向けて下さい。お願いします。	女性	70歳代	問答・所信
六合	子育ての件 雲龍公園には前はよく子供達とか保育園児が先生に連れられて遊びに来ていたが今では遊具はほぼ壊れていて、直す気配もなく子供達の姿を見たことがない。何が子育てしやすい環境？恥ずかしい。	女性	70歳代	問答・所信
豊原	子供の遊び場や公園などが、街中に欲しかったです（ムツゴロウランドは遠すぎです）（佐賀の江北町のみんなの公園が理想かな）	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	小さい子供から障害児まで安全に遊べる公園または室内遊園地などの施設がもっと充実してもらいたいなあと思う。水の郷で開催されている地域食堂を知っている親が少ないような気がする。もっとこの情報を広めても良いのでは？	男性	40歳代	問答・所信

④ 子育てについて つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	若い夫婦の世帯から「希望する保育園に入所出来ない現状を耳にする。これには、保育士不足が影響しているとのこと。人材確保に向けた取り組みが必要ではないか。観光に力を入れる以上に、今後は『子育て支援』を重点課題にし～子育てに優しい柳川市～を目指した市政を望む。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	子育ての援助が他の市町村より、すべて遅い。若い人は住まないし選ばない。人口が減る一方。	女性	40歳代	問答・所信
藤吉	子供はもう高校を卒業しましたが、医療費の女性がなく。やっと中学生までになりましたが、その頃は対象外・・・。今高校生の子供は小学生の時は学童に2年生から入れませんでした。子育てにはあまり良い環境ではなかったと思います。今は少しでも改善されているといいのですが、今だに医療費は高校生は対象外・・・。観光観光と力を入れるのもいいですが、今住んでいる市民が暮らしがやすい街にしてほしいです。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	子どもの通学路も藤吉小学校付近の道路は交通量が多く、歩道も狭いので事故に遭わないか心配である。車が比較的通らない道を通学路として車両禁止時間帯とか設定できないか検討いただきたい。	女性	50歳代	問答・所信
矢ヶ部	小学校・中学校を統合して少なくしているが子供達のことを考えて考慮してもらいたい。（通学等）	男性	70歳代	問答・所信
垂見	子供達が遊べるような場所がない。例えばプール、映画、ボーリング等。近年、気温が上昇して学校のプールを夏休みに利用できなくなっているので、市のバスを利用して、柳川市内のプール施設まで送迎してもらえるなどのサービスがあつたらいいと思う。今は、暑すぎて公園などで遊べなくなっているので、熱中症にならないような場所で遊べる所が欲しいです。事前登録やある程度の金額がかかってもいいと思う。	女性	40歳代	問答・所信
垂見	子どもの洋服やおもちゃなどを譲ったり、貰ったりする機会をもっと増やす。・雨の日や暑い日に子ども（小学生）が遊べる場所がないから必要。・島田天満宮の遊具の安全性と充実を図ってほしい。	女性	70歳代	問答・所信
東宮永	城内小学校のICT教育は上手くいっていると思う。城内小をモデルに柳川市内の小中学生の学力向上を目指して欲しい	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	1人親（シングルファザー、シングルマザー）に対する手当を充実してほしい 収入に応じてと判断されるが、生活の為に親は仕事をしているので、そこは十分な手当を考えて欲しい。祖父母との同居がなど、両親の事も子供達の事も見ながらだと、どうしても生活が苦しい時もある。収入は各家庭バラバラですし、少しでも市の方から片親に対する援助があると、生活面、子供養育等の事も助かる。	男性	30歳代	問答・所信
昭代第一	市近隣に産婦人科が少なく、選択肢がない。子育てに不安材料になる。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第二	子供が不登校なので、平日気を使わず(出欠連絡なし)に行ける学校、適応教室以外の特に何もしなくてもいれる場所を作つてほしいです。義務教育までではなく、高校生の年齢の子もまだ子供なので居場所になるところが必要だと思います。もちろん学校が安心して通える場所になることが一番だし、誰もが通える学校を実現している市町村は全国にあるので見直してほしいです。	女性	40歳代	問答・所信
蒲池	子供たちが柳川に住み続けたいと思えるまちづくりをしてほしい。経済政策や子育て支援。	男性	50歳代	問答・所信
中島	地域食堂、ひとり親の補助制度の情報を発信してほしい。八女市、久留米市は若者が積極的に動いている。柳川市も佐賀市の谷口仁史さんが作り上げたアウトドア的な取り組みがあればと思う。	女性	50歳代	問答・所信

④ 子育てについて つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
大和	同僚たちと仕事終わりに親睦会を考えたとき、スポーツやバーベキューのようにも施設の営業時間が短いのでできない。また、たくさんの子供達が遊べるような大きな屋内施設があるといいと思う。子供が急に病気になった時、いつでも預けられるような病児保育が増えたらいいと思う。予約が必要とか、病院受診後でないといけないとか・・働いている保護者は簡単に連れていけない、仕事も急に休んだり早退できないし親も働いていたら預けられない。お願い会員に登録したことはあったが、結局見てもらいたいのって具合悪くなった時なのでそれができないなら厳しい。	女性	50歳代	問答・所信
豊原	物価高、高齢で子供達を育て教育高校、大学、専門学校など、迄、返済無しの奨学金制度が、道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が、非課税世帯のみだと、色々な病気の通院、治療費、などもかかり、他の家族からなども援助などもなく、成績がよいと、学校からの奨学金制度を利用出来ますが子供達は、それがプレッシャーで、いつも学生時代は喧嘩になっていました。所得額の差で子供達にこんな窮屈な中で生活させて行く中で、本当に！離婚して片親になり生活保護の手続きなどの方などの方が自由に学校も選べるて最近よく考えます。590万前後の所得だと本当に考えます。夫婦で働いていてもです。自分達がなさけない。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	観光に力を入れてあるため、子どもたちが観光客と英会話できるように課外授業を行ったり、中高生大学生にも助成するなどして交流の機会を与えてもらいたい。柳川の観光パンフレットに英語、韓国語、中国語と様々なバージョンがあるので、子どもたちに柳川をアピールできるような学習機会が与えられたらいいなと思う。川下りの船頭さん不足に関しても高校生以上からアルバイトなどできたら自然と海外の観光客との交流も生まれるのではないか？英語ができると市からの助成で時給アップなど、長期休暇の期間限定でも良いと思うので何か人手不足の対応できないのかと思う。私立の学校に通うと給食費無償などの恩恵がないので、交通費の一部助成など他の市でされているような助成をして頂けると助かる。柳川で海外観光客と関わることで自信を持って海外留学できるよう費用の一部助成などがあったらいいと思う。子どもたちが生まれ育った故郷のことをホームステイなどでアピールしてくれたら地元にも何かの形で還元されるのでは？と思う。物価が高く中高生になると食費がかさむので、子ども手当は減らさないで欲しいです。農家の方と直接お米や野菜など安く契約できないか子育て世帯の応援をして頂けると助かります。	女性	40歳代	問答・所信
垂見	小学生の給食が無料になったのはありがたいです。夫婦そろって普通に生活しても税金ばかりとられて生活が精一杯なのに、母子家庭の人は優遇されて、よっぽどいい生活してて、不公平だと思う。離婚した方が得って感じがする。	女性	40歳代	問答・所信
矢留	子育て支援をお願いします。もっと子育てしやすい町になったらと思います。女性の議員さんも増えて欲しいです。	女性	50歳代	要望
東宮永	将来を担ってくれる子どもたちが健やかに育って、柳川が大好きであってほしいと思うので、子どもを育てやすい魅力のあるまちであってもらいたいと思います。	女性	60歳代	要望
両開	いろんな行事（市・町・学校）をコロナ禍前に戻して欲しい。特に学校行事（小・中学校）は中止・短縮になったままで子供達の思い出や記憶に残る物が少なくなっている。正直言って可哀想です。	男性	40歳代	要望
昭代第二	子育て教育にもっと力を入れてほしい。物価高なので金銭的に楽になる様に考えてほしい。	女性	40歳代	要望
蒲池	蒲池という場所もあるかもしれません、市内の行事に参加する機会がないので、もっと子供達が地域行事に参加し、柳川の良さを体験できる場があれば…と思います。	女性	30歳代	要望

④ 子育てについて つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
蒲池	子供たちが安心して暮らせる柳川市であってほしい。柳川の良さを小学生の頃から知るような、まちづくりに関する体験型イベントなどあれば、楽しそうだなー。地元を愛する子供たちが増えたらいいなーと思います。	女性	30歳代	要望
蒲池	若い世代が住みたいと思うような、子育てに優しい市にして欲しい。	女性	60歳代	要望
中島	子育てに関してはまだ手厚いサービスが欲しいです。	男性	40歳代	要望
中島	子育て支援や給付などにもう少し力をいれていただきたい	女性	20歳代	要望
六合	子供達が集まって遊べる場所が大和町には、どこにもないという事を聞きます。市長も相撲の時に来られていた、雲龍公園をもう少し改良して子供達の楽しい憩いの場所にしていただけないでしょうか？夏休み期間中だけでも子供達の勉強の場として、コミセンを開放してほしいという要望がありました。雲龍図書館が使用できない時があるので、よろしくお願ひいたします。	女性	70歳代	要望
大和	子育て支援増やしてください。赤ちゃんから子育てするの大変すぎます(金銭面)例えば・妊娠時の病院検査費用負担とか(8割)	女性	20歳代	要望
大和	市民の雇用や安全な生活を担保しながら、子育てのしやすい町づくりを行ってほしい。	女性	40歳代	要望
藤吉	公園を遊びやすく整備してほしい。住宅街に公園はあるが、柵が低くポール遊びができるない。高い柵を設置するか、高い木を植え、ポール遊びが安心してできる環境を整えてほしい。夜間も明るく、ウォーキングができる公園を作ってほしい。	男性	40歳代	要望
中山	子育て支援を充実させてほしいです。	女性	30歳代	要望
柳河	柳河校区内に子供達が安心して遊べる公園が欲しい。	女性	50歳代	要望
無回答	小学生のいる娘から給食の無償化になると、とてもありがたいと申しております。松永市長の早い仕事に感謝しております。	無回答	無回答	その他

⑤ そのほかのご意見

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
柳河	町の賑わいがあまりない	女性	60歳代	問答・所信
柳河	まち全体に魅力がない。まち全体が殺風景。特に商店街が栄えていない。駅前の開発は負の遺産。	女性	70歳代	問答・所信
城内	住んでいる人が誇りを感じられる町にしてほしい。そのためには、みんなで考える必要があると思いますし、意見を言える環境設定が大切だと思います。人口減少が進む中、それをどのように解決するかは様々な方法を試していくことになると思いますが、捉え方を変えると人口減少がすんでも、まわる地域社会を作っていくことが大切だと考えます。できる限り協働で取り組む姿勢が町の雰囲気を変えていくと思いますし、町づくりに意見や町づくりの協働をすすめていく中で参画していくこと自体が町に誇りを感じられることに繋がると思います。縦割りで効率を目指す社会は終焉していることに気づいて、協働する風土を作っていく必要があります。子供から大人まで全ての人が考える癖をつけて、行政頼りにしない町づくりが大切だと思います。	男性	40歳代	問答・所信
城内	子供の頃は、夏場に成ると、現在の川下りコースで毎日の様に泳ぐのが日課でした。又川岸にはしだれ柳が有り、今と比べると非常に風情の有る風景でした。今の柳川はあまり活気が有る様に感じません、活気有る町へお願いします。※用事が有って役場に行くと、親切・丁寧に対応していただき、有難度御座います。	男性	70歳代	問答・所信
東宮永	ベンチについて、目にした事。御花北、西海岸の向いに2ヶ所ベンチが有ります。だいぶ前からくたびれています。旅行客らしき人が傍に立っている姿を見た事が有ります。市で出来ないのなら観光協会又はライオンズ又はクラウドファンディングで場所ごとに1口〇〇円で公募してみては？（個人、団体、行政区など）良案が有ればうれしい。（寄贈者を記名する）現状が変わればこれもうれしい。他にベンチがいくつ有るか知らないので放言の類です。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第一	市内の買物だったら柳川駅東側に行かなければならぬ。辻町～柳川橋の間が死んでいます。何か活性化する方法はないでしょうか。	男性	70歳代	問答・所信
昭代第一	回覧板はあまり意味がない様な気がします。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第二	催し物 文化祭とか季節ごとに催し物とかを一つでも多く行ったらどうかと思います。	女性	70歳代	問答・所信
蒲池	買い物など車で行けばどこも程よい距離なので、柳川にも大型施設があれば過ごしやすいと思った。	女性	30歳代	問答・所信
有明	暮らしやすく、治安がよく、老後も安心して暮らせるよう	女性	60歳代	問答・所信
有明	年の方が集う場所（運動、茶会とか集う場所があったら良いと思う。移動手段も考えてほしい）。個人で移動できる人は良いけど（マイカー活用）できない方に対して親切でない。年配の方と若い方の生活が別々なので、それぞれの特技活用できると笑い、楽しみが生まれてくると思う。	女性	70歳代	問答・所信
六合	個人的にかかりつけ医がない。これからが不安材料。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	様々な工夫がされていると思いますが、スポーツや文化的なサークルに参加しようと考へても、平日の昼の時間帯がほとんどで仕事をしている者にとっては、参加できません。	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	まちづくりに大いにさんせいです。これからも色々な事を決定し、それを私たちの前で示して下さい	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	正午と17時のサイレンが怖いです。どこに相談したらいいのだろうと思っていました。お門違いですいません。柳川が地元の人は少しでも時間が違う時になつたら”火事だよ”とか”住んでれば慣れるよ”と言うのですが、慣れることも防災意識が低いなと思います。他地域から来た人にもビックリされてあまり良い印象ないみたいですね。鳴らす日を限ったりできないですか。怖いです。18時みたいに音楽だったりいいなと思います。	女性	40歳代	問答・所信

⑤ そのほかのご意見 つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
藤吉	街並がもう少し城下町らしくなればいいと思います。白壁（なまこ壁？）が続いたり	女性	50歳代	問答・所信
二ッ河	柳川市内より三橋町の方が良くなると思います。市内よりも郊外が良くなると思います	男性	70歳代	問答・所信
二ッ河	催し物や祭り他、市町2で回していただくと、近くの人にとって出かけやすくなります。あまりにも柳川に偏りすぎています。老人にとってつらい。	女性	70歳代	問答・所信
垂見	先日小学校の給食無償化がなされ、親世代にとっては大変喜ばしいことだと思います。少しずつよりよい政策が実行されています。しかし、すべてを無償化する必要はないと思います。それ以前に、最低限必要なものに対して、支払えるような収入を得られることの方が重要であると考えます。私は大学生で、大学教員を目指しています。柳川の社会課題を発見し、解決できるような、地域社会に貢献できる人材育成に務めます。	女性	20歳代	問答・所信
中山	三橋町東部地区にスーパーがないのが少し寂しく感じます。Aコープがなくなつたのが残念です。	男性	60歳代	問答・所信
中山	郷土史に興味があるので、古文書会に参加しています。市外からの参加もあるのに、市内（特に若い人）が少ないのを少し残念に思っています。私は義父が楽しそうに郷土史を学ぶのを見ていて、参加するようになりました。以来、歴史を知ること、学ぶことの大切さ、楽しさをいつも感じています（講師の先生方いつもありがとうございます）これからもよろしくお願ひいたします。古文書に出会えて本当に良かったと思っています。	女性	70歳代	問答・所信
無回答	活気がない・商店街が閉まっている店が多すぎる	無回答	無回答	問答・所信
柳河	周知徹底することだと思う。偶然見たTVなどで知る事、他地区の方から教えてもらったり、、、私自身が気をつけてアンテナを張っておけばいいんでしょうが。	女性	60歳代	問答・所信
城内	子育て支援とか、大木町に負けすぎです。水天宮を車で通った事ありますか？観光客がむちゃくちゃしてますよ？土日に行ってみてください。危険な事多すぎです。わがものづらで道路をウロウロされて迷惑ばかりです。あと、尊厳とかなさ過ぎです。漁業の方が多いのもありますが、柄が悪すぎます。オラオラしちぎ。もし、ウチのコが結婚しても柳川はオススメしません。大木町をオススメします。もっと周りの町の取り組みを参考にされたらどーですか？？	男性	40歳代	問答・所信
城内	職場が柳川になり、結婚、出産後、永住を決断しました。生活しやすく、すべてが丁度よい。特に、子育て中は、児童館が心の支えでした。人口減少の中、今より、市民生活が不便にならないよう、維持してほしいです。自治会や子供会など、地域のつながりが少なくなっていますが、これまでのやらされ感でなく、必要なことをやれる人が楽しみながら、やれる地域であればいいなと思います。区長さん達の頑張りや人柄にいつも感謝しており、できることはやりたいと思っています。このゆびとまれをはじめ、柳川の住みやすさが伝わるといいなと思います。	女性	40歳代	問答・所信
矢留	割と住みやすくて良いと思います。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	朝起きられない若者が増えています。病気なのに、怠け者のように言われ、親からは叱責され、誰にも寄り添われることもなく、不登校になり、たまに登校しても誰からも無視され、ますます自分の居所を失い、やがてうつ病などの精神疾患になり、そしてニートになっていきます。	男性	70歳代	問答・所信
昭代第二	柳川市はもっとよくなると思います。 みんなで地域振興、子供達の未来の為、大人が頑張っていきましょう。	男性	40歳代	問答・所信
蒲池	年々住みやすくなってきてると思います。 これからも、住み良い柳川をみんなで作っていければ良いなと思います。	男性	40歳代	問答・所信

⑤ そのほかのご意見 つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
蒲池	若い世代が地元に残りなくなるような何かがあったらいいと思うんですが、その何かがわからないと言うのが今の本音です。 私の同窓生も地元に残ってる人少ないです。	女性	50歳代	問答・所信
豊原	私は嫁いで来た身なので柳川の景観の良さは柳川で生まれ育った人より凄くよく感じます。柳と堀割りの雰囲気は昼間はもちろん夜見ても風情があり心が豊かになります。また白秋祭、おにぎえ、さげもんなどシーズンごとに何かしらのお祭りやイベントがあり気分も上げてくれるし、みんなで協力して盛り上げていく絆のある町だと感じました。私は今まで転々としてきましたが、近所の距離感が近く、助け合ういい雰囲気に感じます。	女性	40歳代	問答・所信
藤吉	わざわざ遠方に行かずとも、生活に必要なお店が柳川市内に揃っているのでとても住み良い環境だと思います。	女性	40歳代	問答・所信
柳河	カフェが増えるとうれしい	女性	20歳代	要望
柳河	柳川商店街のシャッター街を何とかしてほしい。柳川商店街の駐車場の柵が錆びていて壊れているので直して欲しい。	女性	50歳代	要望
城内	川下りの舟の店を撤去してほしい	男性	70歳代	要望
東宮永	医療機関の充実。病院を増やしてほしい。	女性	20歳代	要望
両開	花火大会を復活してほしい	男性	40歳代	要望
両開	商店街の活性化、音楽イベントなど	男性	60歳代	要望
両開	・御花辺りの、柳の木を切ったことが残念だった。柳川らしさがなくなった。 ・こっぽりーの歌をせっかく作ったため、もっと活用してほしい。 ・柳川市民文化会館の22時まで利用できる施設ができたことは有難いが、勉強できる机、椅子が足りていないため、もっと増やしてほしい。利用しようとしても机がない椅子しか空いていないため、困っている。	女性	20歳代	要望
両開	「よかもん館」は野菜が新鮮で比較的安いので大変助かっているのですが、もう少し広くしてほしい。道の駅のように大きくするといいのでは?大型ディスカウント店、ルミエールやラ・ムー等を誘致してほしい。おしゃれなカフェやガスト等くつろげる場がほしい。柳川はとにかく店が少なすぎるし、狭いです。	女性	50歳代	要望
両開	巡回バスだけでなく巡回スーパー等も考えてほしい	女性	50歳代	要望
昭代第一	ドンキ作れ	男性	10歳代	要望
昭代第一	私の住居地区に産業廃棄物会社（さい石）がありますが、市外地へ転出してほしいです。	男性	70歳代	要望
昭代第一	マミーズが閉店して、近くで買い物できる店がなくなり不便になりました。 昭代のマミーズやツルハドラッグの跡地に、安くて気軽に買い物できる店ができるとありがたいです。	女性	30歳代	要望
昭代第一	市のすみずみまで気を配っていただきたい	女性	60歳代	要望
昭代第一	昭代地区にスーパーを開設してほしい！買い物の難民です。高齢者は困っています！	女性	70歳代	要望
昭代第二	昭代地区にはスーパーがない。お年寄りの人達はタクシーで蒲池のトライアル、大川のアスタラビスタに出かけています。今後スーパーを誘致していただけないかと思っている人が沢山いると思います。是非、スーパーの誘致をお願いします。	男性	60歳代	要望
蒲池	飲食店をふやしてほしい	男性	70歳代	要望
蒲池	家の近くにスーパーやコンビニも（歩いて行ける店）がないので、沢山建ててほしい。希望です。車で運転していく所しかないので、年を取って行けなくなったらどうしようか本当に心配なのです。よろしくお願ひいたします。	女性	60歳代	要望
蒲池	商店街のシャッター街をもっと活気ある町にしてほしい	女性	70歳代	要望

⑤ そのほかのご意見 つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
有明	・太極拳、長い矢？習いたい（安くて）・水の郷の2Fリハビリルーム気の合う先生合わない先生がいるので先生の時間割を公表して貼ってほしい。気の合う先生の時に練習したい。	女性	60歳代	要望
藤吉	・健康促進のスペース確保 ・歩道・自転車専用道路の拡充 ・観光途中の休憩場所の設置 ・映画館等の娯楽施設拡充	男性	40歳代	要望
藤吉	京町にカフェと駐車場をつくりみんなが気軽に足を運べる場所をつくってほしい。	男性	60歳代	要望
藤吉	もっとお祭りやマルシェが増えると子供が喜びます。私達親も遠くに行かずに済むので助かります。	女性	30歳代	要望
藤吉	みんなにやさしい町になればいいなと思います	女性	40歳代	要望
藤吉	駅に雨や風が入らない様にして欲しい。特にホーム。大雨の時は階段にみんな居ます。見かけは良いが…。	女性	70歳代	要望
二ッ河	幅広い世代の人々が集まって、話やコミュニケーションをとるようなサービスがあればと思う。例) 格安なカフェなどスマホ、インターネットが学べる様なカフェなど。	男性	40歳代	要望
二ッ河	道路沿いや川沿いで手入れされていない街路樹や雑草が見苦しい。昔みたいに土曜夜市が復活して、商店街が活性化すると嬉しい。高齢者や子どもたちがもっと使いやすいコミュニティバスが増えたら嬉しい。映画館ができたら嬉しい。	女性	40歳代	要望
二ッ河	Aコープ跡地に弁当屋さん、肉屋、魚屋さんとか買い物される所がほしい。	女性	70歳代	要望
二ッ河	家の近くにスーパーを作ってほしい（買い物難民の為）	女性	70歳代	要望
垂見	堀割り横の草が夏になるとすぐ伸びてしまうので定期的に刈ってほしいです。	女性	10歳代	要望
中山	娯楽施設が増えるといいと思います。	女性	50歳代	要望
東宮永	大きな公園が無い	男性	60歳代	現状報告
東宮永	柳川には公園が少ない	男性	70歳代	現状報告
両開	働く場所が少ない	男性	40歳代	現状報告
昭代第一	住民は川下りは利用しない	男性	10歳代	現状報告
昭代第一	昭代地区はお買い物がとても不便です。夜は暗くて、とても怖いです。	女性	30歳代	現状報告
蒲池	町づくりとして、ごみ問題、マナーもひどいこと。私はスーパーに勤めていますが、平気で散らかすこと、その他口の利き方、言葉遣いがひどい！まだまだならない。	女性	60歳代	現状報告
有明	人口減少が進み、近所に空き家も多くなってきました。うちの周辺は田畠が多く街灯も少ないので、子供達の登下校も心配です。公園や店、病院も少し遠いので高齢の方も車での移動が必要で90歳前後でも運転されている状況です。	女性	50歳代	現状報告
藤吉	京町通りが日中でも寂しい（シャッターおりた所が多い）	男性	70歳代	現状報告
わからない	堀割が臭い 汚い 昔は泳いでいたが今は無理	男性	50歳代	現状報告
柳河	毎日、お仕事ご苦労様です。	女性	60歳代	その他
矢留	現在の所、何も思いつかない	男性	50歳代	その他
矢留	白秋祭の時、川下りばかりPRしないで、白秋音楽会祭もPRお願いします。川下り中の歌や楽器の演奏もちゃんと聞いて下さい！元市長さん（金子）は出発時合唱団が歌を歌っていた時に「バンザイ！バンザイ」と言い出して、他のお客さんも「バンザイ！バンザイ」と言い出して、聞いてもらえませんでした。白秋の歌を何曲も練習してました。	女性	60歳代	その他
藤吉	私は、お庭、草取り（その他）をしながら季節を感じながら生活しています。町づくりはわかりません。	男性	70歳代	その他

⑤ そのほかのご意見 つづき

居住地区	記述内容	性別	年齢別	意見分類
二ッ河	柳川市内だけでなく、他の場所にも目を向けて欲しいと思います	女性	70歳代	その他
垂見	年に1回のフリーマーケットを、年に2回にしてほしいです。春の4月と秋の9月。	女性	40歳代	その他
垂見	市役所の人の丁寧な対応、いつもありがとうございます。	女性	50歳代	その他

2. 調査票

柳川市市民アンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

柳川市では、平成29年6月に策定した「第2次柳川市総合計画（平成29年度～令和6年度）」に基づき、「水と人とまちが輝く柳川」の実現に向け、ふるさとづくり・ひとづくり・まちづくり・しごとづくりの4つの目標に沿ったまちづくりを進めてまいりました。

本年度は、第3次総合計画の策定に向けた準備を進めている段階ですが、これまでの取り組みの成果や課題を把握し、今後の計画に活かしていくことが重要であると考えております。

このアンケートは、市政に対する市民の皆様のご意見を把握し、今後のまちづくりに反映させるために実施するものです。

柳川市のよりよい未来のために、市民の皆様お一人おひとりの声が必要です。ご多忙のところ恐れ入りますが、アンケート調査へのご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

令和7年7月

柳川市長 松永 久

1. アンケート調査の対象者

このアンケート調査は、7月1日現在で柳川市在住の18歳以上の方から、無作為に抽出した2,000人を対象としています。

2. 回答方法について

- WEBもしくは郵送にて回答をお願いします。
- ご回答は、あて名のご本人が行ってください。
(なお、ご本人による記入が難しい場合は、代理人による回答でも構いません。)
- 7月1日現在の内容でご回答ください。
- WEB回答 URL : <https://src3.webcas.net/form/pub/src2/yanagawa>



WEB
回答はこちら

3. 郵送で回答いただく場合の注意点

- ご回答は、あてはまる番号を○で囲んでお答えください。
- お答えが「その他」に当てはまる場合は、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
- 設問によって、○を付けていただく数を() 内に指定していますので、ご注意ください。

4. 回答期限について

- 【 WEB 】 8月20日(水)までに回答を完了してください。
【 郵送 】 8月17日(日)までに記入した調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、郵便ポストに投函してください。

5. 調査票の取り扱いについて

調査結果は、統計的に処理を行いますので、個人が特定されることはありません。

(お問い合わせ先) 柳川市役所 総務部 企画課 企画係
住 所: 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87 番地 1
電 話: 0944-77-8423

1. あなた自身のことについてお尋ねします。

【Q1】あなたの性別をお選びください。(○を1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

【Q2】あなたの年齢をお選びください。(○を1つだけ)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳以上

【Q3】住んでいる地区(校区)をお選びください。(○を1つだけ)

1. 柳河 2. 城内 3. 矢留 4. 東宮永 5. 両開
6. 昭代第一 7. 昭代第二 8. 蒲池 9. 皿垣 10. 有明
11. 中島 12. 六合 13. 大和 14. 豊原 15. 藤吉
16. 矢ヶ部 17. ニッ河 18. 垂見 19. 中山 20. わからない

2. 暮らしについてお尋ねします。

【Q4】柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。(○を1つだけ)

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. 分からない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

【Q5】柳川市に愛着や誇りを感じますか。(○を1つだけ)

1. 大いに感じる 2. 少し感じる 3. 分からない
4. あまり感じない 5. 全く感じない

【Q6】これからも柳川市に住み続けたいと思いますか。(○を1つだけ)

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. 分からない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

3. 文化・歴史・観光についてお尋ねします。

【Q7】柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(○を1つだけ)

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. 分からない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

→ 2ページへ

IV. 参考資料

【Q8】柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「蘭千代」を知っていますか。(○を1つだけ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. エピソードも含めよく知っている | 2. ある程度は知っている |
| 3. 名前は聞いたことがある | 4. 全く知らない |

【Q9】観光客などに対しておもてなしをしてよかったです。(○を1つだけ)

- | | | |
|-----------|----------------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. 少し感じる | 3. あまり感じない |
| 4. 全く感じない | 5. おもてなしの機会がない | |

【Q10】柳川市の観光は市民生活に良い影響を与えていますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 大いに与えている | 2. 少し与えている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり与えていない | 5. 与えていない | |

【Q11】この1年以内に掘割に接する機会(川下りや水辺のイベント、農業利用、釣り、清掃など)はありましたか。(○を1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【Q12】この1年以内に川下りをしたことがありますか。(○を1つだけ)

- | | |
|-------|----------------|
| 1. ある | 2. ない → 【Q15】へ |
|-------|----------------|

(Q12で(1年以内に川下りをしたことが)「ある」と回答した人にお尋ねします。)

【Q13】川下り全体の満足度をお答えください。(○を1つだけ)

- | | | | | |
|-------|-----------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. おおむね満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|-----------|-------|---------|-------|

(Q12で(1年以内に川下りをしたことが)「ある」と回答した人にお尋ねします。)

【Q14】Q13で回答した満足度の理由をお答えください。

--

【Q15】柳川市の魅力を来訪される方に伝えるうえで、どのような情報やサポートがあれば自信を持てると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 柳川市の観光スポットや歴史・文化に関する情報提供 |
| 2. 観光案内に役立つ外国語の基本フレーズ集 |
| 3. 観光客とのコミュニケーションに関する研修 |
| 4. 観光案内の実践的なトレーニング |
| 5. 特に必要なサポートはない |

→ 3ページへ

4. 道路・公共交通・景観についてお尋ねします。

【Q16】市内の道路は快適に通行できると思いますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|-------------------|-----------------|----------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う | 3. 分からない |
| 4. どちらかと言えばそう思わない | 5. そう思わない | |

【Q17】最近3か月間に公共交通機関(バス、電車、タクシー、コミュニティバス)をどの程度の頻度で利用しましたか。(○を1つだけ)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|---------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3~4日 | 3. 週1~2日 | 4. 月に数回程度 | 5. 利用なし |
|----------|----------|----------|-----------|---------|

【Q18】市内の公共交通に対する満足度を教えてください。(○を1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. とても満足している | 2. ある程度満足している | 3. どちらでもない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない | |

【Q19】柳川市の景観全般(自然やまちなみ、夜の景観など)は良好だと感じますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|-------------------|------------------|----------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかと言えばそう感じる | 3. 分からない |
| 4. どちらかと言えばそう感じない | 5. そう感じない | |

【Q20】柳川市は水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|-------------------|------------------|----------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかと言えばそう感じる | 3. 分からない |
| 4. どちらかと言えばそう感じない | 5. そう感じない | |

【Q21】あなたは掘割に愛着や誇りを感じますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. 少し感じる | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じない | 5. 全く感じない | |

5. 人権に関することについてお尋ねします。

【Q22】柳川市は人権が守られていると思いますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|-------------------|-----------------|----------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う | 3. 分からない |
| 4. どちらかと言えばそう思わない | 5. そう思わない | |

【Q23】柳川市は男女平等であると思いますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|-------------------|-----------------|----------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う | 3. 分からない |
| 4. どちらかと言えばそう思わない | 5. そう思わない | |

→ 4ページへ

6. 市役所に関するごとついてお尋ねします。

【Q24】広報やながわを読んでいますか。(○を1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 毎回読む(年12回) | 2. たまに読む(年6回程度) |
| 3. あまり読まない(年3回程度) | 4. 全く読まない |

【Q25】直近1年間で市役所(柳川庁舎・大和庁舎・三橋庁舎)にどの程度の頻度で来庁されましたか。
(○を1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 行ったことがない → 【Q30】へ | 2. 年に1、2回程度 |
| 3. 2、3か月に1回程度 | 4. 月1、2回程度 |
| | 5. 週1回以上 |

(Q25で2~5(「年に1、2回程度」、「2、3か月に1回程度」、「月1、2回程度」、「週1回以上」)と回答した人にお尋ねします。)

【Q26】来庁された目的は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-------------|----------|-------|-------------|
| 1. 各種証明書の発行 | 2. 各種手続き | 3. 会議 | 4. 問い合わせ・質問 |
| 5. その他() | | | |

(Q25で2~5(「年に1、2回程度」、「2、3か月に1回程度」、「月1、2回程度」、「週1回以上」)と回答した人にお尋ねします。)

【Q27】来庁された際の平均所要時間(滞在時間)はどれくらいでしたか。(○を1つだけ)

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 15分以内 | 2. 15~30分 | 3. 30~45分 | 4. 45~60分 | 5. 60分以上 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

(Q25で2~5(「年に1、2回程度」、「2、3か月に1回程度」、「月1、2回程度」、「週1回以上」)と回答した人にお尋ねします。)

【Q28】来庁された際の職員の対応はどうでしたか。(○を1つだけ)

- | | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 1. 大変満足 → 【Q30】へ | 2. 満足 → 【Q30】へ | 3. 普通 → 【Q30】へ |
| 4. 不満 | 5. 大変不満 | |

(Q28で「不満」または「大変不満」と回答した人にお尋ねします。)

【Q29】その理由をお答えください。

【Q30】直近1年間でコンビニでの証明書(住民票や所得証明など)発行を利用したことがありますか。
(○を1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
| 3. 利用する機会がなかった | |

→ 5ページへ

IV. 参考資料

(Q30で2「利用したことがない」と回答した人にお尋ねします。)

【Q31】利用したことがない理由は何ですか。(○を1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. やり方がわからない | 2. 求めている申請・発行にオンライン手続きがない |
| 3. その他() | |

【Q32】直近1年間で市への手続きにおいて、オンライン申請などを利用したことありますか。(○を1つだけ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことない |
| 3. 利用する機会がなかった | |

(Q32で2「利用したことない」と回答した人にお尋ねします。)

【Q33】利用したことない理由は何ですか。(○を1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. やり方がわからない | 2. 求めている申請・発行にオンライン手続きがない |
| 3. その他() | |

【Q34】本市では、市役所に行かなくても手続きや申請ができる「オンライン申請」の充実・拡大を進めています。どの部門の手続き・申請がオンラインで行えると便利だと思いますか。(○を3つまで)

- | | | | |
|-------------|----------------|-------------|-----------|
| 1. 引っ越し | 2. 住民票・各種証明書交付 | 3. 税金 | 4. 子育て・教育 |
| 5. 福祉・介護 | 6. 健康・医療・保険・年金 | 7. 水道・下水道 | |
| 8. 住宅・建築・道路 | 9. 生活環境・ごみ | 10. 生涯学習・施設 | 11. 消防 |
| 12. 特にない | 13. その他() | | |

7. 公衆衛生についてお尋ねします。

【Q35】市のがん検診は【男性40歳以上】、【女性20歳以上】であれば受けることができる事を知っていますか。(○を1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【Q36】この1年以内にがん検診を受けましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------|--------------------|
| 1. 受けた | 2. 受けていない → 【Q38】へ |
|--------|--------------------|

(Q36で1、「受けた」と回答した人にお尋ねします。)

【Q37】がん検診を受けた方法を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 職場のがん検診 | 2. 市のがん検診 |
| 3. 自費(個人的に受けた)でのがん検診 | |

→ 6ページへ

(Q36で2、「受けていない」と回答した人にお尋ねします。)

【Q38】がん検診を受けていない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 対象年齢になっていない | 2. 受診方法がわからない |
| 3. 検診に行く時間がなかった | 4. 検診の必要性を感じない |
| 5. 検診を受けるのが面倒 | 6. がんを発見されるのがこわい |
| 7. その他 () | |

(40歳以上の人にお尋ねします。)

【Q39】昨年度、特定健診を受診しましたか。(○を1つだけ)

- | | | |
|-------|-----------------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ → 【Q40へ】 | 3. 分からない |
|-------|-----------------|----------|

(Q39で2、「いいえ」と回答した人にお尋ねします。)

【Q40】特定健診を受診しなかった理由は何ですか。(○を1つだけ)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 個人的に健診を受けるから | 2. 職場で健診を受けるから |
| 3. 病院で定期的に検査を受けているから | 4. 受診する時間がないから |
| 5. 健診費用がかかるから | 6. 健康だから健診は必要ない |
| 7. 受診できることを知らなかった | |
| 8. その他 () | |

8. ご自宅の防火設備に関することについてお尋ねします。

【Q41】お住いの住宅は、次の内どれに該当しますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|---------|------------------|----------|
| 1. 一戸建て | 2. アパート(借家、長屋など) | 3. マンション |
|---------|------------------|----------|

【Q42】住宅用火災報知機を使用している寝室(2階に使用している寝室がある場合は階段にも設置が必要)に設置されていますか(○を1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 該当する部分の全てに設置している | 2. 該当する部分の一部に設置している |
| 3. 設置していない → 【Q46へ】 | |

【Q43】設置されている住宅用火災報知機は、設置してから10年を経過していますか。(○を1つだけ)

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1. 10年を経過している | 2. 10年を経過していない | 3. 分からない |
|---------------|----------------|----------|

→ 7ページへ

IV. 参考資料

【Q44】(Q43で1～2(「10年を経過している」、「10年を経過していない」)と回答した人にお尋ねします。)

半年以内に住宅用火災報知機の作動確認を実施しましたか。(○を1つだけ)

1. 実施した 2. 実施していない

【Q45】(Q44で1「実施した」と回答した人にお尋ねします。)

作動確認を実施した結果はどうでしたか。(○を1つだけ)

1. 異常なし 2. 電池切れ・故障 3. その他()

9. 最後にお尋ねします。

【Q46】柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、令和7年8月17日(日)までに

同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、郵便ポストへ投函してください。